
葛城市

障がい福祉に関するアンケート調査

結果報告書

葛城市

目 次

I. アンケート調査の概要.....	1
1. 調査目的.....	2
2. 調査設計.....	2
3. 回収結果.....	2
4. 報告書の見方.....	3
II. 調査の結果.....	4
1 あなたについて.....	5
2 住まいや暮らしについて.....	16
3 外出について.....	37
4 仕事（就労）について.....	48
5 相談相手等について.....	64
6 医療について.....	79
7 療育・教育について.....	84
8 災害時の避難等について.....	96
9 障がい福祉サービスの利用について.....	101
10 普段感じていることについて.....	131

I. アンケート調査の概要

1. 調査目的

本調査は、普段、皆様がどのように暮らし、どのように考えているか等をお聞きし、皆様のご意見を新しい計画策定のための基礎資料とするほか、今後葛城市が障がい福祉施策を進める際の参考とさせていただきます。ただぐために実施いたしました。

2. 調査設計

- ◇調査地域 : 奈良県 葛城市内
- ◇調査対象者 : 身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳をお持ちの方、自立支援医療を受給中の方、障がい福祉サービス等をご利用の方から抽出
- ◇調査期間 : 令和5年8月23日(水)～ 令和5年9月8日(金)
- ◇調査方法 : 調査票による本人または本人以外の記入方式
郵送配布・郵送回収またはWEBによる調査方法

3. 回収結果

調査対象者数（配布数）	有効回収数	有効回収率
2,000 人	1,028 人	51.4%

4. 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を、小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答(複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式)であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても同様です。
- 複数回答(複数の選択肢から1つもしくは複数の選択肢を選ぶ方式)の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%にならない場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N(number of case)」は、集計対象者総数(回答者限定設問の限定条件に該当する人)を表しています。
- 図表中の「SA(single answer)」は単数回答、「MA(multi answer)」は複数回答をそれぞれ表しています。
- 設問及び本文中の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。
- グラフや表中の表記についても同様です。
- 本報告書は、それぞれの所持手帳別にクロス集計をかけることで身体障がい者手帳所持者・療育手帳所持者・精神障がい者保健福祉手帳所持者を別々に集計しています。そのため、重複手帳所持者は、それぞれに数えられ、集計されています。
- 分析における「身体」「知的」「精神」障がい者とは手帳所持者と対象とした調査票における問2「お持ちの手帳等の種類」の回答によって分類しています。身体障がい者手帳をお持ちの方を「身体」、療育手帳をお持ちの方を「知的」、精神障がい者保健福祉手帳をお持ちの方を「精神」と表記します。
- グラフ中の項目について、数値が0のものは表記していません。

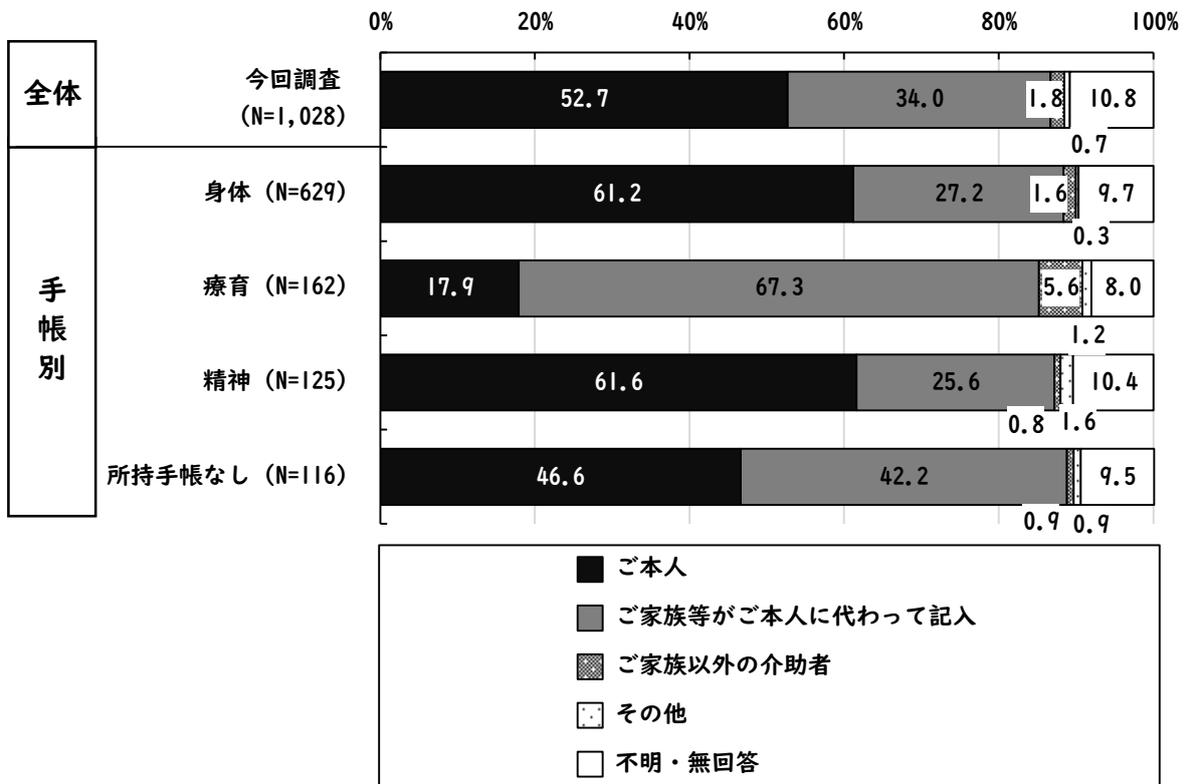
Ⅱ. 調査の結果

1 あなたについて

問1 ご記入いただくのは、どなたですか。(○は1つだけ)

アンケートの記入者では「ご本人(この調査票が郵送された宛名の方)」が52.7%と最も高く、次いで「ご家族等がご本人に代わって記入(ご本人の意向を尊重して記入)」が34.0%、「ご家族以外の介助者」が1.8%となっています。

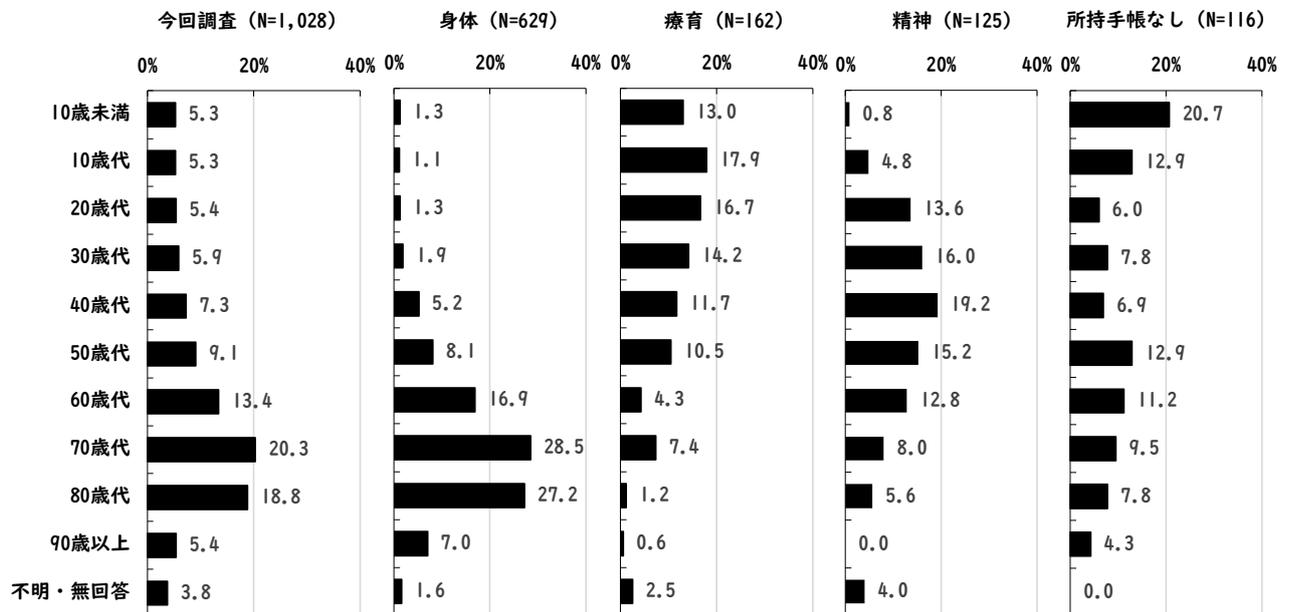
所持手帳別にみると【身体】、【精神】、【所持手帳なし】では「ご本人(この調査票が郵送された宛名の方)」の割合が最も高く、それぞれ61.2%、61.6%、46.6%、【療育】では「ご家族等がご本人に代わって記入(ご本人の意向を尊重して記入)」が67.3%となっています。



問2 年齢を記入してください。

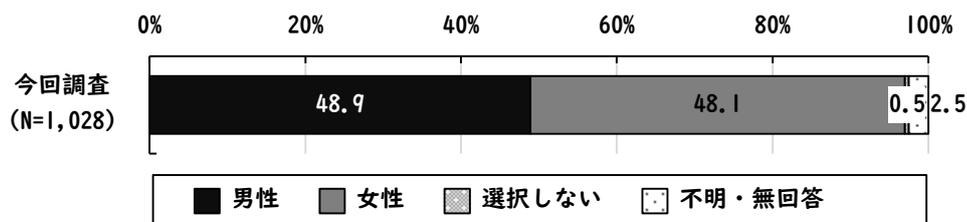
年齢では「70歳代」が20.3%と最も高く、次いで「80歳代」が18.8%、「60歳代」が13.4%となっています。

所持手帳別にみると【身体】では「70歳代」が28.5%、【療育】では「10歳代」が17.9%、【精神】では「40歳代」が19.2%、【所持手帳なし】では「10歳未満」が20.7%となっています。



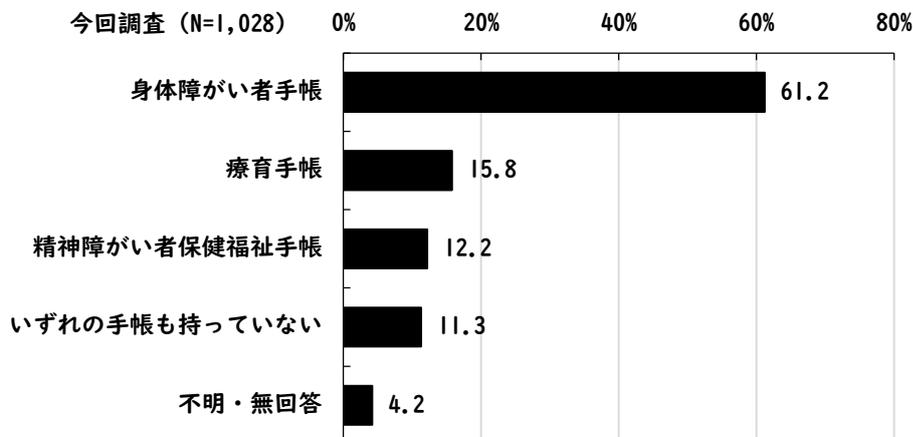
問3 性別に○をつけてください。(○は1つだけ)

性別では「男性」が48.9%、「女性」が48.1%、「選択しない」が0.5%となっています。



問4 次の手帳をお持ちですか。お持ちの場合はその内容についてお答えください。

所持手帳では「身体障がい者手帳」が61.2%と最も高く、次いで「療育手帳」が15.8%、「精神障がい者保健福祉手帳」が12.2%となっています。



■ クロス集計：所持手帳別年齢3区分

		身体障がい者手帳	療育手帳	精神障がい者保健福祉手帳	いずれの手帳も持っていない	不明・無回答
身体	0～18歳 (n=15)	100.0	6.7	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=147)	100.0	15.6	3.4	0.0	0.0
	65歳以上 (n=457)	100.0	1.8	0.7	0.2	0.0
療育	0～18歳 (n=49)	2.0	100.0	6.1	0.0	0.0
	19～64歳 (n=90)	25.6	100.0	2.2	0.0	0.0
	65歳以上 (n=19)	42.1	100.0	0.0	0.0	0.0
精神	0～18歳 (n=7)	0.0	42.9	100.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=89)	5.6	2.2	100.0	0.0	0.0
	65歳以上 (n=24)	12.5	0.0	100.0	0.0	0.0

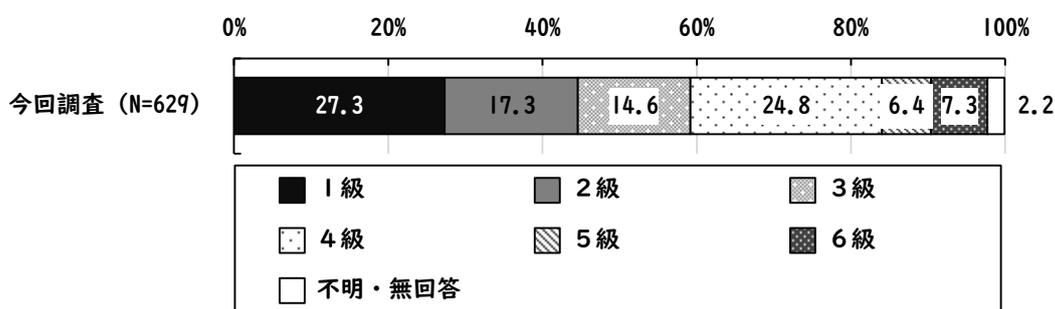
■ クロス集計：回答者

回答者別にみると、どの回答者でも「身体障がい者手帳」が最も高く、【ご本人（この調査票が郵送された宛名の方）】では71.0%、【ご家族等がご本人に代わって記入（ご本人の意向を尊重して記入）】では48.9%、【ご家族以外の介助者】では55.6%となっています。

	身体障がい者手帳	療育手帳	精神障がい者保健福祉手帳	いずれの手帳も持っていない	不明・無回答
ご本人(この調査票が郵送された宛名の方) (n=542)	71.0	5.4	14.2	10.0	2.4
ご家族等がご本人に代わって記入(ご本人の意向を尊重して記入) (n=350)	48.9	31.1	9.1	14.0	2.6
ご家族以外の介助者 (n=18)	55.6	50.0	5.6	5.6	0.0

(1) お持ちの手帳の等級に1つ0 (身体障がい者手帳)

身体障がい者手帳の等級では「1級」が27.3%と最も高く、次いで「4級」が24.8%、「2級」が17.3%となっています。



■ クロス集計：所持手帳別年齢3区分

所持手帳別年齢3区分でみると、【身体】のうち、【18歳以下】、【19~64歳】では「1級」がそれぞれ53.3%、32.0%、【65歳以上】では「4級」が29.5%となっています。

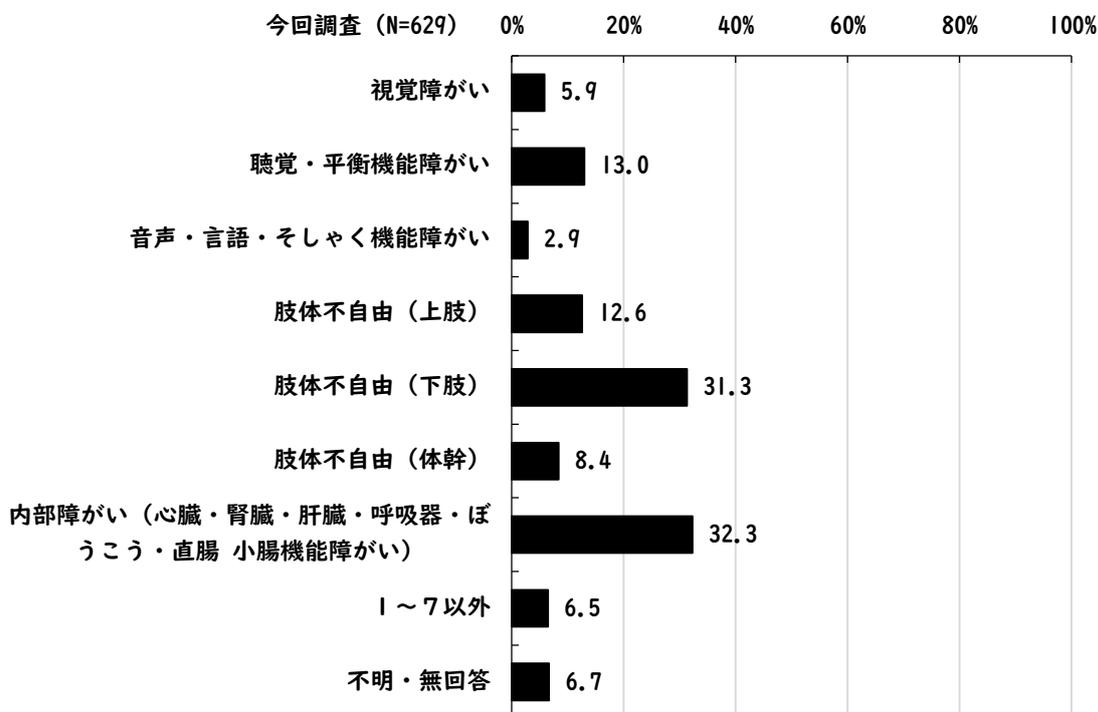
【療育】のうち、【18歳以下】では「3級」が100%、【19~64歳】では「1級」「2級」がともに43.5%、【65歳以上】では「1級」「4級」「6級」がそれぞれ25.0%となっています。

【精神】のうち、【18歳以下】では有効回答がありませんでした。【19~64歳】、【65歳以上】では「2級」がそれぞれ40.0%、66.7%となっています。

		1級	2級	3級	4級	5級	6級	不明・無回答
身体	0~18歳 (n=15)	53.3	6.7	26.7	0.0	0.0	6.7	6.7
	19~64歳 (n=147)	32.0	26.5	14.3	12.9	7.5	5.4	1.4
	65歳以上 (n=457)	25.2	14.4	14.4	29.5	6.1	8.1	2.2
療育	0~18歳 (n=1)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	19~64歳 (n=23)	43.5	43.5	0.0	4.3	8.7	0.0	0.0
	65歳以上 (n=8)	25.0	12.5	12.5	25.0	0.0	25.0	0.0
精神	0~18歳 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	19~64歳 (n=5)	20.0	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	65歳以上 (n=3)	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(2) どのような障がいがあるのか、あてはまるすべてに○（身体障がい者手帳）

身体障がい者手帳の内容では「内部障がい（心臓・腎臓・肝臓・呼吸器・ぼうこう・直腸 小腸機能障がい）」が32.3%と最も高く、次いで「肢体不自由（下肢）」が31.3%、「聴覚・平衡機能障がい」が13.0%となっています。



■ クロス集計：所持手帳別年齢3区分

所持手帳別年齢3区分で見ると、【身体】のうち、【18歳以下】、【19～64歳】では「肢体不自由（下肢）」がそれぞれ46.7%、32.0%、【65歳以上】では「内部障がい（心臓・腎臓・肝臓・呼吸器・ぼうこう・直腸 小腸機能障がい）」が34.4%となっています。

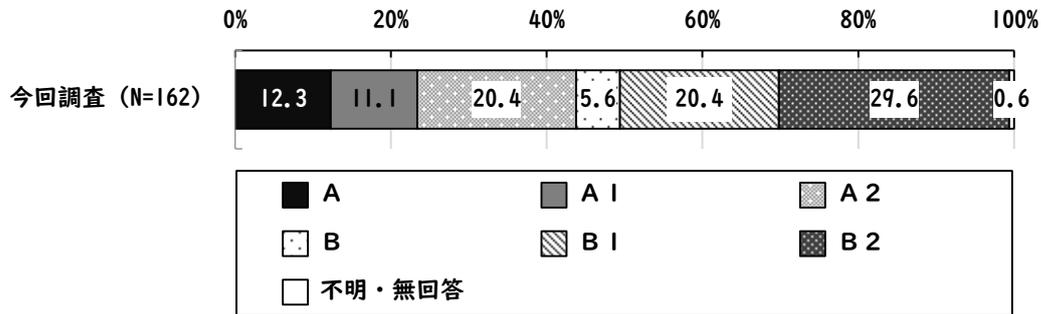
【療育】のうち、【18歳以下】、【19～64歳】では「1～7以外」がそれぞれ100.0%、39.1%、【65歳以上】では「聴覚・平衡機能障がい」が25.0%となっています。

【精神】のうち、【18歳以下】では有効回答がありませんでした。【19～64歳】では「1～7以外」が80.0%、【65歳以上】では「聴覚・平衡機能障がい」「肢体不自由（下肢）」がともに33.3%となっています。

		視覚障がい	聴覚・平衡機能障がい	音声・言語・そしゃく機能障がい	肢体不自由（上肢）	肢体不自由（下肢）	肢体不自由（体幹）	内部障がい（心臓・腎臓・肝臓・呼吸器・ぼうこう・直腸 小腸機能障がい）	1～7以外	不明・無回答
身体	0～18歳 (n=15)	0.0	20.0	6.7	33.3	46.7	13.3	26.7	13.3	6.7
	19～64歳 (n=147)	7.5	6.1	3.4	18.4	32.0	9.5	27.9	15.0	7.5
	65歳以上 (n=457)	5.0	15.3	2.6	10.3	31.3	8.1	34.4	3.3	5.7
療育	0～18歳 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	19～64歳 (n=23)	8.7	8.7	4.3	17.4	21.7	30.4	0.0	39.1	13.0
	65歳以上 (n=8)	12.5	25.0	0.0	12.5	12.5	12.5	12.5	0.0	25.0
精神	0～18歳 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=5)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0	20.0
	65歳以上 (n=3)	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3

(1) お持ちの手帳の等級に1つ0 (療育手帳)

療育手帳の等級では「B2」が29.6%と最も高く、次いで「A2」「B1」がともに20.4%となっています。



■ クロス集計：所持手帳別年齢3区分

所持手帳別年齢3区分でみると、【身体】のうち、【18歳以下】では「A2」が100.0%、【19~64歳】では「A」「A2」がともに30.4%、【65歳以上】では「B2」が37.5%となっています。

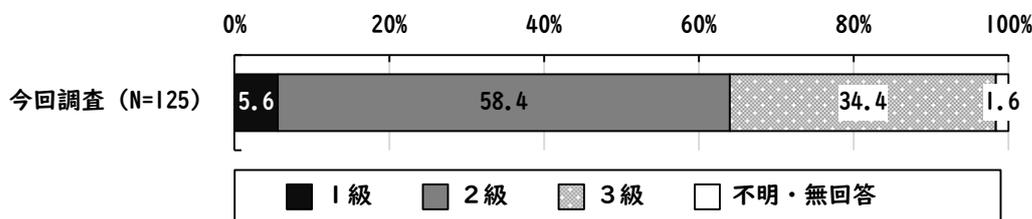
【療育】のうち、【18歳以下】では「B2」が57.1%、【19~64歳】では「A2」「B1」がともに23.3%、【65歳以上】では「A」が36.8%、

【精神】のうち、【18歳以下】では「B2」が66.7%、【19~64歳】では「A」が100.0%、【65歳以上】では有効回答がありませんでした。

		A	A1	A2	B	B1	B2	不明・無回答
身体	0~18歳 (n=1)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	19~64歳 (n=23)	30.4	26.1	30.4	8.7	4.3	0.0	0.0
	65歳以上 (n=8)	25.0	0.0	25.0	12.5	0.0	37.5	0.0
療育	0~18歳 (n=49)	0.0	4.1	14.3	2.0	20.4	57.1	2.0
	19~64歳 (n=90)	14.4	15.6	23.3	6.7	23.3	16.7	0.0
	65歳以上 (n=19)	36.8	5.3	21.1	10.5	5.3	21.1	0.0
精神	0~18歳 (n=3)	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0
	19~64歳 (n=2)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	65歳以上 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(1) お持ちの手帳の等級に1つ0 (精神障がい者保健福祉手帳)

精神障がい者保健福祉手帳の等級では「2級」が58.4%と最も高く、次いで「3級」が34.4%、「1級」が5.6%となっています。



■ クロス集計：所持手帳別年齢3区分

所持手帳別年齢3区分でみると、【身体】のうち、【18歳以下】では有効回答がありませんでした。【19～64歳】、【65歳以上】では「2級」がそれぞれ60.0%、66.7%となっています。

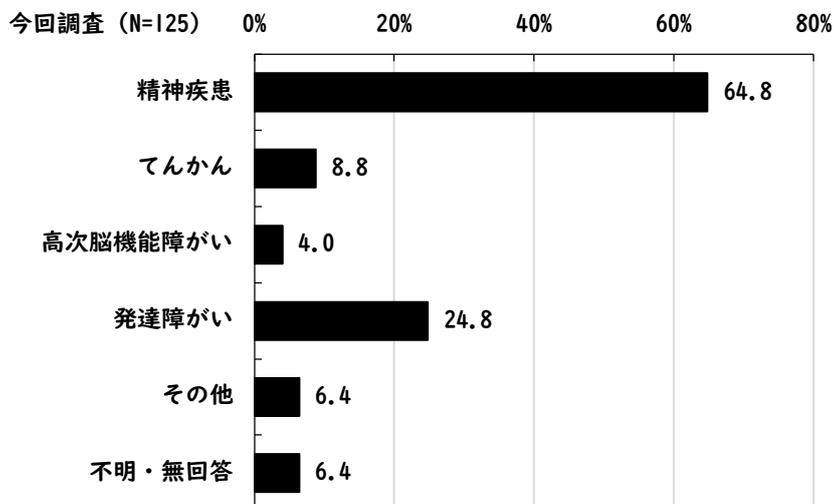
【療育】のうち、【18歳以下】では「2級」が66.7%、【19～64歳】では「1級」が50.0%、【65歳以上】は有効回答がありませんでした。

【精神】のうち、【18歳以下】では「3級」が57.1%、【19～64歳】では「2級」が56.2%、【65歳以上】では「2級」が66.7%となっています。

		1級	2級	3級	不明・無回答
身体	0～18歳 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=5)	20.0	60.0	20.0	0.0
	65歳以上 (n=3)	33.3	66.7	0.0	0.0
療育	0～18歳 (n=3)	0.0	66.7	33.3	0.0
	19～64歳 (n=2)	50.0	0.0	0.0	50.0
	65歳以上 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0
精神	0～18歳 (n=7)	0.0	42.9	57.1	0.0
	19～64歳 (n=89)	4.5	56.2	37.1	2.2
	65歳以上 (n=24)	12.5	66.7	20.8	0.0

(2) どのような障がいがあるのか、あてはまるすべてに○ (精神障がい者保健福祉手帳)

精神障がい者保健福祉手帳の内容では「精神疾患」が64.8%と最も高く、次いで「発達障がい」が24.8%、「てんかん」が8.8%となっています。



■ クロス集計：所持手帳別年齢3区分

所持手帳別年齢3区分でみると、【身体】のうち、【18歳以下】は有効回答がありませんでした。【19～64歳】では「てんかん」が80.0%、【65歳以上】では「精神疾患」「てんかん」がともに33.3%となっています。

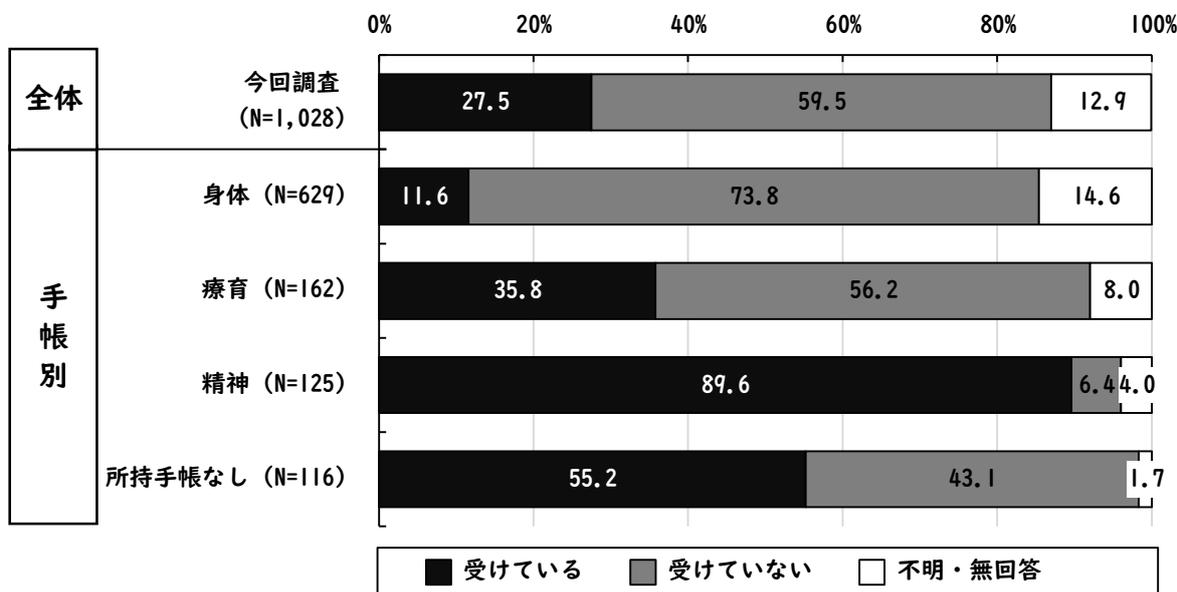
【療育】のうち、【18歳以下】では「発達障がい」が100.0%、【19～64歳】では「精神疾患」「てんかん」がともに50.0%となっています。【65歳以上】は有効回答がありませんでした。

【精神】のうち、【18歳以下】では「発達障がい」が85.7%、【19～64歳】では「精神疾患」が69.7%、【65歳以上】では「精神疾患」が62.5%となっています。

		精神疾患	てんかん	高次脳機能障がい	発達障がい	その他	不明・無回答
身体	0～18歳 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=5)	40.0	80.0	20.0	20.0	20.0	0.0
	65歳以上 (n=3)	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3
療育	0～18歳 (n=3)	0.0	33.3	0.0	100.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=2)	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	65歳以上 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
精神	0～18歳 (n=7)	14.3	14.3	0.0	85.7	0.0	0.0
	19～64歳 (n=89)	69.7	9.0	4.5	24.7	5.6	3.4
	65歳以上 (n=24)	62.5	8.3	4.2	4.2	8.3	20.8

問5 自立支援医療（精神通院）受給者証の交付を受けていますか。（○は1つだけ）

自立支援医療受給者証の交付では「受けていない」が59.5%、「受けている」が27.5%となっています。
所持手帳別にみると【身体】、【療育】では「受けていない」がそれぞれ73.8%、56.2%、【精神】、【所持手帳なし】では「受けている」がそれぞれ89.6%、55.2%となっています。



■ クロス集計：所持手帳別年齢3区分

所持手帳別年齢3区分でみると、【身体】のいずれの年代でも「受けていない」の割合が高くなっており、【18歳以下】では93.3%、【19～64歳】では70.1%、【65歳以上】では75.1%となっています。

【療育】のうち、【18歳以下】、【19～64歳】では「受けていない」がそれぞれ73.5%、52.2%、【65歳以上】では「受けている」「受けていない」がともに31.6%となっています。

【精神】のいずれの年代でも「受けている」の割合が高くなっており、【18歳以下】では85.7%、【19～64歳】では93.3%、【65歳以上】では75.0%となっています。

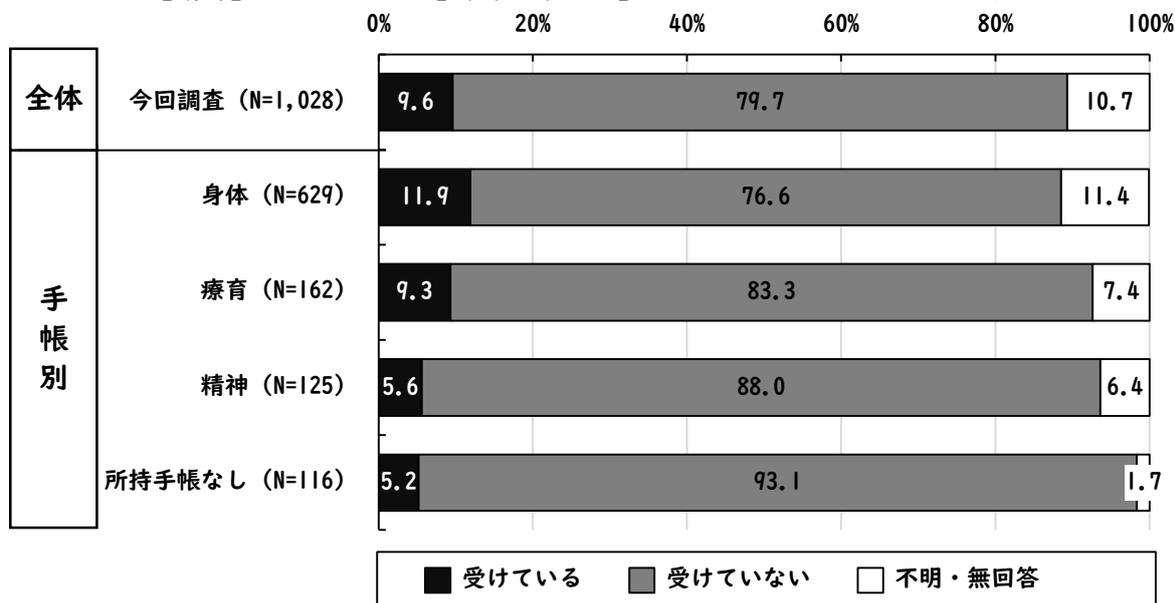
【所持手帳なし】のうち、【18歳以下】では「受けていない」が74.4%、【19～64歳】、【65歳以上】では「受けている」がそれぞれ90.5%、51.4%となっています。

		受けている	受けていない	不明・無回答
身体	0～18歳 (n=15)	6.7	93.3	0.0
	19～64歳 (n=147)	24.5	70.1	5.4
	65歳以上 (n=457)	7.2	75.1	17.7
療育	0～18歳 (n=49)	22.4	73.5	4.1
	19～64歳 (n=90)	43.3	52.2	4.4
	65歳以上 (n=19)	31.6	31.6	36.8
精神	0～18歳 (n=7)	85.7	14.3	0.0
	19～64歳 (n=89)	93.3	6.7	0.0
	65歳以上 (n=24)	75.0	4.2	20.8
手帳なし	0～18歳 (n=39)	20.5	74.4	5.1
	19～64歳 (n=42)	90.5	9.5	0.0
	65歳以上 (n=35)	51.4	48.6	0.0

問6 難病（特定疾患）の認定を受けていますか。（○は1つだけ）

難病の認定では「受けていない」が79.7%、「受けている」が9.6%となっています。

所持手帳別にみると、どの手帳でも「受けていない」の割合が高くなっており、【身体】では76.6%、【療育】では83.3%、【精神】では88.0%、【所持手帳なし】では93.1%となっています。



■ クロス集計：所持手帳別年齢3区分

所持手帳別年齢3区分でみると、【身体】のいずれの年代でも「受けていない」の割合が高くなっており、【18歳以下】では66.7%、【19～64歳】では76.2%、【65歳以上】では78.1%となっています。

【療育】のいずれの年代でも「受けていない」の割合が高くなっており、【18歳以下】では89.8%、【19～64歳】では86.7%、【65歳以上】では52.6%となっています。

【精神】のいずれの年代でも「受けていない」の割合が高くなっており、【18歳以下】では85.7%、【19～64歳】では93.3%、【65歳以上】では75.0%となっています。

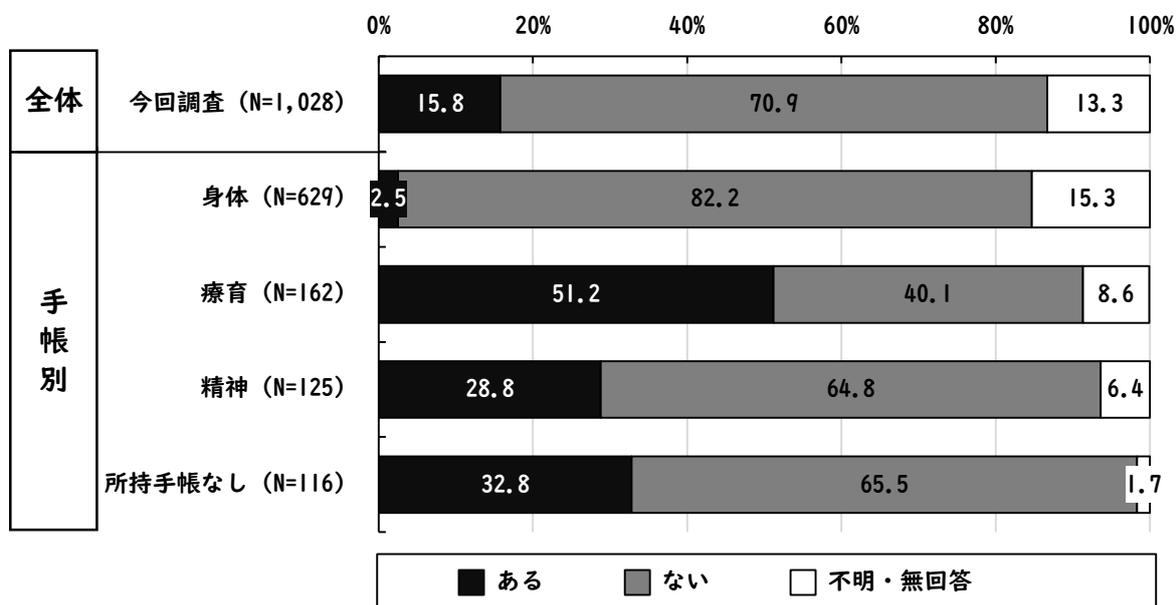
【所持手帳なし】のいずれの年代でも「受けていない」の割合が高くなっており、【18歳以下】では97.4%、【19～64歳】では92.9%、【65歳以上】では88.6%となっています。

		受けている	受けていない	不明・無回答
身体	0～18歳 (n=15)	33.3	66.7	0.0
	19～64歳 (n=147)	17.7	76.2	6.1
	65歳以上 (n=457)	9.0	78.1	12.9
療育	0～18歳 (n=49)	10.2	89.8	0.0
	19～64歳 (n=90)	6.7	86.7	6.7
	65歳以上 (n=19)	15.8	52.6	31.6
精神	0～18歳 (n=7)	14.3	85.7	0.0
	19～64歳 (n=89)	4.5	93.3	2.2
	65歳以上 (n=24)	4.2	75.0	20.8
手帳なし	0～18歳 (n=39)	0.0	97.4	2.6
	19～64歳 (n=42)	4.8	92.9	2.4
	65歳以上 (n=35)	11.4	88.6	0.0

問7 発達障がいと診断されたことがありますか。(○は1つだけ)

発達障がいの診断では「ない」が70.9%、「ある」が15.8%となっています。

所持手帳別にみると、【身体】、【精神】、【所持手帳なし】では「ない」の割合が高く、それぞれ82.2%、64.8%、65.5%、【療育】では「ある」が51.2%となっています。



■ クロス集計：所持手帳別年齢3区分

所持手帳別年齢3区分でみると、【身体】のうち、いずれの年代でも「ない」が高くなっており、【18歳以下】では73.3%、【19～64歳】では87.1%、【65歳以上】では81.2%となっています。

【療育】のうち、【18歳以下】では「ある」が81.6%、【19～64歳】、【65歳以上】では「ない」がそれぞれ50.0%、52.6%となっています。

【精神】のうち、【18歳以下】では「ある」が85.7%、【19～64歳】、【65歳以上】では「ない」がそれぞれ69.7%、66.7%となっています。

【所持手帳なし】のうち、【18歳以下】では「ある」が84.6%、【19～64歳】、【65歳以上】では「ない」がそれぞれ85.7%、100.0%となっています。

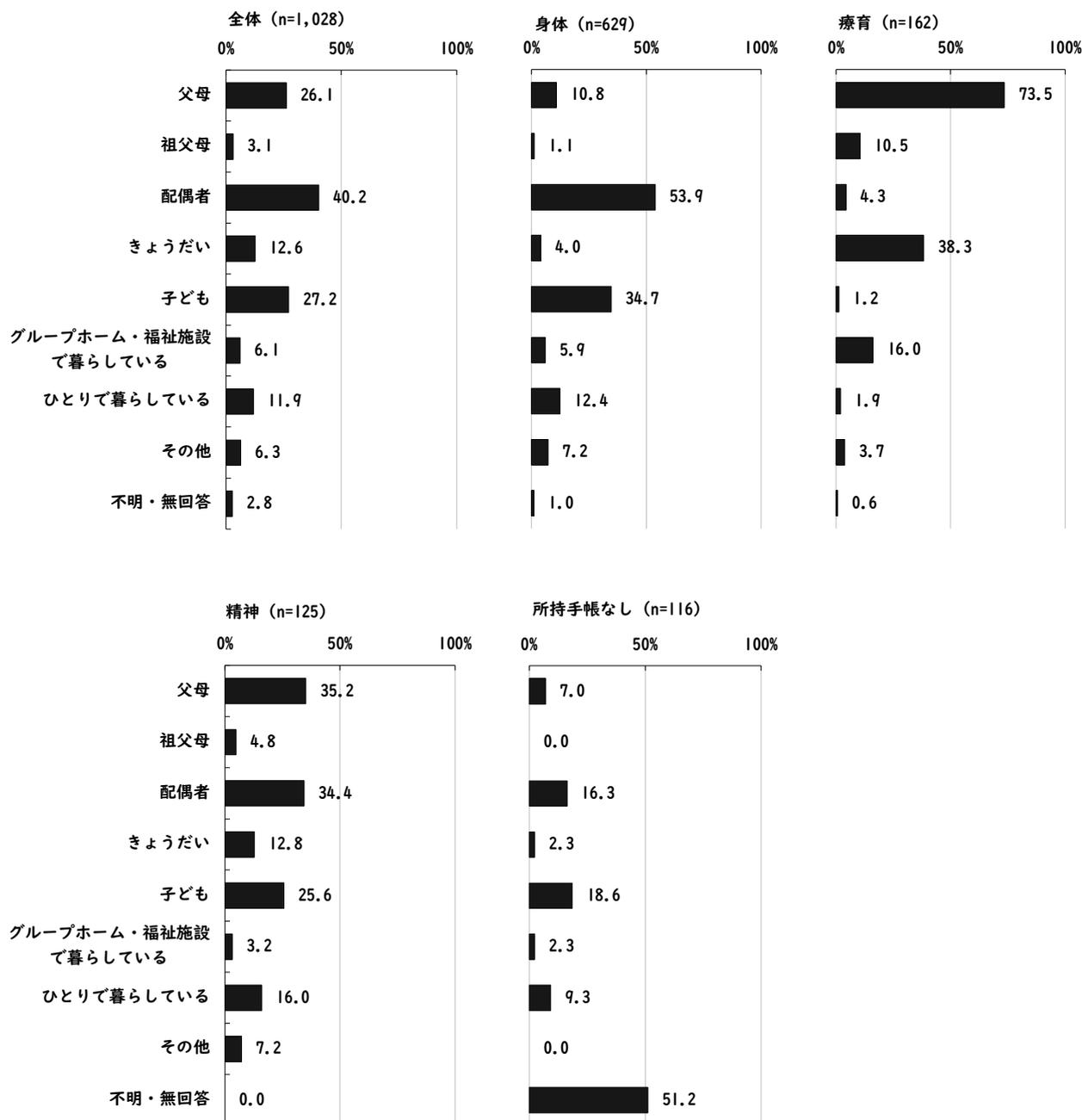
		ある	ない	不明・無回答
身体	0～18歳 (n=15)	26.7	73.3	0.0
	19～64歳 (n=147)	7.5	87.1	5.4
	65歳以上 (n=457)	0.2	81.2	18.6
療育	0～18歳 (n=49)	81.6	18.4	0.0
	19～64歳 (n=90)	41.1	50.0	8.9
	65歳以上 (n=19)	15.8	52.6	31.6
精神	0～18歳 (n=7)	85.7	14.3	0.0
	19～64歳 (n=89)	30.3	69.7	0.0
	65歳以上 (n=24)	4.2	66.7	29.2
手帳なし	0～18歳 (n=39)	84.6	12.8	2.6
	19～64歳 (n=42)	11.9	85.7	2.4
	65歳以上 (n=35)	0.0	100.0	0.0

2 住まいや暮らしについて

問8 現在、誰と一緒に暮らしていますか。(あてはまるものすべてに○)

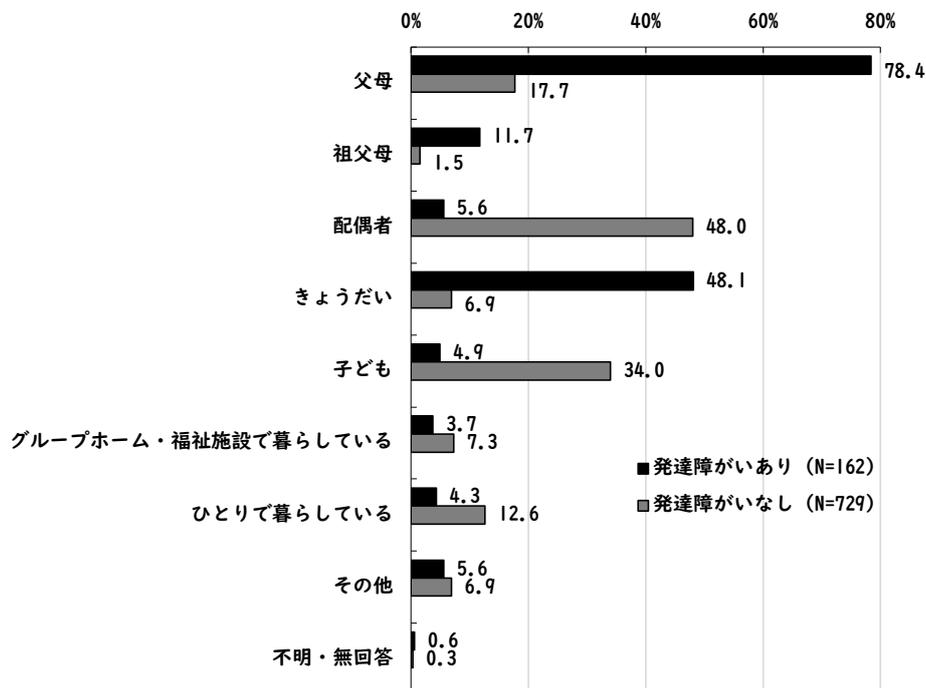
現在、一緒に暮らしている人では「配偶者」が40.2%と最も高く、次いで「子ども」が27.2%、「父母」が26.1%となっています。

所持手帳別にみると【身体】では「配偶者」が53.9%、【療育】では「父母」が73.5%、「子ども」が38.3%、「配偶者」が4.3%、「きょうだい」が1.2%、「グループホーム・福祉施設で暮らしている」が16.0%、「ひとり暮らし」が1.9%、「その他」が3.7%、「不明・無回答」が0.6%となっています。



■ クロス集計：発達障がいの有無

発達障がいの有無別にみると、【発達障がいあり】では「父母」が78.4%、【発達障がいなし】では「配偶者」が48.0%となっています。



■ クロス集計：所持手帳別年齢3区分

所持手帳別年齢3区分でみると、【身体】のうち、【18歳以下】では「父母」が86.7%、【19～64歳】、【65歳以上】では「配偶者」がそれぞれ45.6%、58.4%となっています。

【療育】のうち、【18歳以下】、【19～64歳】では「父母」がそれぞれ98.0%、73.3%、【65歳以上】では「グループホーム・福祉施設で暮らしている」が42.1%となっています。

【精神】のうち、【18歳以下】、【19～64歳】では「父母」がそれぞれ71.4%、41.6%、【65歳以上】では「ひとりで暮らしている」が41.7%となっています。

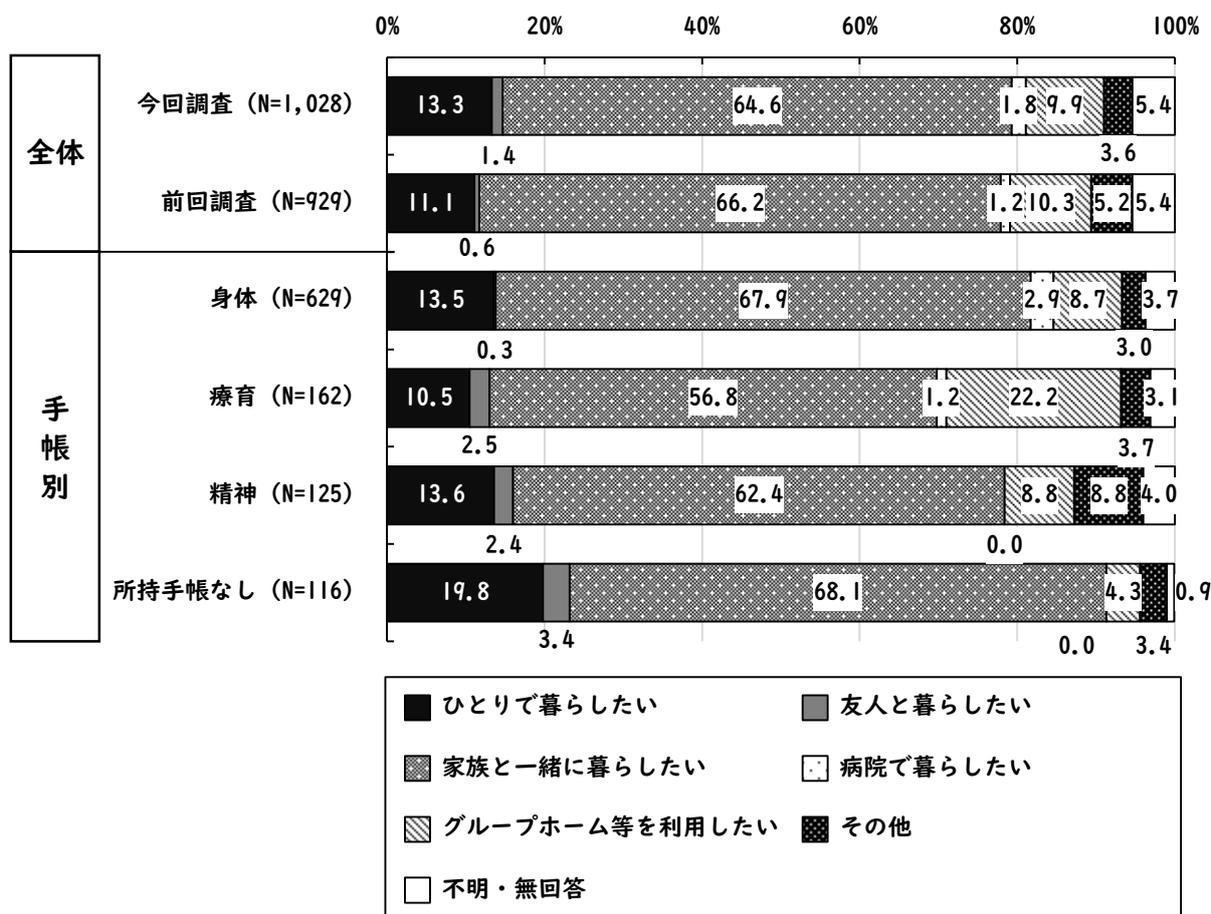
【所持手帳なし】のうち、【18歳以下】では「父母」が100.0%、【19～64歳】では「父母」「配偶者」がともに38.1%、【65歳以上】では「ひとりで暮らしている」が40.0%となっています。

		父母	祖父母	配偶者	きょうだい	子ども	グループホーム・福祉施設で暮らしている	ひとりで暮らしている	その他	不明・無回答
身体	0～18歳 (n=15)	86.7	13.3	6.7	33.3	6.7	6.7	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=147)	30.6	2.0	45.6	10.2	35.4	6.8	10.2	4.1	0.7
	65歳以上 (n=457)	1.1	0.2	58.4	0.4	36.1	5.7	13.6	8.5	1.1
療育	0～18歳 (n=49)	98.0	16.3	2.0	69.4	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0
	19～64歳 (n=90)	73.3	8.9	0.0	27.8	1.1	18.9	1.1	6.7	0.0
	65歳以上 (n=19)	10.5	0.0	31.6	5.3	5.3	42.1	10.5	0.0	0.0
精神	0～18歳 (n=7)	71.4	0.0	0.0	57.1	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0
	19～64歳 (n=89)	41.6	5.6	38.2	9.0	29.2	2.2	10.1	6.7	0.0
	65歳以上 (n=24)	0.0	0.0	29.2	8.3	20.8	4.2	41.7	8.3	0.0
手帳なし	0～18歳 (n=39)	100.0	10.3	0.0	69.2	2.6	0.0	0.0	2.6	0.0
	19～64歳 (n=42)	38.1	4.8	38.1	11.9	26.2	0.0	14.3	11.9	0.0
	65歳以上 (n=35)	0.0	0.0	25.7	2.9	34.3	5.7	40.0	5.7	0.0

問9 今後（将来）、どのように暮らしたいですか。（○は1つだけ）

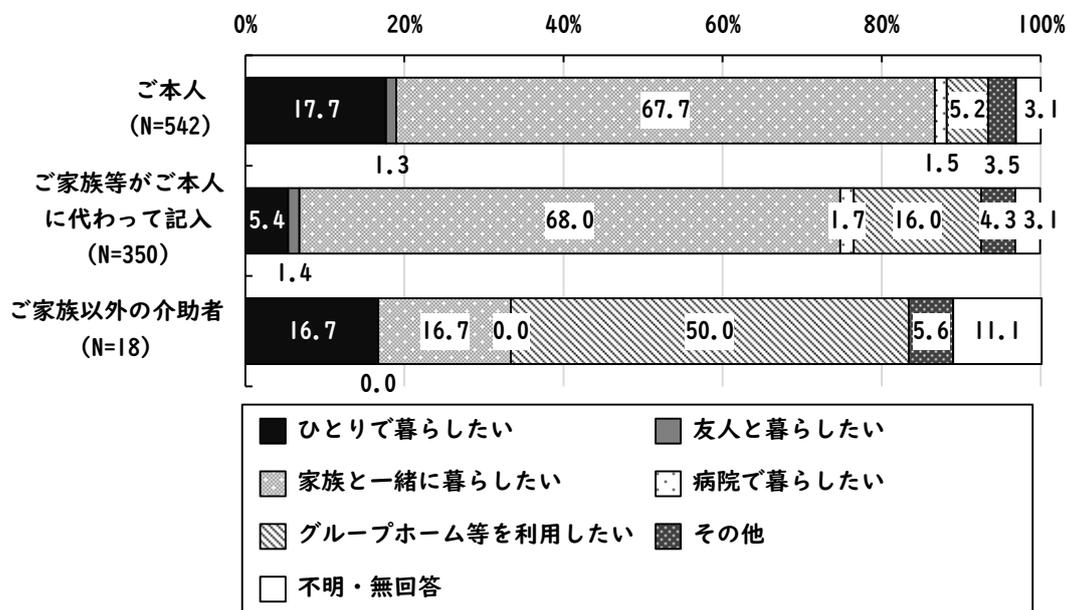
今後の暮らし方の意向では「家族と一緒に暮らしたい」が64.6%と最も高く、次いで「ひとりで暮らしたい」が13.3%、「専門の職員がいて共同生活ができる施設（グループホーム等）を利用したい」が9.9%となっています。前回調査では「家族と一緒に暮らしたい」が66.2%、次いで「ひとりで暮らしたい」が11.1%、「グループホーム等を利用したい」が10.3%となっています。

所持手帳別にみると、どの手帳でも「家族と一緒に暮らしたい」の割合が最も高く、【身体】では67.9%、【療育】では56.8%、【精神】では62.4%、【所持手帳なし】では68.1%となっています。



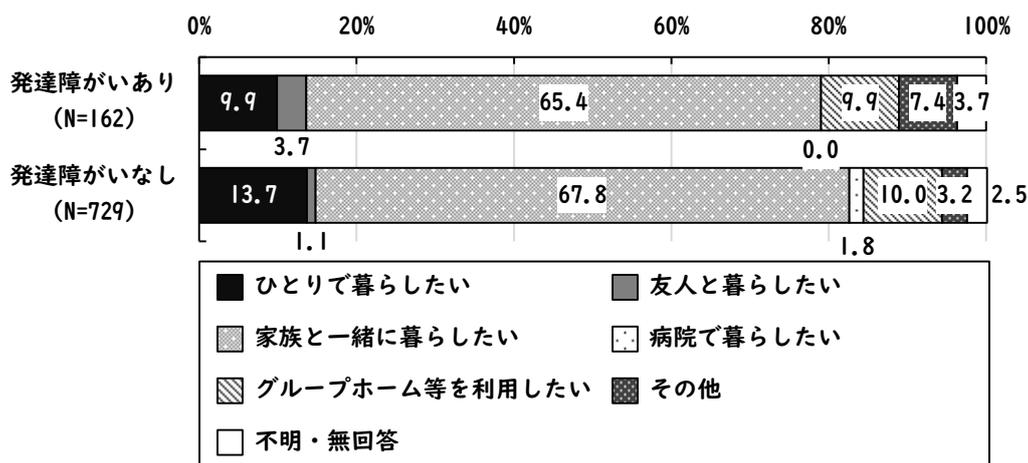
■ クロス集計：回答者別

回答者別でみると、【ご本人】では「家族と一緒に暮らしたい」が67.7%、【ご家族等がご本人に代わって記入】では「家族と一緒に暮らしたい」が68.0%、【ご家族以外の介助者】では「グループホーム等を利用したい」が50.0%となっています。



■ クロス集計：発達障がいの有無

発達障がいの有無別でみると、【発達障がいあり】、【発達障がいなし】ともに「家族と一緒に暮らしたい」の割合が最も高く、それぞれ65.4%、67.8%となっています。



■ クロス集計：所持手帳別年齢3区分

所持手帳別年齢3区分でみると、【身体】のいずれの年代でも「家族と一緒に暮らしたい」の割合が最も高く、【18歳以下】では66.7%、【19～64歳】では68.7%、【65歳以上】では67.6%となっています。

【療育】のいずれの年代でも「家族と一緒に暮らしたい」の割合が最も高くなっており、【18歳以下】では67.3%、【19～64歳】では54.4%、【65歳以上】では42.1%となっています。

【精神】のいずれの年代でも「家族と一緒に暮らしたい」の割合が最も高くなっており、【18歳以下】では57.1%、【19～64歳】では66.3%、【65歳以上】では50.0%となっています。

【所持手帳なし】のいずれの年代でも「家族と一緒に暮らしたい」の割合が最も高くなっており、【18歳以下】では74.4%、【19～64歳】では73.8%、【65歳以上】では54.3%となっています。

		ひとりで暮らしたい	友人と暮らしたい	家族と一緒に暮らしたい	病院で暮らしたい	グループホーム等を利用したい	その他	不明・無回答
身体	0～18歳 (n=15)	13.3	0.0	66.7	0.0	6.7	6.7	6.7
	19～64歳 (n=147)	16.3	0.7	68.7	2.0	7.5	3.4	1.4
	65歳以上 (n=457)	12.7	0.2	67.6	3.1	9.4	2.6	4.4
療育	0～18歳 (n=49)	6.1	6.1	67.3	0.0	12.2	4.1	4.1
	19～64歳 (n=90)	12.2	1.1	54.4	2.2	26.7	2.2	1.1
	65歳以上 (n=19)	15.8	0.0	42.1	0.0	21.1	10.5	10.5
精神	0～18歳 (n=7)	14.3	14.3	57.1	0.0	0.0	14.3	0.0
	19～64歳 (n=89)	13.5	2.2	66.3	0.0	5.6	9.0	3.4
	65歳以上 (n=24)	16.7	0.0	50.0	0.0	16.7	8.3	8.3
手帳なし	0～18歳 (n=39)	10.3	2.6	74.4	0.0	0.0	10.3	2.6
	19～64歳 (n=42)	16.7	7.1	73.8	0.0	2.4	0.0	0.0
	65歳以上 (n=35)	34.3	0.0	54.3	0.0	11.4	0.0	0.0

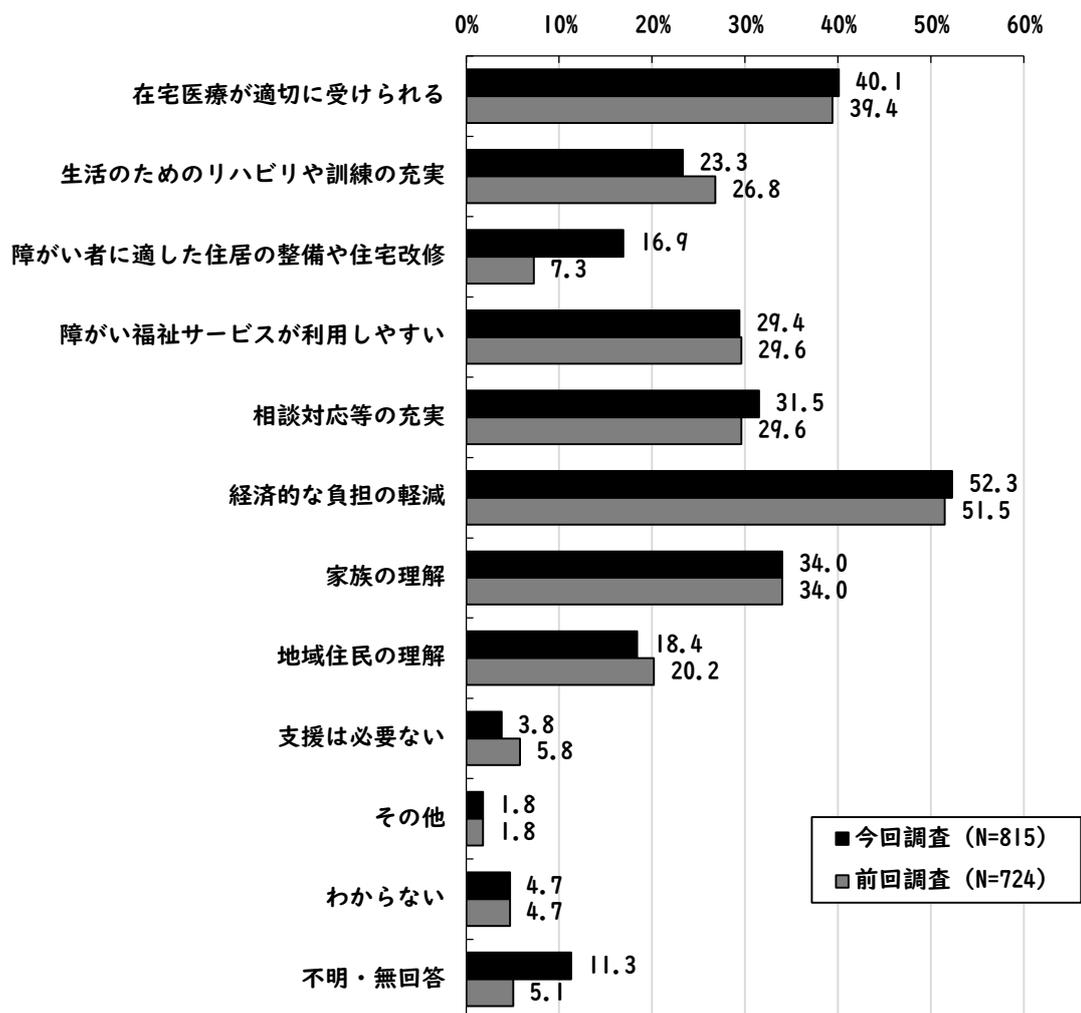
問10 【問9で「1. ひとりで暮らしたい」「2. 友人と暮らしたい」「3. 家族と一緒に暮らしたい」のいずれかに○をつけた方にお聞きします。】

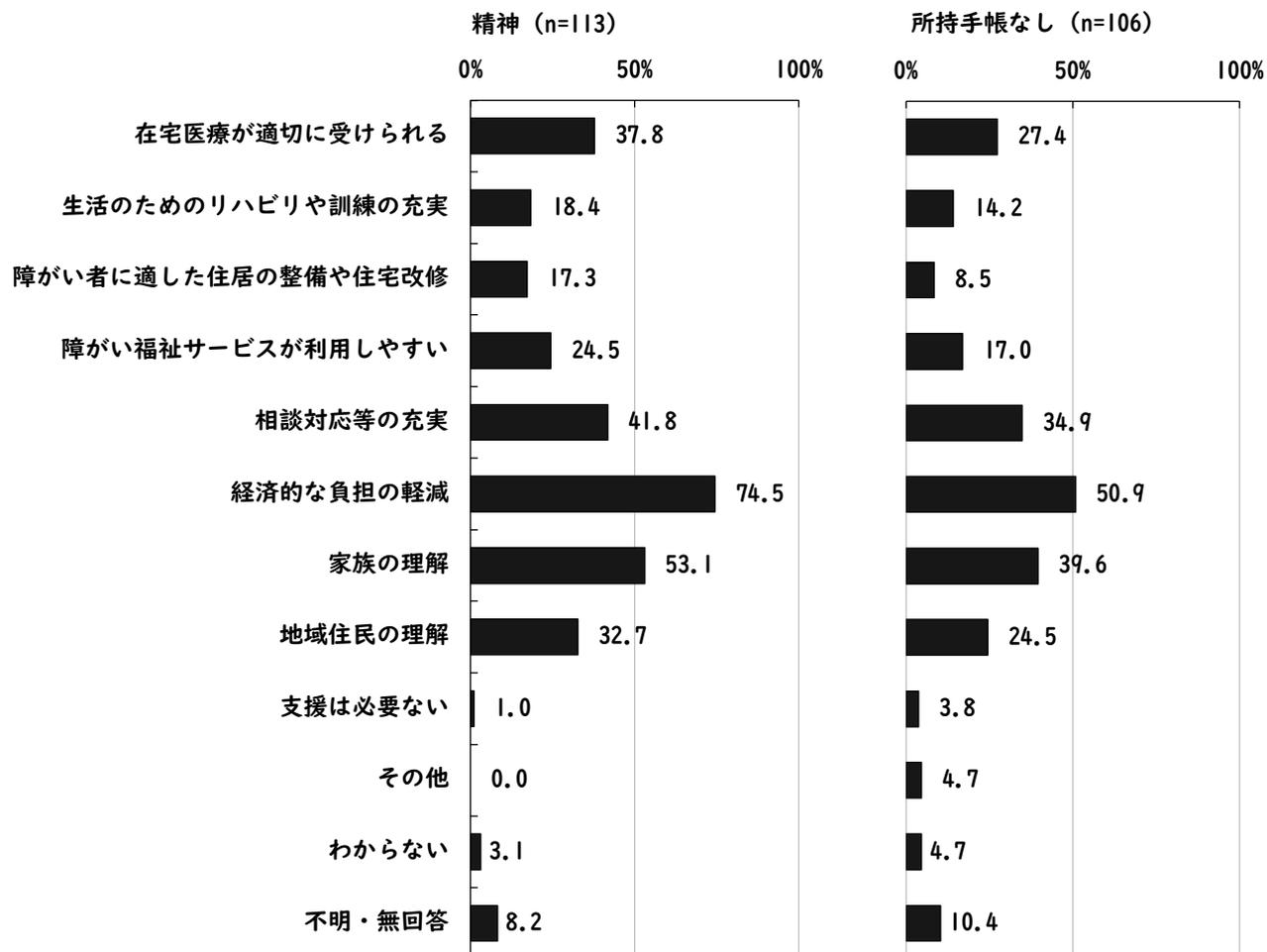
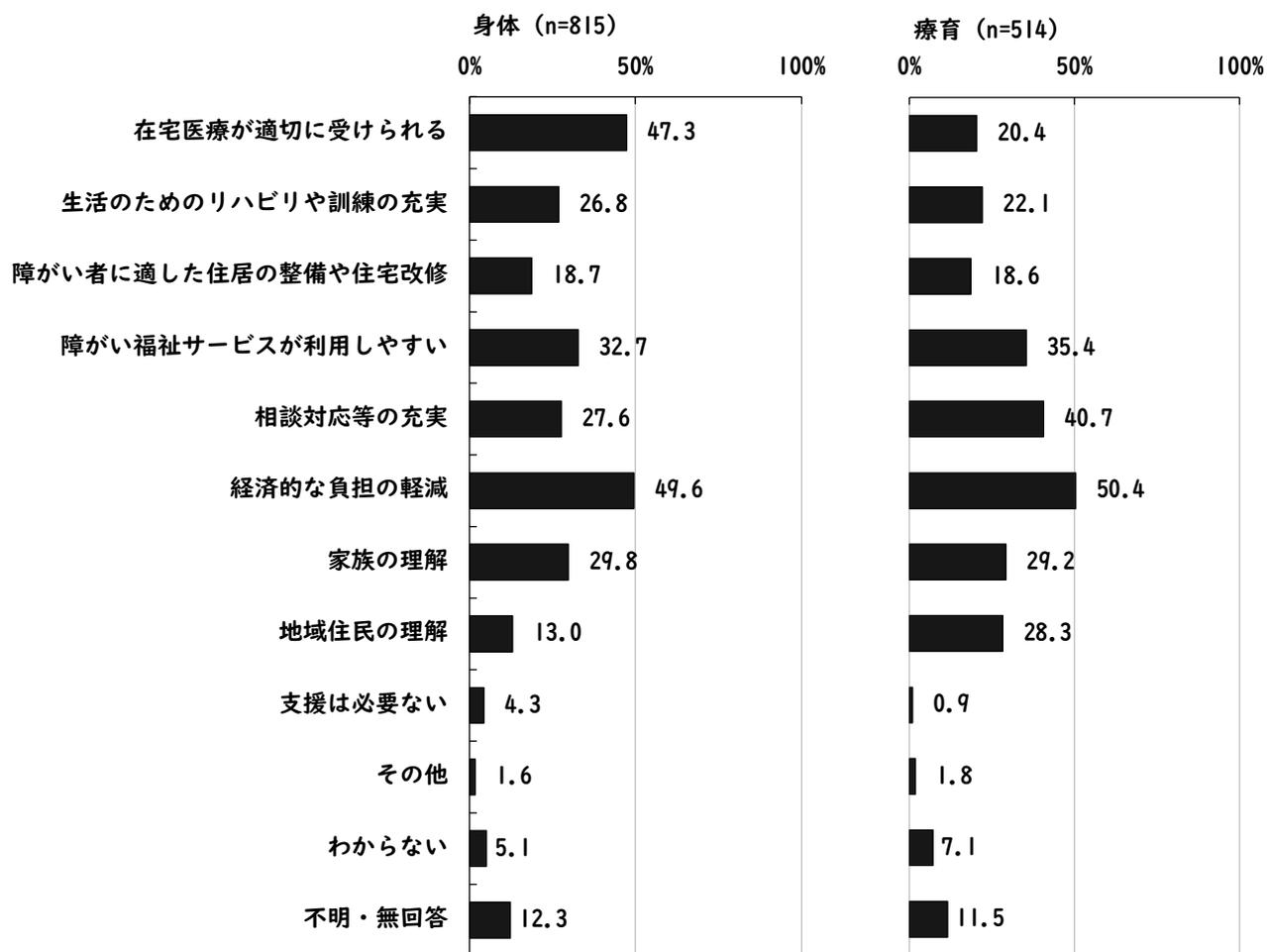
在宅で暮らすためには、どのような支援やサービスがあればよいと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

在宅で暮らすために必要な支援やサービスでは「経済的な負担の軽減」が52.3%と最も高く、次いで「在宅医療（往診や訪問看護等）が適切に受けられる」が40.1%、「家族の理解」が34.0%となっています。前回調査では「経済的な負担の軽減」が51.5%、次いで「在宅医療（往診や訪問看護等）が適切に受けられる」が39.4%、「家族の理解」が34.0%となっています。

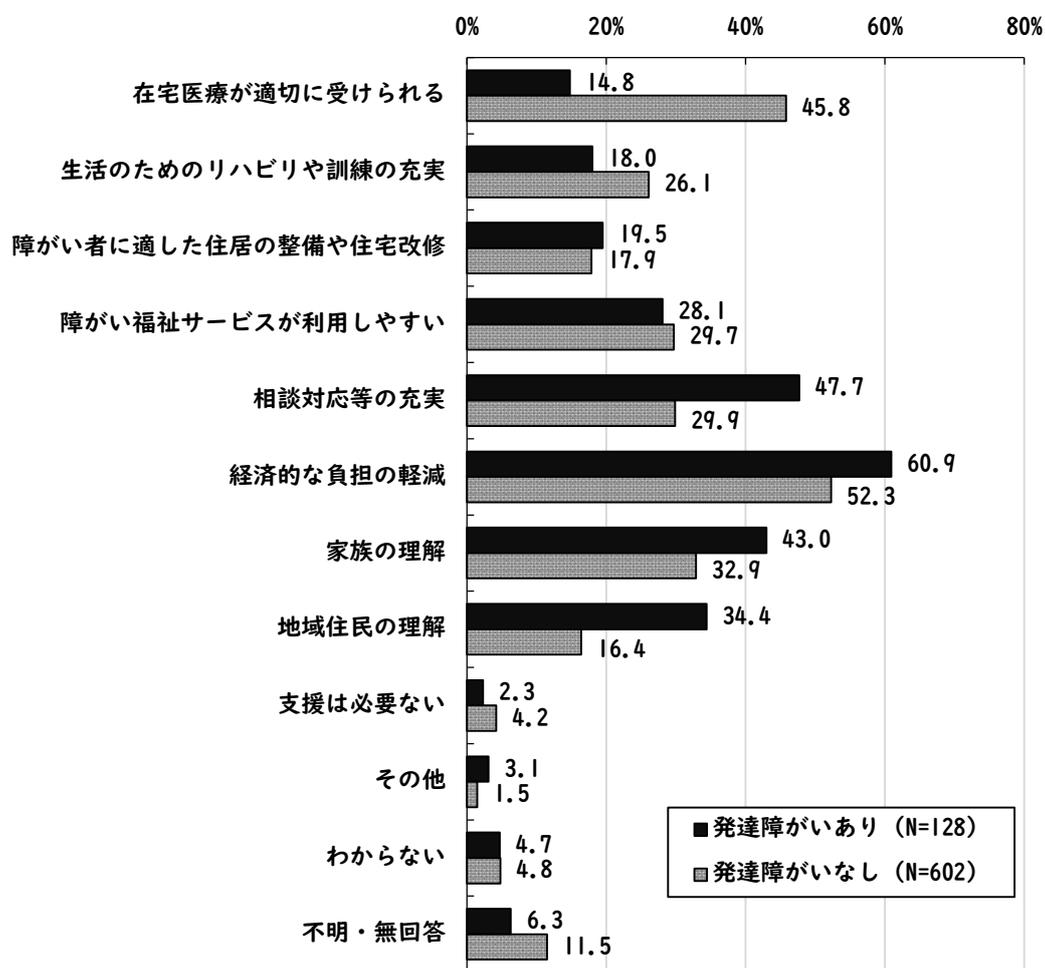
所持手帳別にみると、どの手帳でも「経済的な負担の軽減」の割合が最も高く、【身体】では49.6%、【療育】では50.4%、【精神】では74.5%、【所持手帳なし】では50.9%となっています。





■ クロス集計：発達障がいの有無

発達障がいの有無別でみると、【発達障がいあり】、【発達障がいなし】ともに「経済的な負担の軽減」の割合が最も高く、それぞれ60.9%、52.3%となっています。



■ クロス集計：所持手帳別年齢3区分

所持手帳別年齢3区分でみると、【身体】のうち、【18歳以下】では「経済的な負担の軽減」が75.0%、【19～64歳】では「経済的な負担の軽減」が58.7%、【65歳以上】では「在宅医療が適切に受けられる」が52.2%となっています。

【療育】のうち、【18歳以下】では「経済的な負担の軽減」が59.0%、【19～64歳】では「相談対応等の充実」が45.9%、【65歳以上】では「経済的な負担の軽減」が63.6%となっています。

【精神】のうち、【18歳以下】、【19～64歳】では「経済的な負担の軽減」がそれぞれ83.3%、79.5%、【65歳以上】では「在宅医療が適切に受けられる」が62.5%となっています。

【所持手帳なし】のうち、【18歳以下】では「家族の理解」が50.0%、【19～64歳】では「経済的な負担の軽減」が70.7%、【65歳以上】では「在宅医療が適切に受けられる」が48.4%となっています。

	在宅医療が適切に受けられる	生活のためのリハビリや訓練の充実	障がい者に適した住居の整備や住宅改修	障がい福祉サービスが利用しやすい	相談対応等の充実	経済的な負担の軽減	家族の理解	地域住民の理解	支援は必要ない	その他	わからない	不明・無回答	
身体	0～18歳 (n=12)	50.0	33.3	41.7	50.0	41.7	75.0	33.3	41.7	0.0	0.0	16.7	0.0
	19～64歳 (n=126)	34.9	21.4	27.8	23.8	33.3	58.7	27.0	13.5	6.3	0.8	5.6	11.9
	65歳以上 (n=368)	52.2	28.8	14.9	35.3	25.3	45.9	30.7	12.0	3.8	1.9	4.3	12.5
療育	0～18歳 (n=39)	0.0	23.1	10.3	33.3	33.3	59.0	35.9	35.9	2.6	0.0	5.1	5.1
	19～64歳 (n=61)	27.9	19.7	23.0	37.7	45.9	44.3	24.6	26.2	0.0	3.3	8.2	16.4
	65歳以上 (n=11)	45.5	36.4	27.3	27.3	45.5	63.6	27.3	18.2	0.0	0.0	0.0	9.1
精神	0～18歳 (n=6)	33.3	0.0	16.7	16.7	33.3	83.3	33.3	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=73)	32.9	16.4	17.8	21.9	42.5	79.5	54.8	34.2	0.0	0.0	2.7	6.8
	65歳以上 (n=16)	62.5	31.3	6.3	37.5	37.5	50.0	50.0	31.3	0.0	0.0	0.0	18.8
手帳なし	0～18歳 (n=34)	5.9	11.8	11.8	14.7	35.3	44.1	50.0	38.2	5.9	2.9	2.9	20.6
	19～64歳 (n=41)	29.3	7.3	2.4	9.8	43.9	70.7	34.1	17.1	0.0	7.3	9.8	2.4
	65歳以上 (n=31)	48.4	25.8	12.9	29.0	22.6	32.3	35.5	19.4	6.5	3.2	0.0	9.7

■ クロス集計：今後の生活の意向別

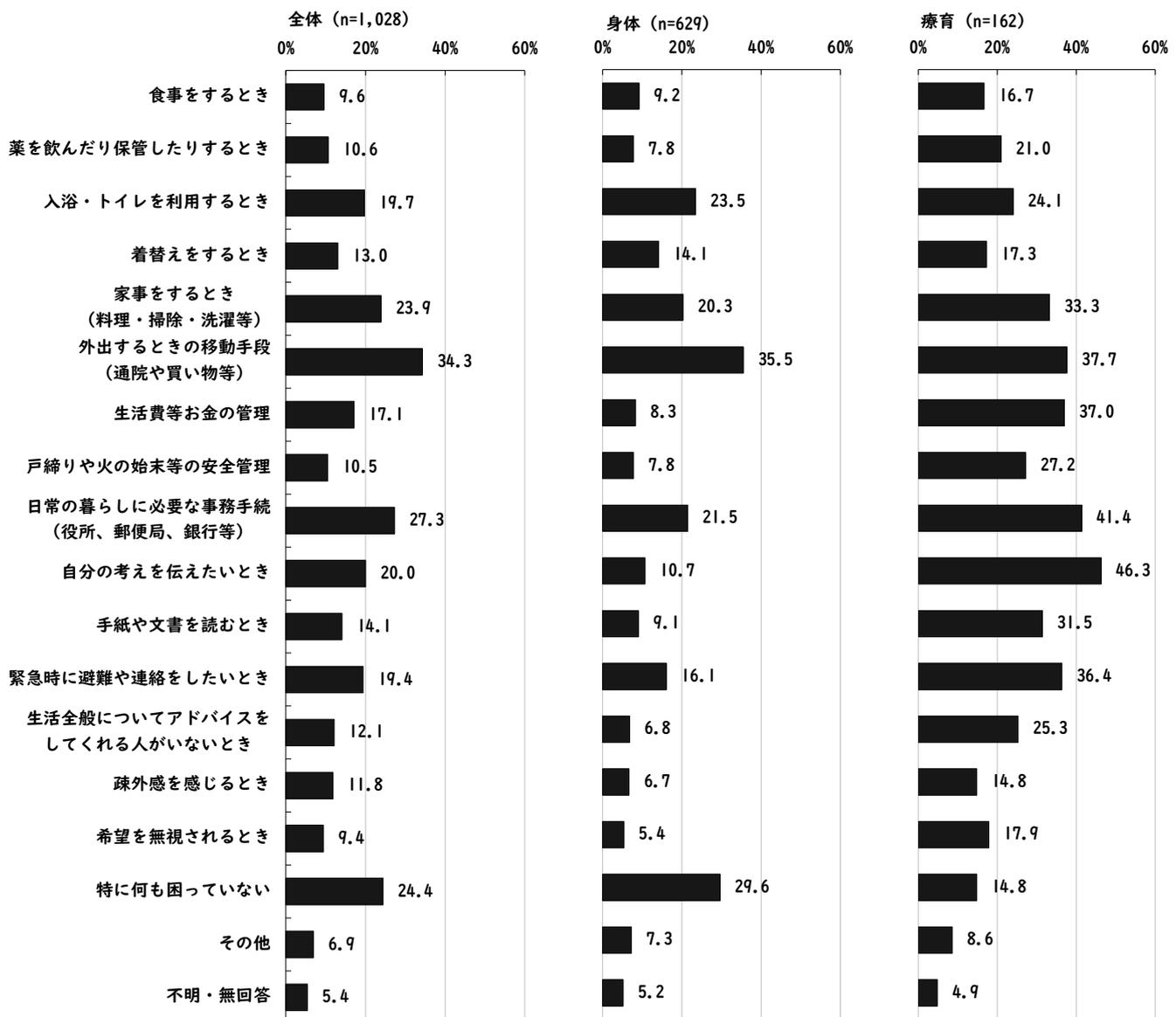
今後の生活の意向別でみると、【ひとりで暮らしたい】、【友人と暮らしたい】、【家族と一緒に暮らしたい】いずれも「経済的な負担の軽減」の割合が最も高く、それぞれ56.2%、71.4%、51.1%となっています。

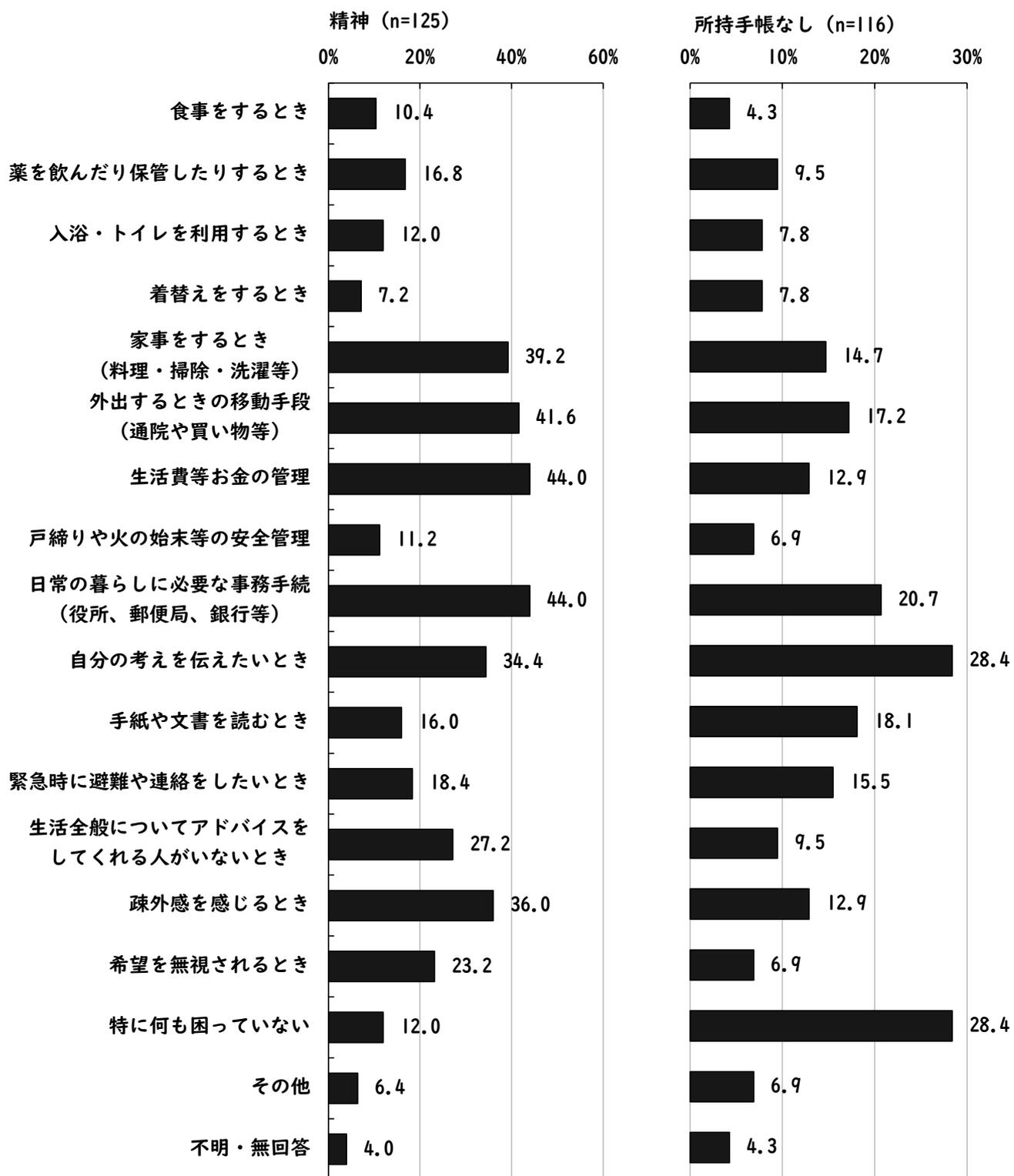
	在宅医療が適切に受けられる	生活のためのリハビリや訓練の充実	障がい者に適した住居の整備や住宅改修	障がい福祉サービスが利用しやすい	相談対応等の充実	経済的な負担の軽減	家族の理解	地域住民の理解	支援は必要ない	その他	わからない	不明・無回答
ひとりで暮らしたい (n=137)	50.4	24.1	24.1	32.1	38.0	56.2	25.5	16.8	2.9	2.9	5.1	5.8
友人と暮らしたい (n=14)	21.4	14.3	7.1	28.6	50.0	71.4	28.6	28.6	7.1	7.1	0.0	0.0
家族と一緒に暮らしたい (n=664)	38.4	23.3	15.7	28.9	29.8	51.1	35.8	18.5	3.9	1.5	4.7	12.7

問11 生活の中でどんなときに困っていますか。また、困っていることは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

生活の中での困りごとでは「外出するときの移動手段（通院や買い物等）」が34.3%と最も高く、次いで「日常の暮らしに必要な事務手続（役所、郵便局、銀行等）」が27.3%、「特に何も困っていない」が24.4%となっています。

所持手帳別にみると【身体】では「外出するときの移動手段（通院や買い物等）」が35.5%、【療育】では「自分の考えを伝えたいとき」が46.3%、【精神】では「生活費等お金の管理」「日常の暮らしに必要な事務手続（役所、郵便局、銀行等）」がともに44%、【所持手帳なし】では「自分の考えを伝えたいとき」「特に何も困っていない」がともに28.4%となっています。





■ クロス集計：所持手帳別年齢3区分

所持手帳別年齢3区分でみると、【身体】のうち、【18歳以下】では「入浴・トイレを利用するとき」「外出するときの移動手段（通院や買い物等）」がともに40.0%、【19～64歳】では「特に何も困っていない」が29.9%、【65歳以上】では「外出するときの移動手段（通院や買い物等）」が38.3%となっています。

【療育】のうち、【18歳以下】では「自分の考えを伝えたいとき」が59.2%、【19～64歳】では「日常の暮らしに必要な事務手続」が54.4%、【65歳以上】では「家事をするとき（料理・掃除・洗濯等）」が36.8%となっています。

【精神】のうち、【18歳以下】では「外出するときの移動手段（通院や買い物等）」が57.1%、【19～64歳】では「生活費等お金の管理」が51.7%、【65歳以上】では「外出するときの移動手段（通院や買い物等）」が37.5%となっています。

【所持手帳なし】のうち、【18歳以下】では「自分の考えを伝えたいとき」が69.2%、【19～64歳】、【65歳以上】では「特に何も困っていない」がそれぞれ33.3%、40.0%となっています。

		食事をするとき	薬を飲んだり保管したりするとき	入浴・トイレを利用するとき	着替えをするとき	家事をするとき(料理・掃除・洗濯等)	外出するときの移動手段(通院や買い物等)	生活費等お金の管理	戸締りや火の始末等の安全管理	日常の暮らしに必要な事務手続
身体	0～18歳(n=15)	6.7	13.3	40.0	20.0	26.7	40.0	13.3	6.7	20.0
	19～64歳(n=147)	9.5	6.1	18.4	12.2	20.4	27.9	12.9	6.8	19.0
	65歳以上(n=457)	9.4	7.9	24.7	14.2	20.4	38.3	6.8	8.1	22.3
療育	0～18歳(n=49)	20.4	18.4	26.5	20.4	24.5	34.7	28.6	22.4	26.5
	19～64歳(n=90)	16.7	23.3	23.3	15.6	38.9	42.2	47.8	34.4	54.4
	65歳以上(n=19)	10.5	15.8	21.1	15.8	36.8	26.3	10.5	10.5	21.1
精神	0～18歳(n=7)	0.0	14.3	14.3	0.0	42.9	57.1	42.9	0.0	42.9
	19～64歳(n=89)	10.1	18.0	11.2	6.7	39.3	40.4	51.7	10.1	48.3
	65歳以上(n=24)	12.5	8.3	12.5	12.5	29.2	37.5	16.7	12.5	25.0
手帳なし	0～18歳(n=39)	5.1	5.1	0.0	7.7	7.7	2.6	15.4	7.7	12.8
	19～64歳(n=42)	2.4	14.3	9.5	4.8	14.3	23.8	11.9	7.1	16.7
	65歳以上(n=35)	5.7	8.6	14.3	11.4	22.9	25.7	11.4	5.7	34.3

		自分の考えを伝えたいとき	手紙や文書を読むとき	緊急時に避難や連絡をしたとき	生活全般についてアドバイスをしてくれる人がいないとき	疎外感を感じる時	希望を無視される時	特に何も困っていない	その他	不明・無回答
身体	0～18歳(n=15)	13.3	6.7	13.3	0.0	13.3	13.3	20.0	6.7	6.7
	19～64歳(n=147)	17.0	10.2	15.0	9.5	8.8	8.8	29.9	9.5	4.8
	65歳以上(n=457)	8.8	8.5	16.2	5.9	5.7	3.9	29.8	6.6	5.3
療育	0～18歳(n=49)	59.2	34.7	30.6	24.5	14.3	12.2	12.2	10.2	4.1
	19～64歳(n=90)	47.8	34.4	45.6	28.9	16.7	22.2	14.4	10.0	1.1
	65歳以上(n=19)	15.8	10.5	15.8	10.5	10.5	15.8	21.1	0.0	26.3
精神	0～18歳(n=7)	42.9	28.6	28.6	28.6	28.6	14.3	14.3	0.0	14.3
	19～64歳(n=89)	38.2	15.7	14.6	30.3	42.7	24.7	10.1	7.9	3.4
	65歳以上(n=24)	16.7	8.3	29.2	16.7	16.7	20.8	16.7	4.2	4.2
手帳なし	0～18歳(n=39)	69.2	33.3	15.4	12.8	12.8	12.8	12.8	12.8	2.6
	19～64歳(n=42)	11.9	7.1	23.8	4.8	19.0	0.0	33.3	7.1	2.4
	65歳以上(n=35)	2.9	14.3	5.7	11.4	5.7	8.6	40.0	0.0	8.6

■ クロス集計：一緒に暮らす人別

一緒に暮らす人別でみると、【父母】、【祖父母】、【きょうだい】では「自分の考えを伝えたいとき」がそれぞれ42.2%、62.5%、46.9%、【子ども】、【ひとりで暮らしている】では「外出するときの移動手段（通院や買い物等）」がそれぞれ33.9%、37.7%、【配偶者】では「特に何も困っていない」が33.9%、【グループホーム・福祉施設で暮らしている】では「入浴・トイレを利用するとき」「外出するときの移動手段（通院や買い物等）」がともに41.3%となっています。

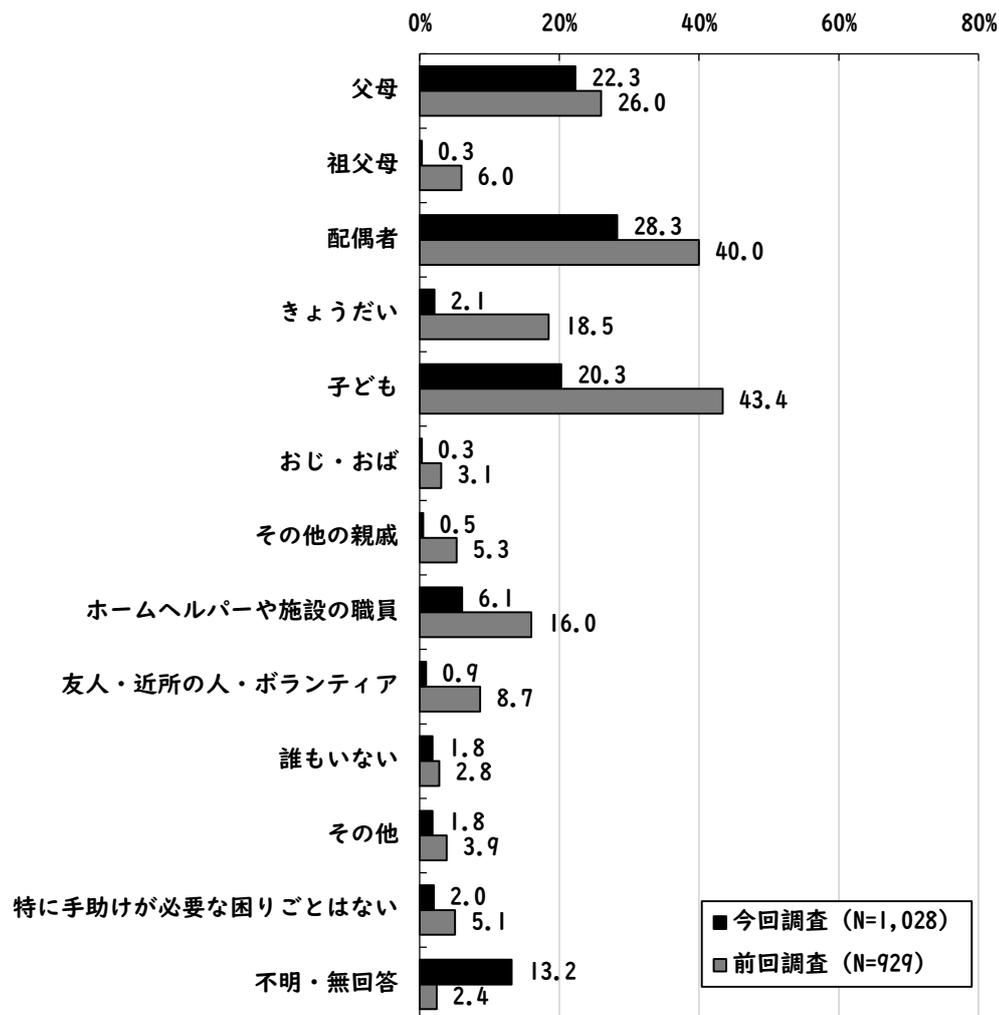
	食事をするとき	薬を飲んだり保管したりするとき	入浴・トイレを利用するとき	着替えをするとき	家事をするとき(料理・掃除・洗濯等)	外出するときの移動手段(通院や買い物等)	生活費等お金の管理	戸締りや火の始末等の安全管理	日常の暮らしに必要な事務手続
父母(n=268)	10.8	14.2	15.7	12.3	24.3	31.0	31.7	16.4	33.2
祖父母(n=32)	12.5	9.4	21.9	15.6	21.9	21.9	28.1	6.3	28.1
配偶者(n=413)	5.8	6.1	17.2	11.1	17.7	32.4	8.0	6.5	18.9
きょうだい(n=130)	10.0	14.6	16.9	13.8	24.6	29.2	33.8	16.9	36.2
子ども(n=280)	8.6	9.3	22.1	11.8	22.9	33.9	11.1	6.1	21.4
グループホーム・福祉施設で暮らしている(n=63)	22.2	28.6	41.3	27.0	31.7	41.3	23.8	23.8	31.7
ひとりで暮らしている(n=122)	10.7	4.1	13.1	8.2	32.8	37.7	13.1	7.4	31.1

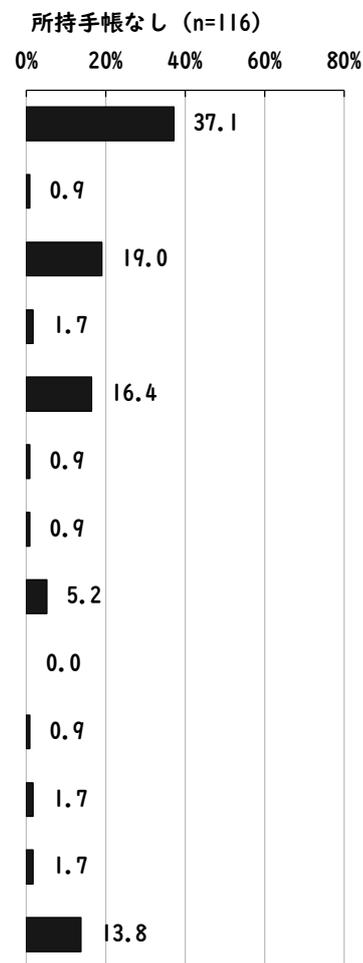
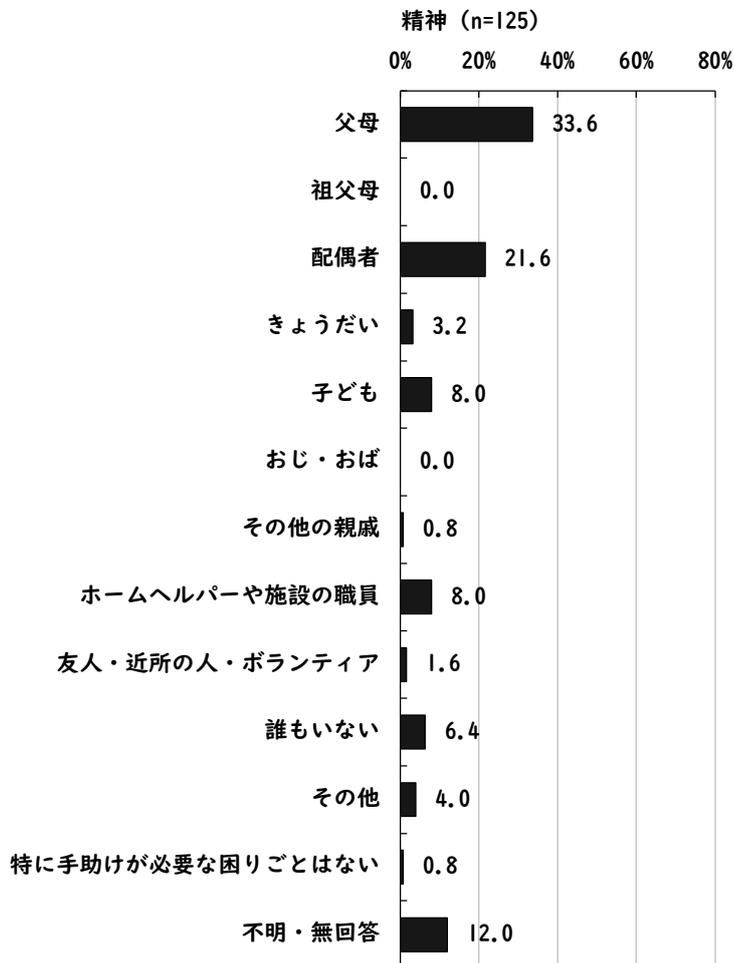
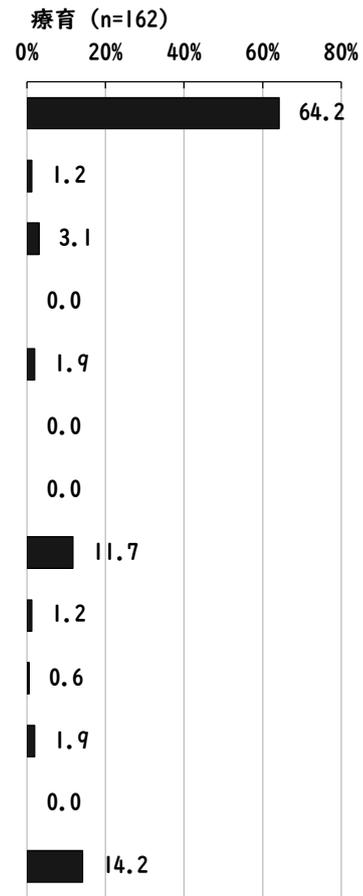
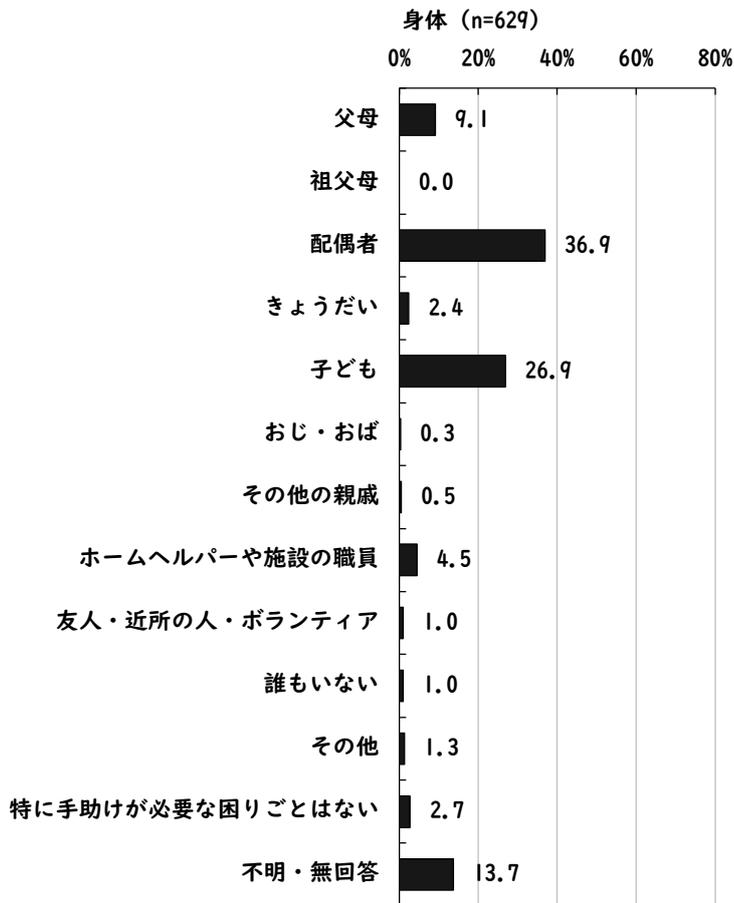
	自分の考えを伝えたいとき	手紙や文書を読むとき	緊急時に避難や連絡をしたとき	生活全般についてアドバイスをしてくれる人がほしいとき	疎外感を感じる時	希望を無視される時	特に何も困っていない	その他	不明・無回答
父母(n=268)	42.2	23.5	26.1	20.5	17.5	16.0	16.8	7.5	3.4
祖父母(n=32)	62.5	34.4	25.0	15.6	15.6	6.3	18.8	12.5	0.0
配偶者(n=413)	8.2	8.0	13.8	6.3	7.3	5.1	33.9	7.0	6.3
きょうだい(n=130)	46.9	30.8	29.2	20.8	20.8	16.9	18.5	3.8	5.4
子ども(n=280)	11.1	8.9	13.2	7.5	9.6	7.9	31.1	5.4	3.9
グループホーム・福祉施設で暮らしている(n=63)	19.0	19.0	25.4	17.5	14.3	9.5	23.8	12.7	4.8
ひとりで暮らしている(n=122)	13.1	13.9	18.0	10.7	11.5	9.0	19.7	7.4	5.7

問12 生活の中で困ったことがあったとき、特に中心となってあなたの手助けをしてくれる方は誰ですか。(○は1つだけ)

困ったことがあったときの介助者では「配偶者」が28.3%と最も高く、次いで「父母」が22.3%、「子ども」が20.3%となっています。前回調査では「子ども」が43.4%、次いで「配偶者」が40.0%、「父母」が26.0%となっています。

所持手帳別にみると【身体】では「配偶者」が36.9%、【療育】では「父母」が64.2%、【精神】では「父母」が33.6%、【所持手帳なし】では「父母」が37.1%となっています。





■ クロス集計：所持手帳別年齢3区分

所持手帳別年齢3区分でみると、【身体】のうち、【18歳以下】では「父母」が93.3%、【19～64歳】、【65歳以上】では「配偶者」がそれぞれ32.7%、39.4%となっています。

【療育】のうち、【18歳以下】、【19～64歳】では「父母」がそれぞれ81.6%、65.6%、【65歳以上】では「ホームヘルパーや施設の職員」が36.8%となっています。

【精神】のうち、【18歳以下】、【19～64歳】では「父母」がそれぞれ57.1%、40.4%、【65歳以上】では「配偶者」「ホームヘルパーや施設の職員」がともに25.0%となっています。

【所持手帳なし】のうち、【18歳以下】、【19～64歳】では「父母」がそれぞれ74.4%、33.3%、【65歳以上】では「子ども」が51.4%となっています。

		父母	祖父母	配偶者	きょうだい	子ども	おじ・おば	その他の親戚
身体	0～18歳(n=15)	93.3	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0
	19～64歳(n=147)	25.2	0.0	32.7	4.1	11.6	0.7	0.0
	65歳以上(n=457)	0.2	0.0	39.4	2.0	33.0	0.2	0.7
療育	0～18歳(n=49)	81.6	4.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳(n=90)	65.6	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0
	65歳以上(n=19)	10.5	0.0	26.3	0.0	10.5	0.0	0.0
精神	0～18歳(n=7)	57.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳(n=89)	40.4	0.0	22.5	1.1	6.7	0.0	1.1
	65歳以上(n=24)	0.0	0.0	25.0	12.5	16.7	0.0	0.0
手帳なし	0～18歳(n=39)	74.4	2.6	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳(n=42)	33.3	0.0	31.0	2.4	2.4	2.4	2.4
	65歳以上(n=35)	0.0	0.0	22.9	2.9	51.4	0.0	0.0

		ホームヘルパーや施設の職員	友人・近所の人・ボランティア	誰もいない	その他	特に手助けが必要な困りごとはない	不明・無回答
身体	0～18歳(n=15)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳(n=147)	5.4	1.4	0.7	1.4	4.1	12.9
	65歳以上(n=457)	4.4	0.9	1.1	1.1	2.4	14.7
療育	0～18歳(n=49)	2.0	0.0	2.0	0.0	0.0	10.2
	19～64歳(n=90)	12.2	2.2	0.0	3.3	0.0	15.6
	65歳以上(n=19)	36.8	0.0	0.0	0.0	0.0	15.8
精神	0～18歳(n=7)	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3
	19～64歳(n=89)	3.4	2.2	7.9	2.2	1.1	11.2
	65歳以上(n=24)	25.0	0.0	4.2	4.2	0.0	12.5
手帳なし	0～18歳(n=39)	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	17.9
	19～64歳(n=42)	2.4	0.0	2.4	4.8	4.8	11.9
	65歳以上(n=35)	11.4	0.0	0.0	0.0	0.0	11.4

■ クロス集計：一緒に暮らす人

一緒に暮らす人別で見ると、【父母】、【祖父母】、【きょうだい】では「父母」がそれぞれ75.4%、65.6%、73.8%、【子ども】、【ひとりで暮らしている】では「子ども」がそれぞれ42.1%、41.0%、【配偶者】では「配偶者」が66.3%、【グループホーム・福祉施設で暮らしている】では「ホームヘルパーや施設の職員」が61.9%となっています。

	父母	祖父母	配偶者	きょうだい	子ども	おじ・おば	その他の親戚
父母(n=268)	75.4	1.1	4.1	1.9	1.1	0.0	0.4
祖父母(n=32)	65.6	6.3	3.1	0.0	3.1	0.0	0.0
配偶者(n=413)	2.2	0.0	66.3	0.2	12.6	0.0	0.2
きょうだい(n=130)	73.8	0.8	0.8	5.4	0.0	0.0	0.0
子ども(n=280)	3.6	0.0	32.1	0.7	42.1	0.0	0.7
グループホーム・福祉施設で暮らしている(n=63)	4.8	0.0	1.6	1.6	6.3	0.0	1.6
ひとりで暮らしている(n=122)	6.6	0.0	0.8	7.4	41.0	2.5	0.8

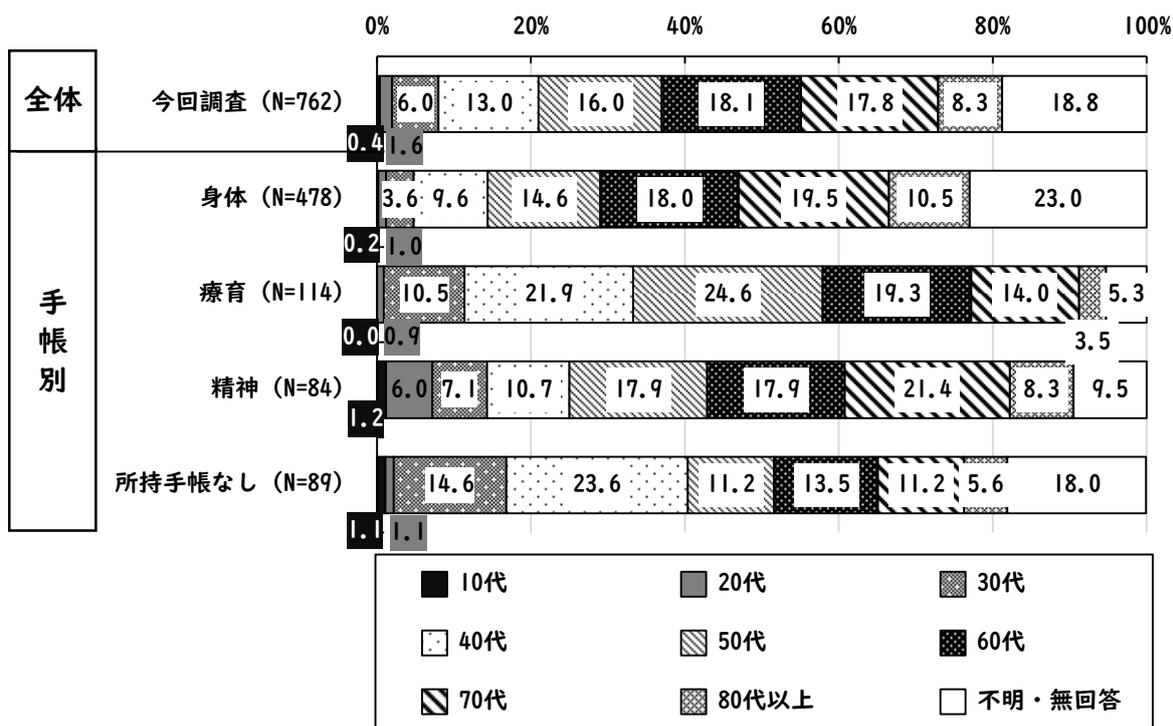
	ホームヘルパーや施設の職員	友人・近所の人・ボランティア	誰もいない	その他	特に手助けが必要な困りごとはない	不明・無回答
父母(n=268)	1.5	0.7	0.7	0.4	1.5	11.2
祖父母(n=32)	3.1	0.0	0.0	0.0	3.1	15.6
配偶者(n=413)	0.2	0.2	0.2	0.5	2.2	15.0
きょうだい(n=130)	3.1	0.0	0.8	0.0	0.8	14.6
子ども(n=280)	0.4	0.4	0.7	1.1	3.2	15.0
グループホーム・福祉施設で暮らしている(n=63)	61.9	1.6	0.0	1.6	0.0	19.0
ひとりで暮らしている(n=122)	9.8	3.3	9.8	4.1	0.8	13.1

問13 【問12で「1. 父母」から「7. その他の親戚」までのいずれかに○をつけた方にお聞きします。】

①年代 特に中心となって手助けをしてくれる方について、年代を、手助け（介助）してくれている方に尋ねた上でお答えください。

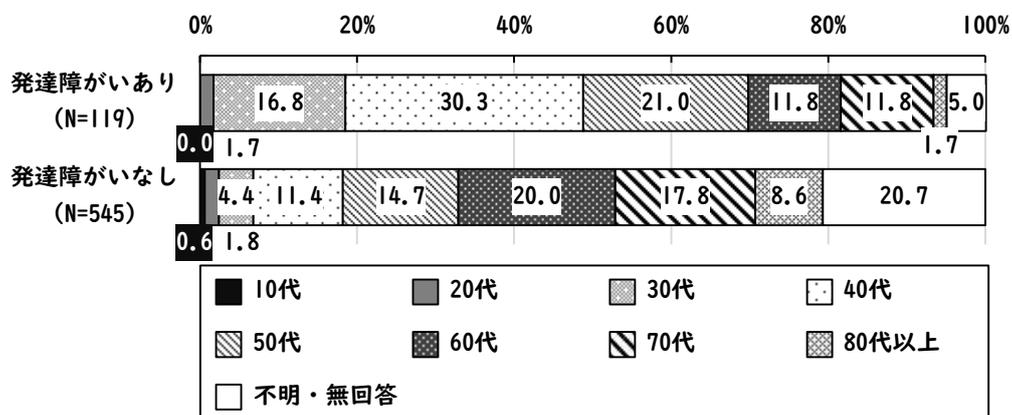
介助者の年代では「60代」が18.1%と最も高く、次いで「70代」が17.8%、「50代」が16.0%となっています。

所持手帳別にみると【身体】では「70代」が19.5%、【療育】では「50代」が24.6%、【精神】では「70代」が21.4%、【所持手帳なし】では「40代」が23.6%となっています。



■ クロス集計：発達障がいの有無

発達障がいの有無別でみると、【発達障がいあり】では「40代」が30.3%、【発達障がいなし】では「60代」が20.0%となっています。



■ クロス集計：所持手帳別年齢3区分

所持手帳別年齢3区分でみると、【身体】のうち、【18歳以下】では「40代」が46.7%、【19～64歳】では「60代」が18.3%、【65歳以上】では「70代」が22.3%となっています。

【療育】のうち、【18歳以下】では「40代」が50.0%、【19～64歳】では「50代」「60代」がともに30.0%、【65歳以上】では「60代」「70代」がともに33.3%となっています。

【精神】のうち、【18歳以下】では「40代」が50.0%、【19～64歳】では「70代」が23.4%、【65歳以上】では「60代」が30.8%となっています。

【所持手帳なし】のうち、【18歳以下】では「40代」が45.2%、【19～64歳】では「60代」「70代」がともに22.6%、【65歳以上】では「60代」が18.5%となっています。

		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	不明・無回答
身体	0～18歳 (n=15)	0.0	6.7	13.3	46.7	6.7	13.3	0.0	0.0	13.3
	19～64歳 (n=109)	0.9	2.8	11.0	11.0	16.5	18.3	12.8	8.3	18.3
	65歳以上 (n=345)	0.0	0.3	0.6	7.5	14.2	18.6	22.3	11.6	24.9
療育	0～18歳 (n=42)	0.0	0.0	26.2	50.0	19.0	0.0	0.0	0.0	4.8
	19～64歳 (n=60)	0.0	0.0	1.7	6.7	30.0	30.0	21.7	6.7	3.3
	65歳以上 (n=9)	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	33.3	33.3	0.0	22.2
精神	0～18歳 (n=4)	0.0	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=64)	1.6	7.8	7.8	9.4	18.8	17.2	23.4	7.8	6.3
	65歳以上 (n=13)	0.0	0.0	0.0	7.7	7.7	30.8	23.1	15.4	15.4
手帳なし	0～18歳 (n=31)	0.0	3.2	29.0	45.2	9.7	0.0	3.2	0.0	9.7
	19～64歳 (n=31)	3.2	0.0	6.5	9.7	12.9	22.6	22.6	6.5	16.1
	65歳以上 (n=27)	0.0	0.0	7.4	14.8	11.1	18.5	7.4	11.1	29.6

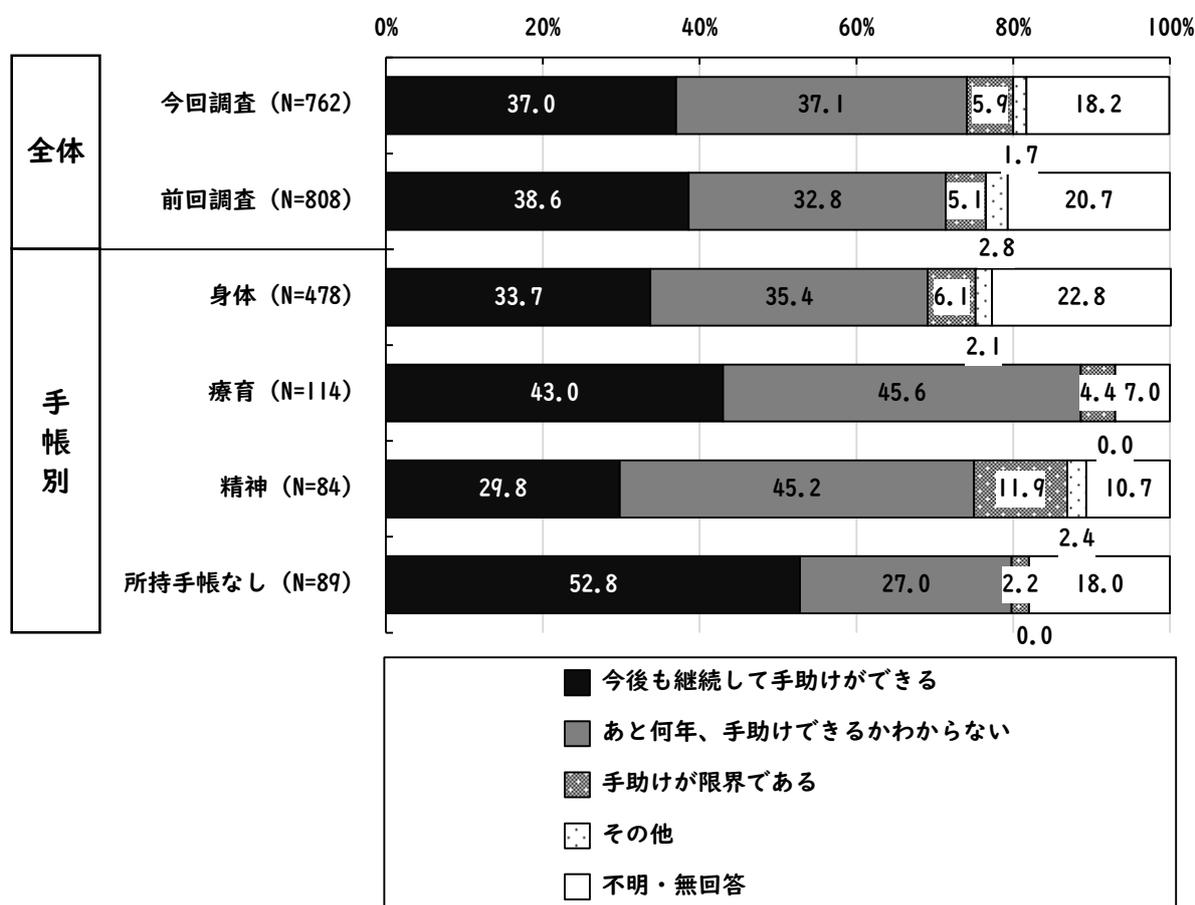
問13 【問12で「1. 父母」から「7. その他の親戚」までのいずれかに○をつけた方にお聞きします。】

②健康状態等も踏まえた、今後も手助け（介助）ができる可能性

特に中心となって手助けをしてくれる方について、健康状態等も踏まえた、今後も手助け（介助）ができる可能性を、手助け（介助）してくれている方に尋ねた上でお答えください。（○は1つだけ）

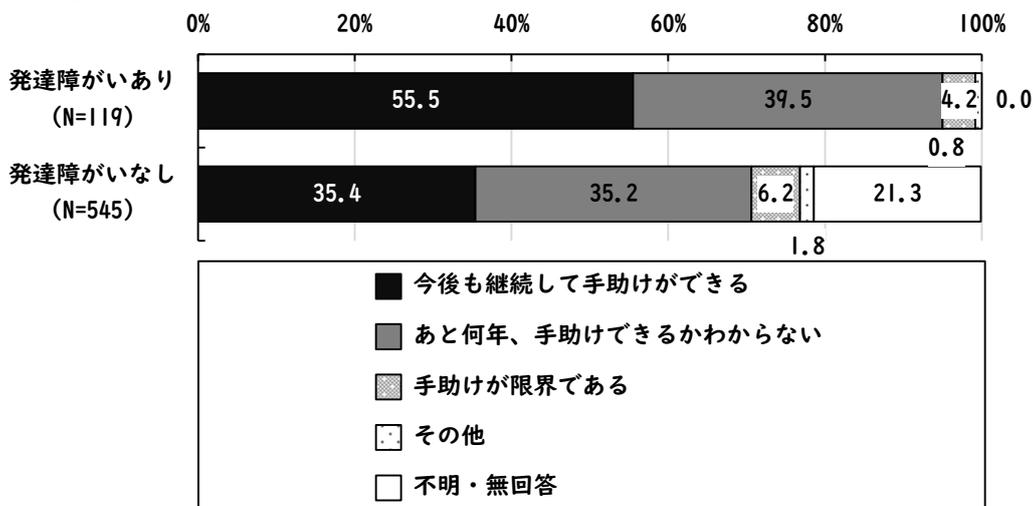
介助者が今後も手助けできる可能性では「あと何年、手助けできるかわからない」が37.1%と最も高く、次いで「今後も継続して手助けができる」が37.0%、「手助けが限界である」が5.9%となっています。前回調査では「今後も継続して手助けができる」が38.6%、次いで「あと何年、手助けできるかわからない」が32.8%、「手助けが限界である」が5.1%となっています。

所持手帳別にみると【身体】、【療育】、【精神】では「あと何年、手助けできるかわからない」の割合が最も高く、それぞれ35.4%、45.6%、45.2%、【所持手帳なし】では「今後も継続して手助けができる」が52.8%となっています。



■ クロス集計：発達障がいの有無

発達障がいの有無別で見ると、【発達障がいあり】、【発達障がいなし】ともに「今後も継続して手助けができる」の割合が最も高く、それぞれ55.5%、35.4%となっています。



■ クロス集計：所持手帳別年齢3区分

所持手帳別年齢3区分で見ると、【身体】のうち、【18歳以下】では「今後も継続して手助けができる」が86.7%、【19～64歳】、【65歳以上】では「あと何年、手助けできるかわからない」がそれぞれ39.4%、35.1%となっています。

【療育】のうち、【18歳以下】では「今後も継続して手助けができる」が83.3%、【19～64歳】、【65歳以上】では「あと何年、手助けできるかわからない」がそれぞれ65.0%、44.4%となっています。

【精神】のうち、【18歳以下】では「今後も継続して手助けができる」「あと何年、手助けできるかわからない」がともに50.0%、【19～64歳】、【65歳以上】では「あと何年、手助けできるかわからない」が45.3%、46.2%となっています。

【所持手帳なし】のうち、【18歳以下】では「今後も継続して手助けができる」が77.4%、【19～64歳】では「あと何年、手助けできるかわからない」が51.6%、【65歳以上】では「今後も継続して手助けができる」が51.9%となっています。

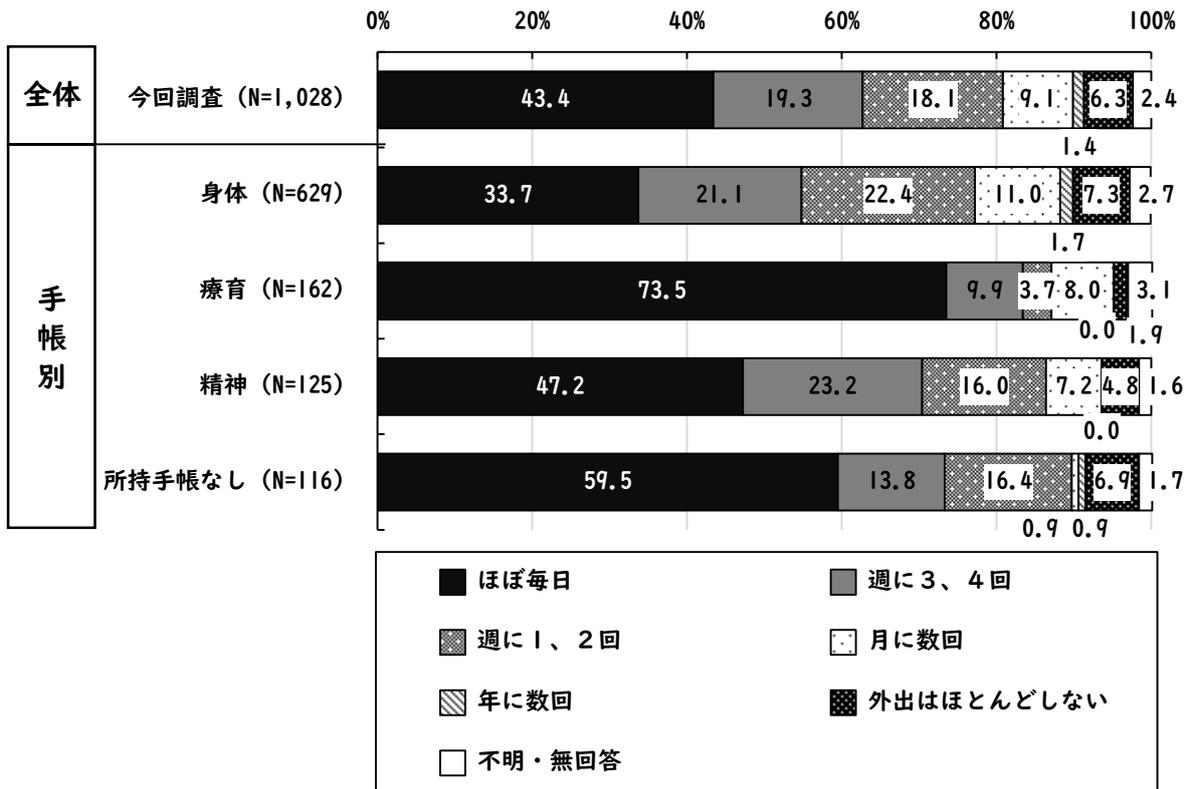
		今後も継続して手助けができる	あと何年、手助けできるかわからない	手助けが限界である	その他	不明・無回答
身体	0～18歳 (n=15)	86.7	6.7	0.0	6.7	0.0
	19～64歳 (n=109)	35.8	39.4	7.3	1.8	15.6
	65歳以上 (n=345)	30.7	35.1	6.1	2.0	26.1
療育	0～18歳 (n=42)	83.3	16.7	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=60)	21.7	65.0	8.3	0.0	5.0
	65歳以上 (n=9)	11.1	44.4	0.0	0.0	44.4
精神	0～18歳 (n=4)	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=64)	31.3	45.3	12.5	1.6	9.4
	65歳以上 (n=13)	23.1	46.2	15.4	0.0	15.4
手帳なし	0～18歳 (n=31)	77.4	12.9	3.2	0.0	6.5
	19～64歳 (n=31)	29.0	51.6	3.2	0.0	16.1
	65歳以上 (n=27)	51.9	14.8	0.0	0.0	33.3

3 外出について

問 14 日頃どのくらい外出をしますか。(通勤・通学も含む) (○は1つだけ)

日頃の外出の頻度では「ほぼ毎日」が43.4%と最も高く、次いで「週に3、4回」が19.3%、「週に1、2回」が18.1%となっています。

所持手帳別にみると、どの手帳でも「ほぼ毎日」の割合が最も高く、【身体】では33.7%、【療育】では73.5%、【精神】では47.2%、【所持手帳なし】では59.5%となっています。



■ クロス集計：所持手帳別年齢3区分

所持手帳別年齢3区分でみると、【身体】のうち、【18歳以下】、【19～64歳】では「ほぼ毎日」がそれぞれ73.3%、59.2%、【65歳以上】では「週に1、2回」が26.7%となっています。

【療育】のうち、【18歳以下】、【19～64歳】では「ほぼ毎日」がそれぞれ93.9%、73.3%、【65歳以上】では「ほぼ毎日」「月に数回」がともに26.3%となっています。

【精神】のうち、【18歳以下】、【19～64歳】では「ほぼ毎日」がそれぞれ100.0%、47.2%、【65歳以上】では「週に3、4回」が37.5%となっています。

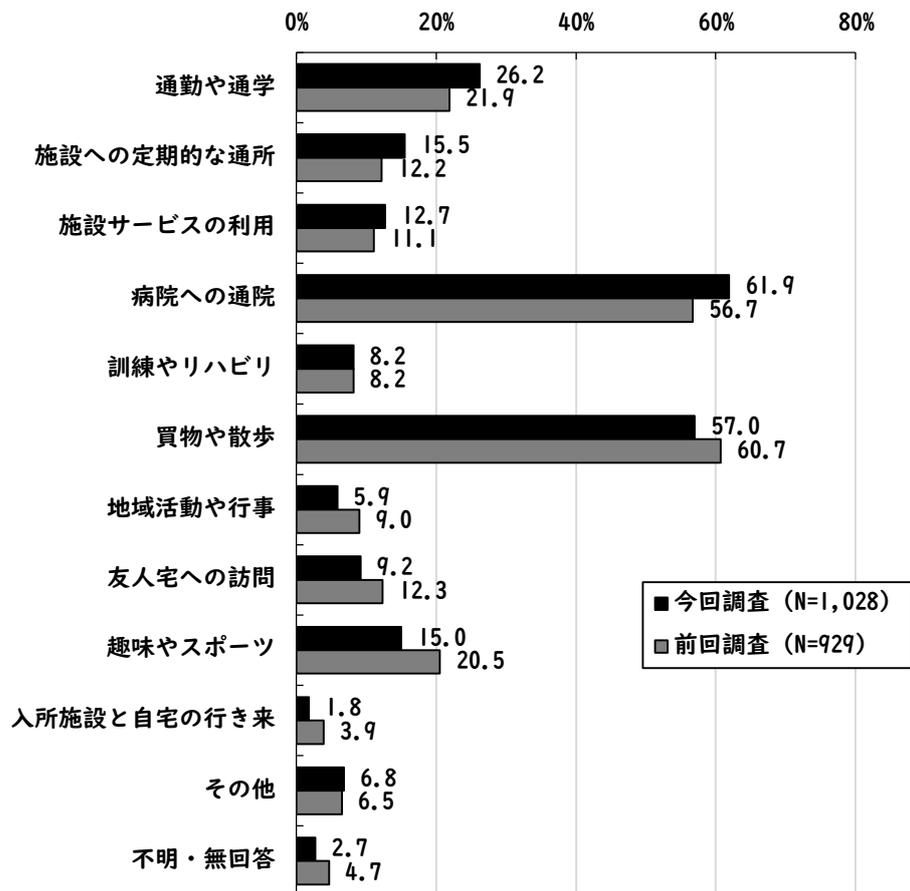
【所持手帳なし】のうち、【18歳以下】、【19～64歳】では「ほぼ毎日」がそれぞれ87.2%、59.5%、【65歳以上】では「ほぼ毎日」「週に1、2回」がともに28.6%となっています。

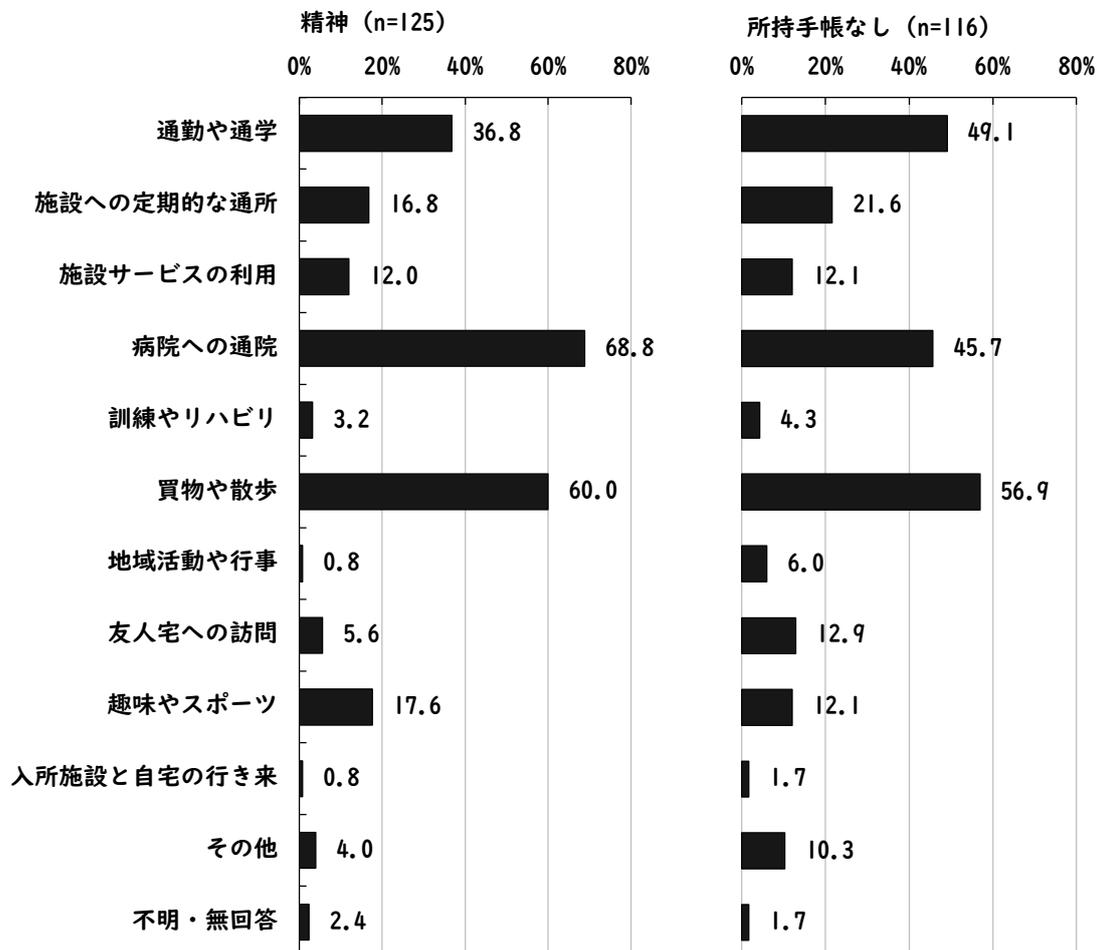
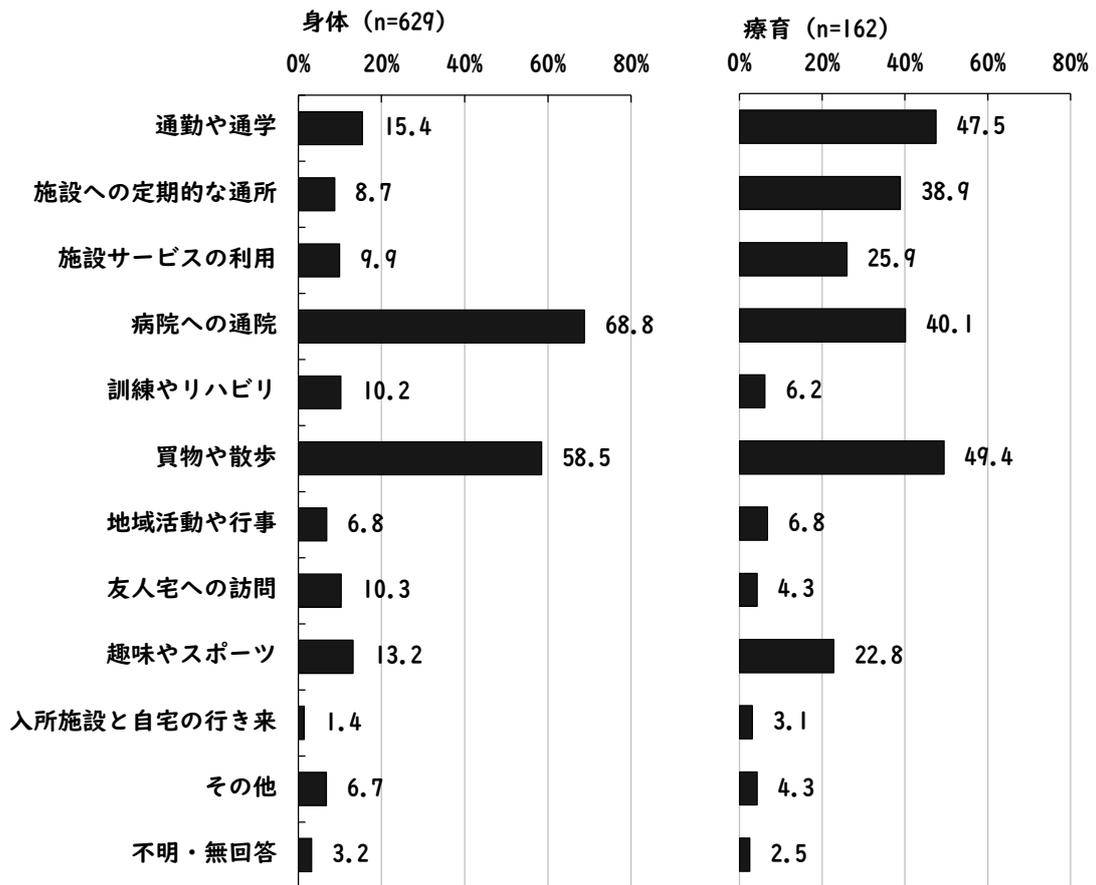
		ほぼ毎日	週に3、4回	週に1、2回	月に数回	年に数回	外出はほとんどしない	不明・無回答
身体	0～18歳(n=15)	73.3	0.0	20.0	0.0	0.0	6.7	0.0
	19～64歳(n=147)	59.2	15.6	10.2	4.1	1.4	6.1	3.4
	65歳以上(n=457)	23.2	24.1	26.7	13.6	2.0	7.9	2.6
療育	0～18歳(n=49)	93.9	4.1	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳(n=90)	73.3	11.1	2.2	8.9	0.0	1.1	3.3
	65歳以上(n=19)	26.3	15.8	15.8	26.3	0.0	10.5	5.3
精神	0～18歳(n=7)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳(n=89)	47.2	21.3	20.2	4.5	0.0	4.5	2.2
	65歳以上(n=24)	29.2	37.5	8.3	16.7	0.0	8.3	0.0
手帳なし	0～18歳(n=39)	87.2	2.6	7.7	0.0	0.0	0.0	2.6
	19～64歳(n=42)	59.5	21.4	14.3	0.0	0.0	4.8	0.0
	65歳以上(n=35)	28.6	17.1	28.6	2.9	2.9	17.1	2.9

問 15 外出するときの主な目的は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

外出するときの主な目的では「病院への通院」が61.9%と最も高く、次いで「買物や散歩」が57.0%、「通勤や通学」が26.2%となっています。前回調査では「買物や散歩」が60.7%、次いで「病院への通院」が56.7%、「通勤や通学」が21.9%となっています。

所持手帳別にみると【身体】では「病院への通院」が68.8%、【療育】では「買物や散歩」が49.4%、【精神】では「病院への通院」が68.8%、【所持手帳なし】では「買物や散歩」が56.9%となっています。





■ クロス集計：所持手帳別年齢3区分

所持手帳別年齢3区分でみると、【身体】のうち、【18歳以下】では「通勤や通学」が66.7%、【19～64歳】では「買物や散歩」が59.9%、【65歳以上】では「病院への通院」が73.7%となっています。

【療育】のうち、【18歳以下】では「通勤や通学」が95.9%、【19～64歳】では「買物や散歩」が47.8%、【65歳以上】では「病院への通院」が68.4%となっています。

【精神】のうち、【18歳以下】では「通勤や通学」が85.7%、【19～64歳】、【65歳以上】では「病院への通院」がともに70.8%となっています。

【所持手帳なし】のうち、【18歳以下】では「通勤や通学」が92.3%、【19～64歳】では「買物や散歩」が71.4%、【65歳以上】では「病院への通院」が62.9%となっています。

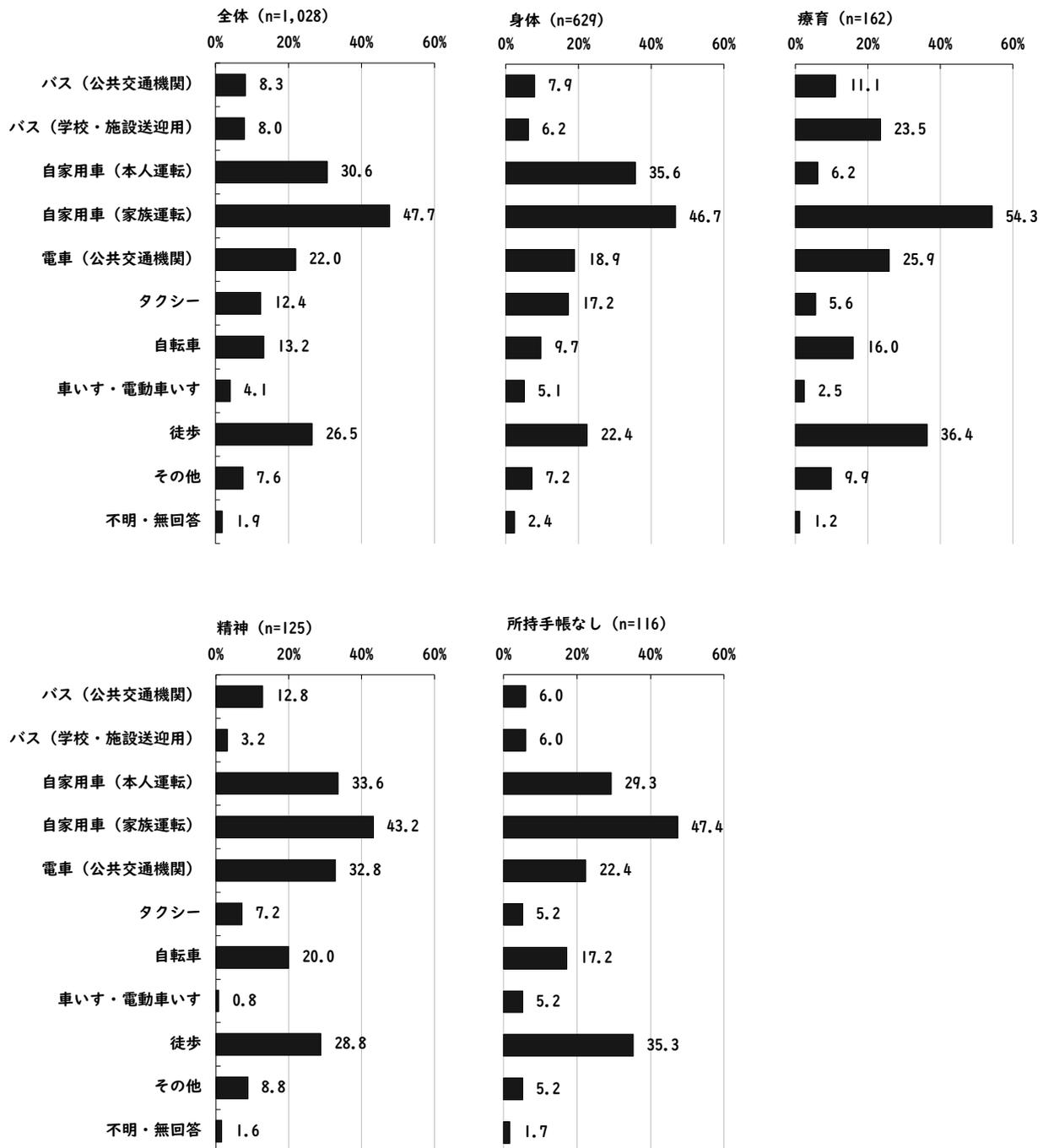
		通勤や通学	施設への定期的な通所	施設サービスの利用	病院への通院	訓練やリハビリ	買物や散歩
身体	0～18歳(n=15)	66.7	40.0	6.7	46.7	26.7	60.0
	19～64歳(n=147)	42.9	8.8	6.1	56.5	6.1	59.9
	65歳以上(n=457)	4.6	7.9	11.4	73.7	10.9	58.4
療育	0～18歳(n=49)	95.9	34.7	30.6	22.4	18.4	59.2
	19～64歳(n=90)	32.2	46.7	21.1	44.4	1.1	47.8
	65歳以上(n=19)	0.0	10.5	36.8	68.4	0.0	42.1
精神	0～18歳(n=7)	85.7	42.9	28.6	28.6	0.0	28.6
	19～64歳(n=89)	41.6	12.4	6.7	70.8	1.1	67.4
	65歳以上(n=24)	4.2	25.0	25.0	70.8	12.5	41.7
手帳なし	0～18歳(n=39)	92.3	35.9	23.1	23.1	5.1	46.2
	19～64歳(n=42)	47.6	7.1	0.0	52.4	2.4	71.4
	65歳以上(n=35)	2.9	22.9	14.3	62.9	5.7	51.4

		地域活動や行事	友人宅への訪問	趣味やスポーツ	入所施設と自宅の行き来	その他	不明・無回答
身体	0～18歳(n=15)	0.0	13.3	26.7	6.7	0.0	6.7
	19～64歳(n=147)	6.1	11.6	17.0	0.0	4.8	4.1
	65歳以上(n=457)	7.2	10.1	11.8	1.8	7.4	2.8
療育	0～18歳(n=49)	4.1	6.1	26.5	0.0	2.0	0.0
	19～64歳(n=90)	8.9	4.4	22.2	5.6	6.7	2.2
	65歳以上(n=19)	5.3	0.0	21.1	0.0	0.0	5.3
精神	0～18歳(n=7)	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0
	19～64歳(n=89)	0.0	5.6	20.2	0.0	5.6	1.1
	65歳以上(n=24)	4.2	4.2	12.5	4.2	0.0	8.3
手帳なし	0～18歳(n=39)	10.3	25.6	15.4	0.0	10.3	0.0
	19～64歳(n=42)	0.0	4.8	11.9	0.0	11.9	0.0
	65歳以上(n=35)	8.6	8.6	8.6	5.7	8.6	5.7

問 16 外出するときの交通手段は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

外出する時の交通手段では「自家用車（家族運転）」が47.7%と最も高く、次いで「自家用車（本人運転）」が30.6%、「徒歩」が26.5%となっています。

所持手帳別にみると、どの手帳でも「自家用車（家族運転）」の割合が最も高く、【身体】では46.7%、【療育】では54.3%、【精神】では43.2%、【所持手帳なし】では47.4%となっています。



■ クロス集計：所持手帳別年齢3区分

所持手帳別年齢3区分でみると、【身体】のうち、【18歳以下】では「自家用車（家族運転）」が86.7%、【19～64歳】では「自家用車（本人運転）」が50.3%、【65歳以上】では「自家用車（家族運転）」が49.0%となっています。

【療育】のうち、【18歳以下】、【19～64歳】では「自家用車（家族運転）」がそれぞれ83.7%、45.6%、【65歳以上】では「バス（学校・施設送迎用）」「自家用車（家族運転）」がともに26.3%となっています。

【精神】のいずれの年代でも「自家用車（家族運転）」の割合が最も高く、【18歳以下】では71.4%、【19～64歳】では42.7%、【65歳以上】では41.7%となっています。

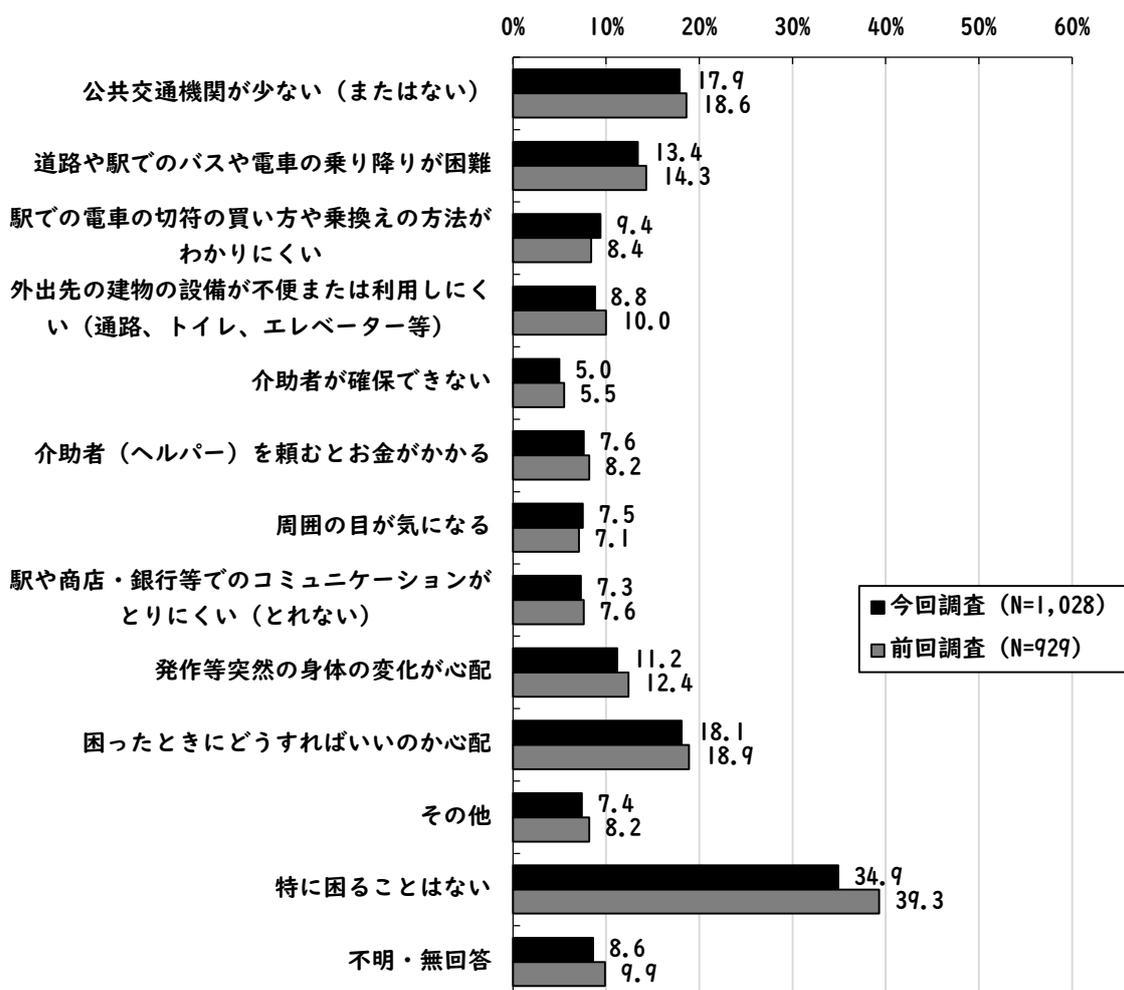
【所持手帳なし】のうち、【18歳以下】では「自家用車（家族運転）」が87.2%、【19～64歳】、【65歳以上】では「自家用車（本人運転）」がそれぞれ52.4%、34.3%となっています。

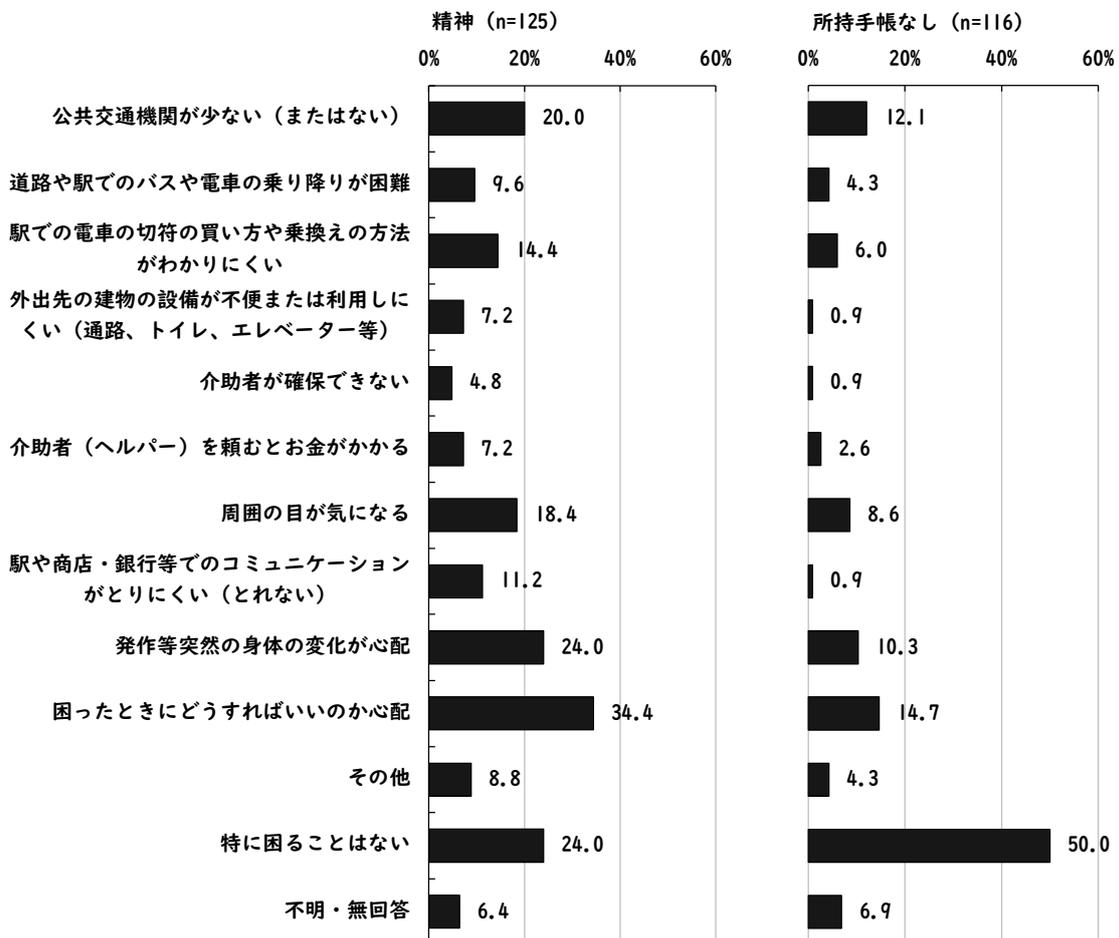
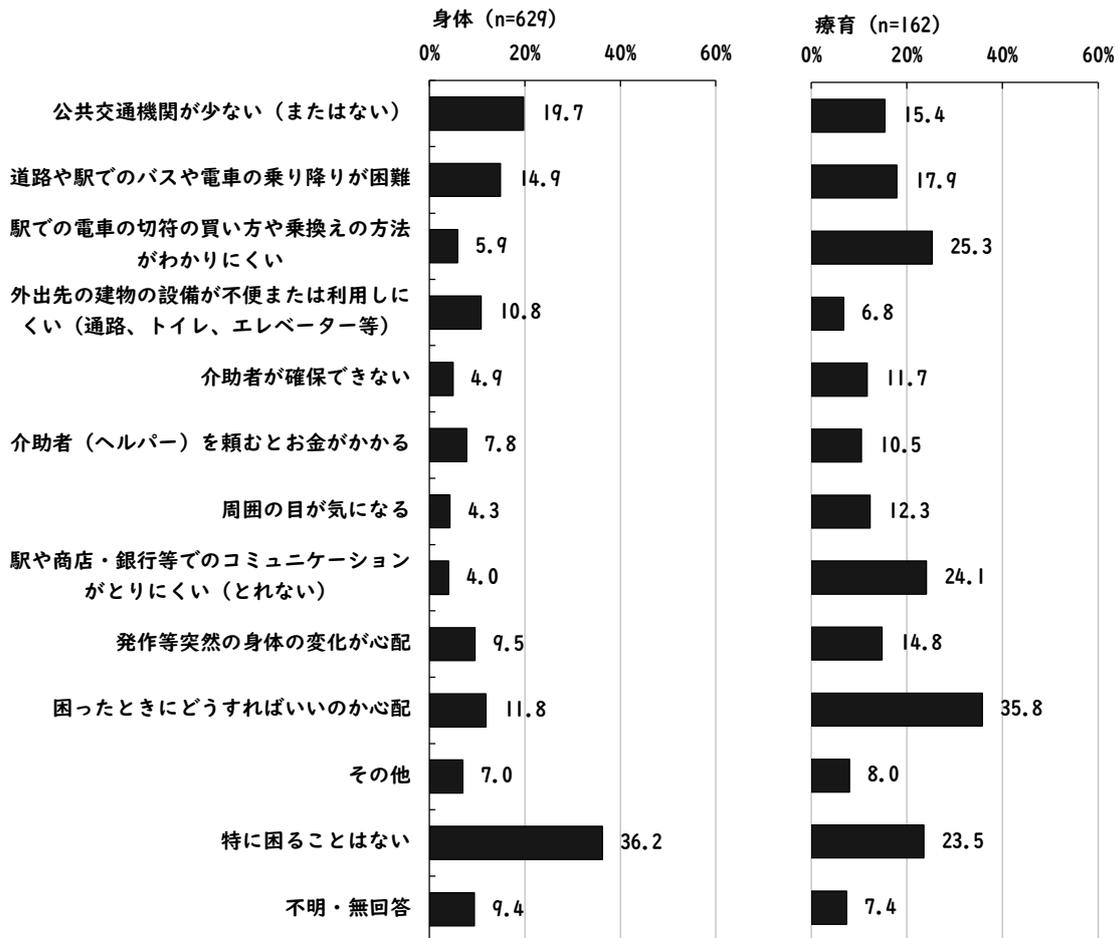
		バス(公共交通機関)	バス(学校・施設送迎用)	自家用車(本人運転)	自家用車(家族運転)	電車(公共交通機関)	タクシー
身体	0～18歳(n=15)	6.7	6.7	0.0	86.7	13.3	6.7
	19～64歳(n=147)	10.2	8.8	50.3	36.7	32.7	10.9
	65歳以上(n=457)	7.0	5.3	32.2	49.0	14.4	19.9
療育	0～18歳(n=49)	6.1	22.4	4.1	83.7	16.3	0.0
	19～64歳(n=90)	15.6	23.3	5.6	45.6	34.4	5.6
	65歳以上(n=19)	5.3	26.3	15.8	26.3	15.8	21.1
精神	0～18歳(n=7)	0.0	0.0	0.0	71.4	14.3	0.0
	19～64歳(n=89)	12.4	3.4	41.6	42.7	41.6	2.2
	65歳以上(n=24)	16.7	4.2	16.7	41.7	8.3	25.0
手帳なし	0～18歳(n=39)	5.1	2.6	0.0	87.2	12.8	0.0
	19～64歳(n=42)	4.8	2.4	52.4	26.2	38.1	2.4
	65歳以上(n=35)	8.6	14.3	34.3	28.6	14.3	14.3
		自転車	車いす・電動車いす	徒歩	その他	不明・無回答	
身体	0～18歳(n=15)	13.3	13.3	33.3	13.3	6.7	
	19～64歳(n=147)	12.2	3.4	27.9	6.1	2.7	
	65歳以上(n=457)	8.5	5.5	20.1	7.2	2.2	
療育	0～18歳(n=49)	18.4	0.0	46.9	4.1	0.0	
	19～64歳(n=90)	16.7	2.2	35.6	13.3	1.1	
	65歳以上(n=19)	5.3	10.5	15.8	10.5	5.3	
精神	0～18歳(n=7)	42.9	0.0	57.1	28.6	0.0	
	19～64歳(n=89)	20.2	0.0	27.0	6.7	1.1	
	65歳以上(n=24)	4.2	4.2	20.8	12.5	4.2	
手帳なし	0～18歳(n=39)	28.2	2.6	61.5	10.3	0.0	
	19～64歳(n=42)	21.4	0.0	23.8	2.4	0.0	
	65歳以上(n=35)	0.0	14.3	20.0	2.9	5.7	

問 17 外出（通院等も含む）するとき困ることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

外出するときの困りごとでは「特に困ることはない」が34.9%と最も高く、次いで「困ったときにどうすればいいのか心配」が18.1%、「公共交通機関が少ない（またはない）」が17.9%となっています。前回調査では「特に困ることはない」が39.3%、次いで「困ったときにどうすればいいのか心配」が18.9%、「公共交通機関が少ない（またはない）」が18.6%となっています。

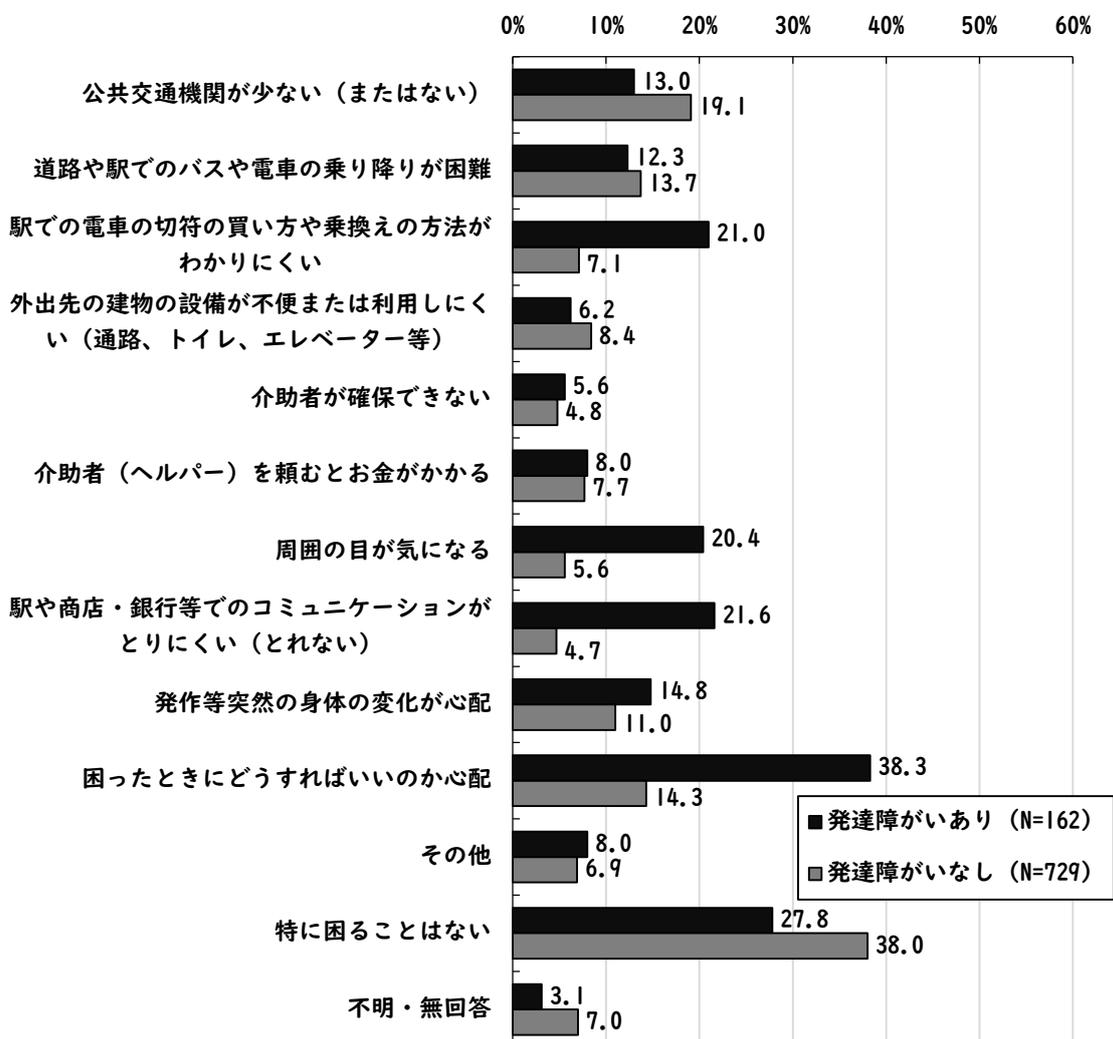
所持手帳別にみると【身体】では「特に困ることはない」が36.2%、【療育】では「困ったときにどうすればいいのか心配」が35.8%、【精神】では「困ったときにどうすればいいのか心配」が34.4%、【所持手帳なし】では「特に困ることはない」が50.0%となっています。





■ クロス集計：発達障がいの有無

発達障がいの有無別でみると、【発達障がいあり】では「困ったときにどうすればいいのか心配」が38.3%、【発達障がいなし】では「特に困ることはない」が38.0%となっています。



■ クロス集計：所持手帳別年齢3区分

所持手帳別年齢3区分でみると、【身体】のうち、【18歳以下】では「道路や駅でのバスや電車の乗り降りが困難」「特に困ることはない」がともに26.7%、【19～64歳】、【65歳以上】では「特に困ることはない」がそれぞれ36.1%、36.8%となっています。

【療育】のうち、【18歳以下】、【19～64歳】では「困ったときにどうすればいいのか心配」がそれぞれ34.7%、43.3%、【65歳以上】では「特に困ることはない」が26.3%となっています。

【精神】のうち、【18歳以下】では「駅での電車の切符の買い方や乗換えの方法がわかりにくい」「困ったときにどうすればいいのか心配」がともに42.9%、【19～64歳】、【65歳以上】では「困ったときにどうすればいいのか心配」がそれぞれ36.0%、29.2%となっています。

【所持手帳なし】のいずれの年代でも「特に困ることはない」の割合が最も高く、【18歳以下】では51.3%、【19～64歳】では45.2%、【65歳以上】では54.3%となっています。

		公共交通機関が少ない(またはない)	道路や駅でのバスや電車の乗り降りが困難	駅での電車の切符の買い方や乗換えの方法がわかりにくい	外出先の建物の設備が不便または利用しにくい	介助者が確保できない	介助者(ヘルパー)を頼むとお金がかかる	周囲の目が気になる
身体	0～18歳(n=15)	13.3	26.7	0.0	13.3	6.7	20.0	13.3
	19～64歳(n=147)	19.0	14.3	6.1	12.2	5.4	6.8	8.8
	65歳以上(n=457)	20.1	14.7	6.1	10.3	4.8	7.7	2.4
療育	0～18歳(n=49)	8.2	18.4	28.6	10.2	6.1	6.1	18.4
	19～64歳(n=90)	17.8	18.9	25.6	6.7	16.7	15.6	12.2
	65歳以上(n=19)	21.1	15.8	21.1	0.0	5.3	0.0	0.0
精神	0～18歳(n=7)	28.6	0.0	42.9	14.3	14.3	0.0	0.0
	19～64歳(n=89)	22.5	6.7	11.2	2.2	3.4	5.6	24.7
	65歳以上(n=24)	8.3	16.7	12.5	20.8	4.2	16.7	0.0
手帳なし	0～18歳(n=39)	2.6	2.6	12.8	0.0	0.0	0.0	10.3
	19～64歳(n=42)	19.0	0.0	2.4	0.0	2.4	0.0	14.3
	65歳以上(n=35)	14.3	11.4	2.9	2.9	0.0	8.6	0.0

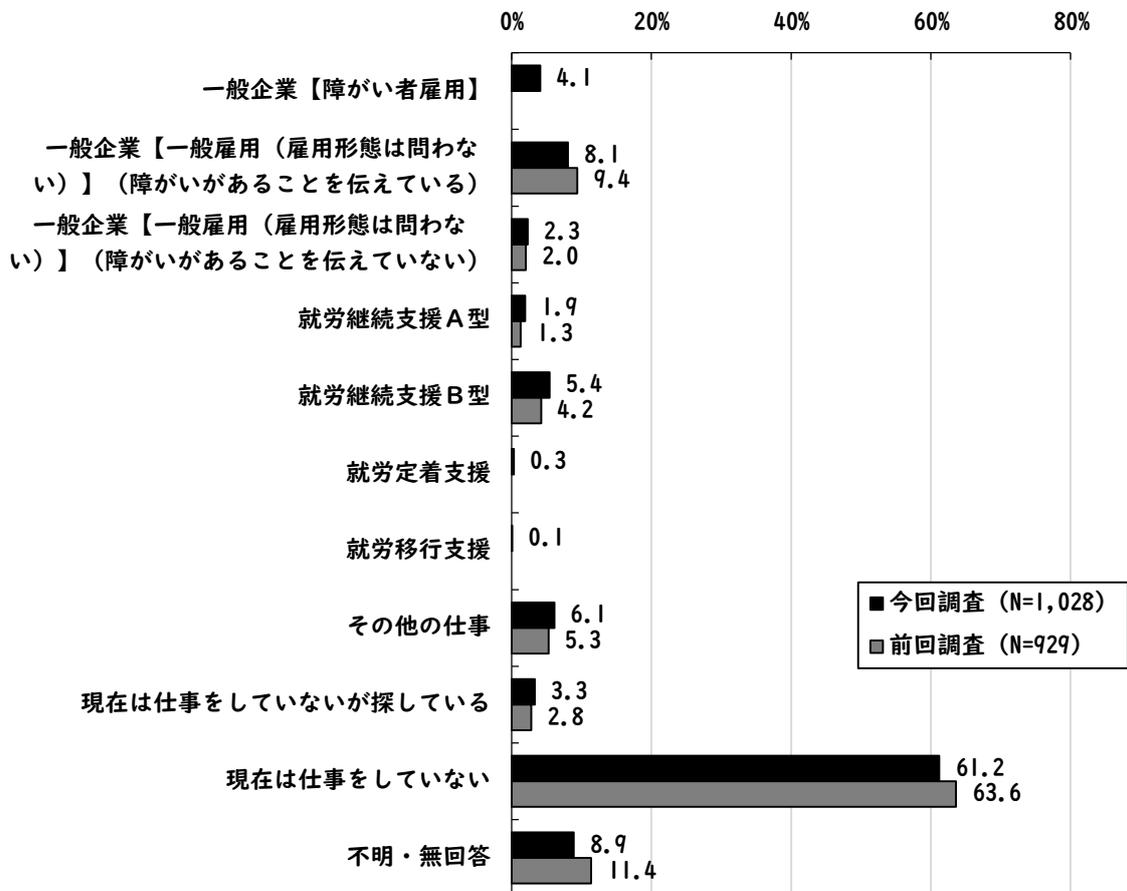
		駅や商店・銀行等でのコミュニケーションがとりにくい(とれない)	発作等突然の身体の変化が心配	困ったときにどうすればいいのか心配	その他	特に困ることはない	不明・無回答
身体	0～18歳(n=15)	0.0	0.0	0.0	6.7	26.7	20.0
	19～64歳(n=147)	8.2	14.3	15.0	7.5	36.1	6.8
	65歳以上(n=457)	2.8	8.5	10.9	6.6	36.8	9.6
療育	0～18歳(n=49)	18.4	4.1	34.7	6.1	32.7	2.0
	19～64歳(n=90)	32.2	20.0	43.3	11.1	16.7	4.4
	65歳以上(n=19)	5.3	21.1	10.5	0.0	26.3	31.6
精神	0～18歳(n=7)	14.3	28.6	42.9	0.0	28.6	14.3
	19～64歳(n=89)	12.4	28.1	36.0	10.1	24.7	2.2
	65歳以上(n=24)	4.2	8.3	29.2	8.3	20.8	16.7
手帳なし	0～18歳(n=39)	2.6	0.0	25.6	10.3	51.3	5.1
	19～64歳(n=42)	0.0	23.8	9.5	2.4	45.2	4.8
	65歳以上(n=35)	0.0	5.7	8.6	0.0	54.3	11.4

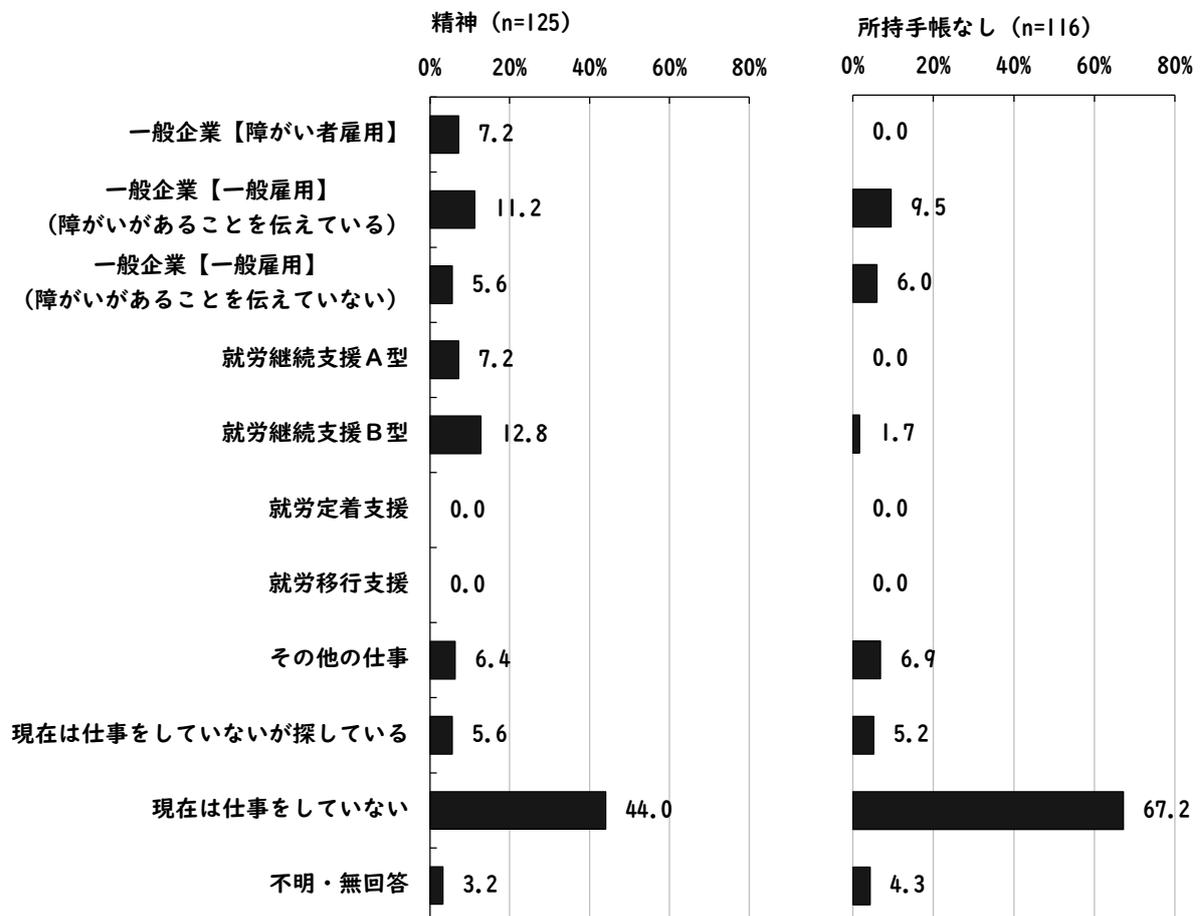
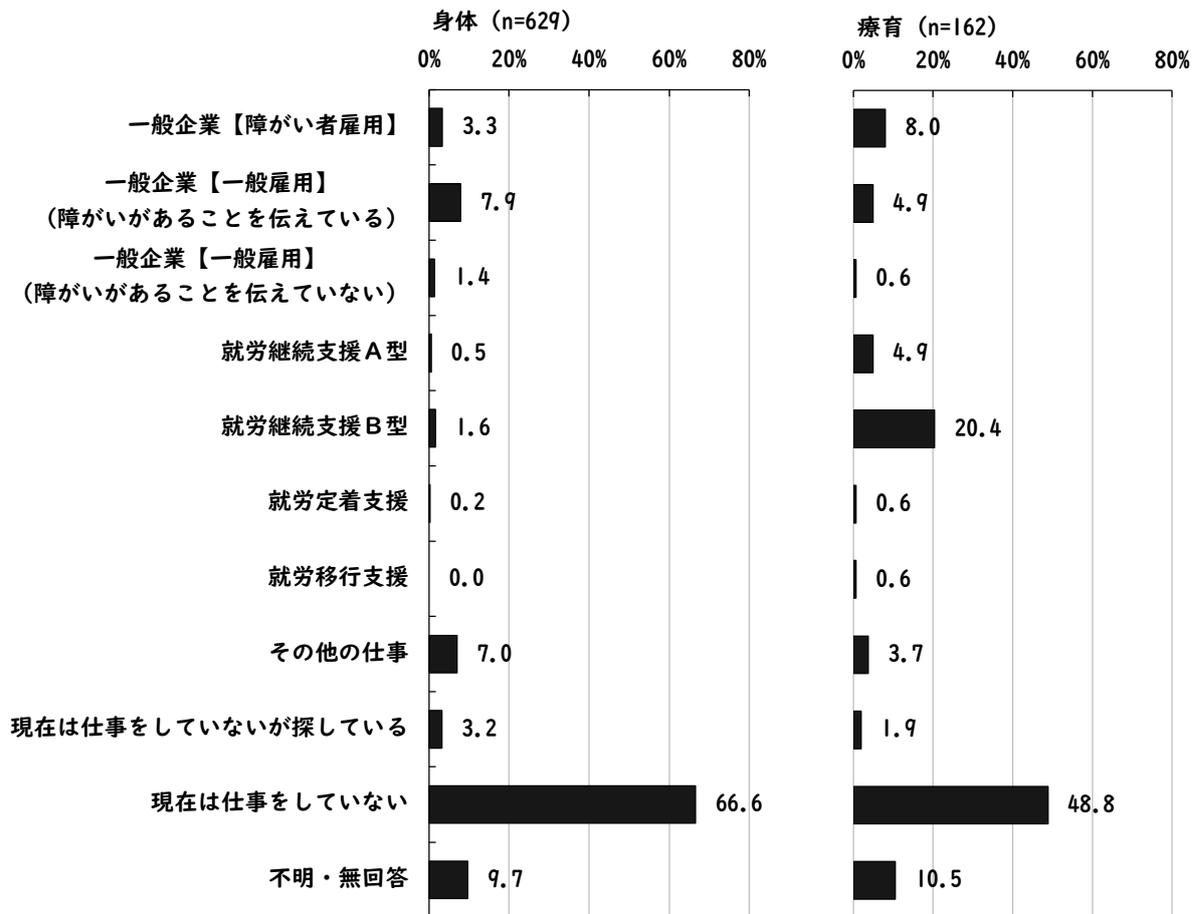
4 仕事（就労）について

問18 仕事（就労）の状況や形態は次のどれですか。（あてはまるものすべてに○）

仕事の状況や形態では「現在は仕事をしていない」が61.2%と最も高く、次いで「一般企業【一般雇用（雇用形態は問わない）】（障がいがあることを伝えている）」が8.1%、「その他の仕事」が6.1%となっています。前回調査では「現在は仕事をしていない」が63.6%、次いで「一般企業【一般雇用（雇用形態は問わない）】（障がいがあることを伝えている）」が9.4%、「その他の仕事」が5.3%となっています。

所持手帳別にみると、どの手帳でも「現在は仕事をしていない」の割合が最も高く、【身体】では66.6%、【療育】では48.8%、【精神】では44.0%、【所持手帳なし】では67.2%となっています。





■ クロス集計：所持手帳別年齢3区分

所持手帳別年齢3区分でみると、【身体】のいずれの年代でも「現在は仕事をしていない」の割合が最も高く、【18歳以下】では93.3%、【19～64歳】では36.7%、【65歳以上】では75.9%となっています。

【療育】のうち、【18歳以下】では「現在は仕事をしていない」が83.7%、【19～64歳】では「就労継続支援B型」が30.0%、【65歳以上】では「現在は仕事をしていない」が68.4%となっています。

【精神】のいずれの年代でも「現在は仕事をしていない」の割合が最も高く、【18歳以下】では71.4%、【19～64歳】では38.2%、【65歳以上】では62.5%となっています。

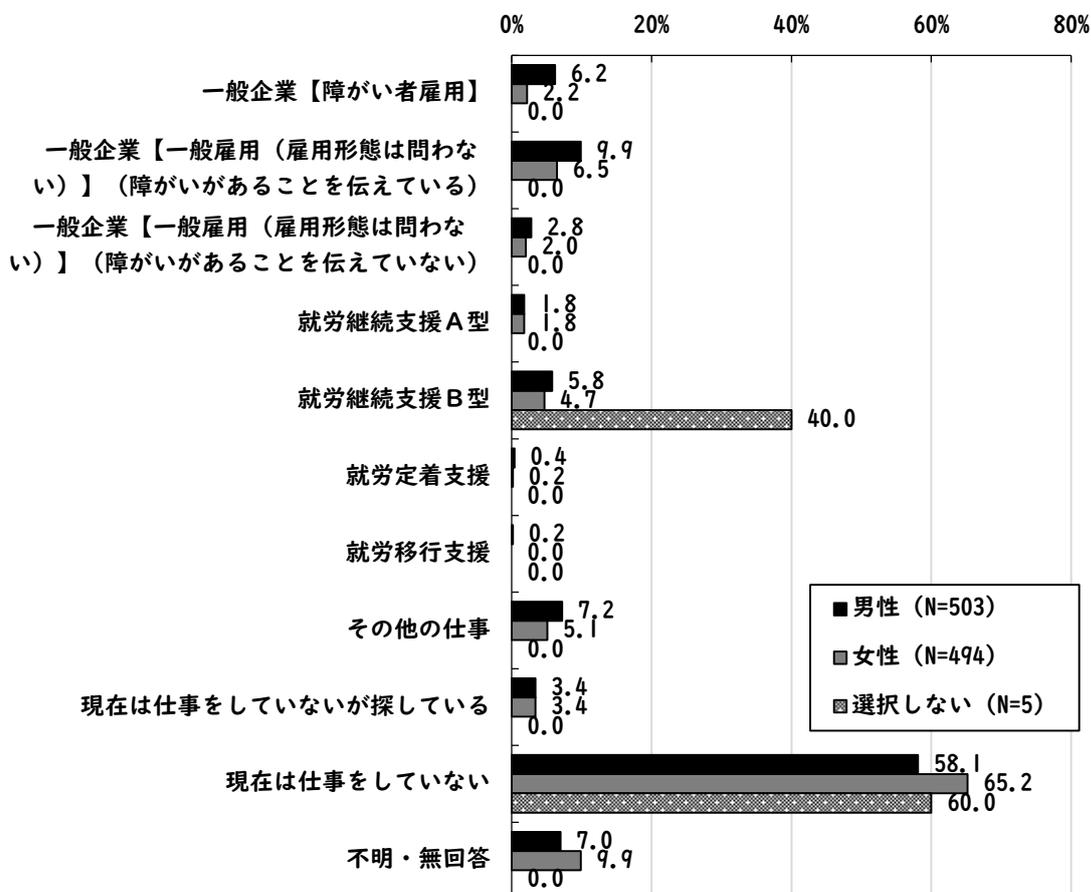
【所持手帳なし】のいずれの年代でも「現在は仕事をしていない」の割合が最も高く、【18歳以下】では94.9%、【19～64歳】では31.0%、【65歳以上】では80.0%となっています。

		一般企業【障がい者雇用】	一般企業【一般雇用】(障がいがあることを伝えている)	一般企業【一般雇用】(障がいがあることを伝えていない)	就労継続支援A型	就労継続支援B型	就労定着支援
身体	0～18歳(n=15)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳(n=147)	12.2	21.1	4.8	2.0	6.1	0.0
	65歳以上(n=457)	0.4	4.2	0.4	0.0	0.2	0.0
療育	0～18歳(n=49)	2.0	2.0	2.0	6.1	6.1	2.0
	19～64歳(n=90)	12.2	7.8	0.0	5.6	30.0	0.0
	65歳以上(n=19)	0.0	0.0	0.0	0.0	10.5	0.0
精神	0～18歳(n=7)	14.3	0.0	0.0	14.3	28.6	0.0
	19～64歳(n=89)	7.9	15.7	6.7	7.9	12.4	0.0
	65歳以上(n=24)	4.2	0.0	4.2	4.2	0.0	0.0
手帳なし	0～18歳(n=39)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳(n=42)	0.0	23.8	16.7	0.0	2.4	0.0
	65歳以上(n=35)	0.0	2.9	0.0	0.0	2.9	0.0

		就労移行支援	その他の仕事	現在は仕事を していないが 探している	現在は仕事を していない	不明・無回答
身体	0～18歳(n=15)	0.0	0.0	0.0	93.3	6.7
	19～64歳(n=147)	0.0	8.8	7.5	36.7	3.4
	65歳以上(n=457)	0.0	6.3	1.8	75.9	11.6
療育	0～18歳(n=49)	2.0	0.0	0.0	83.7	6.1
	19～64歳(n=90)	0.0	5.6	2.2	27.8	10.0
	65歳以上(n=19)	0.0	0.0	0.0	68.4	21.1
精神	0～18歳(n=7)	0.0	0.0	0.0	71.4	0.0
	19～64歳(n=89)	0.0	6.7	5.6	38.2	0.0
	65歳以上(n=24)	0.0	4.2	4.2	62.5	16.7
手帳なし	0～18歳(n=39)	0.0	0.0	0.0	94.9	5.1
	19～64歳(n=42)	0.0	11.9	11.9	31.0	2.4
	65歳以上(n=35)	0.0	8.6	2.9	80.0	5.7

■ クロス集計：性別

性別で見ると、【男性】、【女性】、【選択しない】いずれの区分でも「現在は仕事をしていない」の割合が最も高く、それぞれ58.1%、65.2%、60.0%となっています。



■ クロス集計：今後の生活の意向別

今後の生活の意向別で見ると、いずれの意向でも「現在は仕事をしていない」の割合が最も高く、【ひとりで暮らしたい】では54.0%、【友人と暮らしたい】では42.9%、【家族と一緒に暮らしたい】では63.1%、【病院で暮らしたい】では55.6%、【専門の職員がいて共同生活ができる施設（グループホーム等）を利用したい】では63.7%となっています。

	一般企業【障がい者雇用】	一般企業【一般雇用（雇用形態は問わない）】（障がいがあることを伝えている）	一般企業【一般雇用（雇用形態は問わない）】（障がいがあることを伝えていない）	就労継続支援A型	就労継続支援B型	就労定着支援	就労移行支援	その他の仕事	現在は仕事をしていないが探している	現在は仕事をしていない	不明・無回答
ひとりで暮らしたい (n=137)	2.2	8.0	4.4	1.5	6.6	0.0	0.0	7.3	7.3	54.0	10.2
友人と暮らしたい (n=14)	0.0	35.7	0.0	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	42.9	0.0
家族と一緒に暮らしたい (n=664)	5.3	8.9	2.6	1.5	4.1	0.2	0.0	7.1	2.7	63.1	6.6
病院で暮らしたい (n=18)	5.6	0.0	5.6	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	55.6	27.8
専門の職員がいて共同生活ができる施設（グループホーム等）を利用したい (n=102)	2.0	4.9	0.0	2.0	12.7	0.0	0.0	3.9	0.0	63.7	10.8

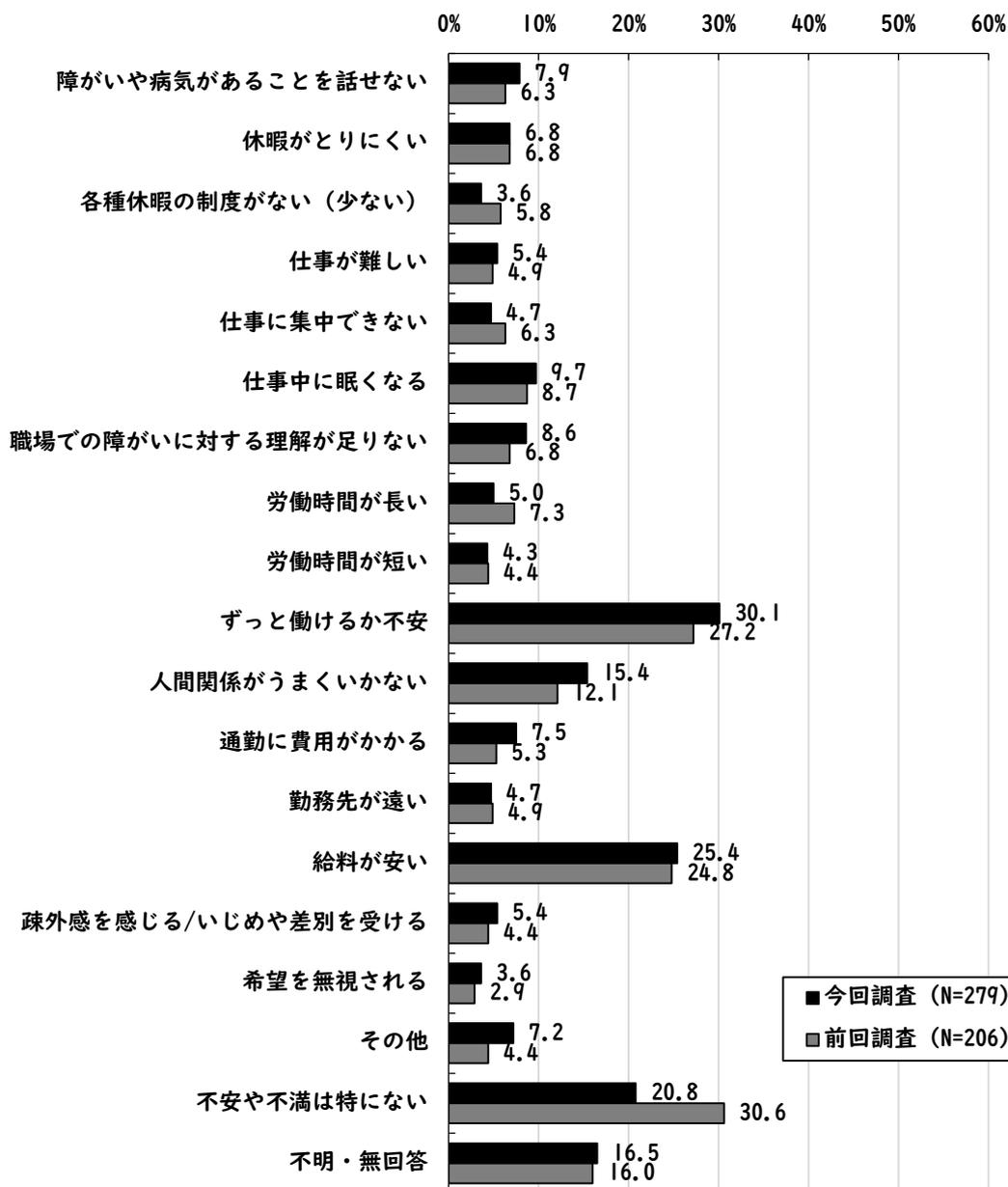
問19 【問18で「1. 一般企業【障がい者雇用】」から「8. その他の仕事」までのいずれかに○をつけた方にお聞きします。】

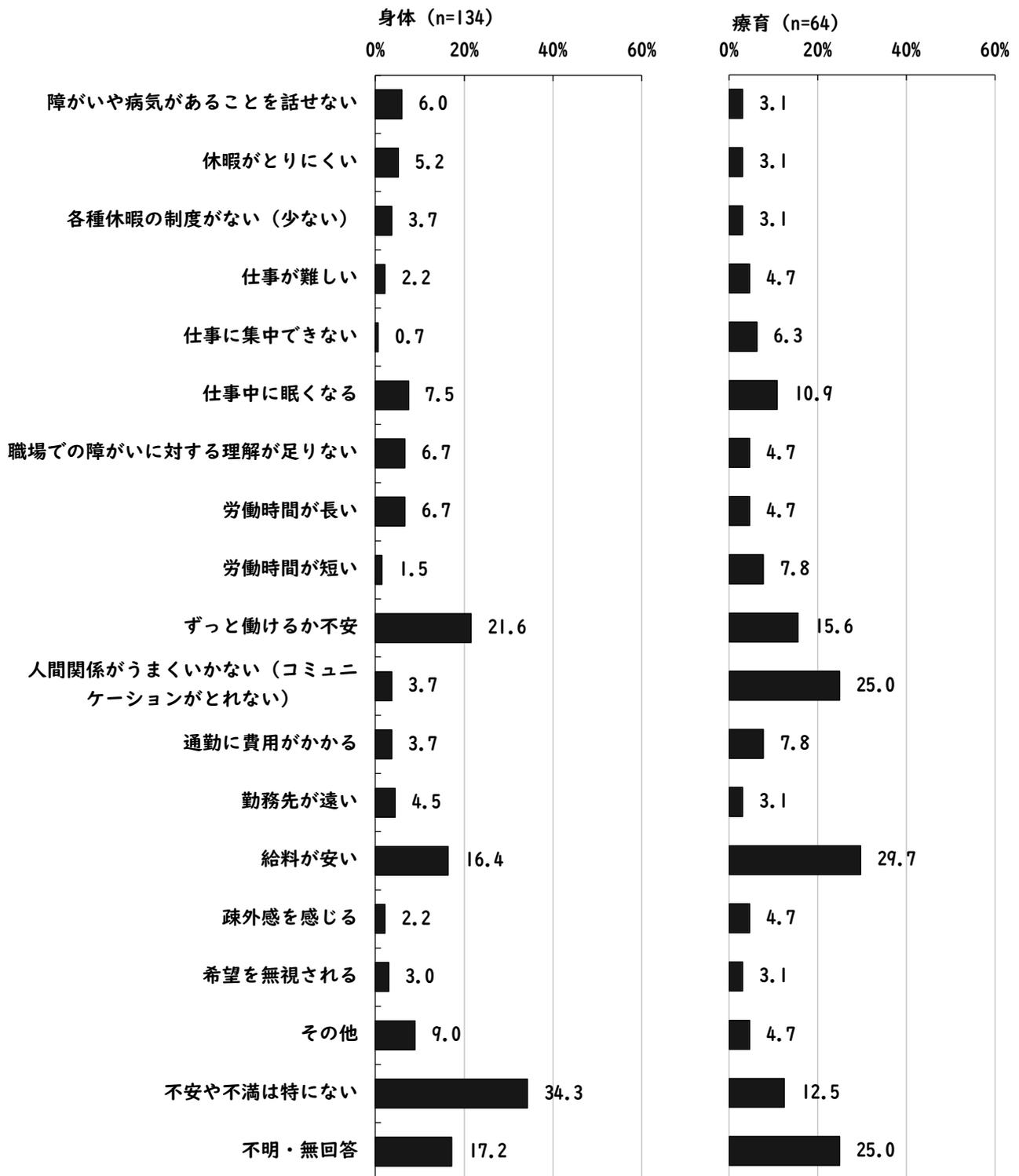
現在の仕事（職場）に対して、不安や不満がありますか。

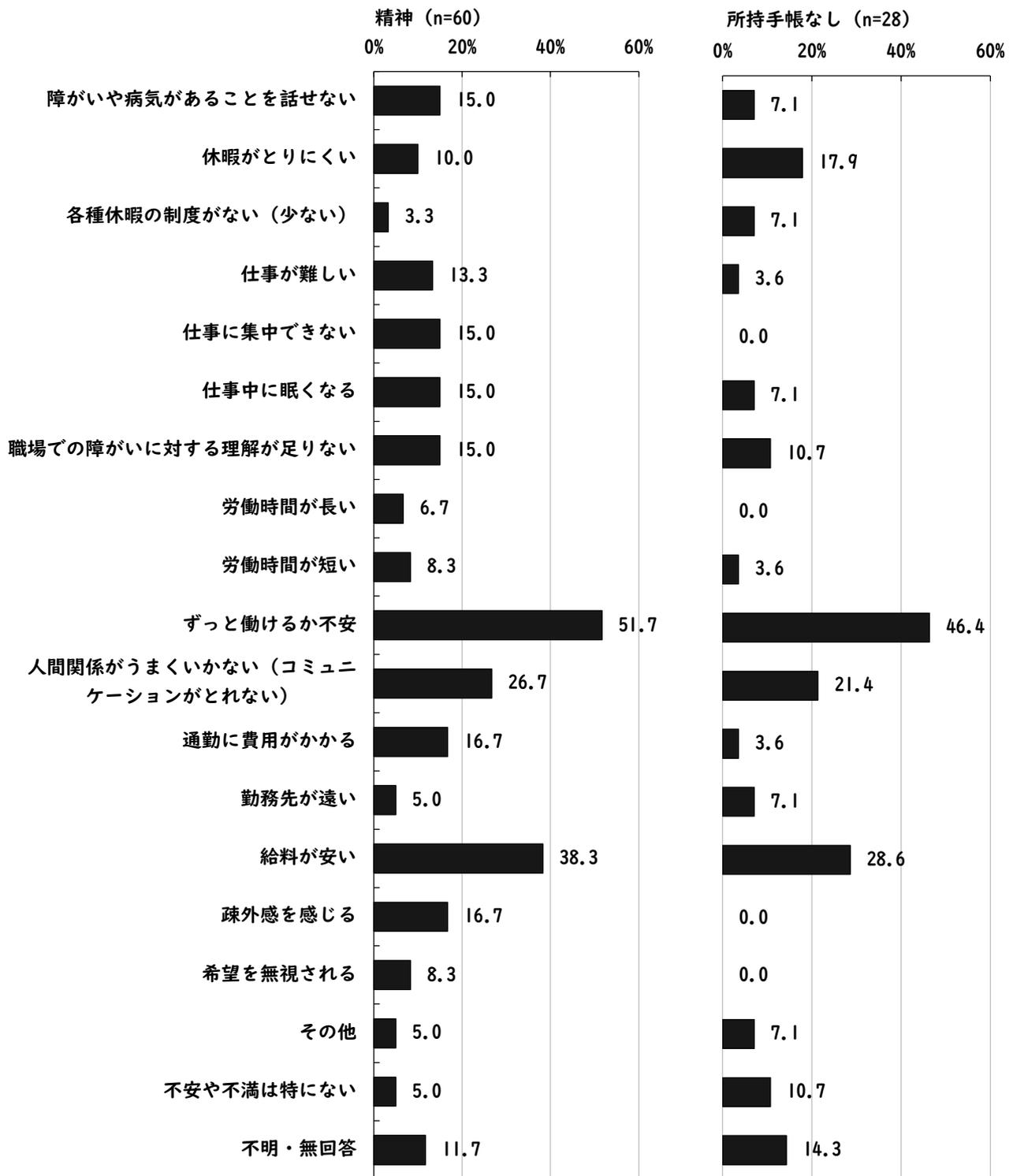
（あてはまるものすべてに○）

現在の仕事や職場に対して不安や不満があるかどうかでは「ずっと働けるか不安」が30.1%と最も高く、次いで「給料が安い」が25.4%、「不安や不満は特にない」が20.8%となっています。前回調査では「不安や不満は特にない」が30.6%、次いで「ずっと働けるか不安」が27.2%、「給料が安い」が24.8%となっています。

所持手帳別にみると【身体】では「不安や不満は特にない」が34.3%、【療育】では「給料が安い」が29.7%、【精神】では「ずっと働けるか不安」が51.7%、【所持手帳なし】では「ずっと働けるか不安」が46.4%となっています。







■ クロス集計：所持手帳別年齢3区分

所持手帳別年齢3区分でみると、【身体】のうち、【18歳以下】は有効回答がありませんでした。【19～64歳】、【65歳以上】では「不安や不満は特にない」がそれぞれ27.8%、45.1%となっています。

【療育】のうち、【18歳以下】では「仕事が難しい」「労働時間が長い」「通勤に費用がかかる」「勤務先が遠い」がそれぞれ20.0%、【19～64歳】では「給料が安い」が33.3%、【65歳以上】では「給料が安い」「不安や不満は特にない」がともに50.0%となっています。

【精神】のうち、【18歳以下】では「休暇がとりにくい」「各種休暇の制度がない(少ない)」「仕事に集中できない」「職場での障がいに対する理解が足りない」「給料が安い」「希望を無視される」がそれぞれ50.0%、【19～64歳】では「ずっと働けるか不安」が54.0%、【65歳以上】では「人間関係がうまくいかない」が75.0%となっています。

【所持手帳なし】のうち、【18歳以下】は有効回答がありませんでした。【19～64歳】、【65歳以上】では「ずっと働けるか不安」がそれぞれ43.5%、60.0%となっています。

		障がいや病気があることを話せない	休暇がとりにくい	各種休暇の制度がない(少ない)	仕事が難しい	仕事に集中できない	仕事中に眠くなる	職場での障がいに対する理解が足りない	労働時間が長い	労働時間が短い	ずっと働けるか不安
身体	0～18歳 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=79)	6.3	7.6	6.3	2.5	1.3	6.3	6.3	10.1	1.3	25.3
	65歳以上 (n=51)	5.9	2.0	0.0	0.0	0.0	9.8	5.9	2.0	0.0	15.7
療育	0～18歳 (n=5)	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=54)	3.7	3.7	3.7	3.7	7.4	13.0	5.6	3.7	9.3	18.5
	65歳以上 (n=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
精神	0～18歳 (n=2)	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=50)	12.0	10.0	2.0	14.0	14.0	16.0	14.0	8.0	10.0	54.0
	65歳以上 (n=4)	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
手帳なし	0～18歳 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=23)	8.7	21.7	8.7	4.3	0.0	4.3	13.0	0.0	4.3	43.5
	65歳以上 (n=5)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	60.0

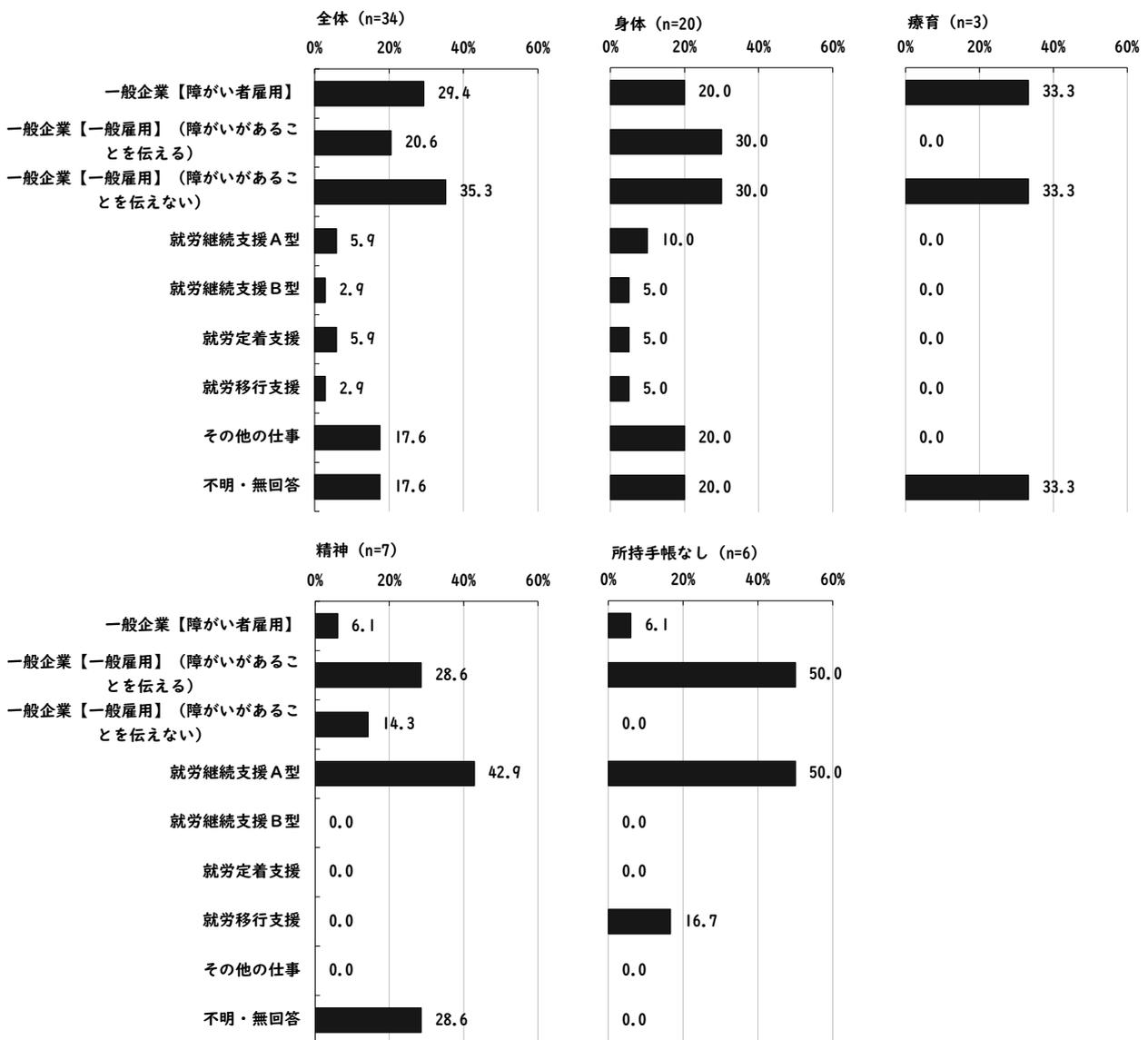
		人間関係がうまくいかない(コミュニケーションがとれない)	通勤に費用がかかる	勤務先が遠い	給料が安い	疎外感を感じる	希望を無視される	その他	不安や不満は特にない	不明・無回答
身体	0～18歳 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=79)	5.1	5.1	6.3	17.7	2.5	3.8	8.9	27.8	16.5
	65歳以上 (n=51)	0.0	2.0	2.0	13.7	0.0	0.0	9.8	45.1	17.6
療育	0～18歳 (n=5)	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0
	19～64歳 (n=54)	27.8	7.4	1.9	33.3	5.6	3.7	5.6	13.0	22.2
	65歳以上 (n=2)	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
精神	0～18歳 (n=2)	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0
	19～64歳 (n=50)	24.0	16.0	6.0	38.0	18.0	6.0	6.0	6.0	8.0
	65歳以上 (n=4)	75.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手帳なし	0～18歳 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=23)	26.1	4.3	8.7	34.8	0.0	0.0	8.7	13.0	13.0
	65歳以上 (n=5)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0

問 20 【問 18 で「9. 現在は仕事をしていないが探している」に○をつけた方にお聞きします。】

どのような就労の形態を希望しますか。(あてはまるものすべてに○)

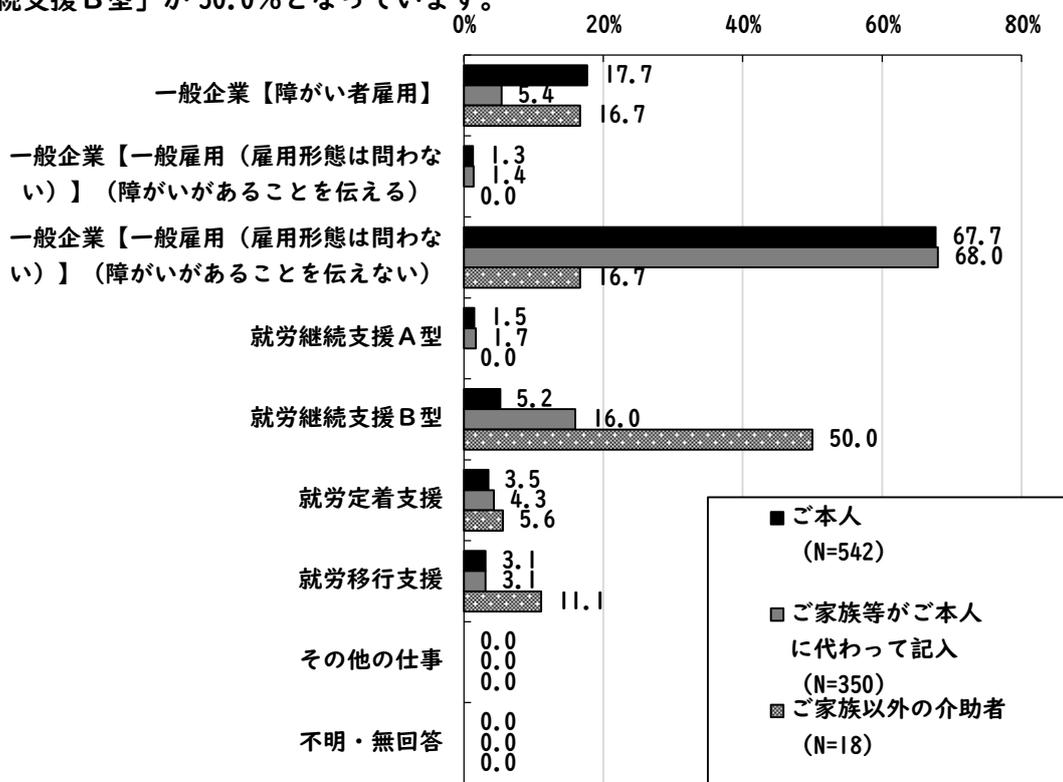
就労形態の希望では「一般企業【一般雇用（雇用形態は問わない）】（障がいがあることを伝えない）」が 35.3%と最も高く、次いで「一般企業【障がい者雇用】」が 29.4%、「一般企業【一般雇用（雇用形態は問わない）】（障がいがあることを伝える）」が 20.6%となっています。

所持手帳別でみると、【身体】では「一般企業【一般雇用（雇用形態は問わない）】（障がいがあることを伝える）」「一般企業【一般雇用（雇用形態は問わない）】（障がいがあることを伝えない）」がともに 30.0%、【療育】では「一般企業【障がい者雇用】」「一般企業【一般雇用（雇用形態は問わない）】（障がいがあることを伝えない）」がともに 33.3%、【精神】では「就労継続支援 A 型」が 42.9%、【所持手帳なし】では「一般企業【一般雇用（雇用形態は問わない）】（障がいがあることを伝える）」「就労継続支援 A 型」がともに 50.0%となっています。



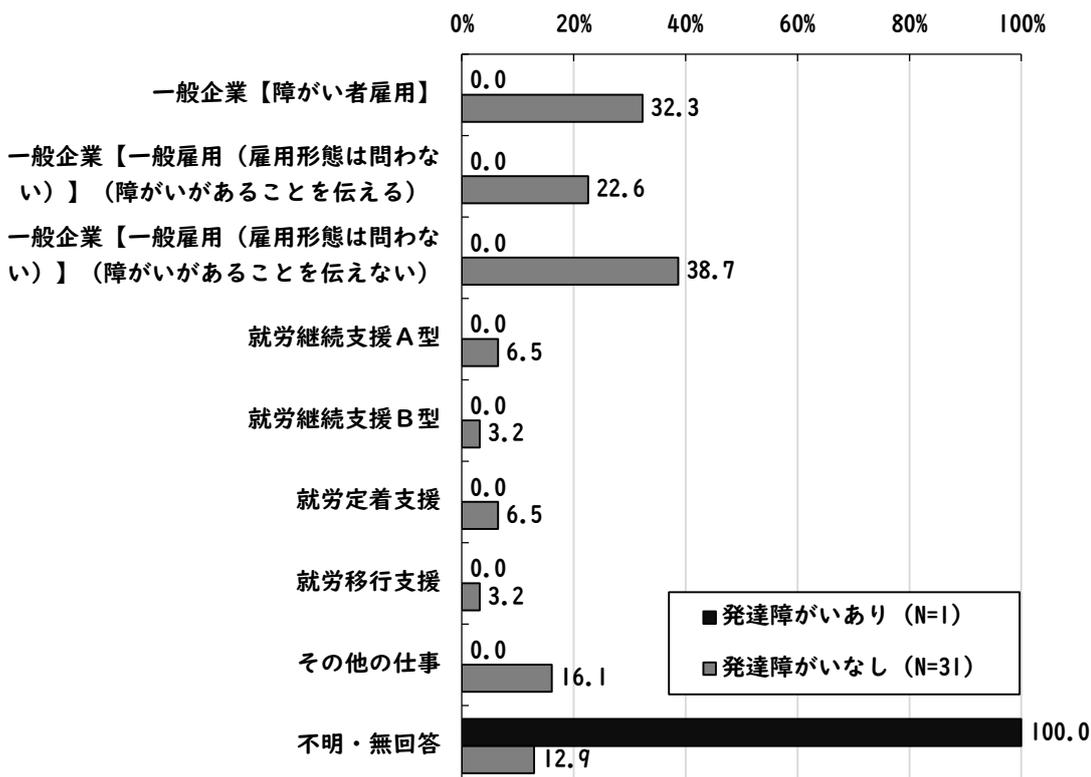
■ クロス集計：回答者別

回答者別でみると、【ご本人】、【ご家族等がご本人に代わって記入】では「一般企業【一般雇用（雇用形態は問わない）】（障がいがあることを伝えない）」がそれぞれ 67.7%、68.0%、【ご家族以外の介助者】では「就労継続支援 B 型」が 50.0% となっています。



■ クロス集計：発達障がいの有無

発達障がいの有無別でみると、【発達障がいあり】は有効回答がありませんでした。【発達障がいなし】では「一般企業【一般雇用（雇用形態は問わない）】（障がいがあることを伝えない）」が 38.7% となっています。



■ クロス集計：所持手帳別年齢3区分

所持手帳別年齢3区分でみると、【身体】のうち、【18歳以下】は有効回答がありませんでした。【19～64歳】では「一般企業【一般雇用（雇用形態は問わない）】（障がいがあることを伝えない）」が45.5%、【65歳以上】では「一般企業【一般雇用（雇用形態は問わない）】（障がいがあることを伝える）」が25.0%となっています。

【療育】のうち、【18歳以下】は有効回答がありませんでした。【19～64歳】では「一般企業【障がい者雇用】」「一般企業【一般雇用（雇用形態は問わない）】（障がいがあることを伝えない）」がともに50.0%、【65歳以上】は有効回答がありませんでした。

【精神】のうち、【18歳以下】は有効回答がありませんでした。【19～64歳】では「一般企業【一般雇用（雇用形態は問わない）】（障がいがあることを伝えない）」が60.0%、【65歳以上】では「その他の仕事」が100.0%となっています。

【所持手帳なし】のうち、【18歳以下】は有効回答がありませんでした。【19～64歳】では「一般企業【障がい者雇用】」「一般企業【一般雇用（雇用形態は問わない）】（障がいがあることを伝えない）」がともに60.0%、【所持手帳なし】65歳以上は有効回答がありませんでした。

		一般企業【障がい者雇用】	一般企業【一般雇用（雇用形態は問わない）】（障がいがあることを伝える）	一般企業【一般雇用（雇用形態は問わない）】（障がいがあることを伝えない）	就労継続支援A型	就労継続支援B型	就労定着支援	就労移行支援	その他の仕事	不明・無回答
身体	0～18歳 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=11)	27.3	36.4	45.5	18.2	9.1	9.1	9.1	27.3	0.0
	65歳以上 (n=8)	12.5	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	37.5
療育	0～18歳 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=2)	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	65歳以上 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
精神	0～18歳 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=5)	40.0	20.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	65歳以上 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
手帳なし	0～18歳 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=5)	60.0	0.0	60.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	65歳以上 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

■ クロス集計：今後の生活の意向別

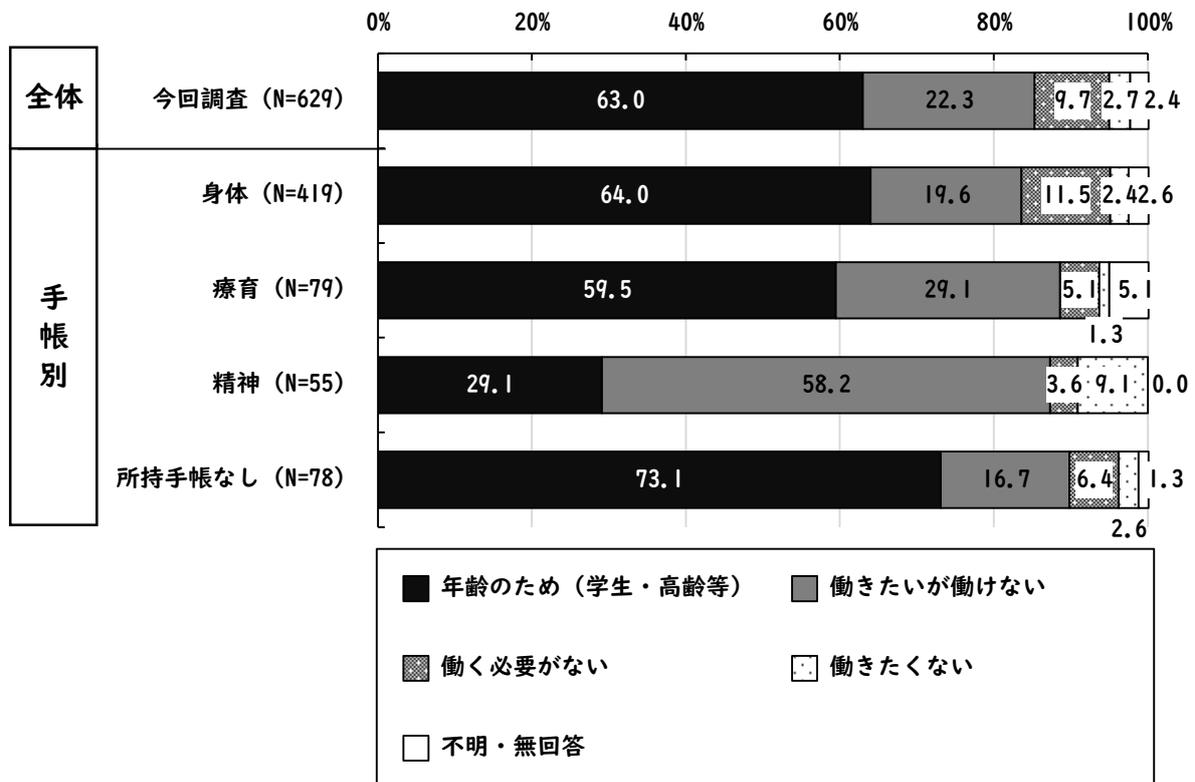
今後の生活の意向別でみると、【ひとりで暮らしたい】では「一般企業【一般雇用（雇用形態は問わない）】（障がいがあることを伝えない）」が80.0%、【友人と暮らしたい】では「一般企業（障がい者雇用）」、「その他の仕事」がともに100.0%、【家族と一緒に暮らしたい】では「一般企業【障がい者雇用】」が38.9%となっています。

	一般企業【障がい者雇用】	一般企業【一般雇用（雇用形態は問わない）】（障がいがあることを伝える）	一般企業【一般雇用（雇用形態は問わない）】（障がいがあることを伝えない）	就労継続支援A型	就労継続支援B型	就労定着支援	就労移行支援	その他の仕事	不明・無回答
ひとりで暮らしたい (n=10)	20.0	20.0	80.0	20.0	10.0	10.0	10.0	10.0	0.0
友人と暮らしたい (n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
家族と一緒に暮らしたい (n=18)	38.9	22.2	16.7	0.0	0.0	5.6	0.0	5.6	27.8

問 21 【問 18 で「10. 現在は仕事をしていない」に○をつけた方にお聞きします。】
仕事をしていない理由は何ですか。(○は1つだけ)

仕事をしていない理由では「年齢のため(学生・高齢等)」が63.0%と最も高く、次いで「働きたいが働けない」が22.3%、「働く必要がない」が9.7%となっています。

所持手帳別にみると【身体】、【療育】、【所持手帳なし】では「年齢のため(学生・高齢等)」の割合が最も高く、それぞれ64.0%、59.5%、73.1%、【精神】では「働きたいが働けない」が58.2%となっています。



■ クロス集計：所持手帳別年齢3区分

所持手帳別年齢3区分でみると、【身体】のうち、【18歳以下】では「年齢のため（学生・高齢等）」が85.7%、【19～64歳】では「働きたいが働けない」が64.8%、【65歳以上】では「年齢のため（学生・高齢等）」が71.2%となっています。

【療育】のうち、【18歳以下】では「年齢のため（学生・高齢等）」が100.0%、【19～64歳】では「働きたいが働けない」が76.0%、【65歳以上】では「年齢のため（学生・高齢等）」が46.2%となっています。

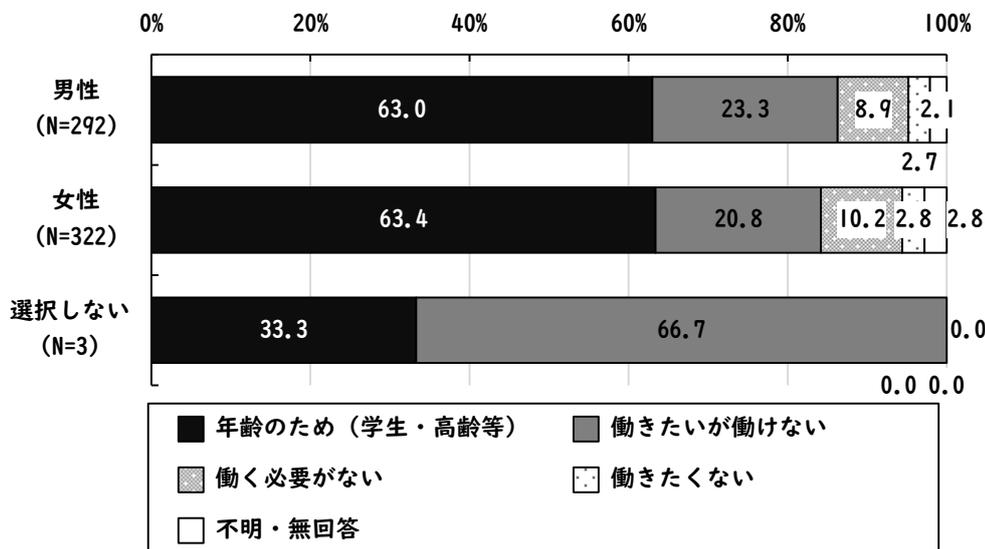
【精神】のうち、【18歳以下】では「年齢のため（学生・高齢等）」が100.0%、【19～64歳】では「働きたいが働けない」が85.3%、【65歳以上】では「年齢のため（学生・高齢等）」が66.7%となっています。

【所持手帳なし】のうち、【18歳以下】では「年齢のため（学生・高齢等）」が94.6%、【19～64歳】では「働きたいが働けない」が76.9%、【65歳以上】では「年齢のため（学生・高齢等）」が75.0%となっています。

		年齢のため (学生・高齢等)	働きたいが働けない	働く必要がない	働きたくない	不明・無回答
身体	0～18歳 (n=14)	85.7	7.1	0.0	0.0	7.1
	19～64歳 (n=54)	9.3	64.8	13.0	9.3	3.7
	65歳以上 (n=347)	71.2	13.3	11.8	1.4	2.3
療育	0～18歳 (n=41)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=25)	0.0	76.0	4.0	4.0	16.0
	65歳以上 (n=13)	46.2	30.8	23.1	0.0	0.0
精神	0～18歳 (n=5)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=34)	2.9	85.3	2.9	8.8	0.0
	65歳以上 (n=15)	66.7	13.3	6.7	13.3	0.0
手帳なし	0～18歳 (n=37)	94.6	2.7	0.0	2.7	0.0
	19～64歳 (n=13)	7.7	76.9	15.4	0.0	0.0
	65歳以上 (n=28)	75.0	7.1	10.7	3.6	3.6

■ クロス集計：性別

性別でみると、【男性】、【女性】では「年齢のため（学生・高齢等）」がそれぞれ63.0%、63.4%、【選択しない】では「働きたいが働けない」が66.7%となっています。

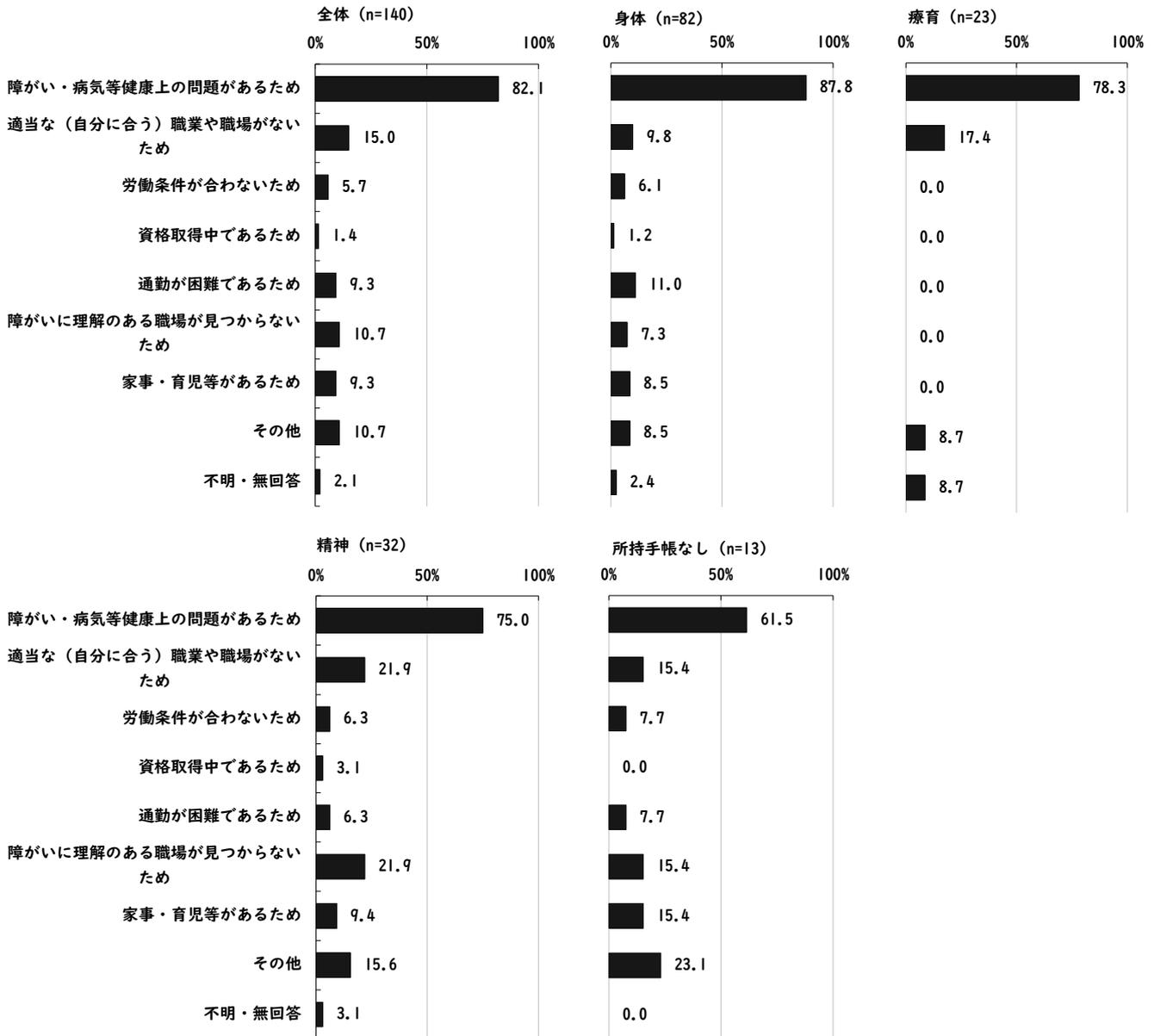


【問21で「2. 働きたいが働けない」に○をつけた方】

問22 仕事をしていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

働きたいが働けない理由では「障がい・病気等健康上の問題があるため」が82.1%と最も高く、次いで「適当な（自分に合う）職業や職場がないため」が15.0%、「障がいに理解のある職場が見つからないため」が10.7%となっています。

所持手帳別にみると、どの手帳でも「障がい・病気等健康上の問題があるため」の割合が最も高く、【身体】では87.8%、【療育】では78.3%、【精神】では75.0%、【所持手帳なし】では61.5%となっています。



■ クロス集計：所持手帳別年齢3区分

所持手帳別年齢3区分でみると、【身体】のいずれの年代でも「障がい・病気等健康上の問題があるため」の割合が最も高く、【18歳以下】では100.0%、【19～64歳】では91.4%、【65歳以上】では84.8%となっています。

【療育】のうち、【18歳以下】は有効回答がありませんでした。【19～64歳】、【65歳以上】では「障がい・病気等健康上の問題があるため」がそれぞれ78.9%、75.0%となっています。

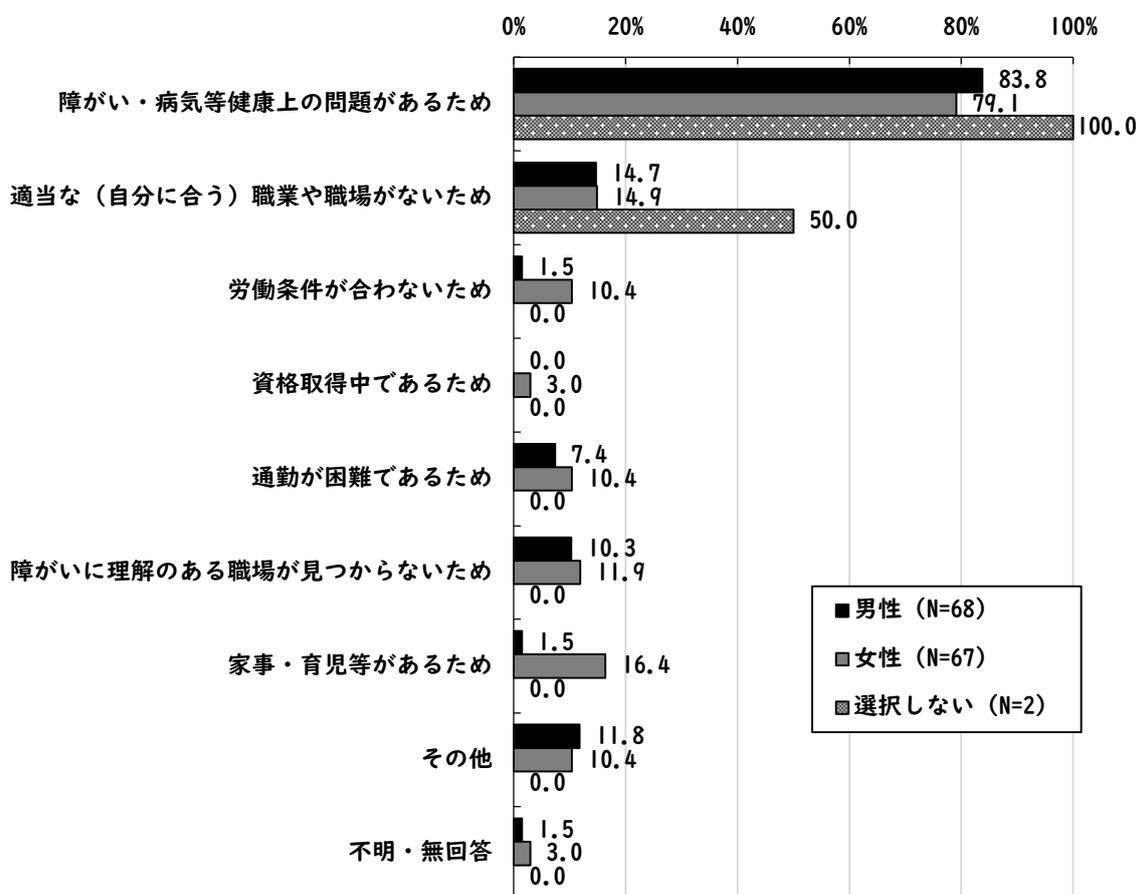
【精神】のうち、【18歳以下】は有効回答がありませんでした。【19～64歳】では「障がい・病気等健康上の問題があるため」が82.8%、【65歳以上】では「家事・育児等があるため」が50.0%となっています。

【所持手帳なし】のうち、【18歳以下】では「その他」が100.0%、【19～64歳】、【65歳以上】では「障がい・病気等健康上の問題があるため」がそれぞれ60.0%、100.0%となっています。

		障がい・病気等健康上の問題があるため	適当な(自分に合う)職業や職場がないため	労働条件が合わないため	資格取得中であるため	通勤が困難であるため	障がいに理解のある職場が見つからないため	家事・育児等があるため	その他	不明・無回答
身体	0～18歳(n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳(n=35)	91.4	14.3	11.4	0.0	17.1	8.6	14.3	8.6	2.9
	65歳以上(n=46)	84.8	6.5	2.2	2.2	6.5	6.5	4.3	8.7	2.2
療育	0～18歳(n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳(n=19)	78.9	21.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.5	5.3
	65歳以上(n=4)	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
精神	0～18歳(n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳(n=29)	82.8	24.1	6.9	3.4	6.9	24.1	6.9	13.8	0.0
	65歳以上(n=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0
手帳なし	0～18歳(n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	19～64歳(n=10)	60.0	10.0	10.0	0.0	10.0	20.0	20.0	20.0	0.0
	65歳以上(n=2)	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

■ クロス集計：性別

性別で見ると、【男性】、【女性】、【選択しない】いずれの区分でも、「障がい・病気等健康上の問題があるため」の割合が最も高く、それぞれ83.8%、79.1%、100.0%となっています。

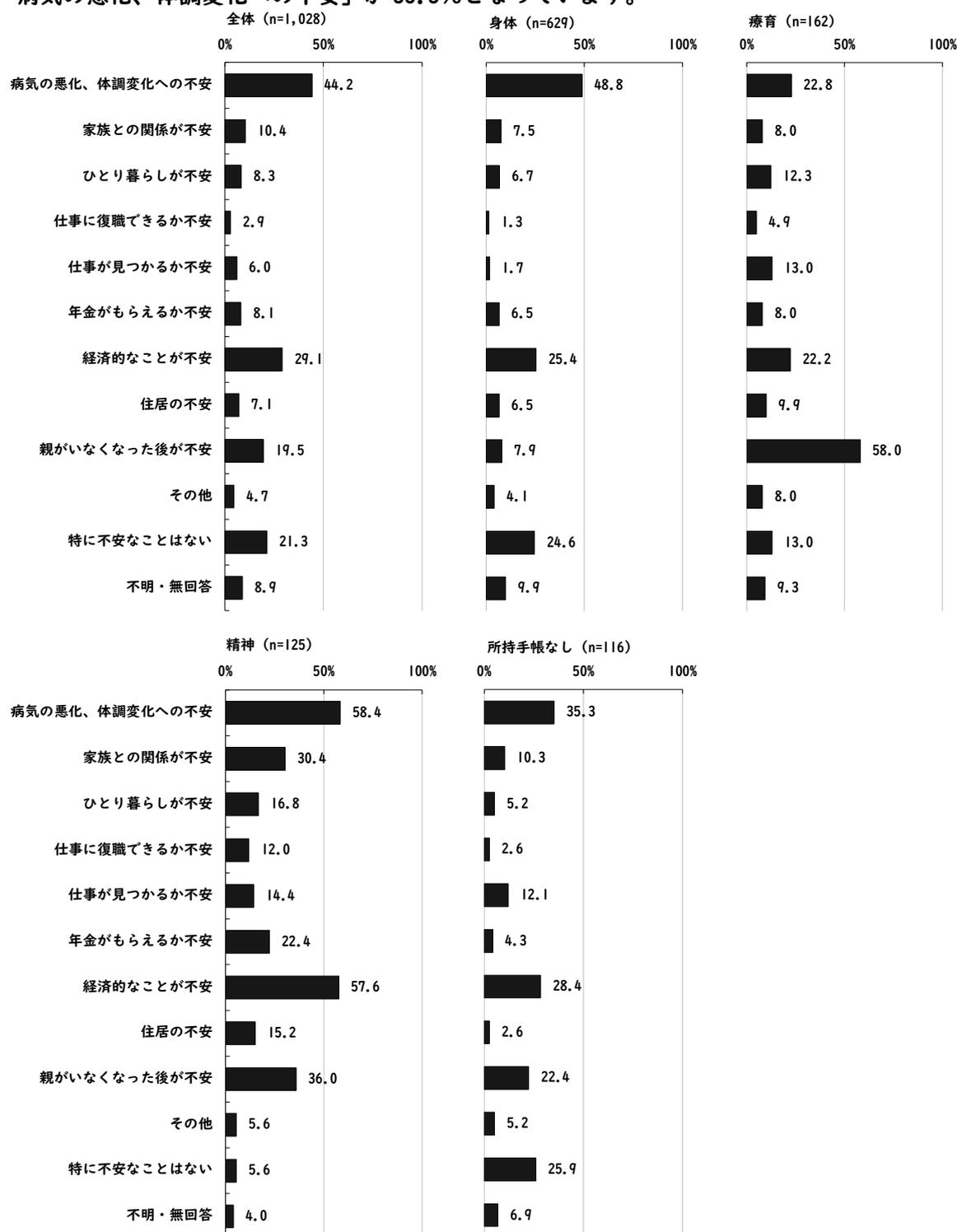


5 相談相手等について

問 23 現在の生活で不安なこと（誰かに相談したいこと）はありますか。
（あてはまるものすべてに○）

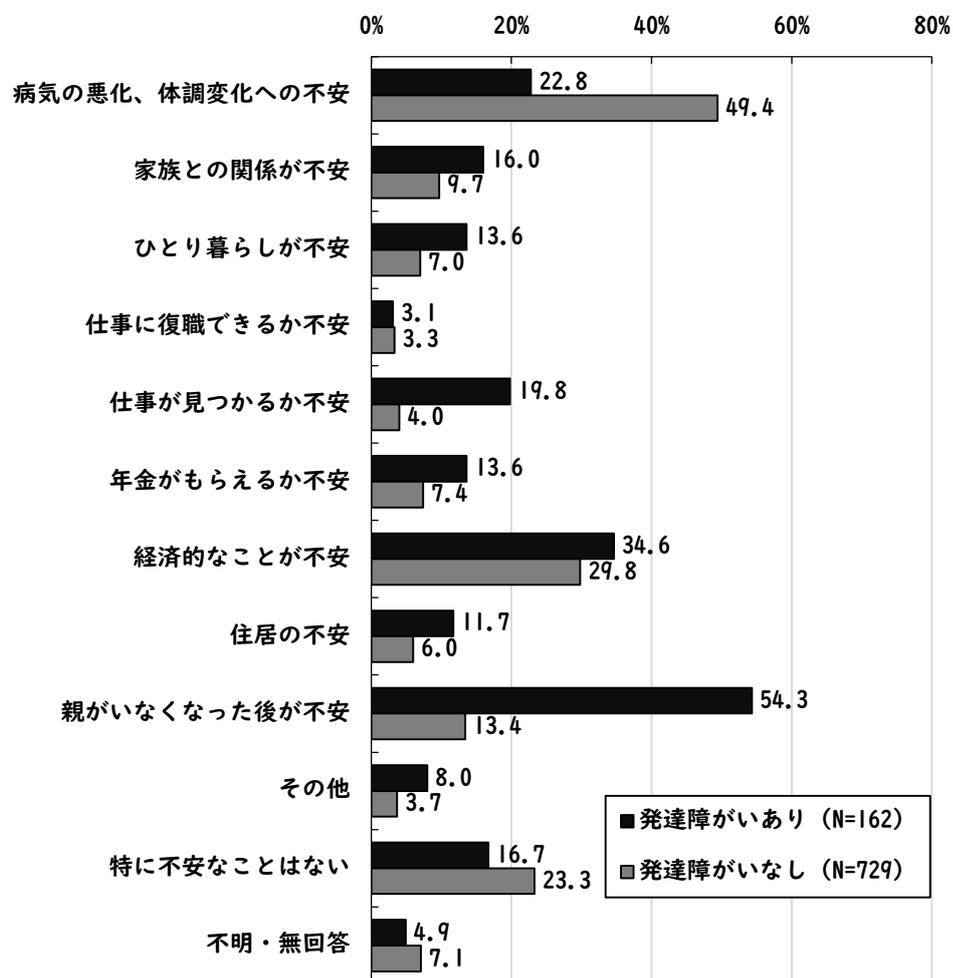
現在の生活で不安なことでは「病気の悪化、体調変化への不安」が44.2%と最も高く、次いで「経済的なことが不安」が29.1%、「特に不安なことはない」が21.3%となっています。

所持手帳別にみると【身体】では「病気の悪化、体調変化への不安」が48.8%、【療育】では「親がいなくなった後が不安」が58.0%、【精神】では「病気の悪化、体調変化への不安」が58.4%、【所持手帳なし】では「病気の悪化、体調変化への不安」が35.3%となっています。



■ クロス集計：発達障がいの有無

発達障がいの有無別で見ると、【発達障がいあり】では「親がいなくなった後が不安」が54.3%、【発達障がいなし】では「病気の悪化、体調変化への不安」が49.4%となっています。



■ クロス集計：所持手帳別年齢3区分

所持手帳別年齢3区分でみると、【身体】のうち、【18歳以下】では「親がいなくなった後が不安」が40.0%、【19～64歳】、【65歳以上】では、「病気の悪化、体調変化への不安」がそれぞれ51.7%、48.6%となっています。

【療育】のうち、【18歳以下】、【19～64歳】では「親がいなくなった後が不安」が59.2%、67.8%、【65歳以上】では「病気の悪化、体調変化への不安」が26.3%となっています。

【精神】のうち、【18歳以下】では「親がいなくなった後が不安」が85.7%、【19～64歳】では「経済的なことが不安」が66.3%、【65歳以上】では「病気の悪化、体調変化への不安」が50.0%となっています。

【所持手帳なし】のうち、【18歳以下】では「特に不安なことはない」が41.0%、【19～64歳】、【65歳以上】では「病気の悪化、体調変化への不安」がそれぞれ54.8%、48.6%となっています。

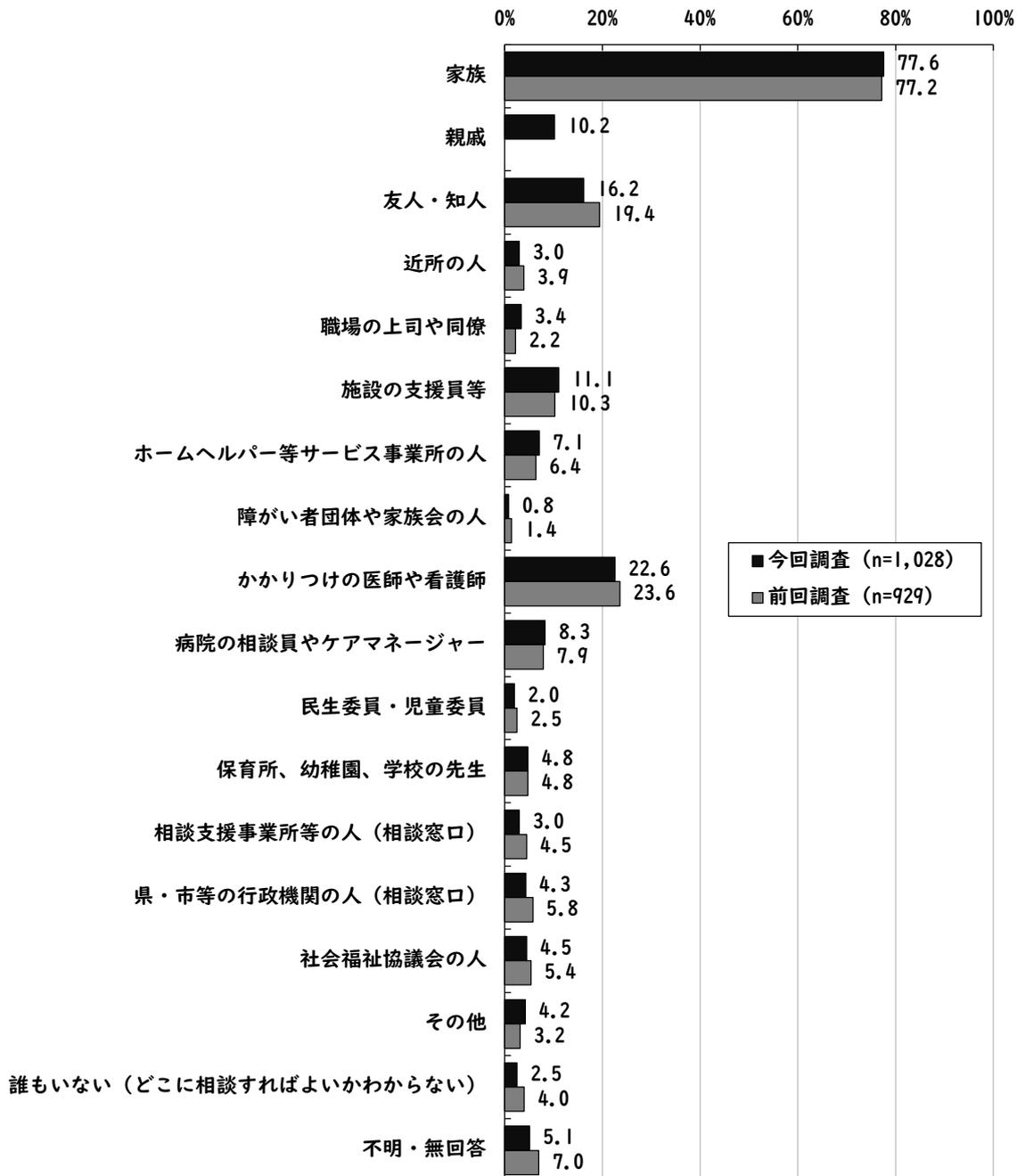
		病気の悪化、 体調変化への不安	家族との関係 が不安	ひとり暮らし が不安	仕事に復職で きるか不安	仕事が見つかる か不安	年金がもらえ るか不安
身体	0～18歳 (n=15)	33.3	6.7	13.3	0.0	6.7	6.7
	19～64歳 (n=147)	51.7	10.9	8.8	4.1	6.1	15.6
	65歳以上 (n=457)	48.6	6.3	5.7	0.4	0.2	3.3
療育	0～18歳 (n=49)	12.2	6.1	8.2	2.0	26.5	12.2
	19～64歳 (n=90)	28.9	11.1	14.4	7.8	8.9	7.8
	65歳以上 (n=19)	26.3	0.0	15.8	0.0	0.0	0.0
精神	0～18歳 (n=7)	42.9	42.9	14.3	14.3	42.9	14.3
	19～64歳 (n=89)	61.8	31.5	16.9	14.6	15.7	29.2
	65歳以上 (n=24)	50.0	20.8	20.8	4.2	0.0	0.0
手帳なし	0～18歳 (n=39)	2.6	5.1	2.6	0.0	12.8	0.0
	19～64歳 (n=42)	54.8	21.4	4.8	7.1	21.4	9.5
	65歳以上 (n=35)	48.6	2.9	8.6	0.0	0.0	2.9

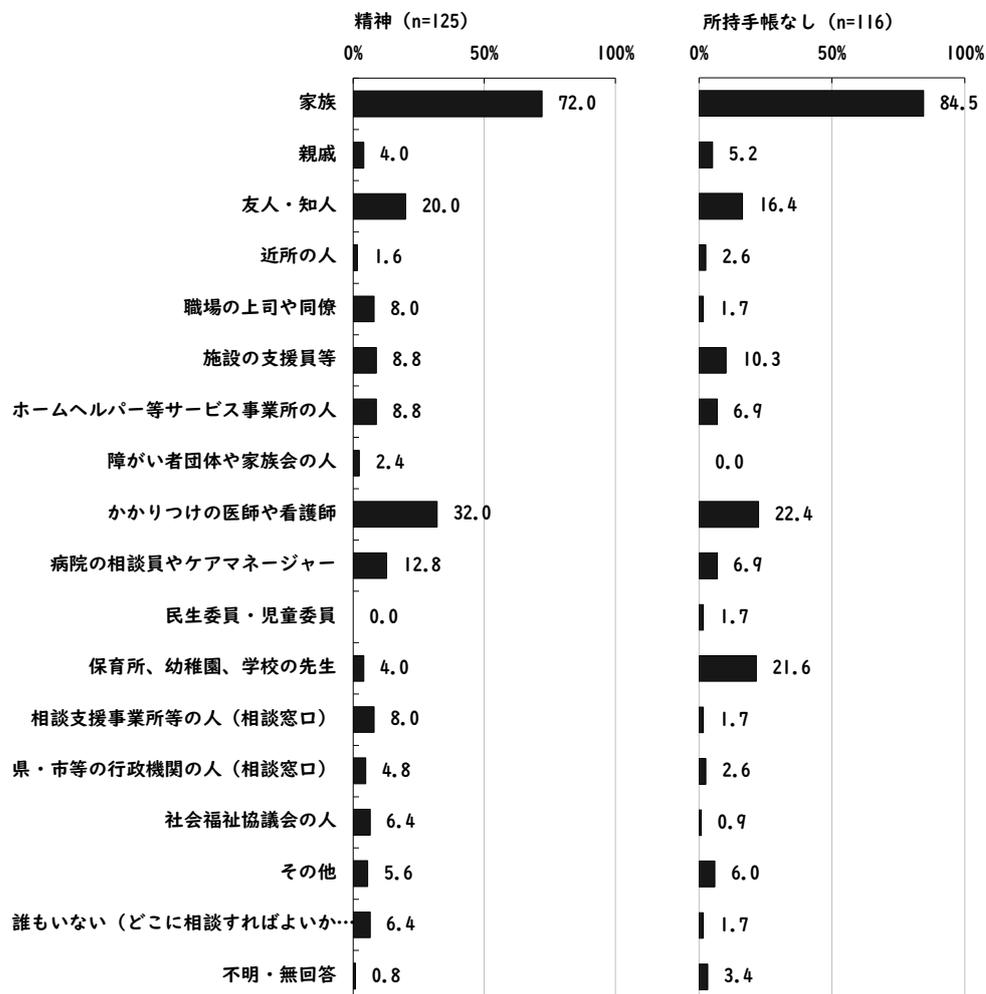
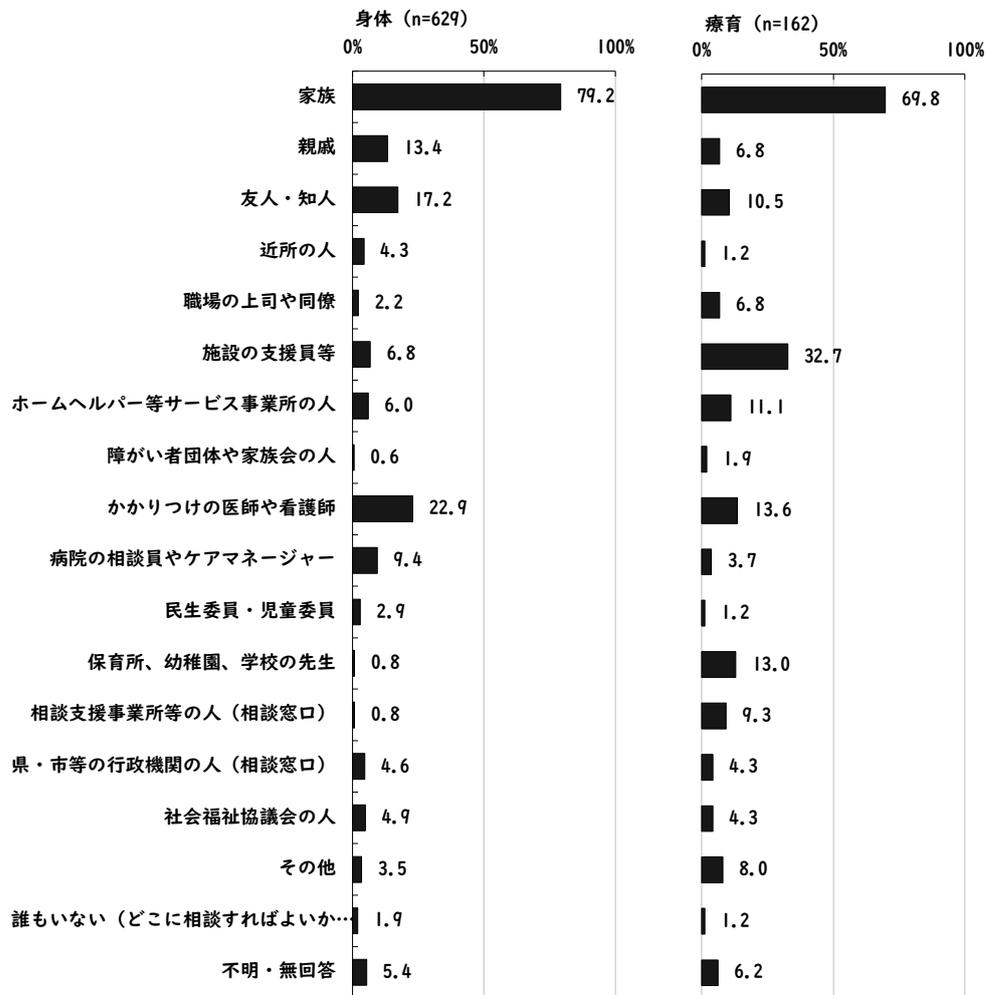
		経済的なこと が不安	住居の不安	親がいなくな った後が不安	その他	特に不安なこ とはない	不明・無回答
身体	0～18歳 (n=15)	13.3	13.3	40.0	6.7	6.7	6.7
	19～64歳 (n=147)	41.5	12.2	27.9	6.1	17.0	3.4
	65歳以上 (n=457)	20.4	4.4	0.4	3.5	27.8	11.8
療育	0～18歳 (n=49)	22.4	8.2	59.2	14.3	16.3	6.1
	19～64歳 (n=90)	26.7	13.3	67.8	6.7	10.0	4.4
	65歳以上 (n=19)	0.0	0.0	10.5	0.0	21.1	31.6
精神	0～18歳 (n=7)	57.1	14.3	85.7	0.0	14.3	0.0
	19～64歳 (n=89)	66.3	14.6	41.6	4.5	4.5	1.1
	65歳以上 (n=24)	29.2	16.7	0.0	12.5	8.3	8.3
手帳なし	0～18歳 (n=39)	12.8	2.6	35.9	15.4	41.0	7.7
	19～64歳 (n=42)	45.2	2.4	28.6	0.0	14.3	2.4
	65歳以上 (n=35)	25.7	2.9	0.0	0.0	22.9	11.4

問 24 普段、不安なことがあれば誰に相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

不安ごとの相談先では「家族」が77.6%と最も高く、次いで「かかりつけの医師や看護師」が22.6%、「友人・知人」が16.2%となっています。前回調査では「家族」が77.2%、次いで「かかりつけの医師や看護師」が23.6%、「友人・知人」が19.4%となっています。

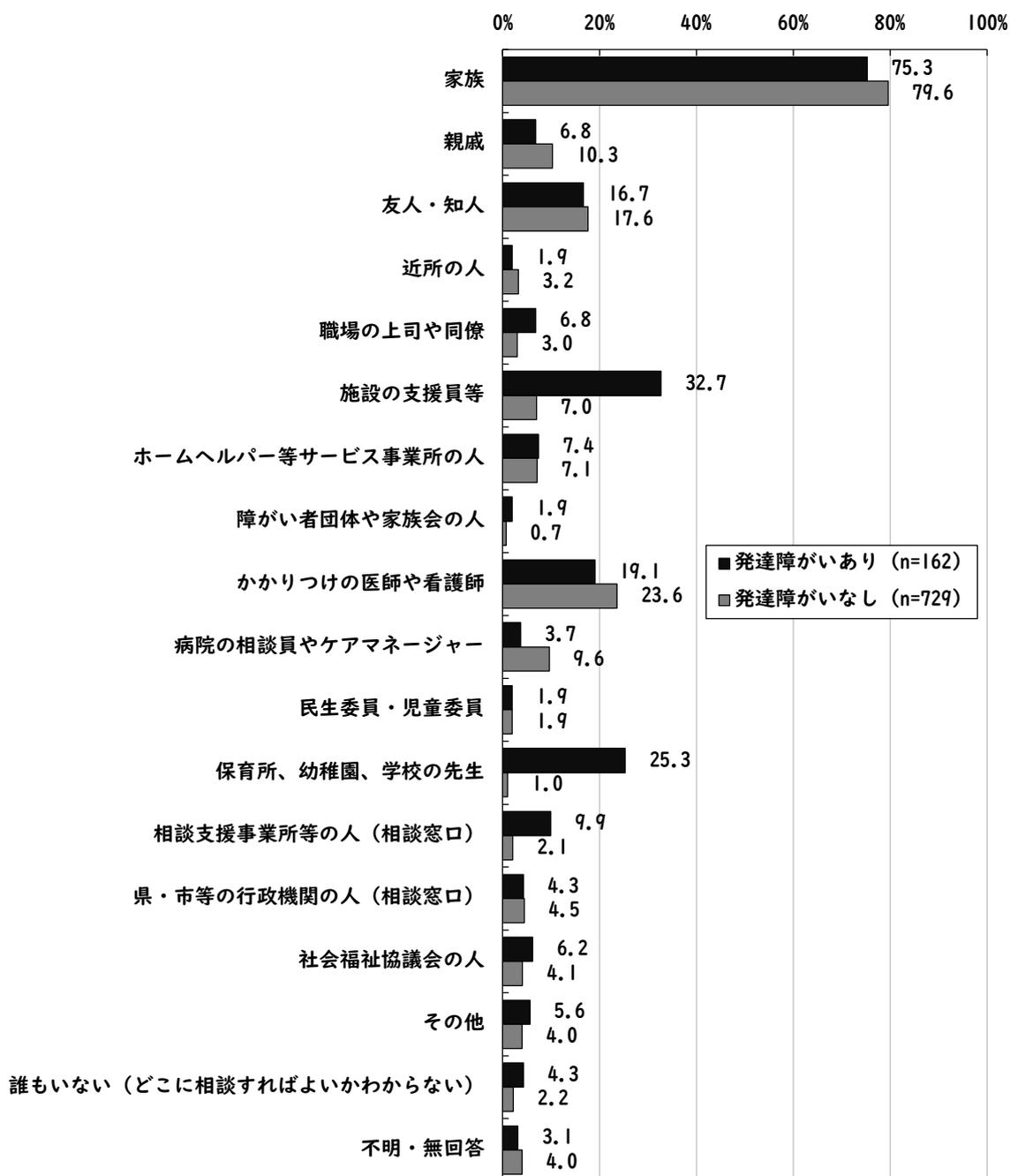
所持手帳別にみると、どの手帳でも「家族」の割合が最も高く、【身体】では79.2%、【療育】では69.8%、【精神】では72.0%、【所持手帳なし】では84.5%となっています。





■ クロス集計：発達障がいの有無

発達障がいの有無別で見ると、【発達障がいあり】、【発達障がいなし】ともに「家族」の割合が最も高く、それぞれ75.3%、79.6%となっています。



■ クロス集計：所持手帳別年齢3区分

所持手帳別年齢3区分でみると、【身体】のいずれの年代でも「家族」の割合が最も高く、【18歳以下】では86.7%、【19～64歳】では75.5%、【65歳以上】では「家族」が80.5%となっています。

【療育】のいずれの年代でも「家族」の割合が最も高く、【18歳以下】では83.7%、【19～64歳】では70.0%、【65歳以上】では42.1%となっています。

【精神】のいずれの年代でも「家族」の割合が最も高く、【18歳以下】では85.7%、【19～64歳】では76.4%、【65歳以上】では50.0%となっています。

【所持手帳なし】のいずれの年代でも「家族」の割合が最も高く、【18歳以下】では92.3%、【19～64歳】では81.0%、【65歳以上】では「家族」が80.0%となっています。

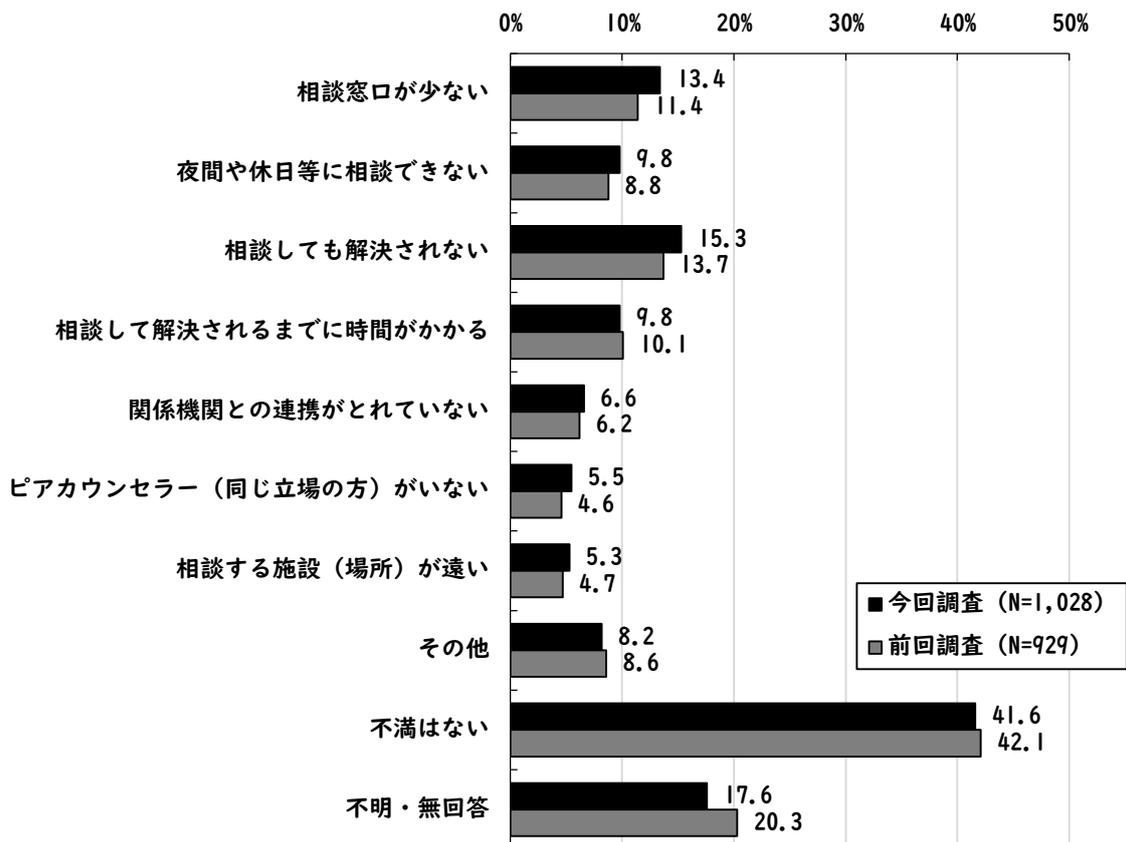
		家族	親戚	友人・知人	近所の人	職場の上司や同僚	施設の支援員等	ホームヘルパー等サービス事業所の人	障がい者団体や家族会の人	かかりつけの医師や看護師
身体	0～18歳 (n=15)	86.7	6.7	13.3	0.0	0.0	26.7	13.3	0.0	20.0
	19～64歳 (n=147)	75.5	8.2	24.5	4.1	7.5	8.8	8.2	2.7	19.0
	65歳以上 (n=457)	80.5	15.5	14.9	4.6	0.7	5.7	5.3	0.0	24.1
療育	0～18歳 (n=49)	83.7	8.2	16.3	0.0	2.0	26.5	2.0	0.0	12.2
	19～64歳 (n=90)	70.0	6.7	10.0	2.2	11.1	34.4	16.7	3.3	16.7
	65歳以上 (n=19)	42.1	5.3	0.0	0.0	0.0	31.6	10.5	0.0	5.3
精神	0～18歳 (n=7)	85.7	0.0	28.6	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3
	19～64歳 (n=89)	76.4	3.4	22.5	1.1	10.1	7.9	6.7	2.2	36.0
	65歳以上 (n=24)	50.0	8.3	12.5	4.2	0.0	4.2	20.8	4.2	25.0
手帳なし	0～18歳 (n=39)	92.3	7.7	17.9	0.0	2.6	25.6	7.7	0.0	7.7
	19～64歳 (n=42)	81.0	4.8	21.4	2.4	2.4	2.4	2.4	0.0	40.5
	65歳以上 (n=35)	80.0	2.9	8.6	5.7	0.0	2.9	11.4	0.0	17.1

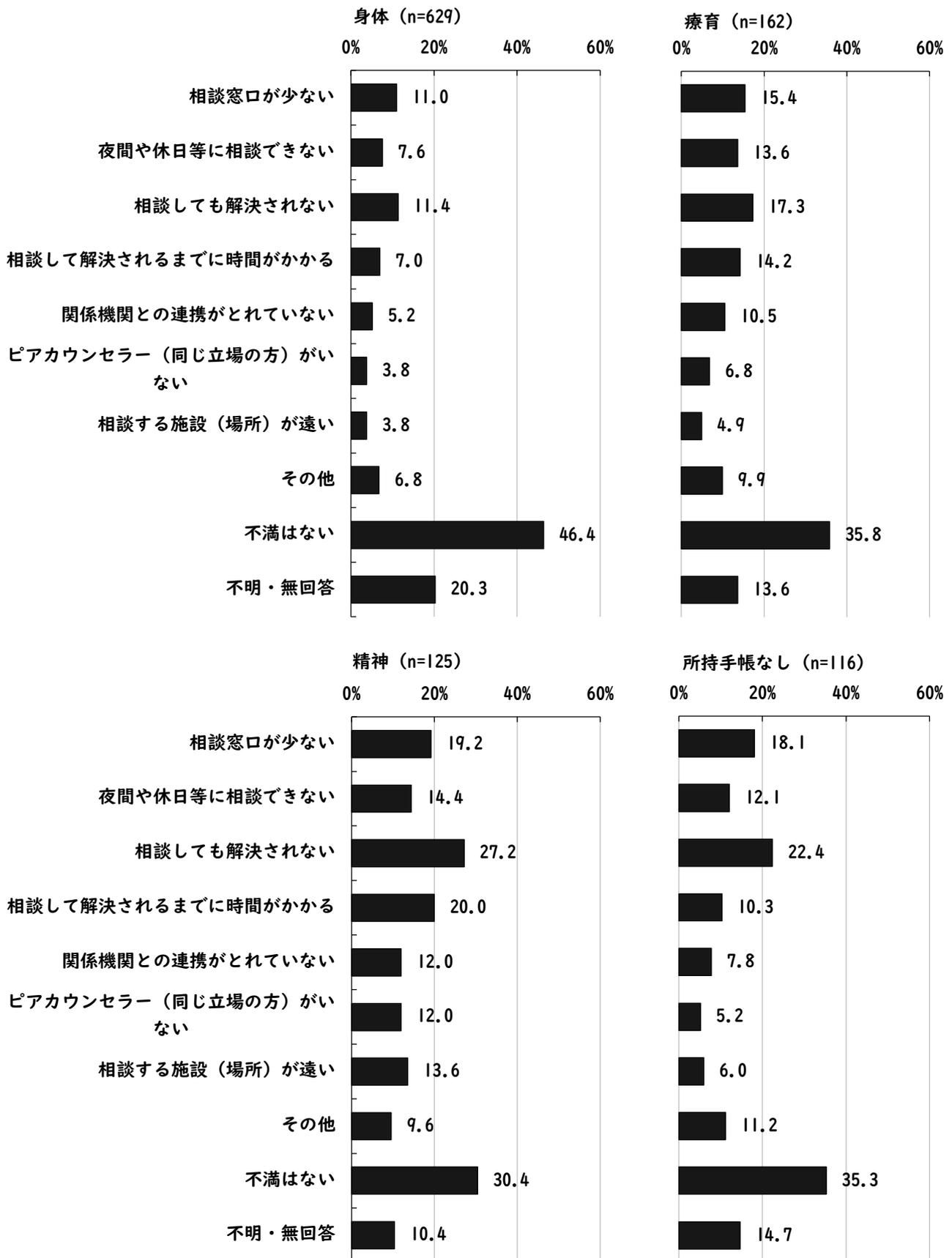
		病院の相談員やケアマネージャー	民生委員・児童委員	保育所、幼稚園、学校の先生	相談支援事業所等の人(相談窓口)	県・市等の行政機関の人(相談窓口)	社会福祉協議会の人	その他	誰もいない(どこに相談すればよいかわからない)	不明・無回答
身体	0～18歳 (n=15)	6.7	0.0	13.3	0.0	6.7	6.7	0.0	0.0	6.7
	19～64歳 (n=147)	5.4	2.0	1.4	1.4	4.1	4.1	7.5	2.7	2.7
	65歳以上 (n=457)	10.5	3.3	0.0	0.7	4.8	5.3	2.2	1.8	6.1
療育	0～18歳 (n=49)	2.0	0.0	36.7	6.1	6.1	2.0	6.1	4.1	4.1
	19～64歳 (n=90)	4.4	2.2	2.2	13.3	4.4	6.7	11.1	0.0	3.3
	65歳以上 (n=19)	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	26.3
精神	0～18歳 (n=7)	14.3	0.0	57.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=89)	9.0	0.0	0.0	7.9	4.5	5.6	4.5	7.9	0.0
	65歳以上 (n=24)	25.0	0.0	0.0	8.3	8.3	12.5	12.5	4.2	4.2
手帳なし	0～18歳 (n=39)	0.0	0.0	61.5	5.1	0.0	0.0	5.1	2.6	0.0
	19～64歳 (n=42)	11.9	2.4	2.4	0.0	4.8	0.0	9.5	2.4	2.4
	65歳以上 (n=35)	8.6	2.9	0.0	0.0	2.9	2.9	2.9	0.0	8.6

問 25 現在の障がい者支援に関する相談体制について、不満はありますか。
 (あてはまるものすべてに○)

障がい者支援に関する相談体制への不満では「不満はない」が41.6%と最も高く、次いで「相談しても解決されない」が15.3%、「相談窓口が少ない」が13.4%となっています。前回調査では「不満はない」が42.1%、次いで「相談しても解決されない」が13.7%、「相談窓口が少ない」が11.4%となっています。

所持手帳別にみると、どの手帳でも「不満はない」の割合が最も高く、【身体】では46.4%、【療育】では35.8%、【精神】では30.4%、【所持手帳なし】では35.3%となっています。





■ クロス集計：所持手帳別年齢3区分

所持手帳別年齢3区分でみると、【身体】のうち、【18歳以下】では「相談しても解決されない」「相談して解決されるまでに時間がかかる」がともに33.3%、【19～64歳】、【65歳以上】では「不満はない」がそれぞれ46.9%、47.0%となっています。

【療育】のいずれの年代でも「不満はない」の割合が最も高くなっており、【18歳以下】では34.7%、【19～64歳】では34.4%、【65歳以上】では42.1%となっています。

【精神】のうち、【18歳以下】、【19～64歳】では「相談しても解決されない」がそれぞれ57.1%、30.3%、【65歳以上】では「不満はない」が37.5%となっています。

【所持手帳なし】のいずれの年代でも「不満はない」の割合が最も高くなっており、【18歳以下】では38.5%、【19～64歳】では40.5%、【65歳以上】では25.7%となっています。

		相談窓口が少ない	夜間や休日等に相談できない	相談しても解決されない	相談して解決されるまでに時間がかかる	関係機関との連携がとれていない	ピアカウンセラー(同じ立場の方が)いない	相談する施設(場所)が遠い	その他	不満はない	不明・無回答
身体	0～18歳(n=15)	13.3	13.3	33.3	33.3	13.3	26.7	0.0	13.3	26.7	0.0
	19～64歳(n=147)	17.7	10.9	17.0	8.2	8.2	6.1	3.4	10.9	46.9	10.2
	65歳以上(n=457)	8.8	6.1	8.5	5.5	4.2	2.4	4.2	5.5	47.0	24.3
療育	0～18歳(n=49)	18.4	12.2	30.6	16.3	18.4	12.2	6.1	12.2	34.7	2.0
	19～64歳(n=90)	15.6	16.7	13.3	15.6	8.9	5.6	4.4	11.1	34.4	14.4
	65歳以上(n=19)	5.3	5.3	5.3	5.3	0.0	0.0	5.3	0.0	42.1	36.8
精神	0～18歳(n=7)	28.6	28.6	57.1	14.3	28.6	28.6	42.9	0.0	28.6	0.0
	19～64歳(n=89)	18.0	14.6	30.3	22.5	10.1	12.4	13.5	11.2	28.1	6.7
	65歳以上(n=24)	20.8	8.3	8.3	12.5	12.5	4.2	4.2	4.2	37.5	25.0
手帳なし	0～18歳(n=39)	17.9	7.7	33.3	10.3	15.4	7.7	2.6	15.4	38.5	0.0
	19～64歳(n=42)	14.3	19.0	21.4	11.9	2.4	2.4	9.5	4.8	40.5	9.5
	65歳以上(n=35)	22.9	8.6	11.4	8.6	5.7	5.7	5.7	14.3	25.7	37.1

■ クロス集計：相談先

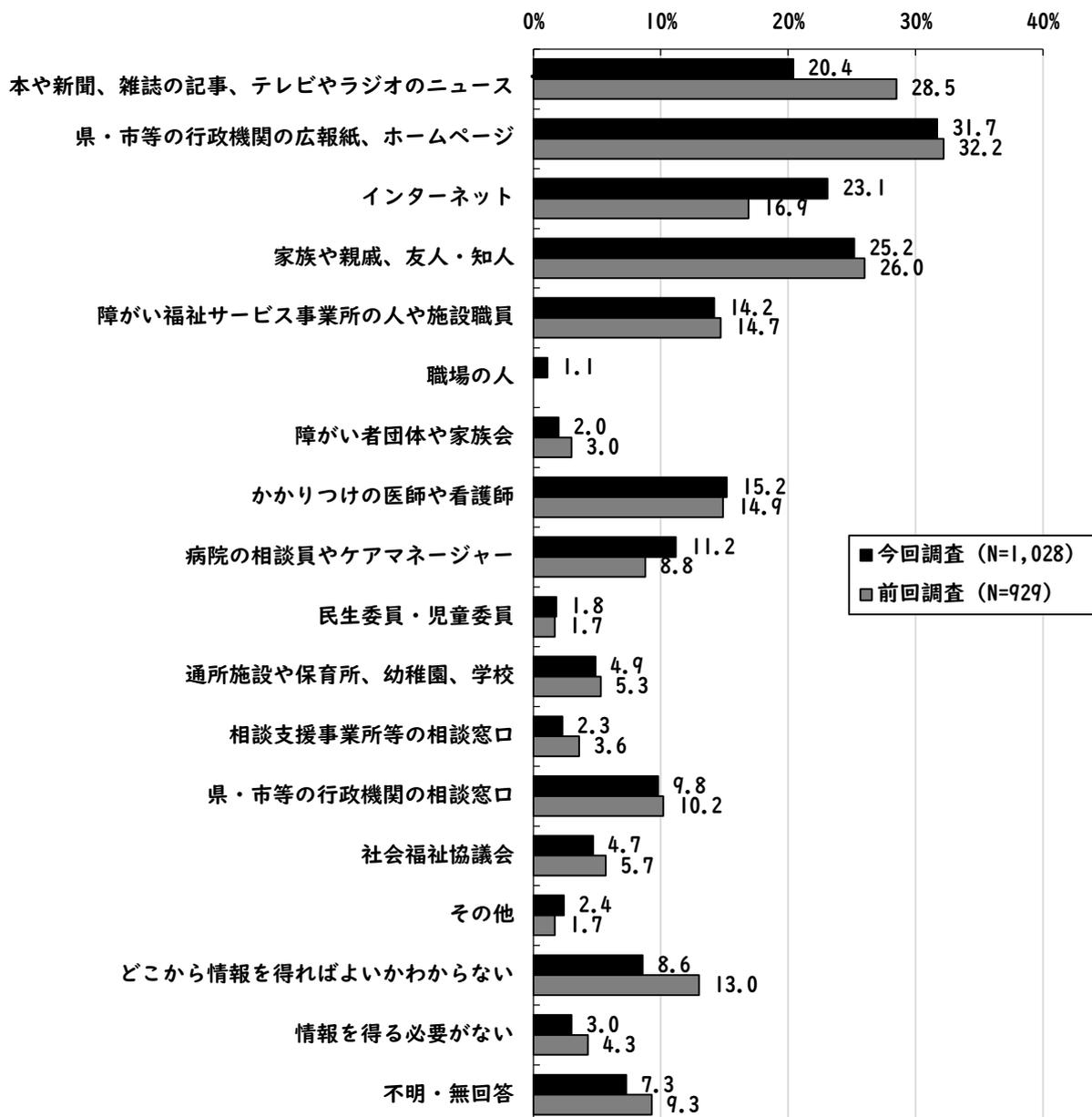
相談先別でみると、【家族】、【親戚】、【友人・知人】、【近所の人】、【施設の支援員等】、【ホームヘルパー等サービス事業所の人】、【障がい者団体や家族会の人】、【かかりつけの医師や看護師】、【病院の相談員やケアマネージャー】、【民生委員・児童委員】、【相談支援事業所等の人（相談窓口）】、【県・市等の行政機関の人（相談窓口）】では「不満はない」の割合が最も高く、それぞれ【家族】では43.9%、【親戚】では45.7%、【友人・知人】では43.1%、【近所の人】では38.7%、【施設の支援員等】では42.1%、【ホームヘルパー等サービス事業所の人】では30.1%、【障がい者団体や家族会の人】では37.5%、【かかりつけの医師や看護師】では41.8%、【病院の相談員やケアマネージャー】では38.8%、【民生委員・児童委員】では28.6%、【相談支援事業所等の人（相談窓口）】では32.3%、【県・市等の行政機関の人（相談窓口）】では27.3%となっています。【職場の上司や同僚】では「夜間や休日等に相談できない」「不満はない」がともに28.6%、【保育所、幼稚園、学校の先生】では「相談しても解決されない」が40.8%、【社会福祉協議会の人】では「夜間や休日等に相談できない」「不満はない」がともに26.1%となっています。

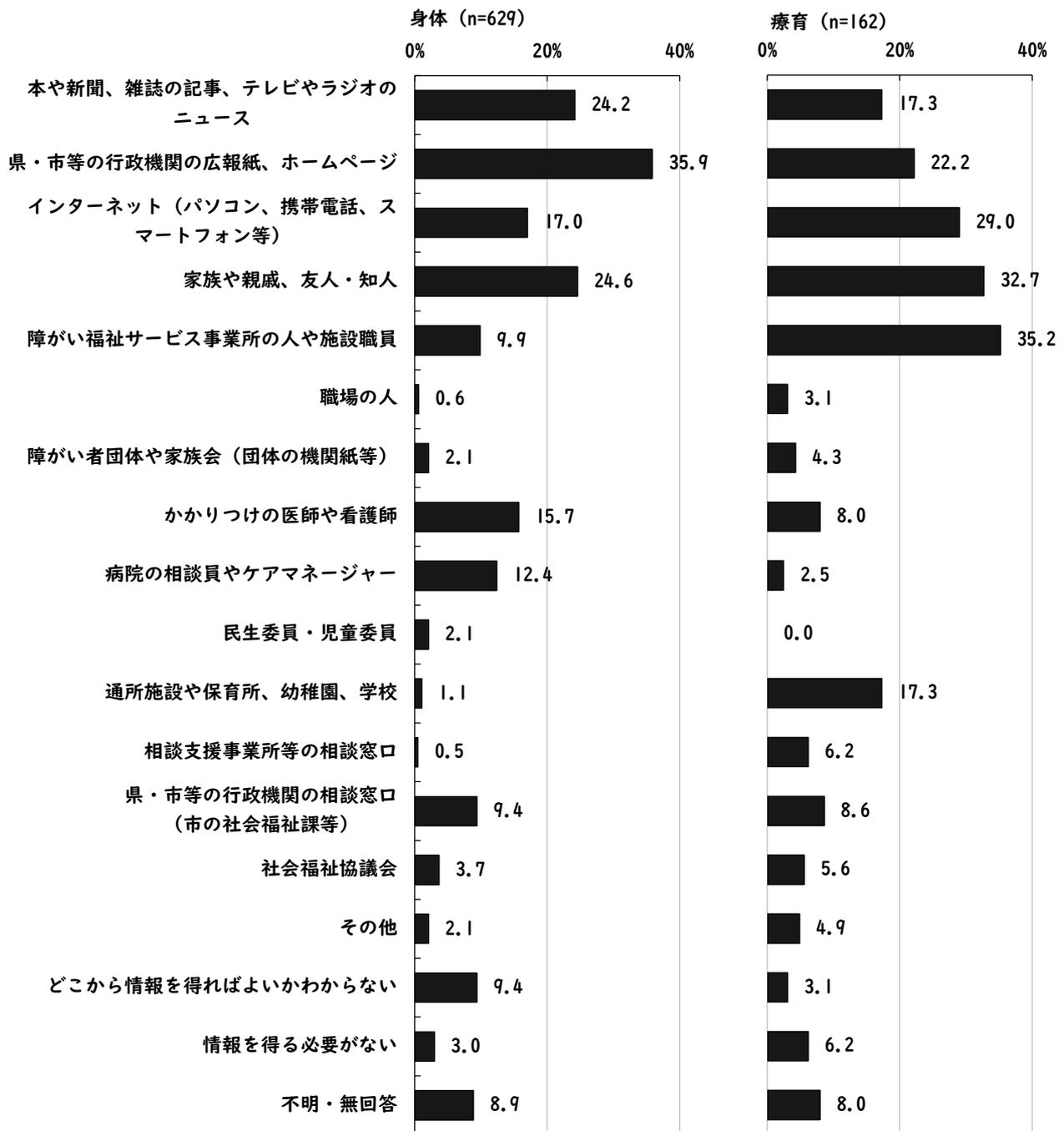
	相談窓口が少ない	夜間や休日等に相談できない	相談しても解決されない	相談して解決されるまでに時間がかかる	関係機関との連携がとれていない	ピアカウンセラー（同じ立場の方がいない）	相談する施設（場所）が遠い	その他	不満はない	不明・無回答
家族(n=798)	13.3	10.0	15.4	9.4	6.5	5.8	5.3	7.1	43.9	16.4
親戚(n=105)	13.3	10.5	11.4	7.6	6.7	6.7	8.6	5.7	45.7	17.1
友人・知人(n=167)	16.2	12.6	15.6	10.2	7.2	7.2	6.0	10.8	43.1	10.2
近所の人(n=31)	16.1	16.1	6.5	12.9	9.7	9.7	9.7	3.2	38.7	32.3
職場の上司や同僚(n=35)	20.0	28.6	25.7	8.6	2.9	11.4	5.7	2.9	28.6	14.3
施設の支援員等(n=114)	13.2	14.0	15.8	12.3	8.8	5.3	4.4	13.2	42.1	9.6
ホームヘルパー等サービス事業所の人(n=73)	19.2	21.9	19.2	15.1	11.0	9.6	5.5	12.3	30.1	15.1
障がい者団体や家族会の人(n=8)	0.0	25.0	12.5	25.0	12.5	12.5	0.0	0.0	37.5	12.5
かかりつけの医師や看護師(n=232)	14.2	12.5	16.8	9.9	5.6	5.2	6.0	7.8	41.8	15.1
病院の相談員やケアマネージャー(n=85)	12.9	15.3	18.8	12.9	10.6	4.7	7.1	7.1	38.8	15.3
民生委員・児童委員(n=21)	19.0	19.0	9.5	4.8	9.5	9.5	19.0	0.0	28.6	28.6
保育所、幼稚園、学校の先生(n=49)	22.4	14.3	40.8	16.3	18.4	6.1	6.1	10.2	34.7	0.0
相談支援事業所等の人(相談窓口)(n=31)	19.4	22.6	16.1	16.1	16.1	3.2	16.1	16.1	32.3	6.5
県・市等の行政機関の人(相談窓口)(n=44)	15.9	22.7	13.6	25.0	11.4	11.4	6.8	18.2	27.3	13.6
社会福祉協議会の人(n=46)	23.9	26.1	19.6	21.7	8.7	13.0	13.0	4.3	26.1	19.6

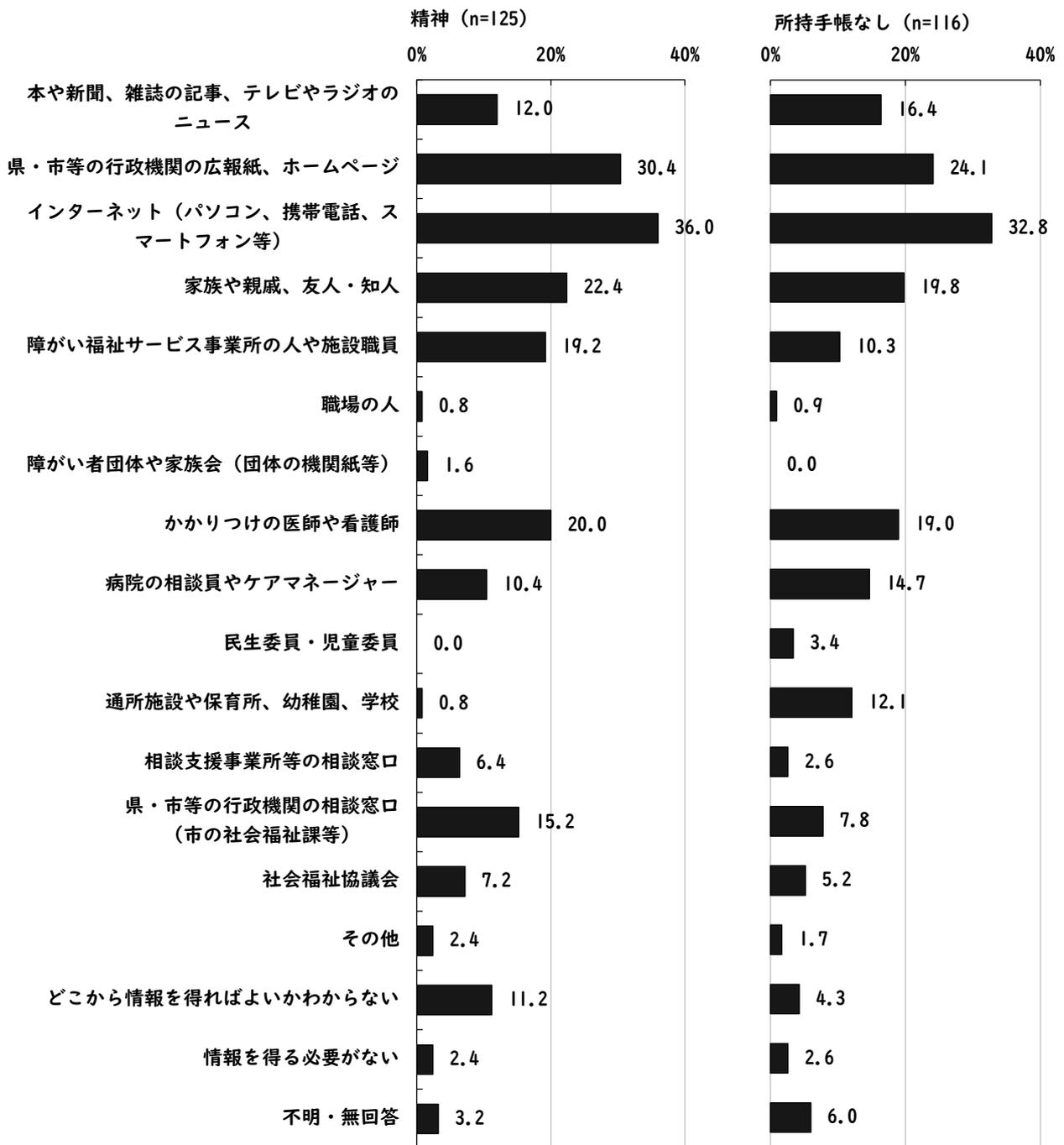
問 26 障がいのことや福祉サービス等に関する情報を、どこから知ることが多いですか。
(あてはまるものすべてに○)

障がいや福祉サービスに関する情報の入手先では「県・市等の行政機関の広報紙、ホームページ」が31.7%と最も高く、次いで「家族や親戚、友人・知人」が25.2%、「インターネット（パソコン、携帯電話、スマートフォン等）」が23.1%となっています。前回調査では「県・市等の行政機関の広報紙、ホームページ」が32.2%と最も高く、次いで「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」が28.5%、「家族や親戚、友人・知人」が26.0%となっています。

所持手帳別にみると【身体】では「県・市等の行政機関の広報紙、ホームページ」が35.9%、【療育】では「障がい福祉サービス事業所の人や施設職員」が35.2%、【精神】では「インターネット（パソコン、携帯電話、スマートフォン等）」が36.0%、【所持手帳なし】では「インターネット（パソコン、携帯電話、スマートフォン等）」が32.8%となっています。







■ クロス集計：所持手帳別年齢3区分

所持手帳別年齢3区分でみると、【身体】のうち、【18歳以下】では「インターネット（パソコン、携帯電話、スマートフォン）」「家族や親戚、友人・知人」がともに33.3%、【19～64歳】では「インターネット（パソコン、携帯電話、スマートフォン）」が34.7%、【65歳以上】では「県・市等の行政機関の広報紙、ホームページ」が38.5%となっています。

【療育】のうち、【18歳以下】では「インターネット（パソコン、携帯電話、スマートフォン）」が49.0%、【19～64歳】、【65歳以上】では「障がい福祉サービス事業所の人や施設職員」がそれぞれ38.9%、31.6%となっています。

【精神】のうち、【18歳以下】では「県・市等の行政機関の広報紙、ホームページ」が57.1%、【19～64歳】では「インターネット（パソコン、携帯電話、スマートフォン）」が43.8%、【65歳以上】では「障がい福祉サービス事業所の人や施設職員」「県・市等の行政機関の相談窓口（市の社会福祉課等）」がともに25.0%となっています。

【所持手帳なし】のうち、【18歳以下】、【19～64歳】では「インターネット（パソコン、携帯電話、スマートフォン）」がそれぞれ43.6%、45.2%、【65歳以上】では「県・市等の行政機関の広報紙、ホームページ」「病院の相談員やケアマネージャー」がともに31.4%となっています。

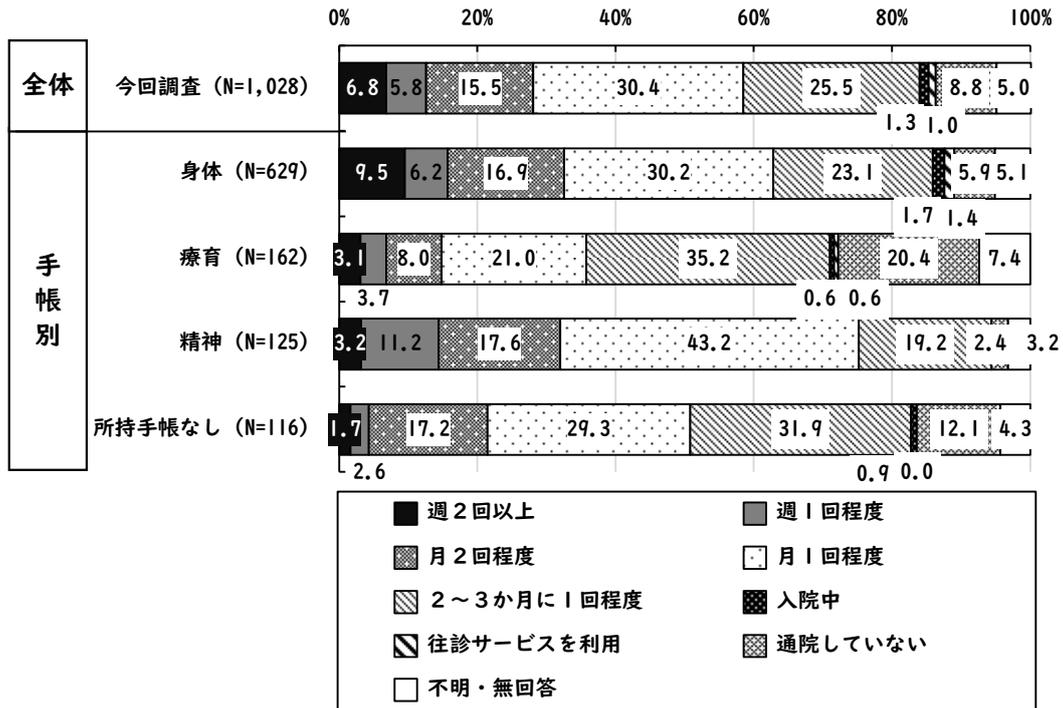
		本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース	県・市等の行政機関の広報紙、ホームページ	インターネット（パソコン、携帯電話、スマートフォン等）	家族や親戚、友人・知人	障がい福祉サービス事業所の人や施設職員	職場の人	障がい者団体や家族会（団体の機関紙等）	かかりつけの医師や看護師	病院の相談員やケアマネージャー
身体	0～18歳(n=15)	0.0	13.3	33.3	33.3	20.0	0.0	6.7	13.3	20.0
	19～64歳(n=147)	17.0	31.3	34.7	16.3	15.0	2.0	2.0	10.2	8.8
	65歳以上(n=457)	27.4	38.5	10.9	26.9	7.9	0.2	2.0	17.9	13.3
療育	0～18歳(n=49)	18.4	24.5	49.0	36.7	30.6	2.0	0.0	12.2	2.0
	19～64歳(n=90)	16.7	21.1	24.4	35.6	38.9	4.4	7.8	4.4	2.2
	65歳以上(n=19)	15.8	21.1	5.3	15.8	31.6	0.0	0.0	15.8	5.3
精神	0～18歳(n=7)	0.0	57.1	28.6	42.9	28.6	0.0	0.0	14.3	0.0
	19～64歳(n=89)	12.4	33.7	43.8	20.2	18.0	1.1	1.1	23.6	10.1
	65歳以上(n=24)	8.3	12.5	8.3	20.8	25.0	0.0	4.2	12.5	12.5
手帳なし	0～18歳(n=39)	5.1	15.4	43.6	33.3	20.5	0.0	0.0	7.7	0.0
	19～64歳(n=42)	21.4	26.2	45.2	14.3	2.4	0.0	0.0	40.5	14.3
		民生委員・児童委員	通所施設や保育所、幼稚園、学校	相談支援事業所等の相談窓口	県・市等の行政機関の相談窓口（市の社会福祉課等）	社会福祉協議会	その他	どこから情報を得ればよいかわからない	情報を得る必要がない	不明・無回答
身体	0～18歳(n=15)	0.0	13.3	0.0	0.0	0.0	6.7	6.7	0.0	0.0
	19～64歳(n=147)	0.7	0.7	1.4	8.8	4.8	3.4	11.6	2.7	5.4
	65歳以上(n=457)	2.6	0.9	0.2	10.1	3.5	1.5	9.0	3.1	10.1
療育	0～18歳(n=49)	0.0	34.7	10.2	6.1	2.0	0.0	4.1	6.1	0.0
	19～64歳(n=90)	0.0	11.1	5.6	12.2	7.8	8.9	3.3	3.3	7.8
	65歳以上(n=19)	0.0	5.3	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	15.8	26.3
精神	0～18歳(n=7)	0.0	0.0	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳(n=89)	0.0	0.0	6.7	12.4	6.7	3.4	14.6	1.1	1.1
	65歳以上(n=24)	0.0	4.2	0.0	25.0	8.3	0.0	4.2	4.2	12.5
手帳なし	0～18歳(n=39)	2.6	35.9	5.1	7.7	7.7	2.6	5.1	2.6	2.6
	19～64歳(n=42)	2.4	0.0	2.4	7.1	2.4	2.4	2.4	4.8	4.8
	65歳以上(n=35)	5.7	0.0	0.0	8.6	5.7	0.0	5.7	0.0	11.4

6 医療について

問 27 現在、医療機関に通院していますか。それはどのくらいの頻度ですか。(○は1つだけ)

医療機関への通院の有無では「月1回程度」が30.4%と最も高く、次いで「2～3か月に1回程度」が25.5%、「月2回程度」が15.5%となっています。

所持手帳別にみると【身体】では「月1回程度」が30.2%、【療育】では「2～3か月に1回程度」が35.2%、【精神】では「月1回程度」が43.2%、【所持手帳なし】では「2～3か月に1回程度」が31.9%となっています。



■ クロス集計：所持手帳別年齢3区分

所持手帳別年齢3区分でみると、【身体】のうち、【18歳以下】では「月2回程度」が33.3%、【19～64歳】、【65歳以上】では「月1回程度」がそれぞれ32.0%、30.2%となっています。

【療育】のうち、【18歳以下】、【19～64歳】では「2～3か月に1回程度」がそれぞれ49.0%、32.2%、【65歳以上】では「月1回程度」が26.3%となっています。

【精神】のうち、【18歳以下】では「2～3か月に1回程度」が71.4%、【19～64歳】、【65歳以上】では「月1回程度」がそれぞれ48.3%、29.2%となっています。

【所持手帳なし】のうち、【18歳以下】では「2～3か月に1回程度」が51.3%、【19～64歳】、【65歳以上】では「月1回程度」がそれぞれ38.1%、40.0%となっています。

		週2回以上	週1回程度	月2回程度	月1回程度	2～3か月に1回程度	入院中	往診サービスを利用	通院していない	不明・無回答
身体	0～18歳 (n=15)	0.0	6.7	33.3	13.3	26.7	0.0	0.0	20.0	0.0
	19～64歳 (n=147)	9.5	2.7	12.2	32.0	29.3	1.4	0.0	6.8	6.1
	65歳以上 (n=457)	9.6	7.0	17.9	30.2	21.2	2.0	2.0	5.0	5.0
療育	0～18歳 (n=49)	0.0	4.1	4.1	12.2	49.0	0.0	0.0	26.5	4.1
	19～64歳 (n=90)	3.3	2.2	10.0	25.6	32.2	1.1	0.0	17.8	7.8
	65歳以上 (n=19)	10.5	5.3	10.5	26.3	15.8	0.0	5.3	15.8	10.5
精神	0～18歳 (n=7)	0.0	0.0	14.3	14.3	71.4	0.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=89)	2.2	11.2	15.7	48.3	18.0	0.0	0.0	2.2	2.2
	65歳以上 (n=24)	8.3	12.5	25.0	29.2	12.5	0.0	0.0	4.2	8.3
手帳なし	0～18歳 (n=39)	0.0	0.0	2.6	10.3	51.3	0.0	0.0	30.8	5.1
	19～64歳 (n=42)	2.4	2.4	31.0	38.1	19.0	2.4	0.0	0.0	4.8
	65歳以上 (n=35)	2.9	5.7	17.1	40.0	25.7	0.0	0.0	5.7	2.9

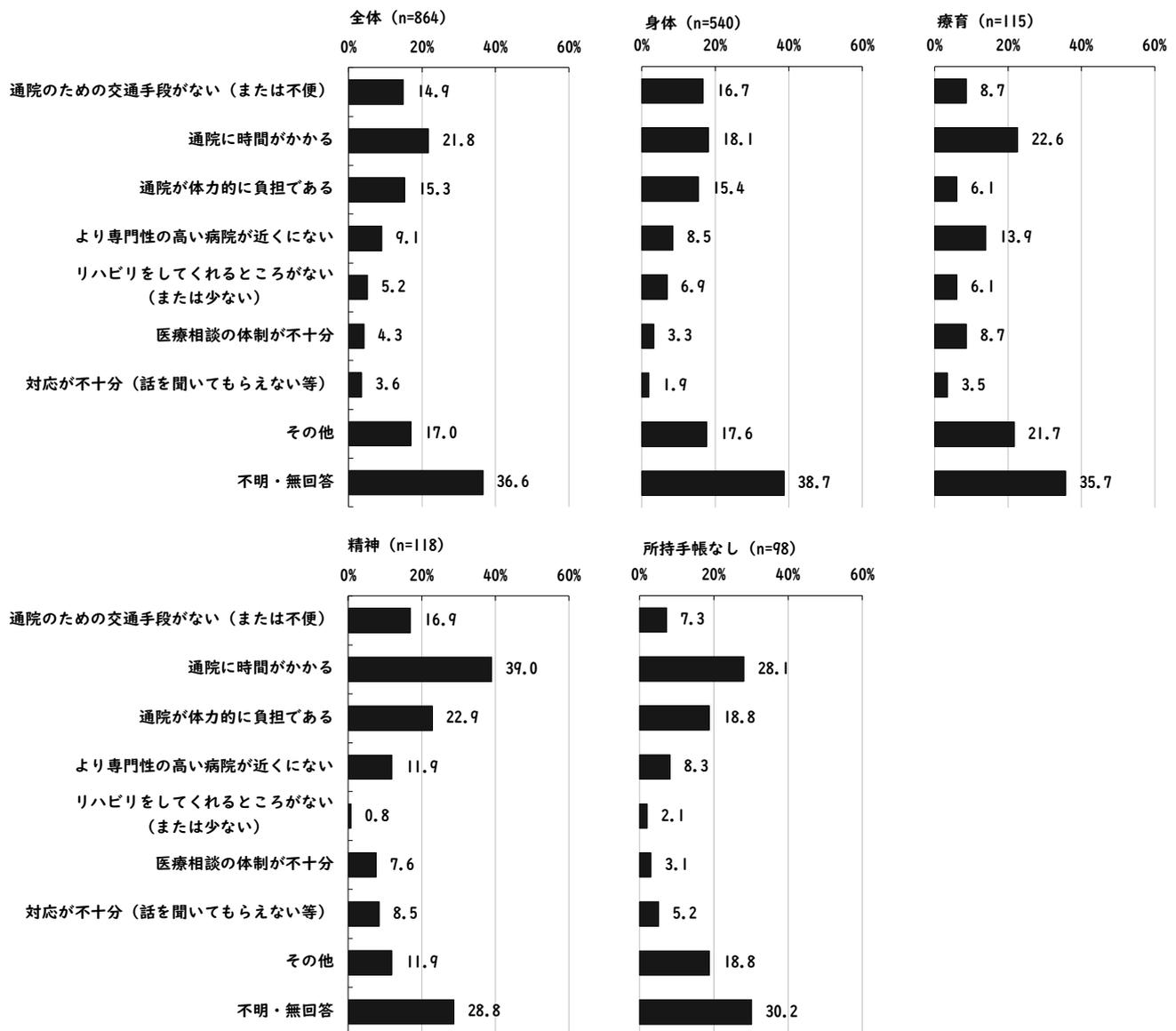
問 28 【問 27 で「1. 週 2 回以上」から「5. 2～3 か月に 1 回程度」までのいずれかに○
をつけた方にお聞きします。】

通院していて、または通院しようとして困っていることはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

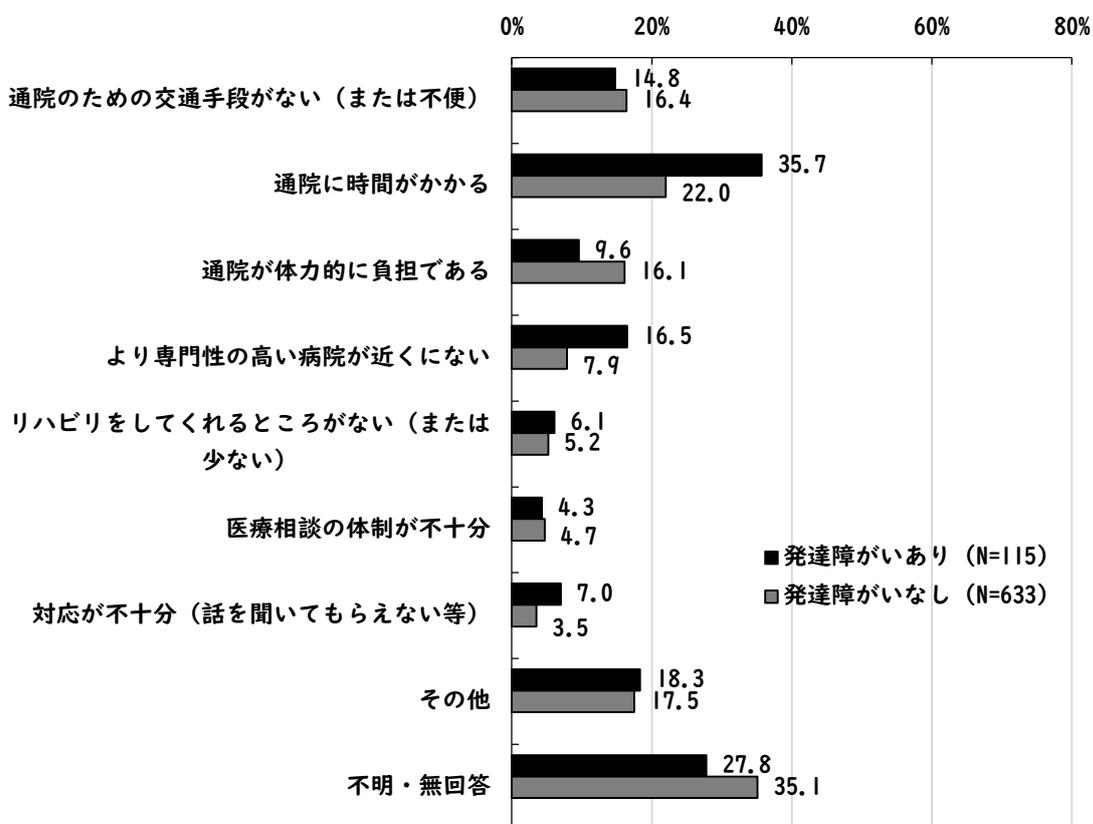
通院時の困りごとでは「通院に時間がかかる」が 21.8% と最も高く、次いで「通院が体力的に負担である」が 15.3%、「通院のための交通手段がない (または不便)」が 14.9% となっています。

所持手帳別にみると、どの手帳でも「通院に時間がかかる」の割合が最も高く、【身体】では 18.1%、【療育】では 22.6%、【精神】では 39.0%、【所持手帳なし】では 28.1% となっています。



■ クロス集計：発達障がいの有無

発達障がいの有無別で見ると、【発達障がいあり】、【発達障がいなし】ともに「通院に時間がかかる」の割合が高く、それぞれ 35.7%、22.0%となっています。



■ クロス集計：所持手帳別年齢3区分

所持手帳別年齢3区分でみると、【身体】のうち、【18歳以下】では「通院のための交通手段がない（または不便）」「通院に時間がかかる」がともに33.3%、【19～64歳】では「通院に時間がかかる」が26.2%、【65歳以上】では「通院のための交通手段がない（または不便）」が16.5%となっています。

【療育】のうち、【18歳以下】、【19～64歳】では「通院に時間がかかる」がそれぞれ23.5%、27.3%、【65歳以上】では「その他」が30.8%となっています。

【精神】のうち、【18歳以下】、【19～64歳】では「通院に時間がかかる」がそれぞれ42.9%、44.7%、【65歳以上】では「通院のための交通手段がない（または不便）」「通院に時間がかかる」「通院が体力的に負担である」がそれぞれ14.3%となっています。

【所持手帳なし】のうち、【18歳以下】、【19～64歳】では「通院に時間がかかる」が44.0%、28.2%、【65歳以上】では「通院が体力的に負担である」が25.0%となっています。

		通院のための交通手段がない(または不便)	通院に時間がかかる	通院が体力的に負担である	より専門性の高い病院が近くにない	リハビリをしてくれるところがない(または少ない)	医療相談の体制が不十分	対応が不十分(話を聞いてもらえない等)	その他	不明・無回答
身体	0～18歳(n=12)	33.3	33.3	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	8.3	33.3
	19～64歳(n=126)	16.7	26.2	11.1	11.9	10.3	3.2	3.2	23.0	30.2
	65歳以上(n=393)	16.5	14.5	16.3	7.6	5.1	3.6	1.5	16.5	42.0
療育	0～18歳(n=34)	5.9	23.5	0.0	20.6	5.9	8.8	2.9	14.7	41.2
	19～64歳(n=66)	9.1	27.3	9.1	13.6	7.6	9.1	4.5	24.2	30.3
	65歳以上(n=13)	7.7	0.0	7.7	0.0	0.0	7.7	0.0	30.8	46.2
精神	0～18歳(n=7)	28.6	42.9	0.0	14.3	0.0	14.3	14.3	14.3	14.3
	19～64歳(n=85)	17.6	44.7	27.1	12.9	1.2	7.1	8.2	12.9	27.1
	65歳以上(n=21)	14.3	14.3	14.3	4.8	0.0	4.8	4.8	4.8	38.1
手帳なし	0～18歳(n=25)	8.0	44.0	0.0	16.0	8.0	4.0	0.0	16.0	24.0
	19～64歳(n=39)	10.3	28.2	25.6	7.7	0.0	5.1	7.7	25.6	20.5
	65歳以上(n=32)	3.1	15.6	25.0	3.1	0.0	0.0	6.3	12.5	46.9

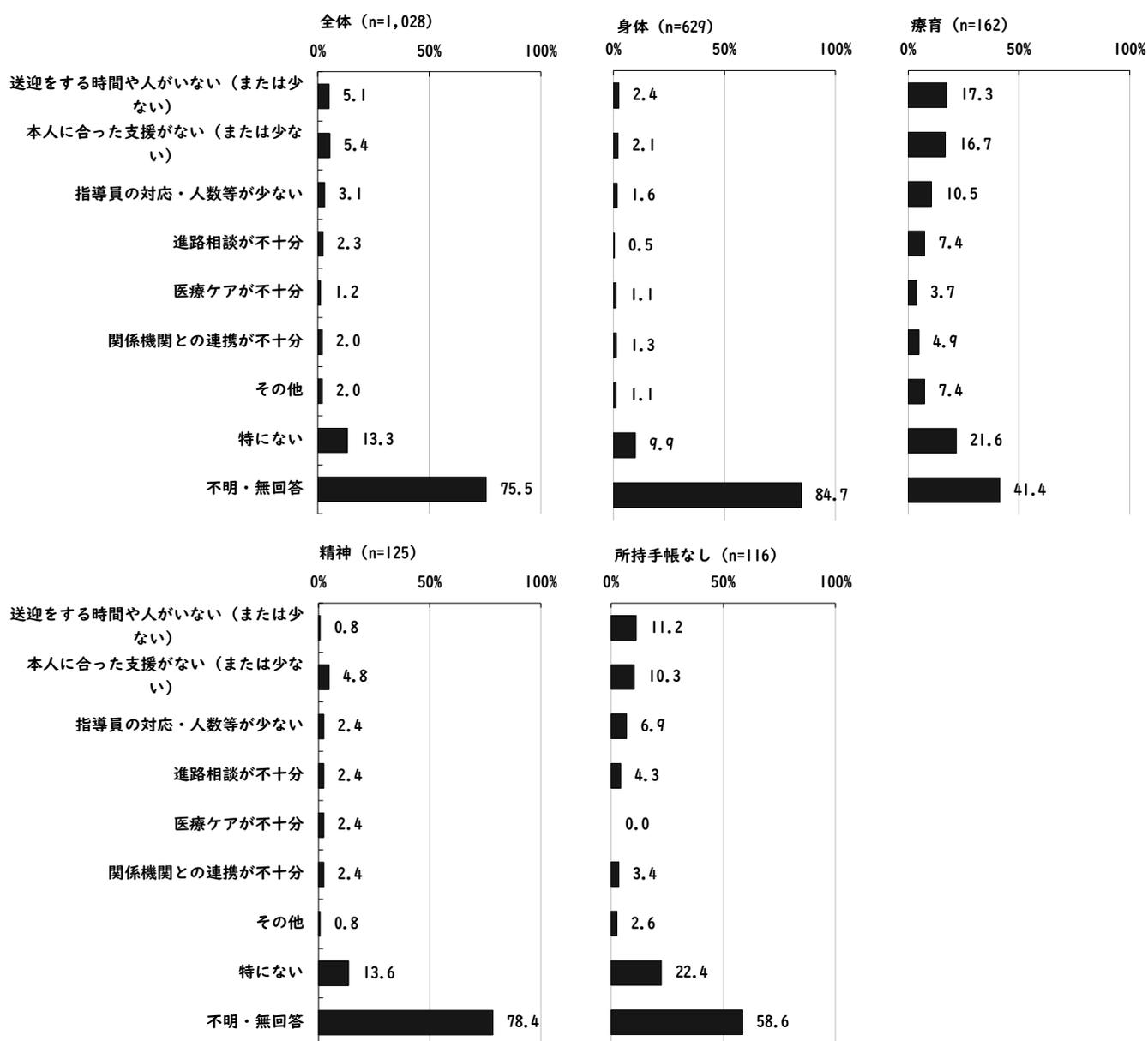
7 療育・教育について

問29 【障がい児通所施設等（療育）に通所している方や、これまでに通所していた方にお聞きします。】

障がい児の療育（障がい児通所施設等）で困っていることはありますか（困ったことはありましたか）。（あてはまるものすべてに○）

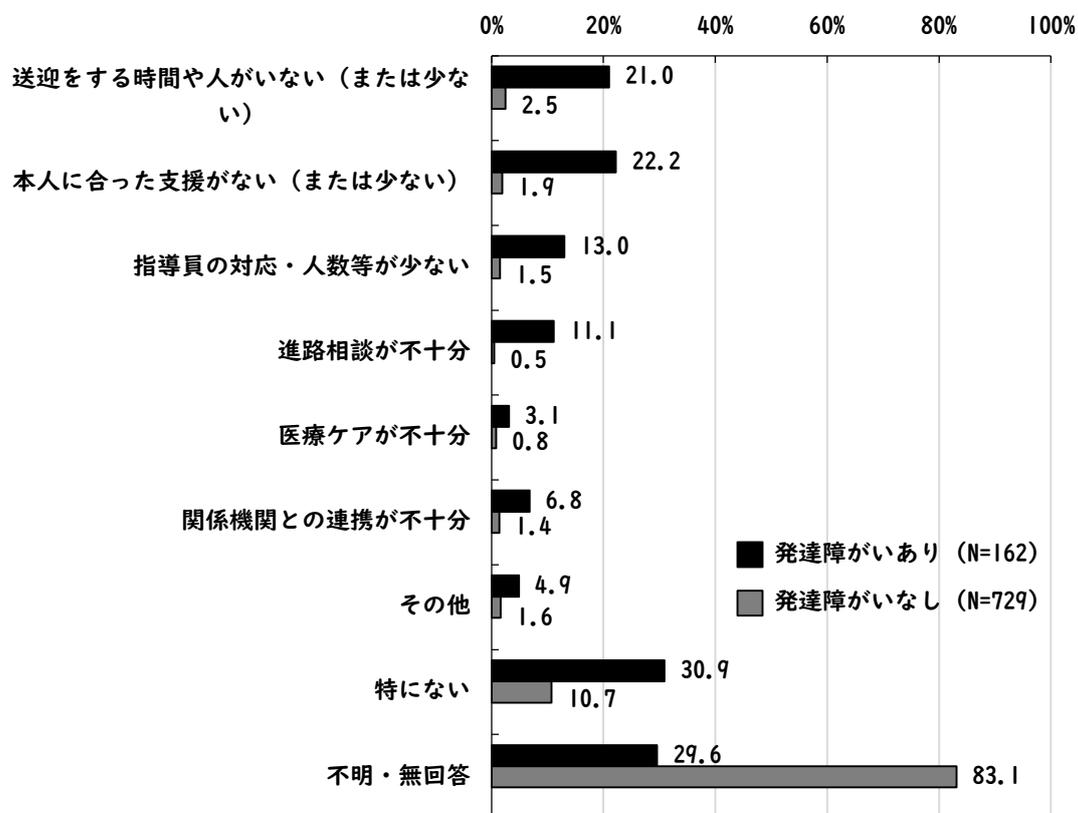
療育での困りごとでは「特にない」が13.3%と最も高く、次いで「本人に合った支援がない（または少ない）」が5.4%、「送迎をする時間や人がいない（または少ない）」が5.1%となっています。

所持手帳別にみると、どの手帳でも「特にない」の割合が最も高く、【身体】では9.9%、【療育】では21.6%、【精神】では13.6%、【所持手帳なし】では22.4%となっています。



■ クロス集計：発達障がいの有無

発達障がいの有無別で見ると、【発達障がいあり】、【発達障がいなし】ともに「特になし」の割合が最も高く、それぞれ 30.9%、10.7%となっています。



■ クロス集計：所持手帳別年齢3区分、年代別

所持手帳別年齢3区分で見ると、【身体】のいずれの年代でも「特にない」の割合が最も高く、【18歳以下】では40.0%、【19～64歳】では12.9%、【65歳以上】では7.7%となっています。

【療育】のうち、【18歳以下】では「送迎をする時間や人がいない（または少ない）」が30.6%、【19～64歳】、【65歳以上】では「特にない」がそれぞれ17.8%、15.8%となっています。

【精神】のうち、【18歳以下】では「本人に合った支援がない（または少ない）」が71.4%、【19～64歳】、【65歳以上】では「特にない」がそれぞれ12.4%、8.3%となっています。

【所持手帳なし】のいずれの年代でも「特にない」の割合が最も高く、【18歳以下】では41.0%、【19～64歳】では19.0%、【65歳以上】では5.7%となっています。

		送迎をする時間や人がいない(または少ない)	本人に合った支援がない(または少ない)	指導員の対応・人数等が少ない	進路相談が不十分	医療ケアが不十分	関係機関との連携が不十分	その他	特にない	不明・無回答
身体	0～18歳 (n=15)	20.0	20.0	20.0	6.7	6.7	13.3	13.3	40.0	20.0
	19～64歳 (n=147)	4.1	4.8	4.1	0.7	3.4	2.0	2.7	12.9	76.2
	65歳以上 (n=457)	1.1	0.7	0.2	0.2	0.2	0.7	0.2	7.7	89.9
療育	0～18歳 (n=49)	30.6	24.5	12.2	18.4	4.1	10.2	14.3	28.6	8.2
	19～64歳 (n=90)	14.4	15.6	12.2	3.3	4.4	3.3	5.6	17.8	51.1
	65歳以上 (n=19)	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.8	78.9
精神	0～18歳 (n=7)	0.0	71.4	28.6	42.9	14.3	14.3	0.0	28.6	0.0
	19～64歳 (n=89)	1.1	0.0	1.1	0.0	1.1	2.2	0.0	12.4	84.3
	65歳以上 (n=24)	0.0	4.2	0.0	0.0	4.2	0.0	4.2	8.3	83.3
手帳なし	0～18歳 (n=39)	28.2	30.8	17.9	12.8	0.0	10.3	7.7	41.0	7.7
	19～64歳 (n=42)	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	19.0	78.6
	65歳以上 (n=35)	2.9	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	5.7	91.4

■ クロス集計：年代別

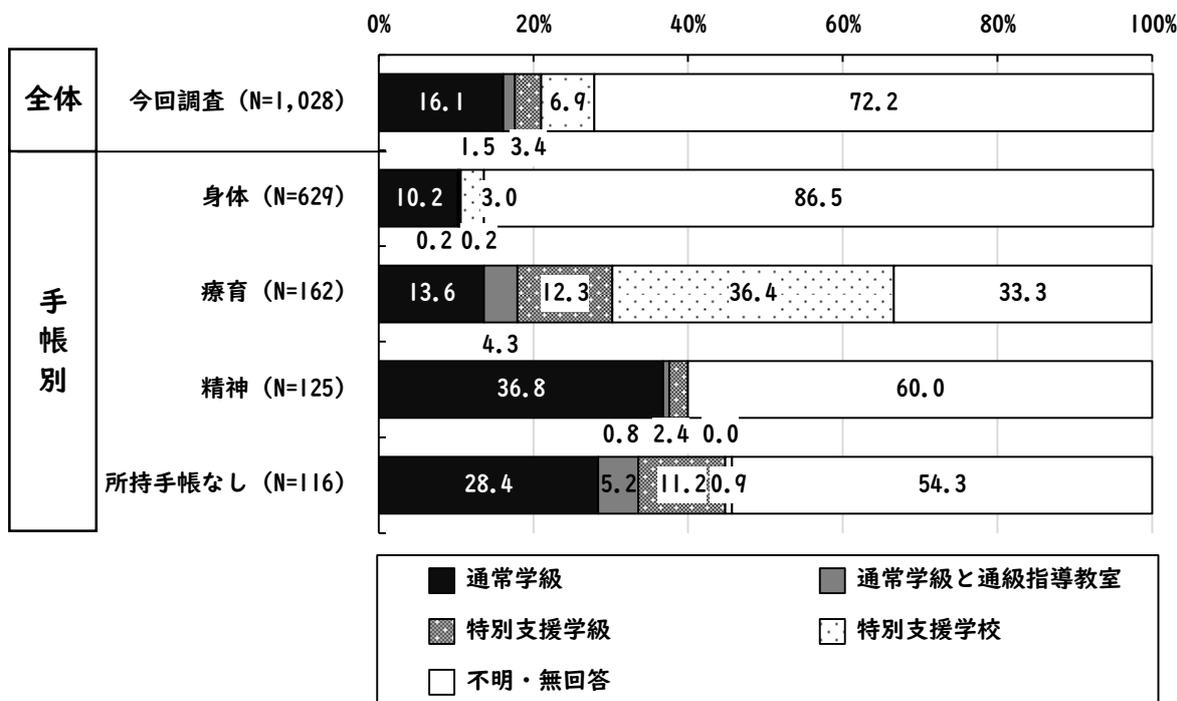
年代別で見ると、【10歳未満】では「送迎をする時間や人がいない（または少ない）」が37.0%、【10歳代】～【90歳以上】では「特にない」の割合が最も高く、【10歳代】では33.3%、【20歳代】では27.3%、【30歳代】では18.0%、【40歳代】では13.3%、【50歳代】では13.8%、【60歳代】では10.9%、【70歳代】では4.3%、【80歳代】では7.3%、【90歳以上】では16.1%となっています。

	送迎をする時間や人がいない(または少ない)	本人に合った支援がない(または少ない)	指導員の対応・人数等が少ない	進路相談が不十分	医療ケアが不十分	関係機関との連携が不十分	その他	特にない	不明・無回答
10歳未満 (n=54)	37.0	33.3	22.2	14.8	3.7	18.5	13.0	33.3	5.6
10歳代 (n=54)	18.5	24.1	13.0	18.5	3.7	5.6	9.3	33.3	14.8
20歳代 (n=55)	14.5	18.2	12.7	0.0	0.0	0.0	7.3	27.3	43.6
30歳代 (n=61)	3.3	4.9	4.9	4.9	3.3	1.6	0.0	18.0	73.8
40歳代 (n=75)	2.7	1.3	1.3	0.0	1.3	1.3	2.7	13.3	80.0
50歳代 (n=94)	3.2	2.1	0.0	0.0	1.1	3.2	1.1	13.8	77.7
60歳代 (n=138)	0.0	1.4	0.0	0.0	1.4	0.0	0.7	10.9	86.2
70歳代 (n=209)	1.9	1.4	0.5	0.5	0.0	0.5	0.5	4.3	91.4
80歳代 (n=193)	1.0	0.5	0.5	0.0	0.5	1.0	0.0	7.3	90.7
90歳以上 (n=56)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.1	83.9

問 30 【学校に通学している方や、これまでに通学していた方にお聞きします。】
現在受けている学校教育（最終の学校教育）は何ですか。（○は1つだけ）

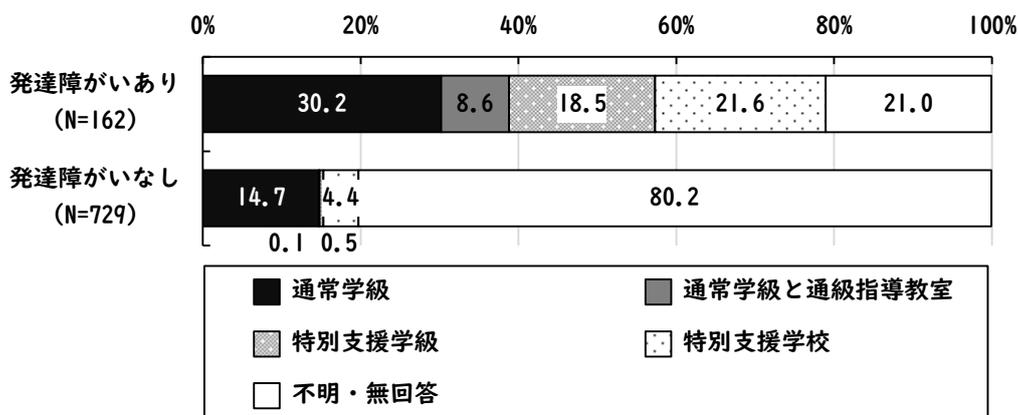
現在受けている学校教育（最終の学級教育）では「通常学級」が16.1%と最も高く、次いで「特別支援学校」が6.9%、「特別支援学級」が3.4%となっています。

所持手帳別にみると【身体】、【精神】、【所持手帳なし】では「通常学級」の割合が最も高く、それぞれ10.2%、36.8%、28.4%、【療育】では「特別支援学校」が36.4%となっています。



■ クロス集計：発達障がいの有無

発達障がいの有無別でみると、【発達障がいあり】、【発達障がいなし】ともに「通常学級」の割合が最も高く、それぞれ30.2%、14.7%となっています。



■ クロス集計：所持手帳別年齢3区分

所持手帳別年齢3区分でみると、【身体】のいずれの年代でも「通常学級」の割合が最も高く、【18歳以下】では46.7%、【19～64歳】では21.8%、【65歳以上】では5.0%となっています。

【療育】のうち、【18歳以下】では「特別支援学級」が34.7%、【19～64歳】、【65歳以上】では「特別支援学校」がそれぞれ47.8%、15.8%となっています。

【精神】のうち、【18歳以下】では「通常学級」「特別支援学級」がともに42.9%、【19～64歳】、【65歳以上】では「通常学級」がそれぞれ44.9%、4.2%となっています。

【所持手帳なし】のうち、【18歳以下】では「特別支援学級」が30.8%、【19～64歳】、【65歳以上】では「通常学級」がそれぞれ47.6%、5.7%となっています。

		通常学級	通常学級と通級指導教室	特別支援学級	特別支援学校	不明・無回答
身体	0～18歳 (n=15)	46.7	6.7	6.7	13.3	26.7
	19～64歳 (n=147)	21.8	0.0	0.0	10.9	67.3
	65歳以上 (n=457)	5.0	0.0	0.0	0.2	94.7
療育	0～18歳 (n=49)	20.4	8.2	34.7	22.4	14.3
	19～64歳 (n=90)	13.3	2.2	2.2	47.8	34.4
	65歳以上 (n=19)	0.0	5.3	5.3	15.8	73.7
精神	0～18歳 (n=7)	42.9	0.0	42.9	0.0	14.3
	19～64歳 (n=89)	44.9	1.1	0.0	0.0	53.9
	65歳以上 (n=24)	4.2	0.0	0.0	0.0	95.8
手帳なし	0～18歳 (n=39)	28.2	15.4	30.8	0.0	25.6
	19～64歳 (n=42)	47.6	0.0	2.4	2.4	47.6
	65歳以上 (n=35)	5.7	0.0	0.0	0.0	94.3

■ クロス集計：学校教育での困りごと

学校教育での困りごと別でみると、【通学時の付き添いが難しい】では「特別支援学校」が29.6%、

【友人との関係づくりが難しい】、【本人に合った特別支援教育が不十分】、【通常学級への受入れが難しい】、【進路相談が不十分】、【医療ケアが不十分】、【関係機関との連携が不十分】、【その他】、【特にない】では「通常学級」の割合が最も高く、それぞれ【友人との関係づくりが難しい】では48.5%、【本人に合った特別支援教育が不十分】では34.6%、【通常学級への受入れが難しい】では40.0%、【進路相談が不十分】では50.0%、【医療ケアが不十分】では58.8%、【関係機関との連携が不十分】では50.0%、【その他】では69.6%、【特にない】では61.3%、【指導員の対応・人数等が少ない】では「特別支援学級」が36.1%となっています。

	通常学級	通常学級と通級指導教室	特別支援学級	特別支援学校	不明・無回答
通学時の付き添いが難しい(n=27)	18.5	18.5	25.9	29.6	7.4
友人との関係づくりが難しい(n=99)	48.5	12.1	19.2	17.2	3.0
本人に合った特別支援教育が不十分(n=52)	34.6	15.4	21.2	25.0	3.8
指導員の対応・人数等が少ない(n=36)	19.4	13.9	36.1	25.0	5.6
通常学級への受入れが難しい(n=10)	40.0	10.0	20.0	20.0	10.0
進路相談が不十分(n=38)	50.0	5.3	18.4	21.1	5.3
医療ケアが不十分(n=17)	58.8	5.9	5.9	29.4	0.0
関係機関との連携が不十分(n=24)	50.0	4.2	12.5	29.2	4.2
その他(n=23)	69.6	8.7	8.7	8.7	4.3
特にない(n=119)	61.3	1.7	5.9	20.2	10.9

■ クロス集計：望ましい就学環境

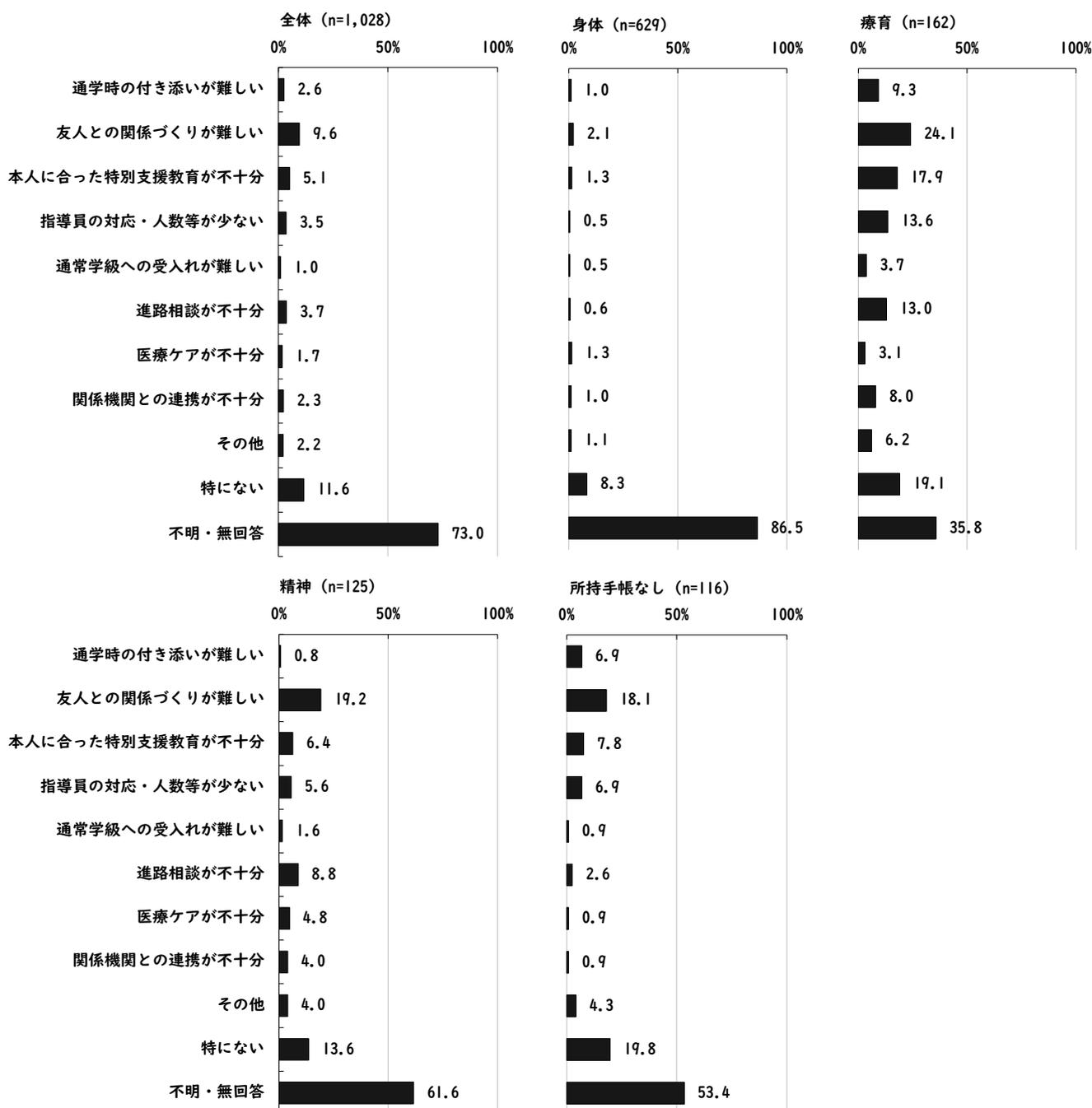
望ましい就学環境別でみると、【地域の学校の通常学級で、本人の状況に応じた教育や支援が受けられる環境】では「通常学級」が78.5%、【地域の学校の特別支援学級で、本人の状況に応じた教育や支援が受けられる環境】では「特別支援学級」が38.2%、【特別支援学校（養護学校）で、本人の状況に応じた教育や支援が受けられる環境】では「特別支援学校」が79.6%となっています。

	通常学級	通常学級と通級指導教室	特別支援学級	特別支援学校	不明・無回答
地域の学校の通常学級で、本人の状況に応じた教育や支援が受けられる環境(n=135)	78.5	7.4	4.4	5.9	3.7
地域の学校の特別支援学級で、本人の状況に応じた教育や支援が受けられる環境(n=68)	25.0	5.9	38.2	19.1	11.8
特別支援学校(養護学校)で、本人の状況に応じた教育や支援が受けられる環境(n=49)	16.3	2.0	0.0	79.6	2.0

問 31 【学校に通学している方や、これまでに通学していた方にお聞きします。】
 学校教育で困っていることはありますか（困ったことはありましたか）。
 （あてはまるものすべてに○）

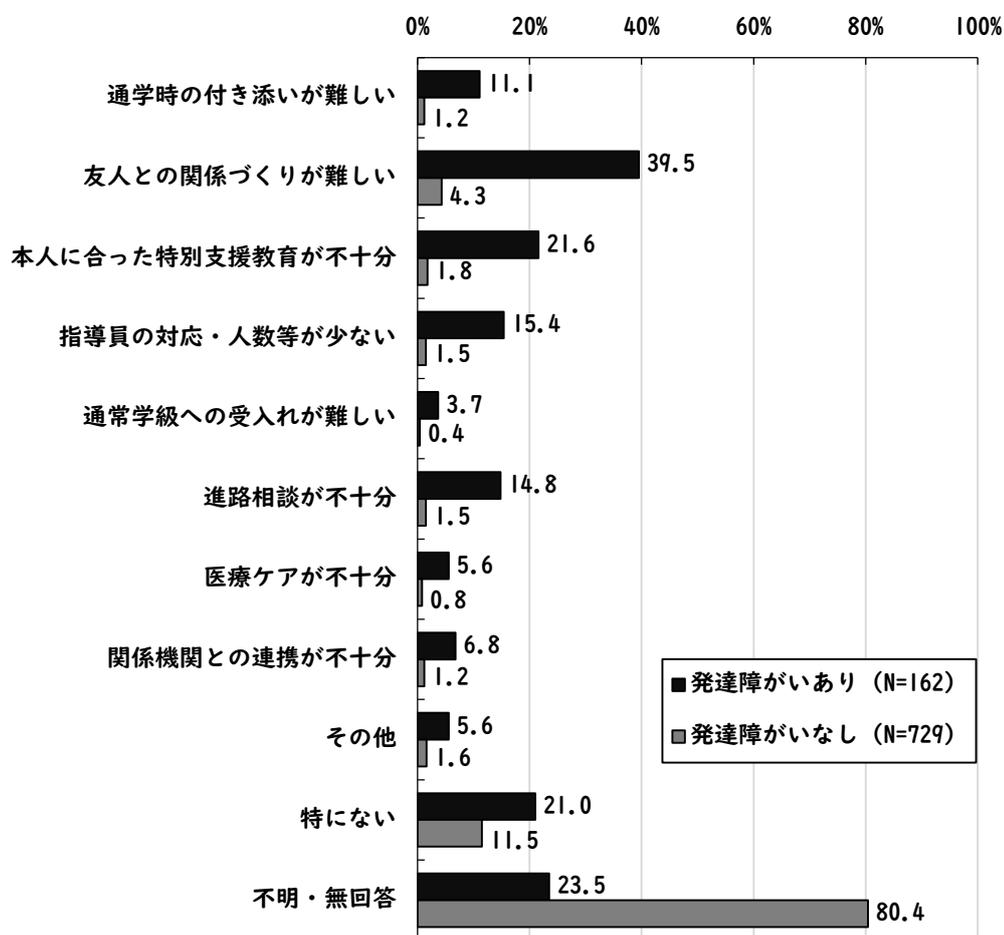
学校教育での困りごとでは「特にない」が11.6%と最も高く、次いで「友人との関係づくりが難しい」が9.6%、「本人に合った特別支援教育が不十分」が5.1%となっています。

所持手帳別にみると【身体】では「特にない」が8.3%、【療育】では「友人との関係づくりが難しい」が24.1%、【精神】では「友人との関係づくりが難しい」が19.2%、【所持手帳なし】では「特にない」が19.8%となっています。



■ クロス集計：発達障がいの有無

発達障がいの有無別でみると、【発達障がいあり】では「友人との関係づくりが難しい」が39.5%、【発達障がいなし】では「特になし」が11.5%となっています。



■ クロス集計：所持手帳別年齢3区分

所持手帳別年齢3区分でみると、【身体】のいずれの年代でも「特にない」の割合が最も高くなっており、【18歳以下】では40.0%、【19～64歳】では20.4%、【65歳以上】では3.1%となっています。

【療育】のうち、【18歳以下】、【19～64歳】では「友人との関係づくりが難しい」がそれぞれ34.7%、23.3%、【65歳以上】では「特にない」が10.5%となっています。

【精神】のうち、【18歳以下】では「友人との関係づくりが難しい」「進路相談が不十分」がともに42.9%、【19～64歳】では「友人との関係づくりが難しい」が22.5%、【65歳以上】では「特にない」が4.2%となっています。

【所持手帳なし】のうち、【18歳以下】では「友人との関係づくりが難しい」が41.0%、【19～64歳】、【65歳以上】では「特にない」がそれぞれ33.3%、5.7%となっています。

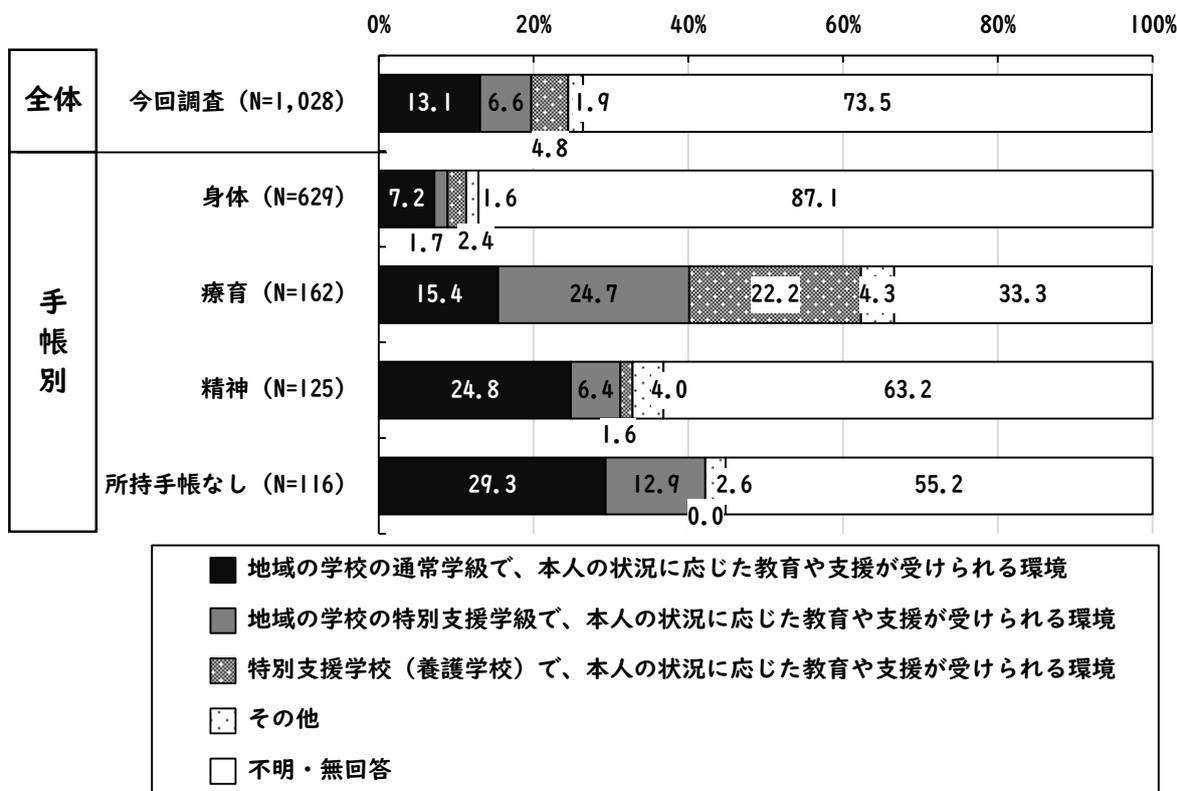
		通学時の付き添いが難しい	友人との関係づくりが難しい	本人に合った特別支援教育が不十分	指導員の対応・人数等が少ない	通常学級への受入れが難しい	進路相談が不十分
身体	0～18歳 (n=15)	6.7	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=147)	2.7	4.8	4.8	2.0	2.0	2.0
	65歳以上 (n=457)	0.2	0.7	0.2	0.0	0.0	0.2
療育	0～18歳 (n=49)	12.2	34.7	26.5	20.4	4.1	26.5
	19～64歳 (n=90)	10.0	23.3	17.8	13.3	4.4	8.9
	65歳以上 (n=19)	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0
精神	0～18歳 (n=7)	14.3	42.9	28.6	28.6	0.0	42.9
	19～64歳 (n=89)	0.0	22.5	5.6	5.6	2.2	7.9
	65歳以上 (n=24)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手帳なし	0～18歳 (n=39)	20.5	41.0	23.1	20.5	2.6	5.1
	19～64歳 (n=42)	0.0	11.9	0.0	0.0	0.0	2.4
	65歳以上 (n=35)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

		医療ケアが不十分	関係機関との連携が不十分	その他	特にない	不明・無回答
身体	0～18歳 (n=15)	6.7	0.0	0.0	40.0	33.3
	19～64歳 (n=147)	3.4	2.0	4.1	20.4	66.0
	65歳以上 (n=457)	0.2	0.4	0.2	3.1	95.2
療育	0～18歳 (n=49)	4.1	12.2	6.1	28.6	14.3
	19～64歳 (n=90)	3.3	6.7	7.8	14.4	37.8
	65歳以上 (n=19)	0.0	5.3	0.0	10.5	78.9
精神	0～18歳 (n=7)	14.3	14.3	0.0	28.6	14.3
	19～64歳 (n=89)	5.6	3.4	5.6	13.5	57.3
	65歳以上 (n=24)	0.0	0.0	0.0	4.2	95.8
手帳なし	0～18歳 (n=39)	0.0	2.6	7.7	17.9	20.5
	19～64歳 (n=42)	2.4	0.0	4.8	33.3	50.0
	65歳以上 (n=35)	0.0	0.0	0.0	5.7	94.3

問 32 【学校に通学している方や、これまでに通学していた方にお聞きします。】
 望ましい就学環境とはどのような環境ですか（どのような環境でしたか）。
 （○は1つだけ）

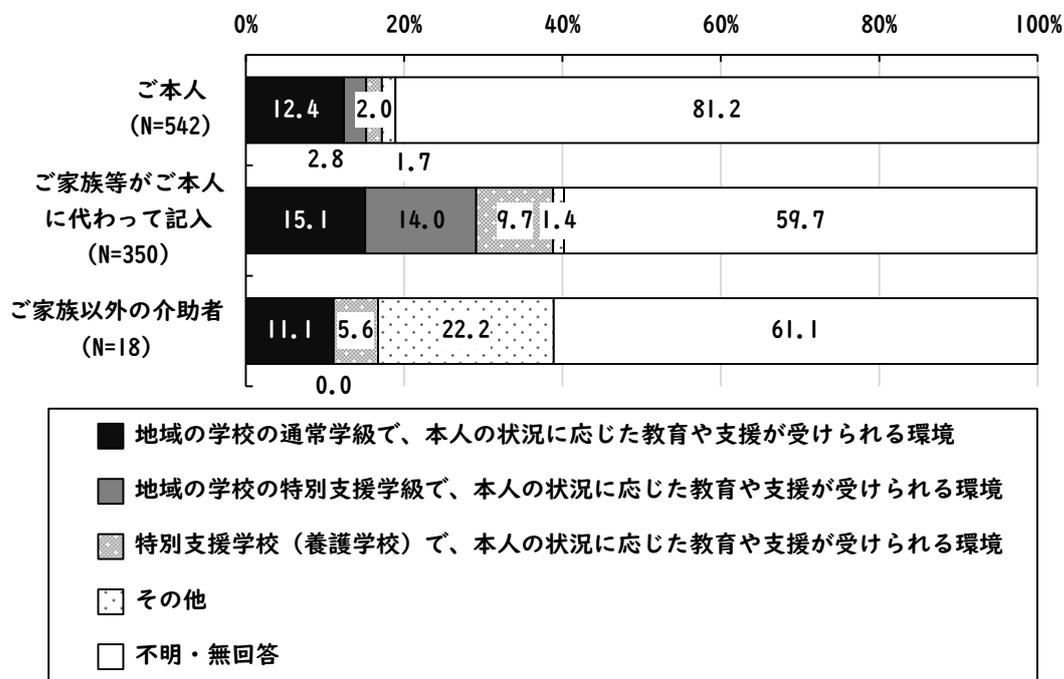
望ましい就学環境では「地域の学校の通常学級で、本人の状況に応じた教育や支援が受けられる環境」が13.1%と最も高く、次いで「地域の学校の特別支援学級で、本人の状況に応じた教育や支援が受けられる環境」が6.6%、「特別支援学校（養護学校）で、本人の状況に応じた教育や支援が受けられる環境」が4.8%となっています。

所持手帳別にみると【身体】、【精神】、【所持手帳なし】では「地域の学校の通常学級で、本人の状況に応じた教育や支援が受けられる環境」の割合が最も高く、それぞれ7.2%、24.8%、29.3%、【療育】では「地域の学校の特別支援学級で、本人の状況に応じた教育や支援が受けられる環境」が24.7%となっています。



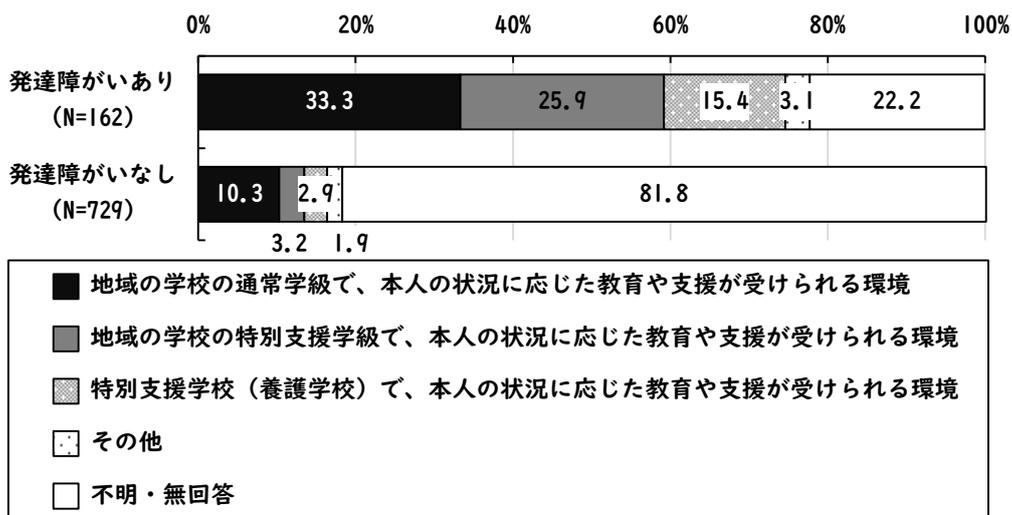
■ クロス集計：回答者別

回答者別でみると、【ご本人】、【ご家族等がご本人に代わって記入】では「地域の学校の通常学級で、本人の状況に応じた教育や支援が受けられる環境」がそれぞれ12.4%、15.1%、【ご家族以外の介助者】では「その他」が22.2%となっています。



■ クロス集計：回答者別

発達障がいの有無別でみると、【発達障がいあり】、【発達障がいなし】ともに、「地域の学校の通常学級で、本人の状況に応じた教育や支援が受けられる環境」の割合が最も高く、それぞれ33.3%、10.3%となっています。



■ クロス集計：所持手帳別年齢3区分

所持手帳別年齢3区分でみると、【身体】のいずれの年代でも「地域の学校の通常学級で、本人の状況に応じた教育や支援が受けられる環境」の割合が最も高く、【18歳以下】では33.3%、【19～64歳】では17.7%、【65歳以上】では2.8%、となっています。

【療育】のうち、【18歳以下】では「地域の学校の特別支援学級で、本人の状況に応じた教育や支援が受けられる環境」が40.8%、【19～64歳】では「特別支援学校（養護学校）で、本人の状況に応じた教育や支援が受けられる環境」が25.6%、【65歳以上】では「地域の学校の通常学級で、本人の状況に応じた教育や支援が受けられる環境」「地域の学校の特別支援学級で、本人の状況に応じた教育や支援が受けられる環境」「特別支援学校（養護学校）で、本人の状況に応じた教育や支援が受けられる環境」がそれぞれ5.3%となっています。

【精神】のうち、【18歳以下】では「地域の学校の通常学級で、本人の状況に応じた教育や支援が受けられる環境」「地域の学校の特別支援学級で、本人の状況に応じた教育や支援が受けられる環境」がともに42.9%、【19～64歳】では「地域の学校の通常学級で、本人の状況に応じた教育や支援が受けられる環境」が30.3%、【65歳以上】は有効回答がありませんでした。

【所持手帳なし】のいずれの年代でも「地域の学校の通常学級で、本人の状況に応じた教育や支援が受けられる環境」の割合が最も高く、【18歳以下】では46.2%、【19～64歳】では33.3%、【65歳以上】では5.7%となっています。

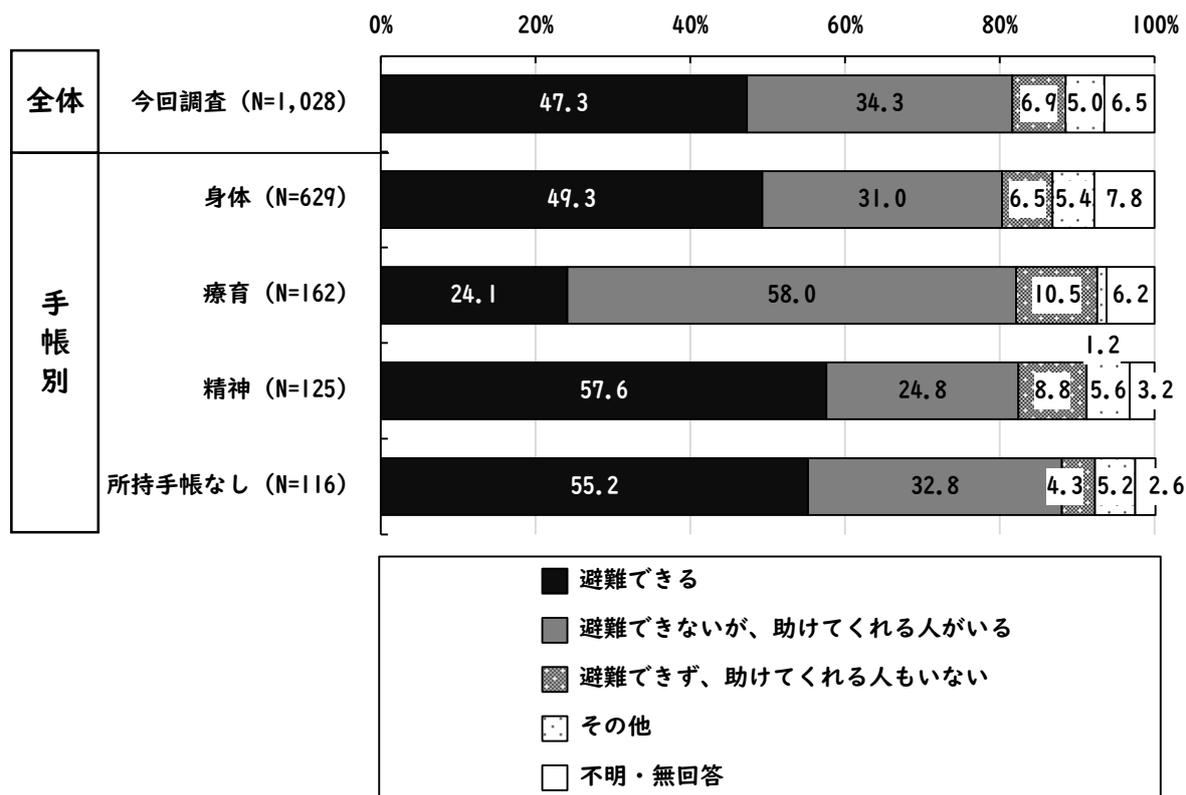
		地域の学校の通常学級で、本人の状況に応じた教育や支援が受けられる環境	地域の学校の特別支援学級で、本人の状況に応じた教育や支援が受けられる環境	特別支援学校（養護学校）で、本人の状況に応じた教育や支援が受けられる環境	その他	不明・無回答
身体	0～18歳(n=15)	33.3	13.3	13.3	6.7	33.3
	19～64歳(n=147)	17.7	4.1	6.1	5.4	66.7
	65歳以上(n=457)	2.8	0.7	0.7	0.0	95.8
療育	0～18歳(n=49)	22.4	40.8	20.4	2.0	14.3
	19～64歳(n=90)	14.4	21.1	25.6	4.4	34.4
	65歳以上(n=19)	5.3	5.3	5.3	5.3	78.9
精神	0～18歳(n=7)	42.9	42.9	0.0	0.0	14.3
	19～64歳(n=89)	30.3	5.6	2.2	3.4	58.4
	65歳以上(n=24)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
手帳なし	0～18歳(n=39)	46.2	28.2	0.0	2.6	23.1
	19～64歳(n=42)	33.3	9.5	0.0	4.8	52.4
	65歳以上(n=35)	5.7	0.0	0.0	0.0	94.3

8 災害時の避難等について

問 33 火事や地震等の災害時に、一人で避難できますか。(○は1つだけ)

一人で避難できるかについては、「避難できる」が47.3%と最も高く、次いで「避難できないが、助けてくれる人がいる」が34.3%、「避難できず、助けてくれる人もいない」が6.9%となっています。

所持手帳別にみると【身体】、【精神】、【所持手帳なし】では「避難できる」の割合が最も高く、それぞれ49.3%、57.6%、55.2%、【療育】では「避難できないが、助けてくれる人がいる」58.0%となっています。



■ クロス集計：所持手帳別年齢3区分

所持手帳別年齢3区分でみると、【身体】のうち、【18歳以下】では「避難できないが、助けてくれる人がいる」が66.7%、【19～64歳】、【65歳以上】では「避難できる」がそれぞれ61.2%、46.4%となっています。

【療育】のいずれの年代でも「避難できないが、助けてくれる人がいる」の割合が最も高く、【18歳以下】では79.6%、【19～64歳】では50.0%、【65歳以上】では52.6%となっています。

【精神】のいずれの年代でも「避難できる」の割合が最も高く、【18歳以下】では57.1%、【19～64歳】では60.7%、【65歳以上】では37.5%となっています。

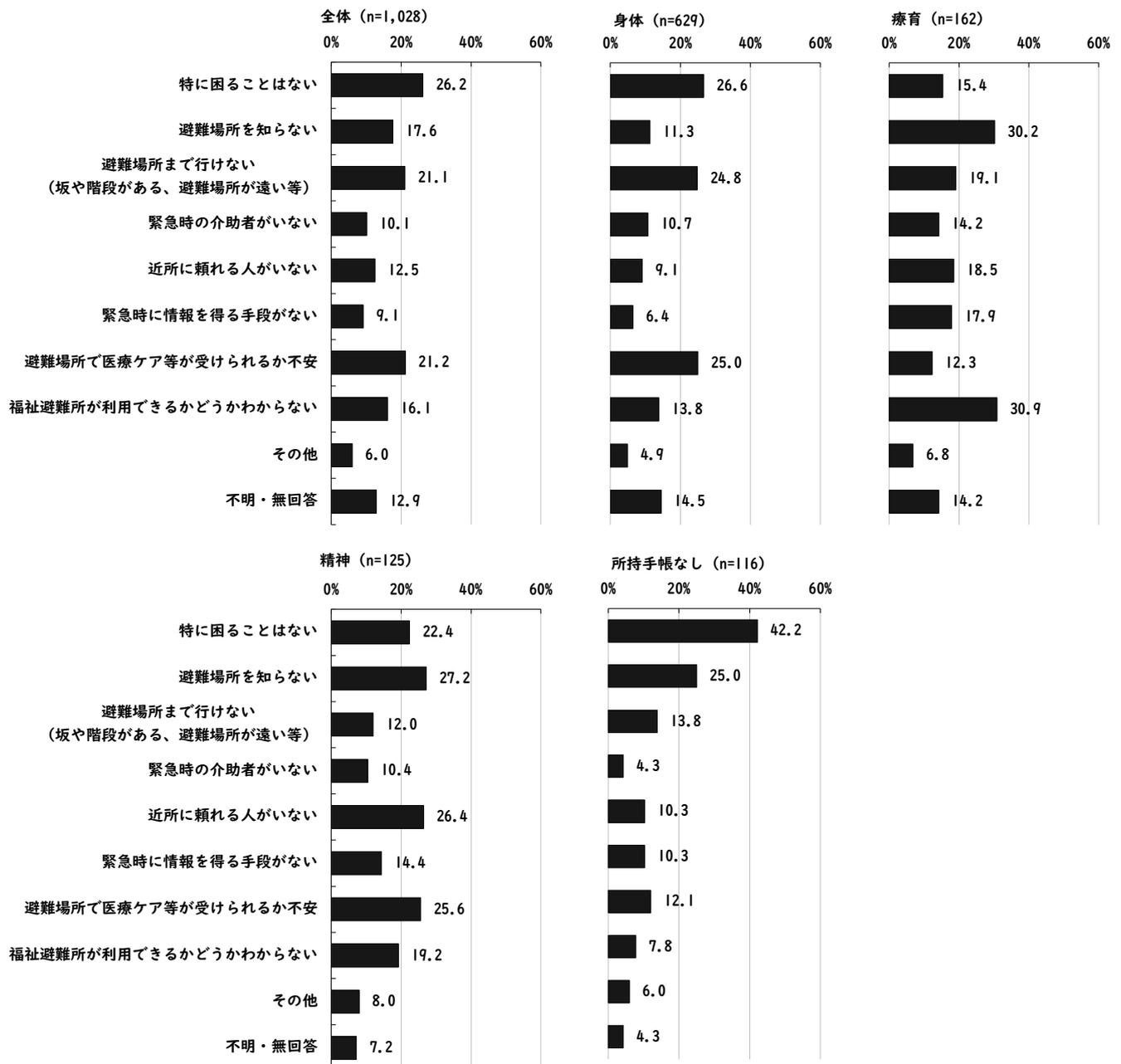
【所持手帳なし】のうち、【18歳以下】では「避難できないが、助けてくれる人がいる」が48.7%、【19～64歳】では「避難できる」が81.0%、【65歳以上】では「避難できる」「避難できないが、助けてくれる人がいる」がともに45.7%となっています。

		避難できる	避難できないが、助けてくれる人がいる	避難できず、助けてくれる人もいない	その他	不明・無回答
身体	0～18歳 (n=15)	20.0	66.7	6.7	6.7	0.0
	19～64歳 (n=147)	61.2	21.8	6.8	6.1	4.1
	65歳以上 (n=457)	46.4	33.0	6.1	5.3	9.2
療育	0～18歳 (n=49)	14.3	79.6	4.1	2.0	0.0
	19～64歳 (n=90)	27.8	50.0	15.6	1.1	5.6
	65歳以上 (n=19)	21.1	52.6	5.3	0.0	21.1
精神	0～18歳 (n=7)	57.1	42.9	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=89)	60.7	23.6	5.6	6.7	3.4
	65歳以上 (n=24)	37.5	29.2	25.0	4.2	4.2
手帳なし	0～18歳 (n=39)	35.9	48.7	5.1	7.7	2.6
	19～64歳 (n=42)	81.0	7.1	7.1	4.8	0.0
	65歳以上 (n=35)	45.7	45.7	0.0	2.9	5.7

問 34 地震等の災害時に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

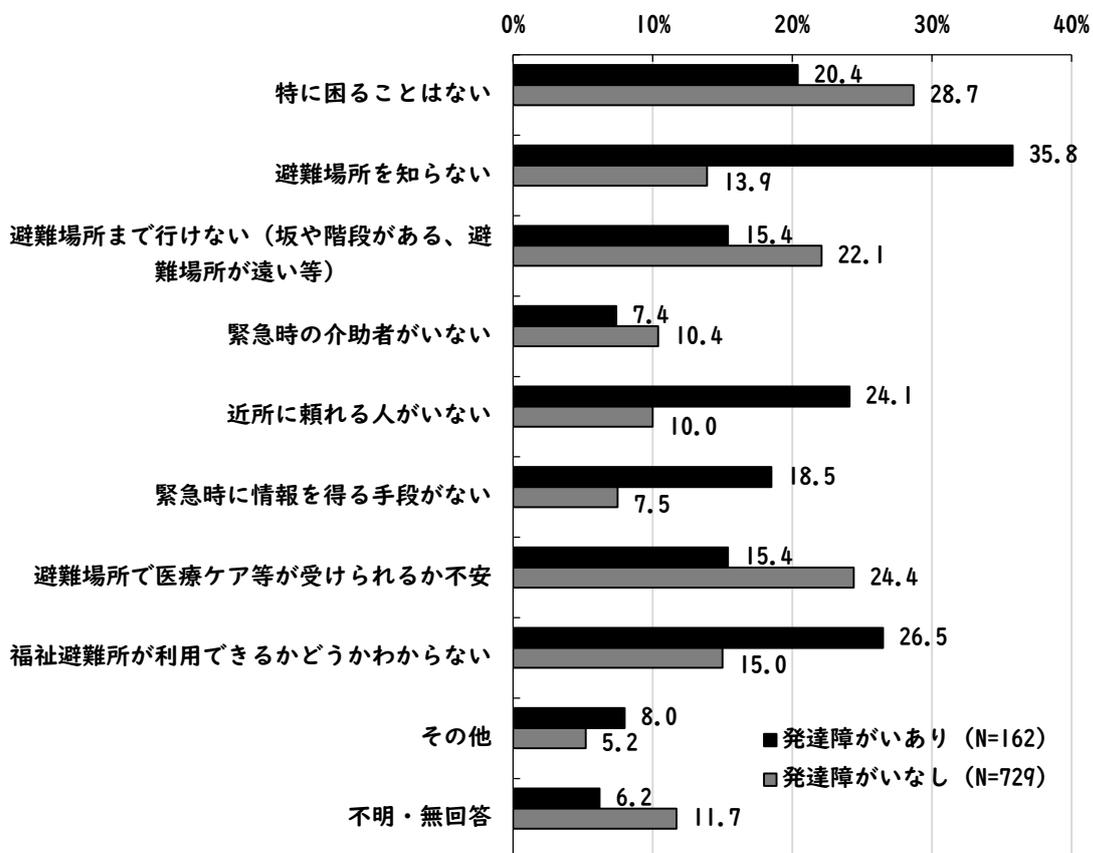
災害時の困りごとでは「特に困ることはない」が26.2%と最も高く、次いで「避難場所で医療ケア等が受けられるか不安」が21.2%、「避難場所まで行けない（坂や階段がある、避難場所が遠い等）」が21.1%となっています。

所持手帳別にみると【身体】では「特に困ることはない」が26.6%、【療育】では「福祉避難所が利用できるかどうか分からない」が30.9%、【精神】では「避難場所を知らない」が27.2%、【所持手帳なし】では「特に困ることはない」が42.2%となっています。



■ クロス集計：発達障がいの有無

発達障がいの有無別でみると、【発達障がいあり】では「避難場所を知らない」が35.8%、【発達障がいなし】では「特に困ることはない」が28.7%となっています。



■ クロス集計：所持手帳別年齢3区分

所持手帳別年齢3区分でみると、【身体】のうち、【18歳以下】では「避難場所で医療ケア等が受けられるか不安」が60.0%、【19～64歳】では「特に困ることはない」が29.9%、【65歳以上】では「避難場所まで行けない（坂や階段がある、避難場所が遠い等）」が27.8%となっています。

【療育】のうち、【18歳以下】では「福祉避難所が利用できるかどうか分からない」が38.8%、【19～64歳】では「避難場所を知らない」が33.3%、【65歳以上】では「特に困ることはない」が26.3%、

【精神】のうち、【18歳以下】では「近所に頼れる人がいない」「緊急時に情報を得る手段がない」「避難場所で医療ケア等が受けられるか不安」がそれぞれ42.9%、【19～64歳】では「避難場所を知らない」が28.1%、【65歳以上】では「避難場所まで行けない（坂や階段がある、避難場所が遠い等）」「近所に頼れる人がいない」がともに25.0%となっています。

【所持手帳なし】のうち、【18歳以下】では「避難場所を知らない」が41.0%、【19～64歳】、【65歳以上】では「特に困ることはない」がそれぞれ52.4%、37.1%となっています。

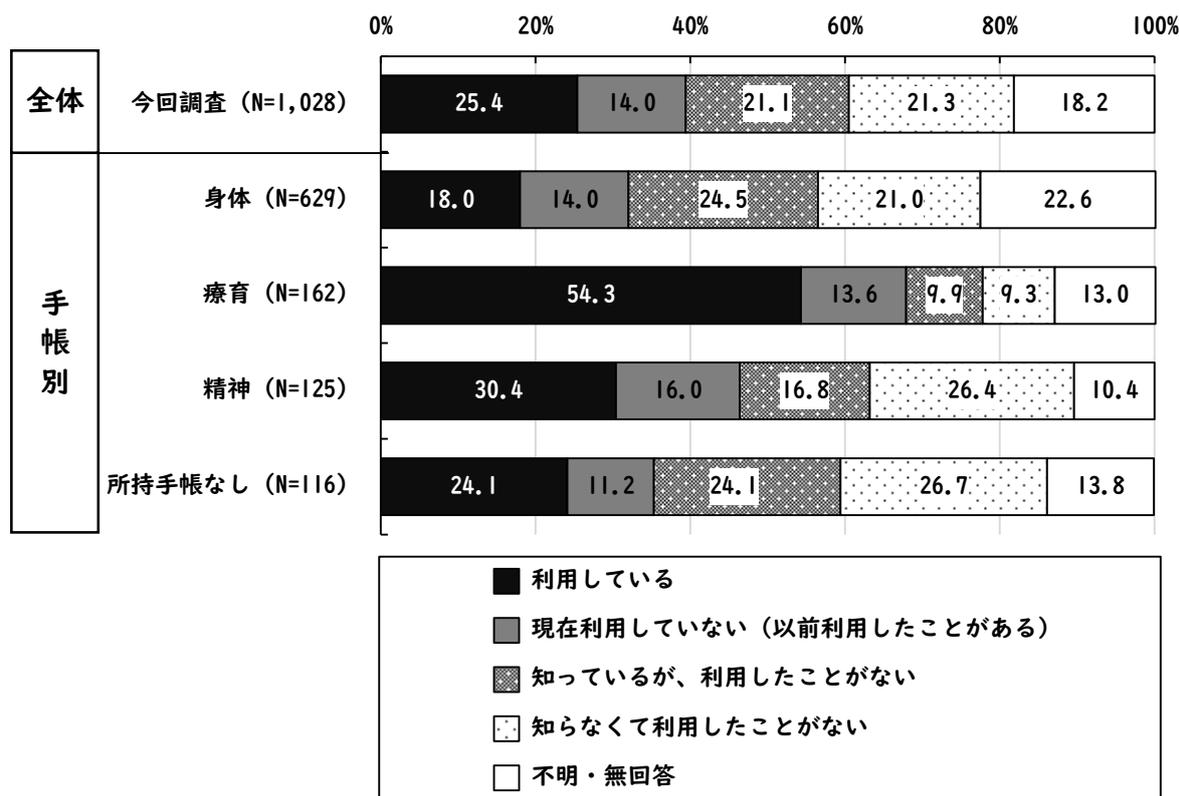
		特に困ることはない	避難場所を知らない	避難場所まで行けない(坂や階段がある、避難場所が遠い等)	緊急時の介助者がいない	近所に頼れる人がいない	緊急時に情報を得る手段がない	避難場所で医療ケア等が受けられるか不安	福祉避難所が利用できるかどうか分からない	その他	不明・無回答
身体	0～18歳(n=15)	13.3	20.0	26.7	6.7	0.0	6.7	60.0	33.3	0.0	13.3
	19～64歳(n=147)	29.9	16.3	15.0	9.5	17.0	6.8	27.2	16.3	5.4	4.8
	65歳以上(n=457)	26.3	9.4	27.8	10.9	6.6	6.3	23.2	12.5	5.0	17.3
療育	0～18歳(n=49)	10.2	34.7	26.5	6.1	20.4	28.6	10.2	38.8	12.2	4.1
	19～64歳(n=90)	15.6	33.3	17.8	18.9	21.1	15.6	16.7	31.1	5.6	13.3
	65歳以上(n=19)	26.3	10.5	10.5	15.8	0.0	5.3	0.0	15.8	0.0	36.8
精神	0～18歳(n=7)	14.3	28.6	14.3	14.3	42.9	42.9	42.9	0.0	0.0	0.0
	19～64歳(n=89)	27.0	28.1	9.0	9.0	25.8	14.6	27.0	22.5	9.0	6.7
	65歳以上(n=24)	12.5	16.7	25.0	16.7	25.0	8.3	20.8	8.3	8.3	8.3
手帳なし	0～18歳(n=39)	35.9	41.0	10.3	2.6	12.8	12.8	5.1	2.6	10.3	5.1
	19～64歳(n=42)	52.4	19.0	4.8	2.4	9.5	14.3	16.7	16.7	7.1	2.4
	65歳以上(n=35)	37.1	14.3	28.6	8.6	8.6	2.9	14.3	2.9	0.0	5.7

9 障がい福祉サービスの利用について

問 35 障がい福祉サービスを利用していますか。(○は1つだけ)

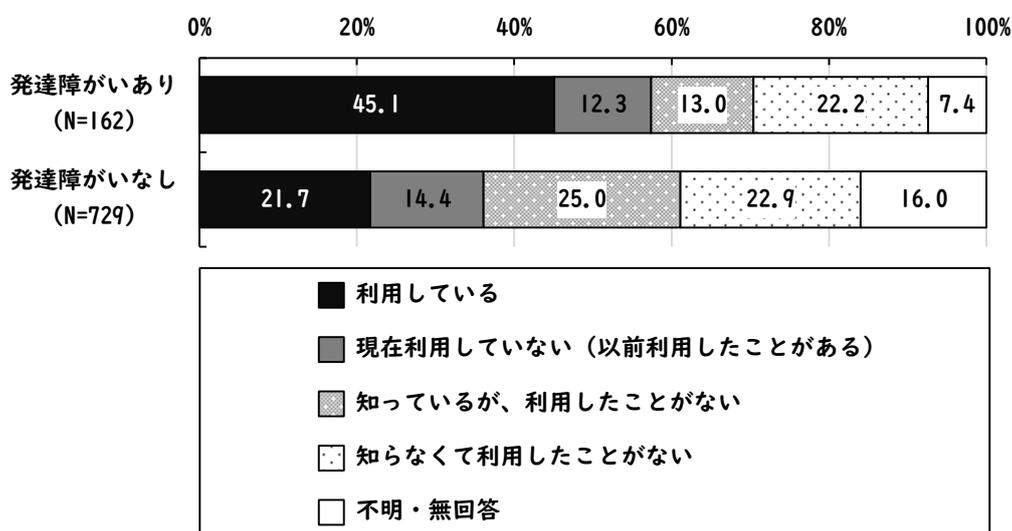
障がい福祉サービスの利用有無では「利用している」が25.4%と最も高く、次いで「知らなくて利用したことがない」が21.3%、「知っているが、利用したことがない」が21.1%となっています。

所持手帳別にみると【身体】では「知っているが、利用したことがない」が24.5%、【療育】では「利用している」が54.3%、【精神】では「利用している」が30.4%、【所持手帳なし】では「知らなくて利用したことがない」が26.7%となっています。



■ クロス集計：発達障がいの有無

発達障がいの有無別でみると、【発達障がいあり】では「利用している」が45.1%、【発達障がいなし】では「知っているが、利用したことがない」が25.0%となっています。



■ クロス集計：所持手帳別年齢3区分

所持手帳別年齢3区分でみると、【身体】のうち、【18歳以下】では「利用している」が33.3%、【19～64歳】、【65歳以上】では「知っているが、利用したことがない」がそれぞれ33.3%、22.3%となっています。

【療育】のいずれの年代でも「利用している」の割合が最も高く、【18歳以下】では44.9%、【19～64歳】では57.8%、【65歳以上】では63.2%となっています。

【精神】のうち、【18歳以下】では「利用している」が57.1%、【19～64歳】では「知らなくて利用したことがない」が32.6%、【65歳以上】では「利用している」「現在利用していない（以前利用したことがある）」がともに29.2%となっています。

【所持手帳なし】のうち、【18歳以下】では「利用している」が33.3%、【19～64歳】では「知っているが、利用したことがない」が47.6%、【65歳以上】では「利用している」「知らなくて利用したことがない」がともに28.6%となっています。

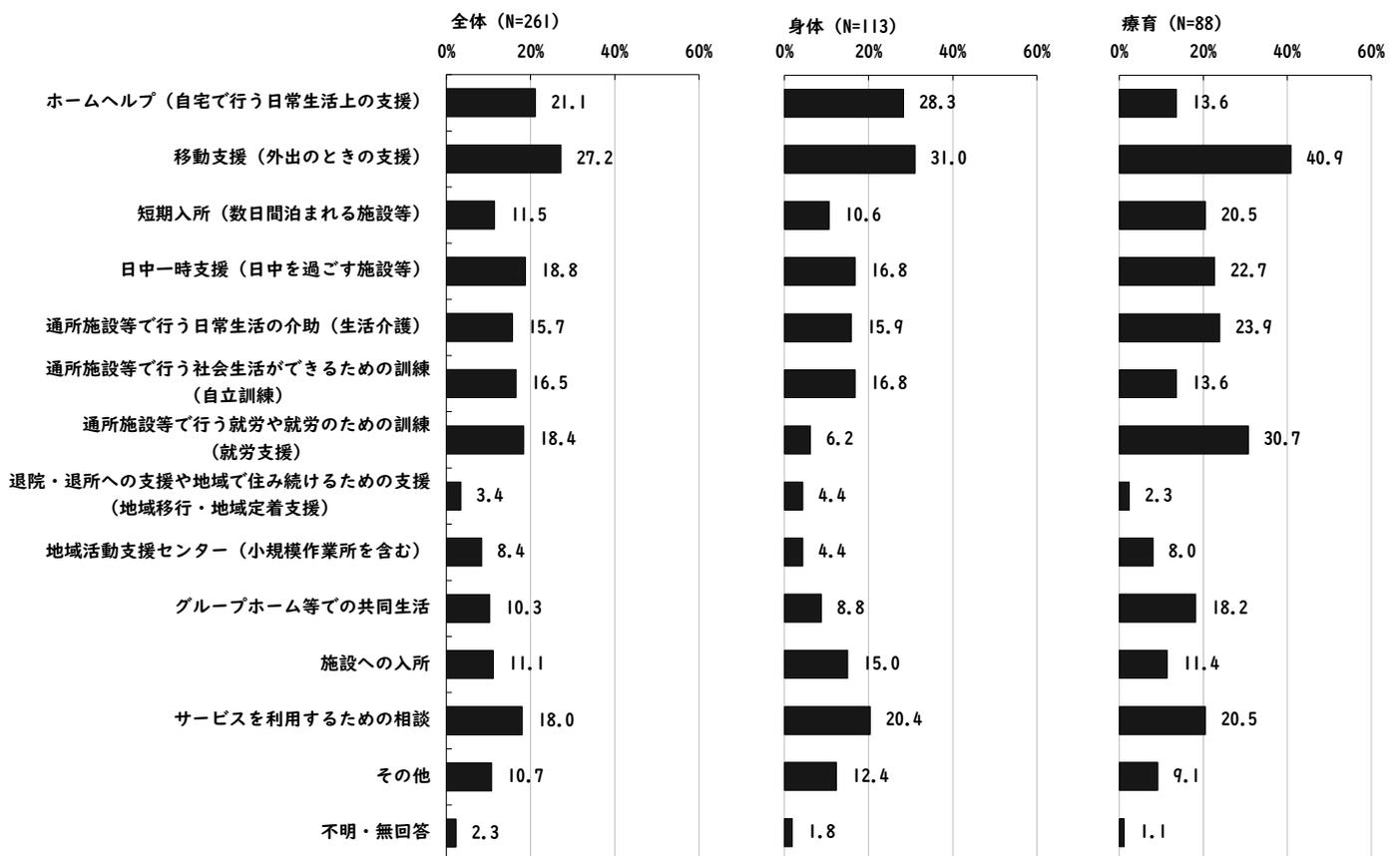
		利用している	現在利用していない(以前利用したことがある)	知っているが、利用したことがない	知らなくて利用したことがない	不明・無回答
身体	0～18歳 (n=15)	33.3	20.0	20.0	13.3	13.3
	19～64歳 (n=147)	23.1	12.9	33.3	22.4	8.2
	65歳以上 (n=457)	15.5	14.0	22.3	21.0	27.1
療育	0～18歳 (n=49)	44.9	12.2	22.4	14.3	6.1
	19～64歳 (n=90)	57.8	15.6	5.6	8.9	12.2
	65歳以上 (n=19)	63.2	10.5	0.0	0.0	26.3
精神	0～18歳 (n=7)	57.1	14.3	14.3	14.3	0.0
	19～64歳 (n=89)	28.1	13.5	20.2	32.6	5.6
	65歳以上 (n=24)	29.2	29.2	8.3	8.3	25.0
手帳なし	0～18歳 (n=39)	33.3	15.4	15.4	30.8	5.1
	19～64歳 (n=42)	11.9	11.9	47.6	21.4	7.1
	65歳以上 (n=35)	28.6	5.7	5.7	28.6	31.4

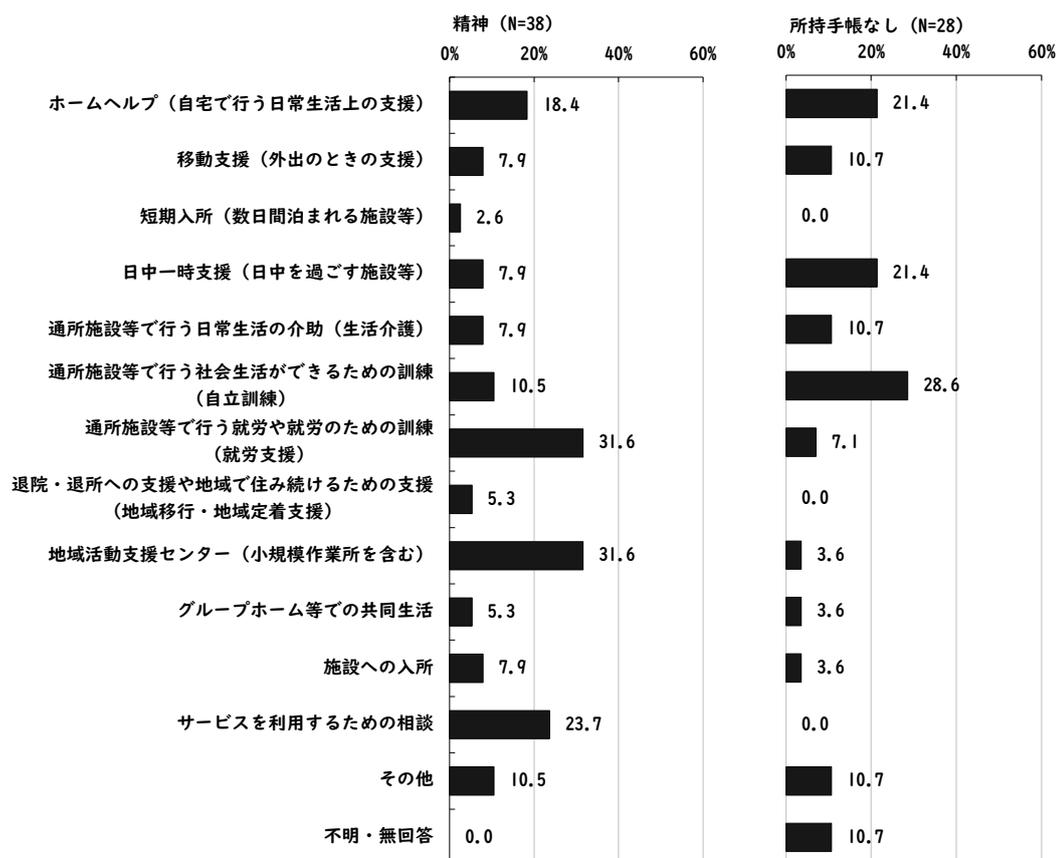
問 36 【問 35 で「1. 利用している」に○をつけた方にお聞きします。】

現在利用しているサービスは、次のどれですか。利用しているサービスすべてに○をしてください。(利用しているサービスのあてはまる番号に○)

現在利用しているサービスでは「移動支援（外出のときの支援）」が27.2%と最も高く、次いで「ホームヘルプ（自宅で行う日常生活上の支援）」が21.1%、「日中一時支援（日中を過ごす施設等）」が18.8%となっています。

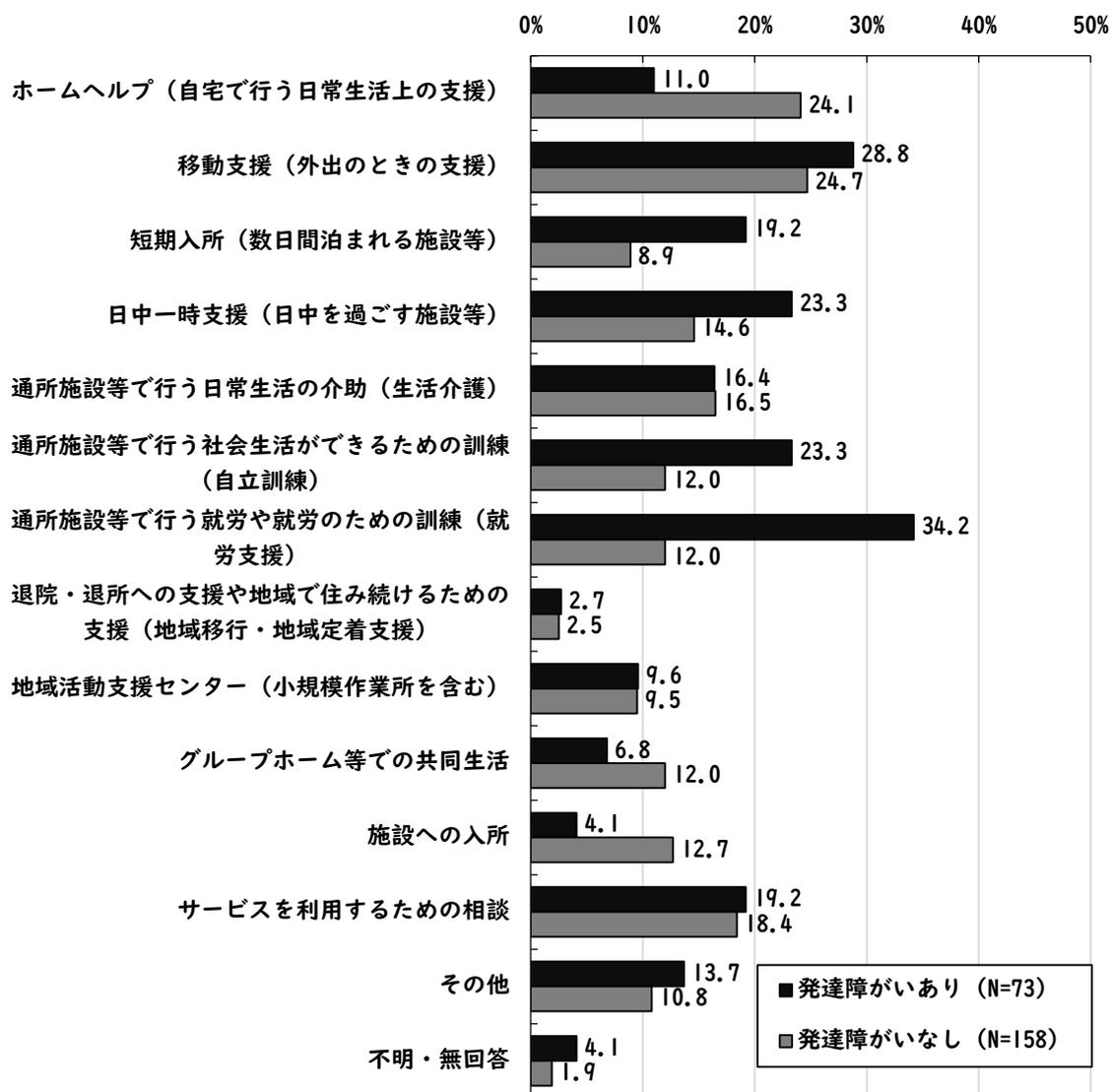
所持手帳別にみると【身体】では「移動支援（外出のときの支援）」が31.0%、【療育】では「移動支援（外出のときの支援）」が40.9%、【精神】では「通所施設等で行う就労や就労のための訓練（就労支援）」「地域活動支援センター（小規模作業所を含む）」がともに31.6%、【所持手帳なし】では「通所施設等で行う社会生活ができるための訓練（自立訓練）」が28.6%となっています。





■ クロス集計：発達障がいの有無

発達障がいの有無別でみると、【発達障がいあり】では「通所施設等で行う就労や就労のための訓練（就労支援）」が34.2%、【発達障がいなし】では「移動支援（外出のときの支援）」が24.7%となっています。



■ クロス集計：所持手帳別年齢3区分

所持手帳別年齢3区分でみると、【身体】のうち、【18歳以下】では「日中一時支援（日中を過ごす施設等）」が60.0%、【19～64歳】では「移動支援（外出のときの支援）」が35.3%、【65歳以上】では「ホームヘルプ（自宅で行う日常生活上の支援）」「移動支援（外出のときの支援）」がともに29.6%となっています。

【療育】のうち、【18歳以下】では「その他」が36.4%、【19～64歳】では「移動支援（外出のときの支援）」が59.6%、【65歳以上】では「ホームヘルプ（自宅で行う日常生活上の支援）」「施設への入所」がともに33.3%となっています。

【精神】のうち、【18歳以下】では「地域活動支援センター（小規模作業所を含む）」が50.0%、【19～64歳】では「通所施設等で行う就労や就労のための訓練（就労支援）」が36.0%、【65歳以上】では「ホームヘルプ（自宅で行う日常生活上の支援）」「日中一時支援（日中を過ごす施設等）」「サービスを利用するための相談」がそれぞれ28.6%となっています。

【所持手帳なし】のうち、【18歳以下】では「日中一時支援（日中を過ごす施設等）」「通所施設等で行う社会生活ができるための訓練（自立訓練）」がともに30.8%、【19～64歳】では「ホームヘルプ（自宅で行う日常生活上の支援）」「通所施設等で行う社会生活ができるための訓練（自立訓練）」「通所施設等で行う就労や就労のための訓練（就労支援）」「グループホーム等での共同生活」「その他」がそれぞれ20.0%、【65歳以上】では「ホームヘルプ（自宅で行う日常生活上の支援）」が50.0%となっています。

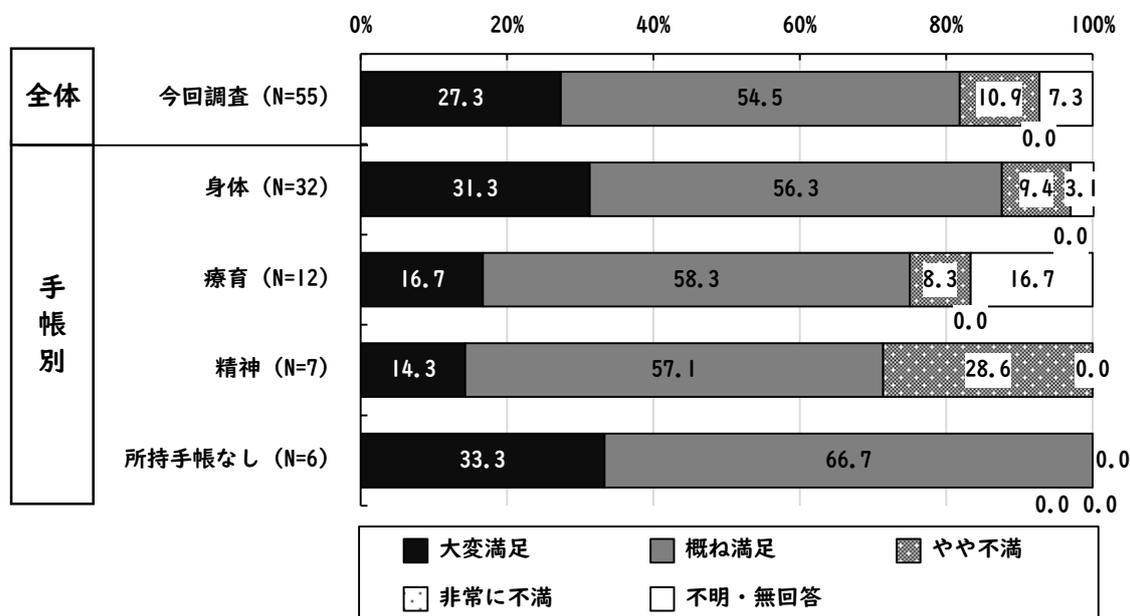
		ホームヘルプ (自宅で行う 日常生活上の 支援)	移動支援(外 出のときの支 援)	短期入所(数 日間泊まれる 施設等)	日中一時支援 (日中を過ご す施設等)	通所施設等 で行う日常生 活の介助(生 活介護)	通所施設等 で行う社会生 活ができるた めの訓練(自 立訓練)	通所施設等 で行う就労 や就労のた めの訓練(就 労支援)
身 体	0～18歳(n=5)	40.0	20.0	20.0	60.0	20.0	20.0	0.0
	19～64歳(n=34)	26.5	35.3	14.7	11.8	23.5	11.8	17.6
	65歳以上(n=71)	29.6	29.6	8.5	16.9	12.7	18.3	1.4
療 育	0～18歳(n=22)	0.0	13.6	0.0	22.7	9.1	27.3	9.1
	19～64歳(n=52)	15.4	59.6	34.6	23.1	34.6	9.6	42.3
	65歳以上(n=12)	33.3	16.7	0.0	25.0	8.3	0.0	16.7
精 神	0～18歳(n=4)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
	19～64歳(n=25)	20.0	12.0	0.0	4.0	8.0	12.0	36.0
	65歳以上(n=7)	28.6	0.0	14.3	28.6	14.3	14.3	0.0
手 帳 な し	0～18歳(n=13)	0.0	7.7	0.0	30.8	7.7	30.8	0.0
	19～64歳(n=5)	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0
	65歳以上(n=10)	50.0	20.0	0.0	20.0	20.0	30.0	10.0

		退院・退所への支援や地域で住み続けるための支援(地域移行・地域定着支援)	地域活動支援センター(小規模作業所を含む)	グループホーム等での共同生活	施設への入所	サービスを利用するための相談	その他	不明・無回答
身体	0~18歳(n=5)	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0
	19~64歳(n=34)	0.0	8.8	14.7	14.7	23.5	2.9	5.9
	65歳以上(n=71)	7.0	2.8	7.0	16.9	16.9	18.3	0.0
療育	0~18歳(n=22)	0.0	9.1	4.5	9.1	9.1	36.4	0.0
	19~64歳(n=52)	3.8	9.6	23.1	7.7	28.8	0.0	1.9
	65歳以上(n=12)	0.0	0.0	25.0	33.3	8.3	0.0	0.0
精神	0~18歳(n=4)	25.0	50.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0
	19~64歳(n=25)	0.0	32.0	4.0	4.0	20.0	12.0	0.0
	65歳以上(n=7)	14.3	14.3	0.0	14.3	28.6	0.0	0.0
手帳なし	0~18歳(n=13)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4	23.1
	19~64歳(n=5)	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	65歳以上(n=10)	0.0	10.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0

問 36 | ホームヘルプ（自宅で行う日常生活上の支援）の満足度（満足度1つに○）

ホームヘルプの満足度では「概ね満足」が54.5%と最も高く、次いで「大変満足」が27.3%、「やや不満」が10.9%となっています。

所持手帳別にみると、どの手帳でも「概ね満足」の割合が最も高く、【身体】では56.3%、【療育】では58.3%、【精神】では57.1%、【所持手帳なし】では66.7%となっています。



■ クロス集計：所持手帳別年齢3区分

所持手帳別年齢3区分でみると、【身体】のうち、【18歳以下】では「概ね満足」「やや不満」がともに50.0%、【19～64歳】、【65歳以上】では「概ね満足」がそれぞれ55.6%、57.1%となっています。

【療育】のうち、【18歳以下】は有効回答がありませんでした。【19～64歳】、【65歳以上】では「概ね満足」が37.5%、100.0%となっています。

【精神】のうち、【18歳以下】は有効回答がありませんでした。【19～64歳】では「概ね満足」が60.0%、【65歳以上】では「概ね満足」「やや不満」がともに50.0%となっています。

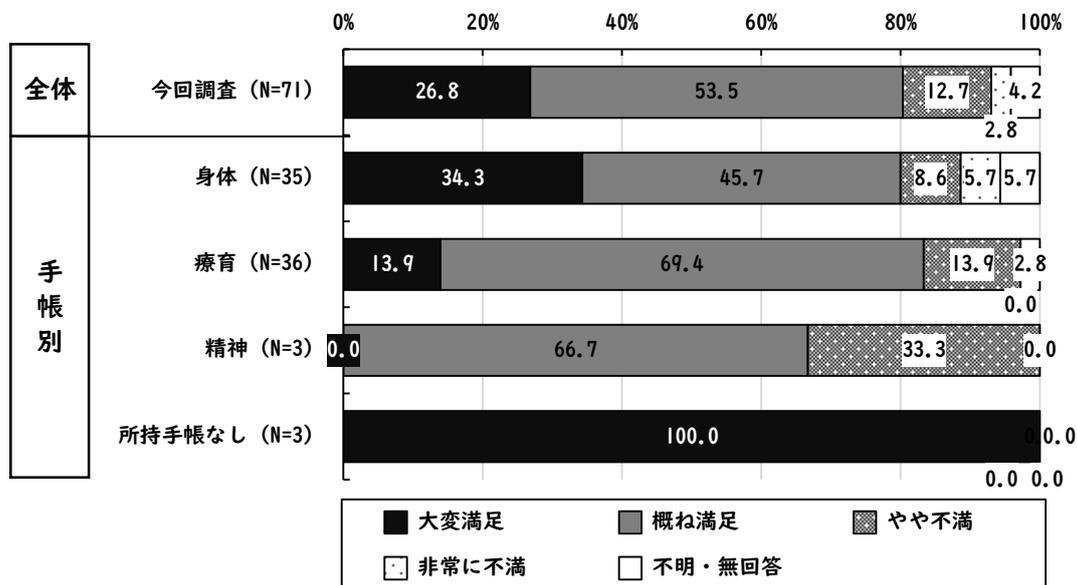
【所持手帳なし】のうち、【18歳以下】では有効回答がありませんでした。【19～64歳】、【65歳以上】では「概ね満足」がそれぞれ100.0%、60.0%となっています。

		大満足	概ね満足	やや不満	非常に不満	不明・無回答
身体	0～18歳 (n=2)	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=9)	44.4	55.6	0.0	0.0	0.0
	65歳以上 (n=21)	28.6	57.1	9.5	0.0	4.8
療育	0～18歳 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=8)	25.0	37.5	12.5	0.0	25.0
	65歳以上 (n=4)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
精神	0～18歳 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=5)	20.0	60.0	20.0	0.0	0.0
	65歳以上 (n=2)	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
手帳なし	0～18歳 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	65歳以上 (n=5)	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0

問 36 2 移動支援（外出のときの支援）の満足度（満足度1つに○）

移動支援の満足度では「概ね満足」が53.5%と最も高く、次いで「大変満足」が26.8%、「やや不満」が12.7%となっています。

所持手帳別にみると【身体】、【療育】、【精神】では「概ね満足」の割合が最も高く、それぞれ45.7%、69.4%、66.7%、【所持手帳なし】では「大変満足」が100.0%となっています。



■ クロス集計：所持手帳別年齢3区分

所持手帳別年齢3区分でみると、【身体】のいずれの年代でも「概ね満足」の割合が最も高く、【18歳以下】では100.0%、【19～64歳】では50.0%、【65歳以上】では42.9%となっています。

【療育】のいずれの年代でも「概ね満足」の割合が最も高く、【18歳以下】では66.7%、【19～64歳】では67.7%、【65歳以上】では100.0%となっています。

【精神】のうち、【18歳以下】は有効回答がありませんでした。【19～64歳】では「概ね満足」が66.7%、【65歳以上】は有効回答がありませんでした。

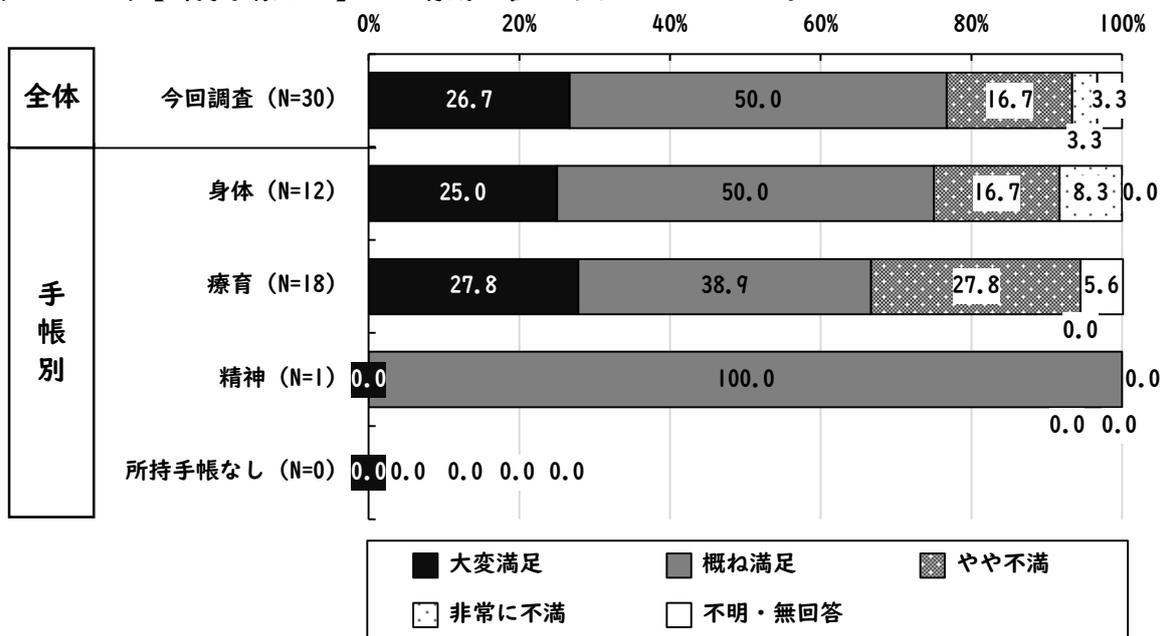
【所持手帳なし】のうち、【18歳以下】では「大満足」が100.0%、【19～64歳】は有効回答がありませんでした。【65歳以上】では「大満足」が100.0%となっています。

		大満足	概ね満足	やや不満	非常に不満	不明・無回答
身体	0～18歳 (n=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=12)	33.3	50.0	8.3	0.0	8.3
	65歳以上 (n=21)	38.1	42.9	4.8	9.5	4.8
療育	0～18歳 (n=3)	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=31)	12.9	67.7	16.1	0.0	3.2
	65歳以上 (n=2)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
精神	0～18歳 (n=)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=3)	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0
	65歳以上 (n=)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手帳なし	0～18歳 (n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	65歳以上 (n=2)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 36 3 短期入所（数日間泊まれる施設等）の満足度（満足度1つに○）

短期入所の満足度では「概ね満足」が50.0%と最も高く、次いで「大変満足」が26.7%、「やや不満」が16.7%となっています。

所持手帳別にみると【身体】、【療育】、【精神】では「概ね満足」の割合が最も高く、それぞれ50.0%、38.9%、100.0%、【所持手帳なし】では有効回答がありませんでした。



■ クロス集計：所持手帳別年齢3区分

所持手帳別年齢3区分でみると、【身体】のうち、【18歳以下】では「大変満足」が100.0%、【19～64歳】では「概ね満足」「やや不満」がともに40.0%、【65歳以上】では「概ね満足」が66.7%となっています。

【療育】のうち、【18歳以下】は有効回答がありませんでした。【19～64歳】では「概ね満足」が38.9%、【65歳以上】は有効回答がありませんでした。

【精神】のうち、【18歳以下】、【19～64歳】は有効回答がありませんでした。【65歳以上】では「概ね満足」が100.0%となっています。

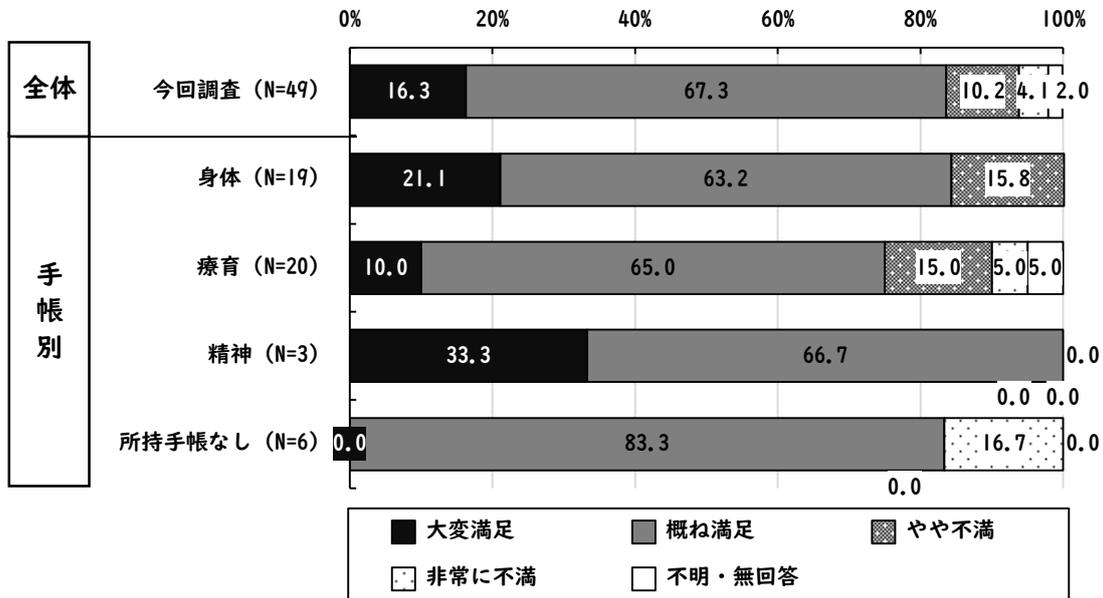
【所持手帳なし】のいずれの年代でも、有効回答がありませんでした。

		大満足	概ね満足	やや不満	非常に不満	不明・無回答
身体	0～18歳 (n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=5)	20.0	40.0	40.0	0.0	0.0
	65歳以上 (n=6)	16.7	66.7	0.0	16.7	0.0
療育	0～18歳 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=18)	27.8	38.9	27.8	0.0	5.6
	65歳以上 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
精神	0～18歳 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	65歳以上 (n=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
手帳なし	0～18歳 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	65歳以上 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 36 4 日中一時支援（日中を過ごす施設等）の満足度（満足度1つに○）

日中一時支援の満足度では「概ね満足」が67.3%と最も高く、次いで「大変満足」が16.3%、「やや不満」が10.2%となっています。

所持手帳別にみると、どの手帳でも「概ね満足」の割合が最も高く、【身体】では63.2%、【療育】では65.0%、【精神】では66.7%、【所持手帳なし】では83.3%となっています。



■ クロス集計：所持手帳別年齢3区分

所持手帳別年齢3区分でみると、【身体】のうち、【18歳以下】では「大変満足」「概ね満足」「やや不満」がそれぞれ33.3%、【19～64歳】、【65歳以上】では「概ね満足」がそれぞれ75.0%、66.7%となっています。

【療育】のいずれの年代でも「概ね満足」の割合が最も高く【18歳以下】では60.0%、【19～64歳】では66.7%、【65歳以上】では66.7%となっています。

【精神】のうち、【18歳以下】は有効回答がありませんでした。【19～64歳】では「大変満足」が100.0%、【65歳以上】では「概ね満足」が100.0%となっています。

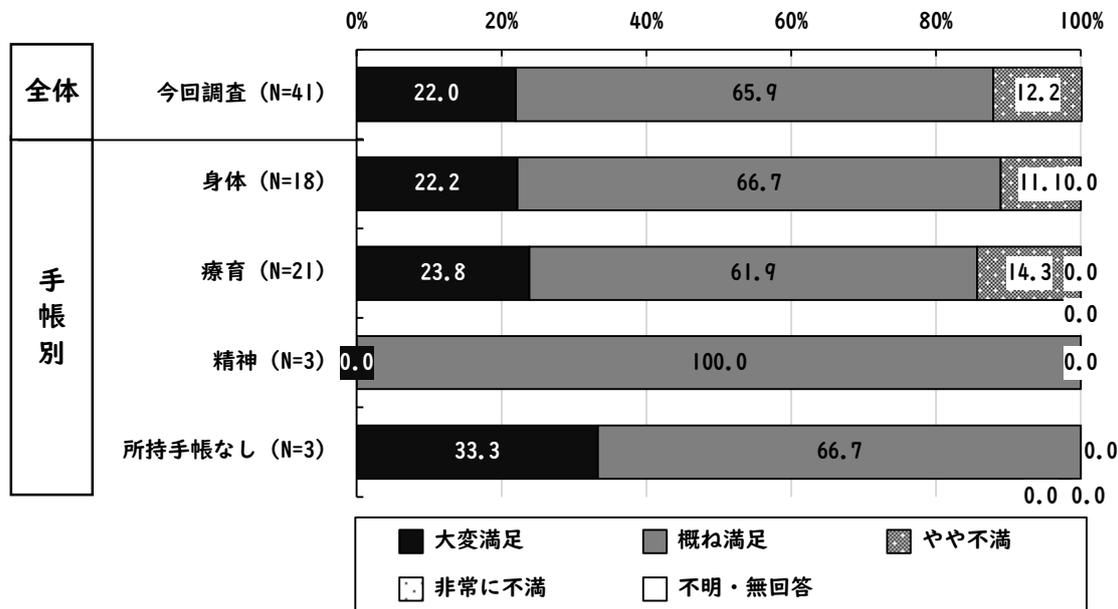
【所持手帳なし】のうち、【18歳以下】では「概ね満足」が100.0%、【19～64歳】は有効回答がありませんでした。【65歳以上】では「概ね満足」「非常に不満」がともに50.0%となっています。

		大満足	概ね満足	やや不満	非常に不満	不明・無回答
身体	0～18歳 (n=3)	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0
	19～64歳 (n=4)	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0
	65歳以上 (n=12)	25.0	66.7	8.3	0.0	0.0
療育	0～18歳 (n=5)	20.0	60.0	20.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=12)	8.3	66.7	16.7	8.3	0.0
	65歳以上 (n=3)	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3
精神	0～18歳 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	65歳以上 (n=2)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
手帳なし	0～18歳 (n=4)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	65歳以上 (n=2)	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0

問 36 5 通所施設等で行う日常生活の介助（生活介護）の満足度（満足度1つに○）

通所施設等で行う日常生活の介助の満足度では「概ね満足」が65.9%と最も高く、次いで「大変満足」が22.0%、「やや不満」が12.2%となっています。

所持手帳別にみると、どの手帳でも「概ね満足」の割合が最も高く、【身体】では66.7%、【療育】では61.9%、【精神】では100.0%、【所持手帳なし】では66.7%となっています。



■ クロス集計：所持手帳別年齢3区分

所持手帳別年齢3区分でみると、【身体】のうち、【18歳以下】では「大変満足」が100.0%、【19～64歳】、【65歳以上】では「概ね満足」がそれぞれ62.5%、77.8%となっています。

【療育】のうち、【18歳以下】では「大変満足」「概ね満足」がともに50.0%、【19～64歳】では「概ね満足」が66.7%、【65歳以上】では「やや不満」が100.0%となっています。

【精神】のうち、【18歳以下】は有効回答がありませんでした。【19～64歳】、【65歳以上】では「概ね満足」がともに100.0%となっています。

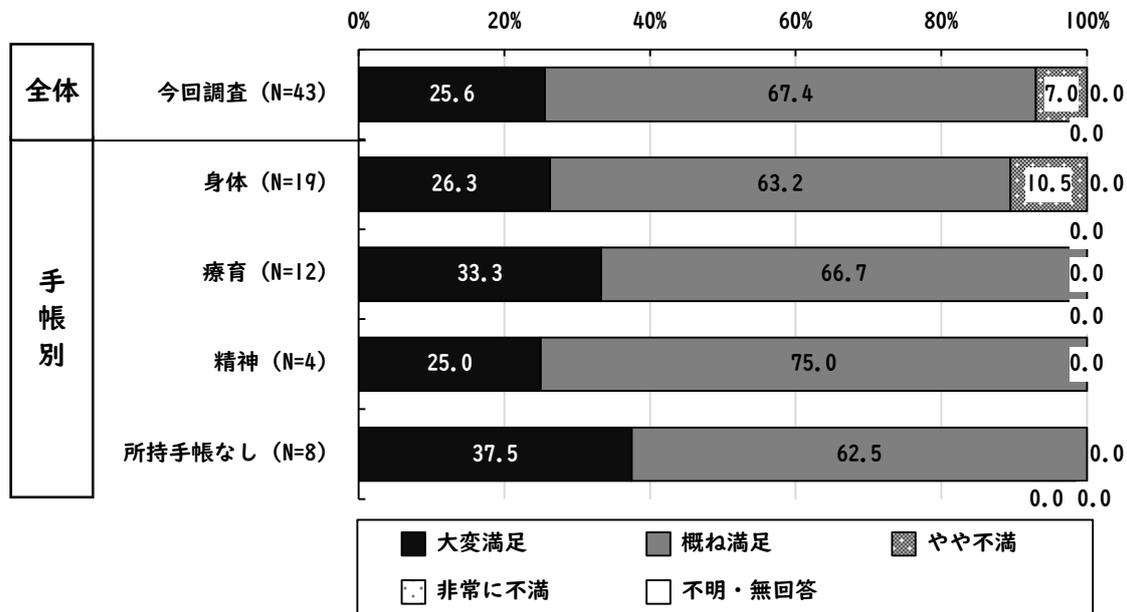
【所持手帳なし】のうち、【18歳以下】では「概ね満足」が100.0%、【19～64歳】は有効回答がありませんでした。【65歳以上】では「大変満足」「概ね満足」がともに50.0%となっています。

		大変満足	概ね満足	やや不満	非常に不満	不明・無回答
身体	0～18歳 (n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=8)	37.5	62.5	0.0	0.0	0.0
	65歳以上 (n=9)	0.0	77.8	22.2	0.0	0.0
療育	0～18歳 (n=2)	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=18)	22.2	66.7	11.1	0.0	0.0
	65歳以上 (n=1)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
精神	0～18歳 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=2)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	65歳以上 (n=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
手帳なし	0～18歳 (n=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	65歳以上 (n=2)	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0

問 36 6 通所施設等で行う社会生活ができるための訓練（自立訓練）の満足度
（満足度1つに○）

通所施設等で行う社会生活ができるための訓練の満足度では「概ね満足」が67.4%と最も高く、次いで「大変満足」が25.6%、「やや不満」が7.0%となっています。

所持手帳別にみると、どの手帳でも「概ね満足」の割合が最も高く、【身体】では63.2%、【療育】では66.7%、【精神】では75.0%、【所持手帳なし】では62.5%となっています。



■ クロス集計：所持手帳別年齢3区分

所持手帳別年齢3区分でみると、【身体】のうち、【18歳以下】では「概ね満足」が100.0%、【19～64歳】では「大変満足」が75.0%、【65歳以上】では「概ね満足」が69.2%となっています。

【療育】のうち、【18歳以下】、【19～64歳】では「概ね満足」がそれぞれ83.3%、60.0%、【65歳以上】は有効回答がありませんでした。

【精神】のうち、【18歳以下】は有効回答がありませんでした。【19～64歳】では「概ね満足」が66.7%、【65歳以上】では「概ね満足」が100.0%となっています。

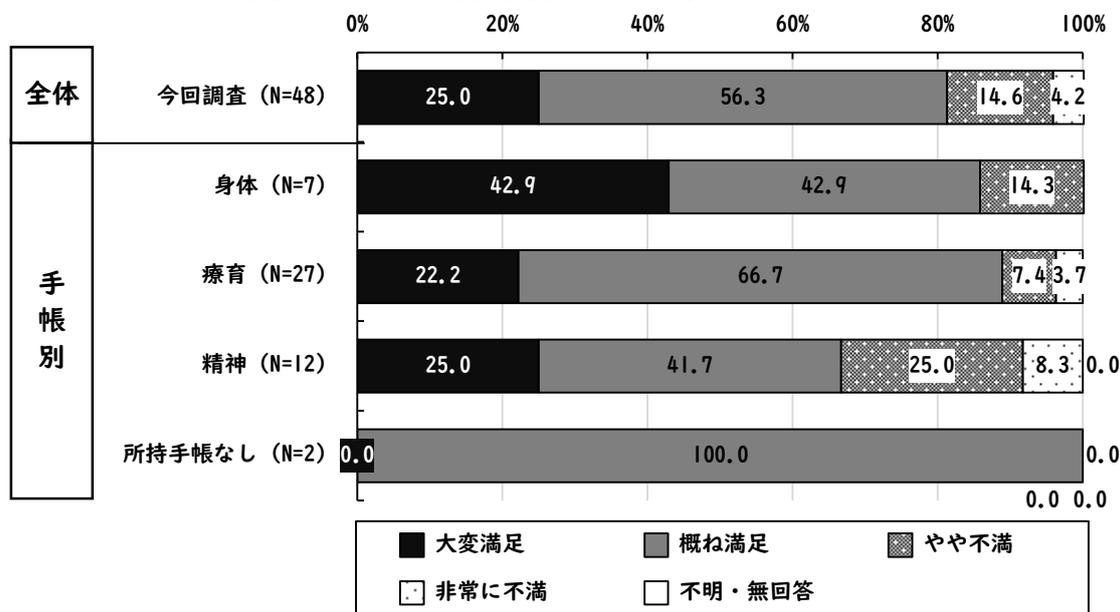
【所持手帳なし】のうち、【18歳以下】、【19～64歳】では「概ね満足」がそれぞれ75.0%、100.0%、【65歳以上】では「大変満足」が66.7%となっています。

		大満足	概ね満足	やや不満	非常に不満	不明・無回答
身体	0～18歳 (n=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=4)	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	65歳以上 (n=13)	15.4	69.2	15.4	0.0	0.0
療育	0～18歳 (n=6)	16.7	83.3	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=5)	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0
	65歳以上 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
精神	0～18歳 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=3)	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0
	65歳以上 (n=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
手帳なし	0～18歳 (n=4)	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	65歳以上 (n=3)	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0

問 36 7 通所施設等で行う就労や就労のための訓練（就労支援）の満足度
（満足度1つに○）

通所施設等で行う就労や就労のための訓練の満足度では「概ね満足」が56.3%と最も高く、次いで「大変満足」が25.0%、「やや不満」が14.6%となっています。

所持手帳別にみると、【療育】、【精神】、【所持手帳なし】では「概ね満足」の割合が最も高く、それぞれ66.7%、41.7%、100.0%、【身体】では「大変満足」「概ね満足」がともに42.9%となっています。



■ クロス集計：所持手帳別年齢3区分

所持手帳別年齢3区分でみると、【身体】のうち、【18歳以下】は有効回答がありませんでした。【19～64歳】では「大変満足」「概ね満足」がともに50.0%、【65歳以上】では「やや不満」が100.0%となっています。

【療育】のうち、【18歳以下】、【19～64歳】では「概ね満足」がそれぞれ100.0%、63.6%、【65歳以上】では「大変満足」「概ね満足」がともに50.0%となっています。

【精神】のうち、【18歳以下】では「非常に不満」が100.0%、【19～64歳】では「概ね満足」が55.6%、【65歳以上】は有効回答がありませんでした。

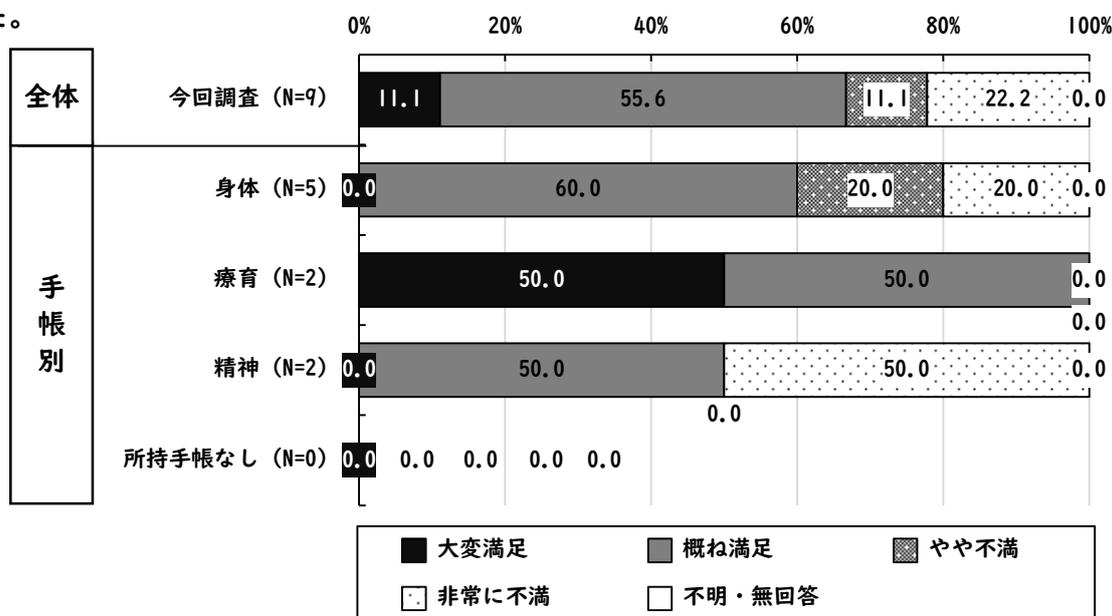
【所持手帳なし】のうち、【18歳以下】は有効回答がありませんでした。【19～64歳】、【65歳以上】では「概ね満足」がともに100.0%となっています。

		大変満足	概ね満足	やや不満	非常に不満	不明・無回答
身体	0～18歳 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=6)	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	65歳以上 (n=1)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
療育	0～18歳 (n=2)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=22)	22.7	63.6	9.1	4.5	0.0
	65歳以上 (n=2)	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
精神	0～18歳 (n=1)	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	19～64歳 (n=9)	22.2	55.6	22.2	0.0	0.0
	65歳以上 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手帳なし	0～18歳 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	65歳以上 (n=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

問36 8 退院・退所への支援や地域で住み続けるための支援（地域移行・地域定着支援）の満足度（満足度1つに○）

退院・退所への支援や地域で住み続けるための支援では「概ね満足」が55.6%と最も高く、次いで「非常に不満」が22.2%、「大変満足」「やや不満」が11.1%となっています。

所持手帳別にみると【身体】では「概ね満足」が60.0%、【療育】では「大変満足」「概ね満足」がともに50.0%、【精神】では「概ね満足」「非常に不満」がともに50.0%、【所持手帳なし】は有効回答がありませんでした。



■ クロス集計：所持手帳別年齢3区分

所持手帳別年齢3区分でみると、【身体】のうち、【18歳以下】、【19～64歳】は有効回答がありませんでした。【65歳以上】では「概ね満足」が60.0%となっています。

【療育】のうち、【18歳以下】は有効回答がありませんでした。【19～64歳】では「大変満足」「概ね満足」がともに50.0%、【65歳以上】は有効回答がありませんでした。

【精神】のうち、【18歳以下】では「非常に不満」が100.0%、【19～64歳】は有効回答がありませんでした。【65歳以上】では「概ね満足」が100.0%となっています。

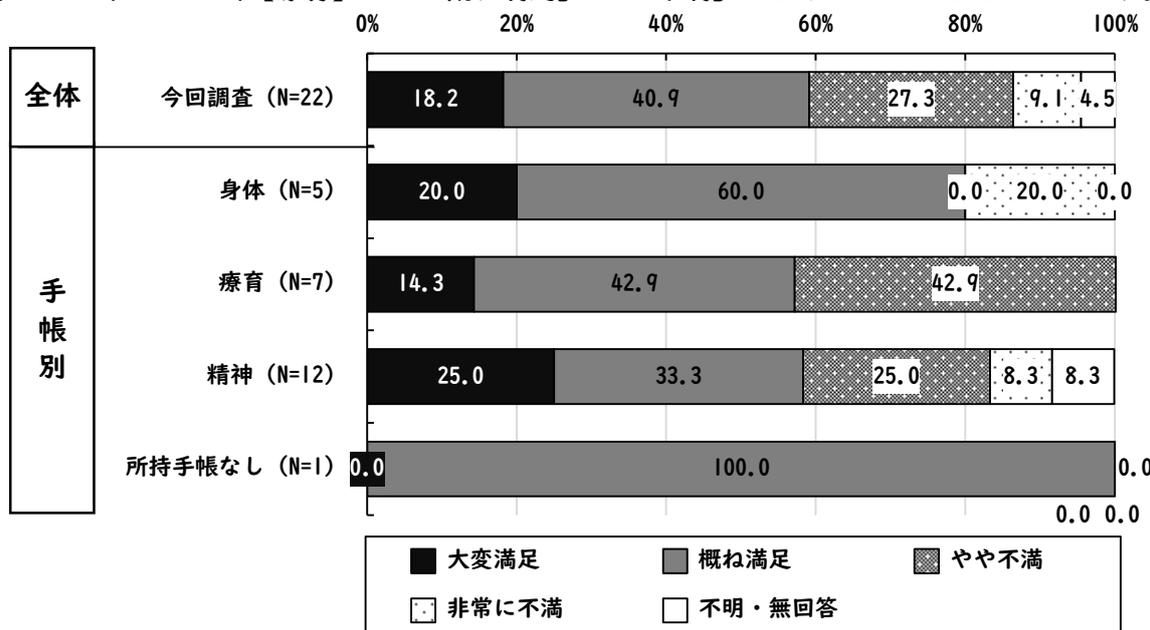
【所持手帳なし】のいずれの年代でも、有効回答がありませんでした。

		大変満足	概ね満足	やや不満	非常に不満	不明・無回答
身体	0～18歳 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	65歳以上 (n=5)	0.0	60.0	20.0	20.0	0.0
療育	0～18歳 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=2)	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	65歳以上 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
精神	0～18歳 (n=1)	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	19～64歳 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	65歳以上 (n=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
手帳なし	0～18歳 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	65歳以上 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 36 9 地域活動支援センター（小規模作業所を含む）の満足度（満足度1つに○）

地域活動支援センターの満足度では「概ね満足」が40.9%と最も高く、次いで「やや不満」が27.3%、「大変満足」が18.2%となっています。

所持手帳別にみると【身体】、【精神】、【所持手帳なし】では「概ね満足」の割合が最も高く、それぞれ60.0%、33.3%、100.0%、【療育】では「概ね満足」「やや不満」がともに42.9%となっています。



■ クロス集計：所持手帳別年齢3区分

所持手帳別年齢3区分でみると、【身体】のうち、【18歳以下】は有効回答がありませんでした。【19～64歳】では「概ね満足」が66.7%、【65歳以上】では「概ね満足」「非常に不満」がともに50.0%となっています。

【療育】のうち、【18歳以下】では「大変満足」「やや不満」がともに50.0%、【19～64歳】では「概ね満足」が60.0%、【65歳以上】は有効回答がありませんでした。

【精神】のうち、【18歳以下】では「大変満足」「非常に不満」がともに50.0%、【19～64歳】では「概ね満足」が50.0%、【65歳以上】では「大変満足」が100.0%となっています。

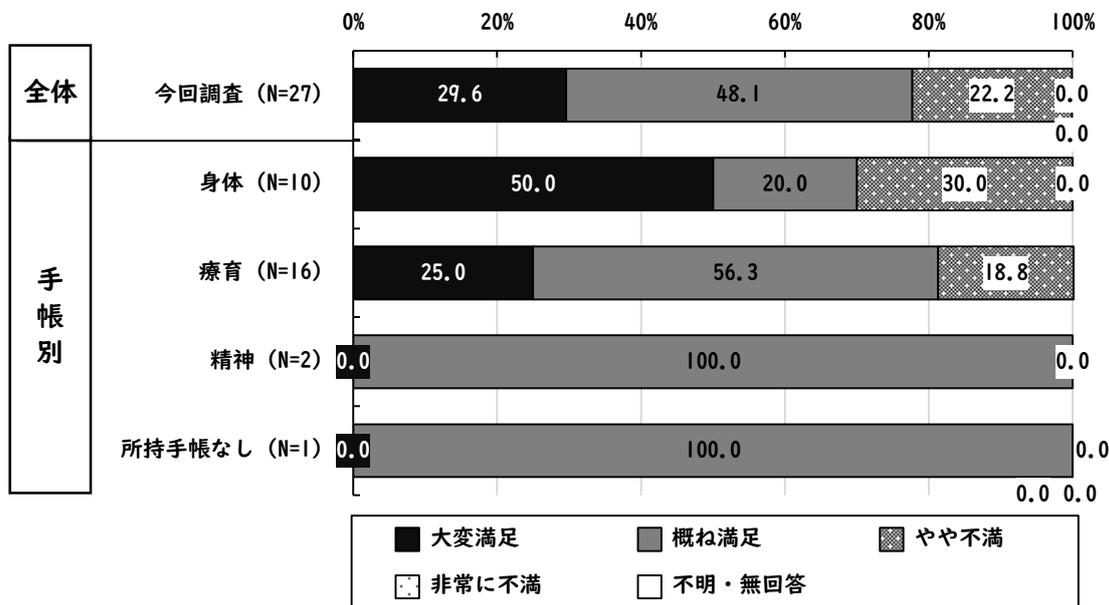
【所持手帳なし】のうち、【18歳以下】【19～64歳】は有効回答がありませんでした。【65歳以上】では「概ね満足」が100.0%となっています。

		大満足	概ね満足	やや不満	非常に不満	不明・無回答
身体	0～18歳 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=3)	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0
	65歳以上 (n=2)	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
療育	0～18歳 (n=2)	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=5)	0.0	60.0	40.0	0.0	0.0
	65歳以上 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
精神	0～18歳 (n=2)	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	19～64歳 (n=8)	12.5	50.0	25.0	0.0	12.5
	65歳以上 (n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手帳なし	0～18歳 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	65歳以上 (n=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

問 36 10 グループホーム等での共同生活の満足度（満足度1つに○）

グループホーム等での共同生活の満足度では「概ね満足」が48.1%と最も高く、次いで「大変満足」が29.6%、「やや不満」が22.2%となっています。

所持手帳別にみると【療育】、【精神】、【所持手帳なし】では「概ね満足」の割合が最も高く、それぞれ56.3%、100.0%、100.0%、【身体】では「大変満足」が50.0%となっています。



■ クロス集計：所持手帳別年齢3区分

所持手帳別年齢3区分でみると、【身体】のうち、【18歳以下】は有効回答がありませんでした。【19～64歳】では「大変満足」が60.0%、【65歳以上】では「大変満足」「やや不満」がともに40.0%となっています。

【療育】のうち、【18歳以下】では「やや不満」が100.0%、【19～64歳】、【65歳以上】では「概ね満足」がそれぞれ50.0%、100.0%となっています。

【精神】のうち、【18歳以下】は有効回答がありませんでした。【19～64歳】では「概ね満足」が100.0%、【65歳以上】は有効回答がありませんでした。

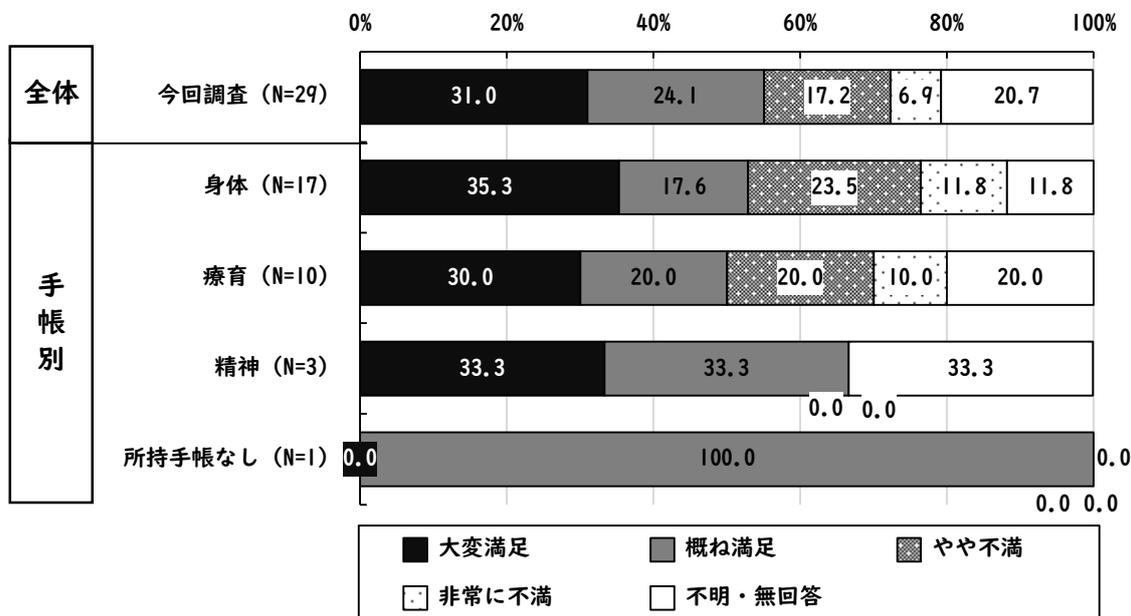
【所持手帳なし】のうち、【18歳以下】は有効回答がありませんでした。【19～64歳】では「概ね満足」が100.0%、【65歳以上】は有効回答がありませんでした。

		大満足	概ね満足	やや不満	非常に不満	不明・無回答
身体	0～18歳 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=5)	60.0	20.0	20.0	0.0	0.0
	65歳以上 (n=5)	40.0	20.0	40.0	0.0	0.0
療育	0～18歳 (n=1)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=12)	33.3	50.0	16.7	0.0	0.0
	65歳以上 (n=3)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
精神	0～18歳 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	65歳以上 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手帳なし	0～18歳 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	65歳以上 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 36 11 施設への入所の満足度（満足度1つに○）

施設への入所の満足度では「大変満足」が31.0%と最も高く、次いで「概ね満足」が24.1%、「やや不満」が17.2%となっています。

所持手帳別にみると【身体】では「大変満足」が35.3%、【療育】では「大変満足」が30.0%、【精神】では「大変満足」「概ね満足」がともに33.3%、【所持手帳なし】では「概ね満足」が100.0%となっています。



■ クロス集計：所持手帳別年齢3区分

所持手帳別年齢3区分でみると、【身体】のうち、【18歳以下】は有効回答がありませんでした。【19～64歳】では「概ね満足」「やや不満」がともに40.0%、【65歳以上】では「大変満足」が41.7%となっています。

【療育】のうち、【18歳以下】では「大変満足」が100.0%、【19～64歳】では「やや不満」が50.0%、【65歳以上】では「概ね満足」「非常に不満」がともに25.0%となっています。

【精神】のうち、【18歳以下】では「大変満足」が100.0%、【19～64歳】は有効回答がありませんでした。【65歳以上】では「概ね満足」が100.0%となっています。

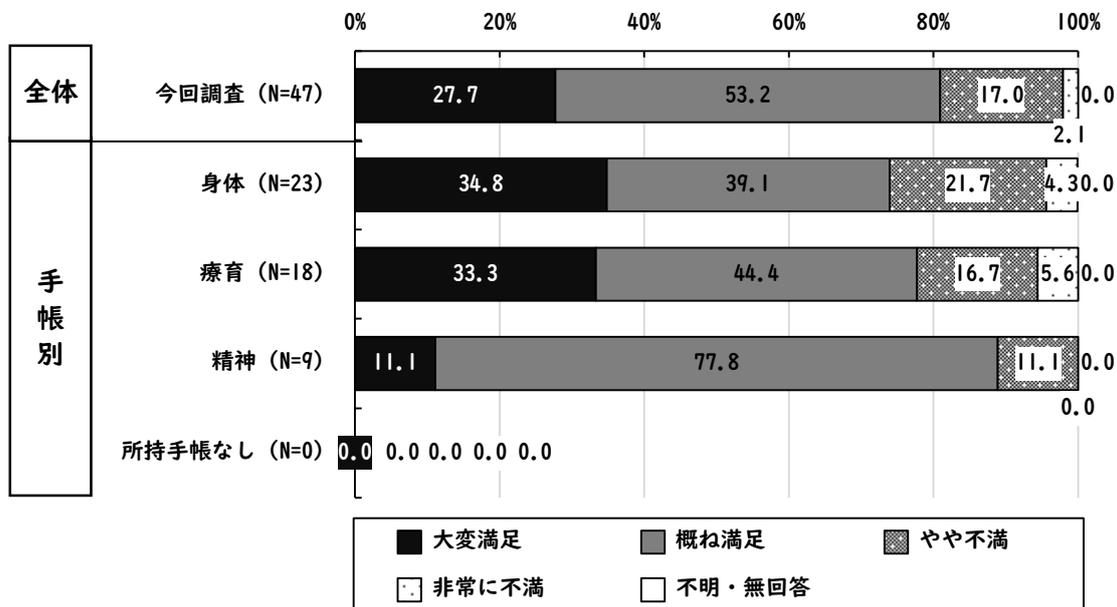
【所持手帳なし】のうち、【18歳以下】、【19～64歳】は有効回答がありませんでした。【65歳以上】では「概ね満足」が100.0%となっています。

		大満足	概ね満足	やや不満	非常に不満	不明・無回答
身体	0～18歳 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=5)	20.0	40.0	40.0	0.0	0.0
	65歳以上 (n=12)	41.7	8.3	16.7	16.7	16.7
療育	0～18歳 (n=2)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=4)	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0
	65歳以上 (n=4)	0.0	25.0	0.0	25.0	50.0
精神	0～18歳 (n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	65歳以上 (n=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
手帳なし	0～18歳 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	65歳以上 (n=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

問 36 12 サービスを利用するための相談の満足度（満足度1つに○）

サービスを利用するための相談の満足度では「概ね満足」が53.2%と最も高く、次いで「大変満足」が27.7%、「やや不満」が17.0%となっています。

所持手帳別にみると【身体】、【療育】、【精神】では「概ね満足」の割合が最も高く、それぞれ39.1%、44.4%、77.8%、【所持手帳なし】は有効回答がありませんでした。



■ クロス集計：所持手帳別年齢3区分

所持手帳別年齢3区分でみると、【身体】のうち、【18歳以下】では「大変満足」「概ね満足」がともに50.0%、【19～64歳】では「大変満足」が62.5%、【65歳以上】では「概ね満足」が41.7%となっています。

【療育】のうち、【18歳以下】では「大変満足」「やや不満」がともに50.0%、【19～64歳】では「概ね満足」が53.3%、【65歳以上】では「非常に不満」が100.0%となっています。

【精神】のいずれの年代でも「概ね満足」の割合が最も高く、【18歳以下】では100.0%、【19～64歳】では60.0%、【65歳以上】では100.0%となっています。

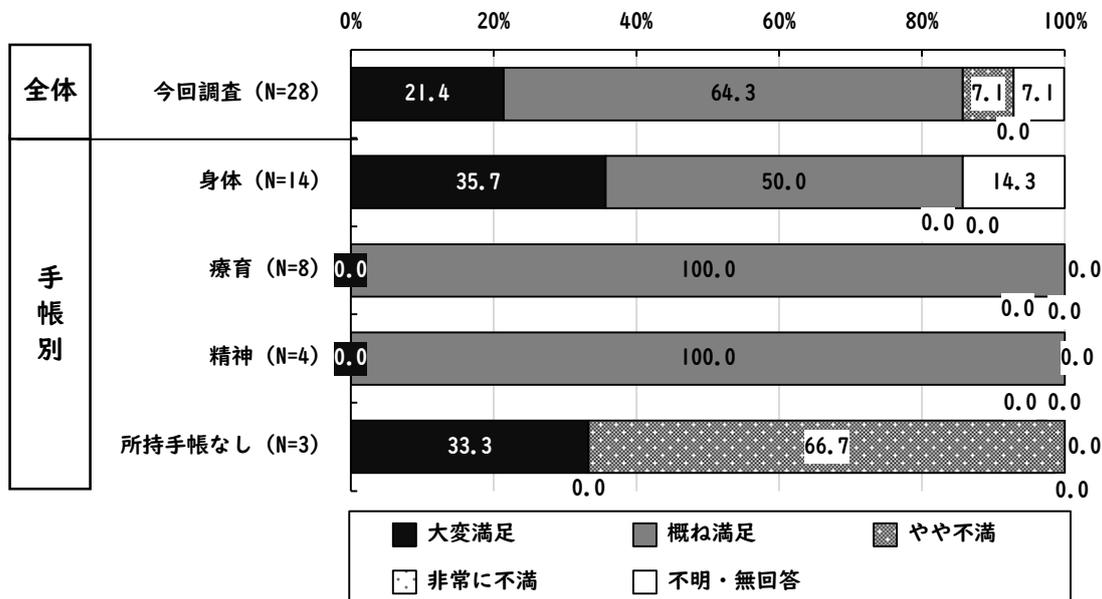
【所持手帳なし】のいずれの年代でも、有効回答がありませんでした。

		大満足	概ね満足	やや不満	非常に不満	不明・無回答
身体	0～18歳 (n=2)	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=8)	62.5	25.0	12.5	0.0	0.0
	65歳以上 (n=12)	16.7	41.7	33.3	8.3	0.0
療育	0～18歳 (n=2)	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=15)	33.3	53.3	13.3	0.0	0.0
	65歳以上 (n=1)	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
精神	0～18歳 (n=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=5)	20.0	60.0	20.0	0.0	0.0
	65歳以上 (n=2)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
手帳なし	0～18歳 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	65歳以上 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 36 13 その他 利用しているサービスの満足度（満足度1つに○）

その他利用しているサービスの満足度では「概ね満足」が64.3%と最も高く、次いで「大変満足」が21.4%、「やや不満」が7.1%となっています。

所持手帳別にみると【身体】、【療育】、【精神】では「概ね満足」の割合が最も高く、それぞれ50.0%、100.0%、100.0%、【所持手帳なし】では「やや不満」が66.7%となっています。



■ クロス集計：所持手帳別年齢3区分

所持手帳別年齢3区分でみると、【身体】のうち、【18歳以下】は有効回答がありませんでした。【19～64歳】では「大変満足」が100.0%、【65歳以上】では「概ね満足」が53.8%となっています。

【療育】のうち、【18歳以下】では「概ね満足」が100.0%、【19～64歳】、【65歳以上】は有効回答がありませんでした。

【精神】のうち、【18歳以下】、【19～64歳】では「概ね満足」がともに100.0%、【65歳以上】は有効回答がありませんでした。

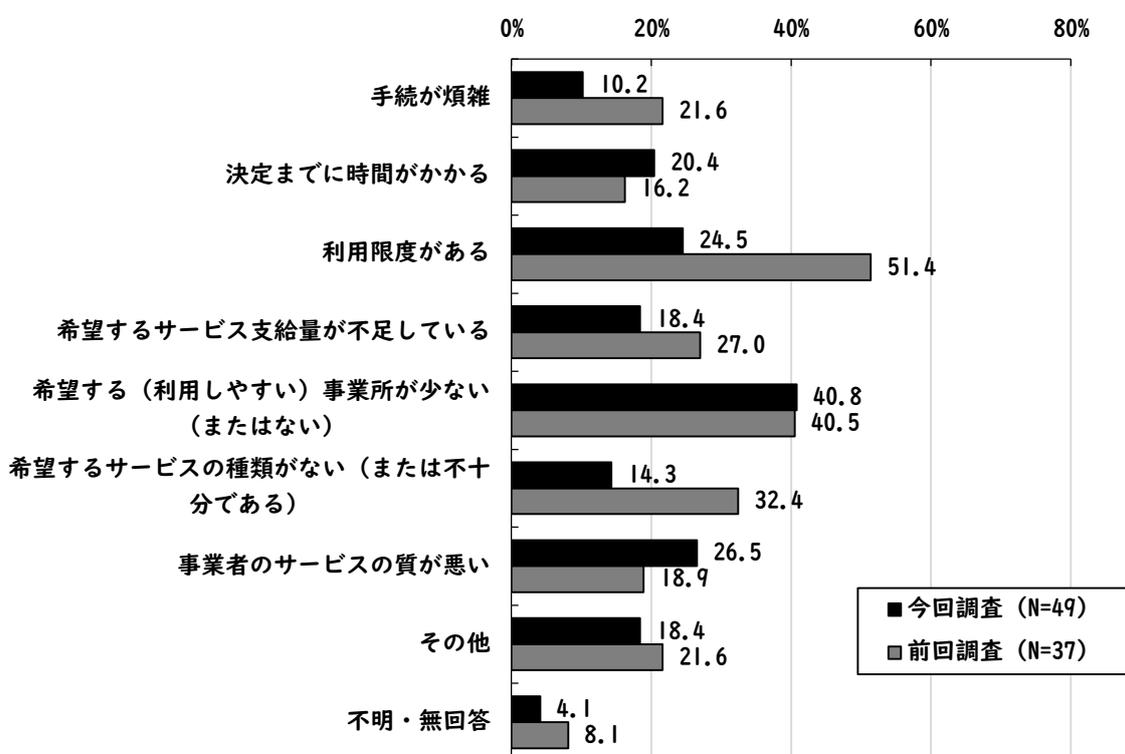
【所持手帳なし】のうち、【18歳以下】では「やや不満」が100.0%、【19～64歳】では「大変満足」が100.0%、【65歳以上】は有効回答がありませんでした。

		大変満足	概ね満足	やや不満	非常に不満	不明・無回答
身体	0～18歳 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	65歳以上 (n=13)	30.8	53.8	0.0	0.0	15.4
療育	0～18歳 (n=8)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	65歳以上 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
精神	0～18歳 (n=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=3)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	65歳以上 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手帳なし	0～18歳 (n=2)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	65歳以上 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

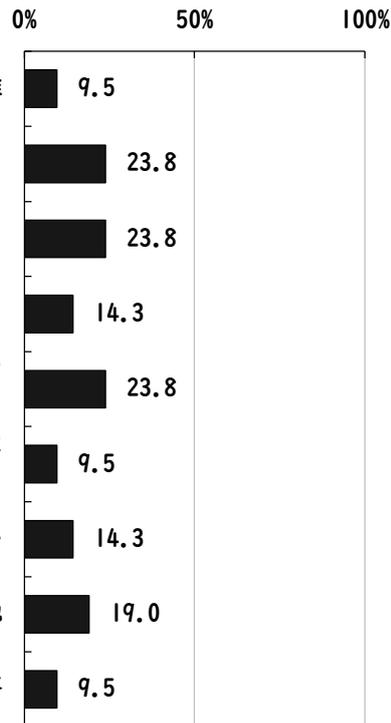
問 37 【問 36 で1つでも「やや不満」または「非常に不満」に○をつけた方にお聞きします。】
 不満を感じる理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

不満を感じる理由では「希望する(利用しやすい)事業所が少ない(またはない)」が40.8%と最も高く、次いで「事業者のサービスの質が悪い」が26.5%、「利用限度がある」が24.5%となっています。前回調査では「利用限度がある」が51.4%、次いで「希望する(利用しやすい)事業所が少ない(またはない)」が40.5%、「希望するサービスの種類がない(または不十分である)」が32.4%となっています。

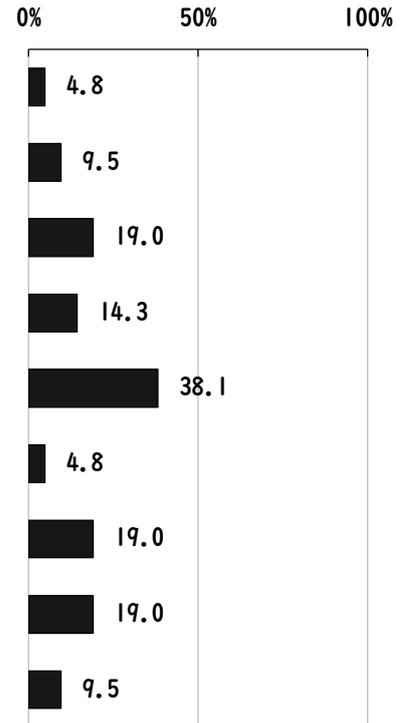
所持手帳別にみると【身体】では「決定までに時間がかかる」「利用限度がある」「希望する(利用しやすい)事業所が少ない(またはない)」がそれぞれ23.8%、【療育】では「希望する(利用しやすい)事業所が少ない(またはない)」が38.1%、【精神】では「希望するサービス支給量が不足している」「希望する(利用しやすい)事業所が少ない(またはない)」がともに55.6%、【所持手帳なし】では「希望する(利用しやすい)事業所が少ない(またはない)」「事業者のサービスの質が悪い」がともに66.7%となっています。



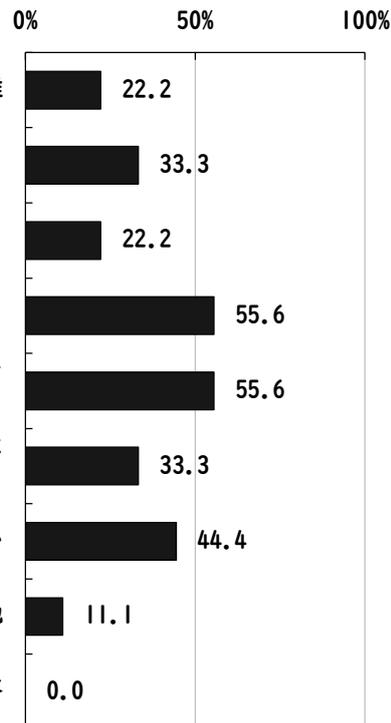
身体 (n=21)



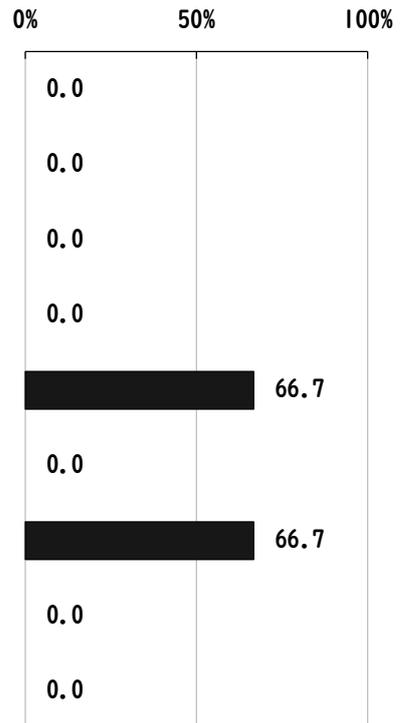
療育 (n=21)



精神 (n=9)

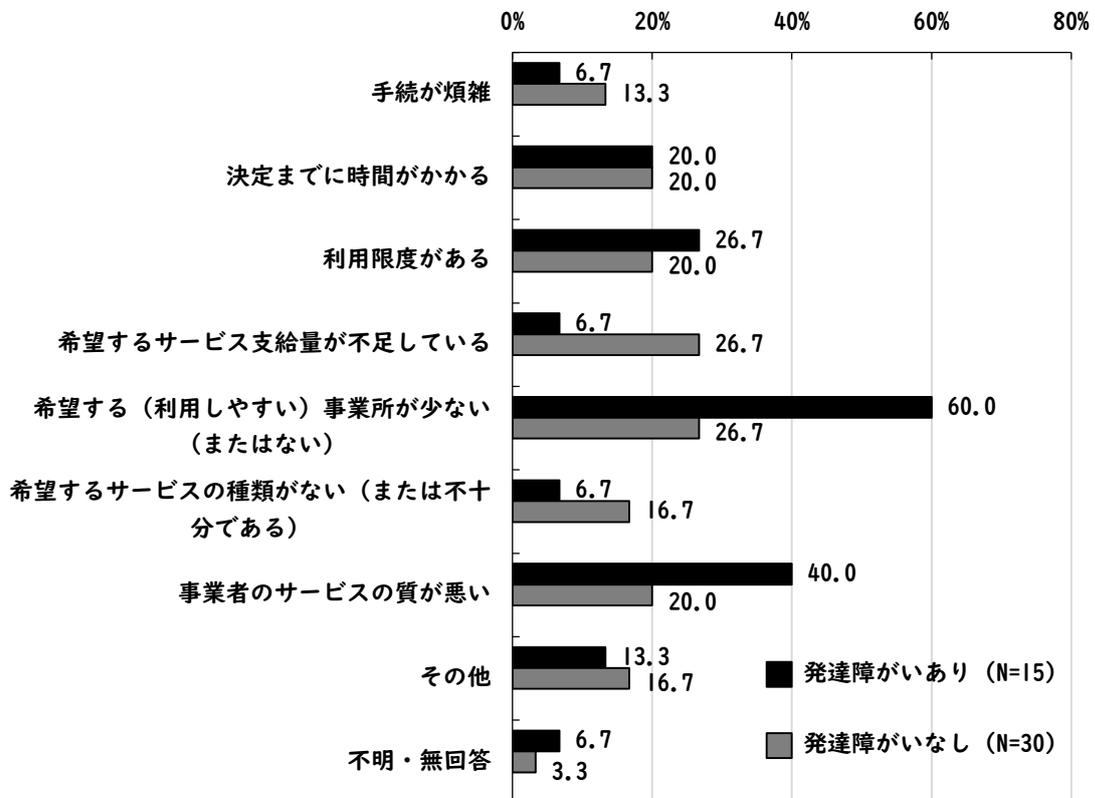


所持手帳なし (n=3)



■ クロス集計：発達障がいの有無

発達障がいの有無別でみると、【発達障がいあり】では「希望する（利用しやすい）事業所が少ない（またはない）」が60.0%、【発達障がいなし】では「希望するサービス支給量が不足している」「希望する（利用しやすい）事業所が少ない（またはない）」が26.7%となっています。



■ クロス集計：所持手帳別年齢3区分

所持手帳別年齢3区分でみると、【身体】のうち、【18歳以下】では「希望するサービスの種類がない（または不十分である）」「事業者のサービスの質が悪い」がともに50.0%、【19～64歳】では「その他」が42.9%、【65歳以上】では「利用限度がある」が45.5%となっています。

【療育】のうち、【18歳以下】では「決定までに時間がかかる」「利用限度がある」「その他」がそれぞれ33.3%、【19～64歳】では「希望する（利用しやすい）事業所が少ない（またはない）」が47.1%、【65歳以上】では「希望するサービス支給量が不足している」が100.0%となっています。

【精神】のうち、【18歳以下】では「手続きが煩雑」「決定までに時間がかかる」「利用限度がある」「希望するサービス支給量が不足している」「事業者のサービスの質が悪い」がそれぞれ100.0%、【19～64歳】では「希望する（利用しやすい）事業所が少ない（またはない）」が66.7%、【65歳以上】では「希望するサービスの種類がない（または不十分である）」「その他」がともに100.0%となっています。

【所持手帳なし】のうち、【18歳以下】では「希望する（利用しやすい）事業所が少ない（またはない）」「事業者のサービスの質が悪い」がともに50.0%、【19～64歳】は有効回答がありませんでした。【65歳以上】では「希望する（利用しやすい）事業所が少ない（またはない）」「事業者のサービスの質が悪い」がともに100.0%となっています。

		手続きが煩雑	決定までに時間がかかる	利用限度がある	希望するサービス支給量が不足している	希望する（利用しやすい）事業所が少ない（またはない）	希望するサービスの種類がない（または不十分である）	事業者のサービスの質が悪い	その他	不明・無回答
身体	0～18歳 (n=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0
	19～64歳 (n=7)	0.0	0.0	0.0	14.3	28.6	0.0	0.0	42.9	14.3
	65歳以上 (n=11)	18.2	36.4	45.5	18.2	27.3	9.1	18.2	9.1	0.0
療育	0～18歳 (n=3)	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3
	19～64歳 (n=17)	5.9	5.9	17.6	11.8	47.1	5.9	23.5	17.6	5.9
	65歳以上 (n=1)	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
精神	0～18歳 (n=1)	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=6)	16.7	16.7	0.0	50.0	66.7	16.7	33.3	0.0	0.0
	65歳以上 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0
手帳なし	0～18歳 (n=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	19～64歳 (n=)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	65歳以上 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0

■ クロス集計：利用サービス毎

利用サービス毎でみると、【ホームヘルプ（自宅で行う日常生活上の支援）】、【移動支援（外出のときの支援）】、【短期入所（数日間泊まれる施設等）】、【日中一時支援（日中を過ごす施設等）】、【通所施設等で行う日常生活の介助（生活介護）】、【通所施設等で行う就労や就労のための訓練（就労支援）】では「希望する（利用しやすい）事業所が少ない（またはない）」の割合が最も高く、それぞれ【ホームヘルプ（自宅で行う日常生活上の支援）】では50.0%、【移動支援（外出のときの支援）】では50.0%、【短期入所（数日間泊まれる施設等）】では50.0%、【日中一時支援（日中を過ごす施設等）】では57.1%、【通所施設等で行う日常生活の介助（生活介護）】では46.7%、【通所施設等で行う就労や就労のための訓練（就労支援）】では53.8%、【通所施設等で行う社会生活ができるための訓練（自立訓練）】では「利用限度がある」が66.7%、【退院・退所への支援や地域で住み続けるための支援（地域移行・地域定着支援）】では「決定までに時間がかかる」が80.0%、【地域活動支援センター（小規模作業所を含む）】では「決定までに時間がかかる」、「利用限度がある」、「希望する（利用しやすい）事業所が少ない（またはない）」が54.5%、【グループホーム等での共同生活】では「決定までに時間がかかる」が40.0%、【施設への入所】では「決定までに時間がかかる」が66.7%、【サービスを利用するための相談】では「決定までに時間がかかる」が35.3%となっています。

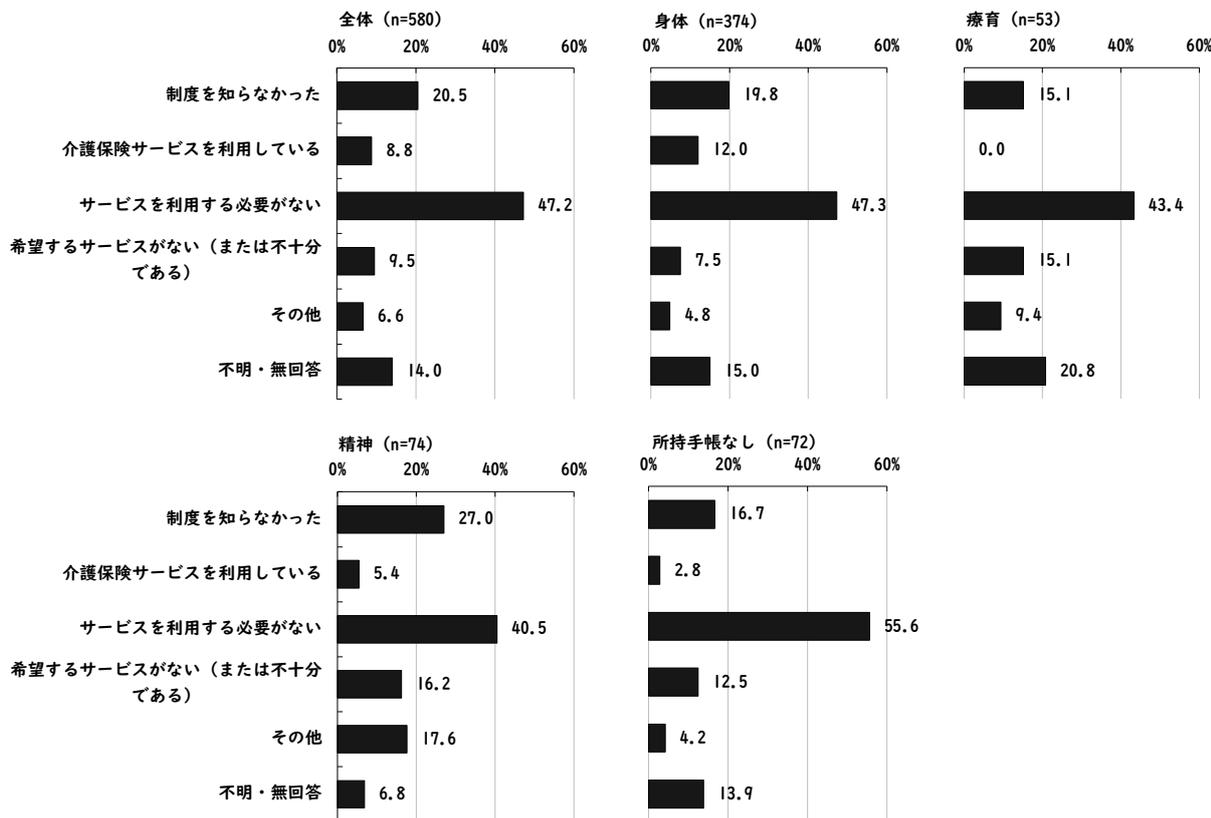
	手続きが煩雑	決定までに時間がかかる	利用限度がある	希望するサービス支給量が不足している	希望する(利用しやすい)事業所が少ない(またはない)
ホームヘルプ(自宅で行う日常生活上の支援)(n=12)	16.7	33.3	41.7	25.0	50.0
移動支援(外出のときの支援)(n=22)	4.5	22.7	31.8	9.1	50.0
短期入所(数日間泊まれる施設等)(n=12)	8.3	16.7	25.0	0.0	50.0
日中一時支援(日中を過ごす施設等)(n=14)	7.1	28.6	35.7	21.4	57.1
通所施設等で行う日常生活の介助(生活介護)(n=15)	20.0	33.3	26.7	6.7	46.7
通所施設等で行う社会生活ができるための訓練(自立訓練)(n=6)	33.3	50.0	66.7	16.7	33.3
通所施設等で行う就労や就労のための訓練(就労支援)(n=13)	15.4	38.5	46.2	15.4	53.8
退院・退所への支援や地域で住み続けるための支援(地域移行・地域定着支援)(n=5)	40.0	80.0	60.0	20.0	40.0
地域活動支援センター(小規模作業所を含む)(n=11)	18.2	54.5	54.5	45.5	54.5
グループホーム等での共同生活(n=10)	20.0	40.0	20.0	10.0	30.0
施設への入所(n=9)	22.2	66.7	44.4	22.2	33.3
サービスを利用するための相談(n=17)	17.6	35.3	29.4	17.6	29.4

	希望するサービスの種類がない(または不十分である)	事業者のサービスの質が悪い	その他	不明・無回答
ホームヘルプ(自宅で行う日常生活上の支援)(n=12)	33.3	25.0	16.7	0.0
移動支援(外出のときの支援)(n=22)	9.1	18.2	13.6	4.5
短期入所(数日間泊まれる施設等)(n=12)	16.7	25.0	8.3	8.3
日中一時支援(日中を過ごす施設等)(n=14)	14.3	21.4	0.0	7.1
通所施設等で行う日常生活の介助(生活介護)(n=15)	6.7	26.7	0.0	6.7
通所施設等で行う社会生活ができるための訓練(自立訓練)(n=6)	16.7	0.0	0.0	0.0
通所施設等で行う就労や就労のための訓練(就労支援)(n=13)	7.7	15.4	23.1	0.0
退院・退所への支援や地域で住み続けるための支援(地域移行・地域定着支援)(n=5)	0.0	20.0	20.0	0.0
地域活動支援センター(小規模作業所を含む)(n=11)	9.1	36.4	9.1	0.0
グループホーム等での共同生活(n=10)	0.0	10.0	30.0	0.0
施設への入所(n=9)	0.0	11.1	11.1	0.0
サービスを利用するための相談(n=17)	23.5	17.6	17.6	5.9

問 38 【問 35 で「2. 現在利用していない（以前利用したことがある）」から「4. 知らなく
て利用したことがない」までのいずれかに○をつけた方にお聞きします。
現在、利用していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

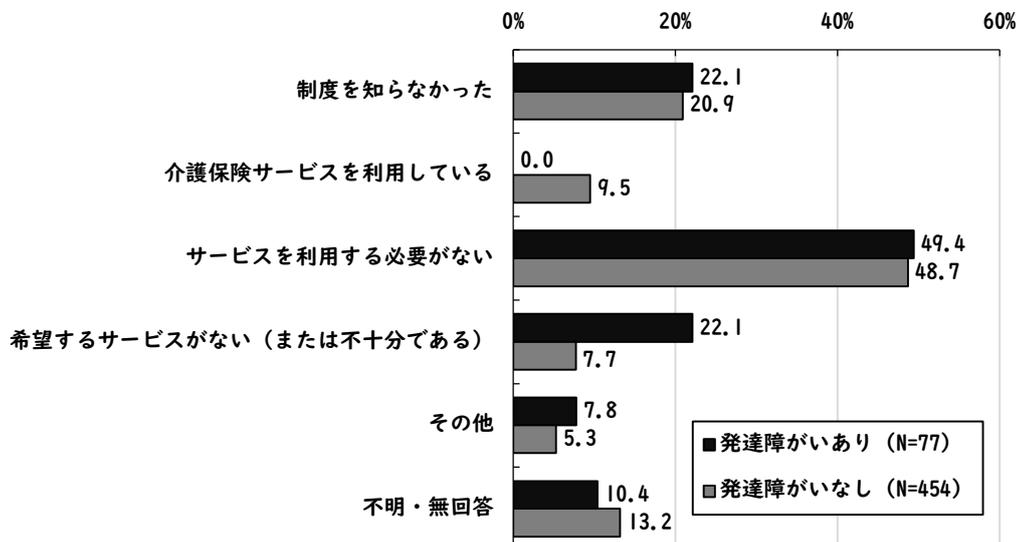
サービスを利用していない理由では「サービスを利用する必要がない」が47.2%と最も高く、次いで「制
度を知らなかった」が20.5%、「希望するサービスがない（または不十分である）」が9.5%となっています。

所持手帳別にみると、どの手帳でも「サービスを利用する必要がない」の割合が最も高く、【身体】では
47.3%、【療育】では43.4%、【精神】では40.5%、【所持手帳なし】では55.6%となっています。



■ クロス集計：発達障がいの有無

発達障がいの有無別でみると、【発達障がいあり】、【発達障がいなし】ともに「サービスを利用する必要
がない」の割合が最も高く、それぞれ49.4%、48.7%となっています。



■ クロス集計：所持手帳別年齢3区分

所持手帳別年齢3区分でみると、【身体】のうち、【18歳以下】では「制度を知らなかった」「サービスを利用する必要がない」がともに37.5%、【19～64歳】、【65歳以上】では「サービスを利用する必要がない」がそれぞれ57.4%、43.9%となっています。

【療育】のうち、【18歳以下】、【19～64歳】では「サービスを利用する必要がない」がそれぞれ54.2%、37.0%となっています。【65歳以上】は有効回答がありませんでした。

【精神】のうち、【18歳以下】では「制度を知らなかった」「サービスを利用する必要がない」「希望するサービスがない（または不十分である）」がそれぞれ33.3%、【19～64歳】では「サービスを利用する必要がない」が42.4%、【65歳以上】では「介護保険サービスを利用している」「サービスを利用する必要がない」がともに36.4%となっています。

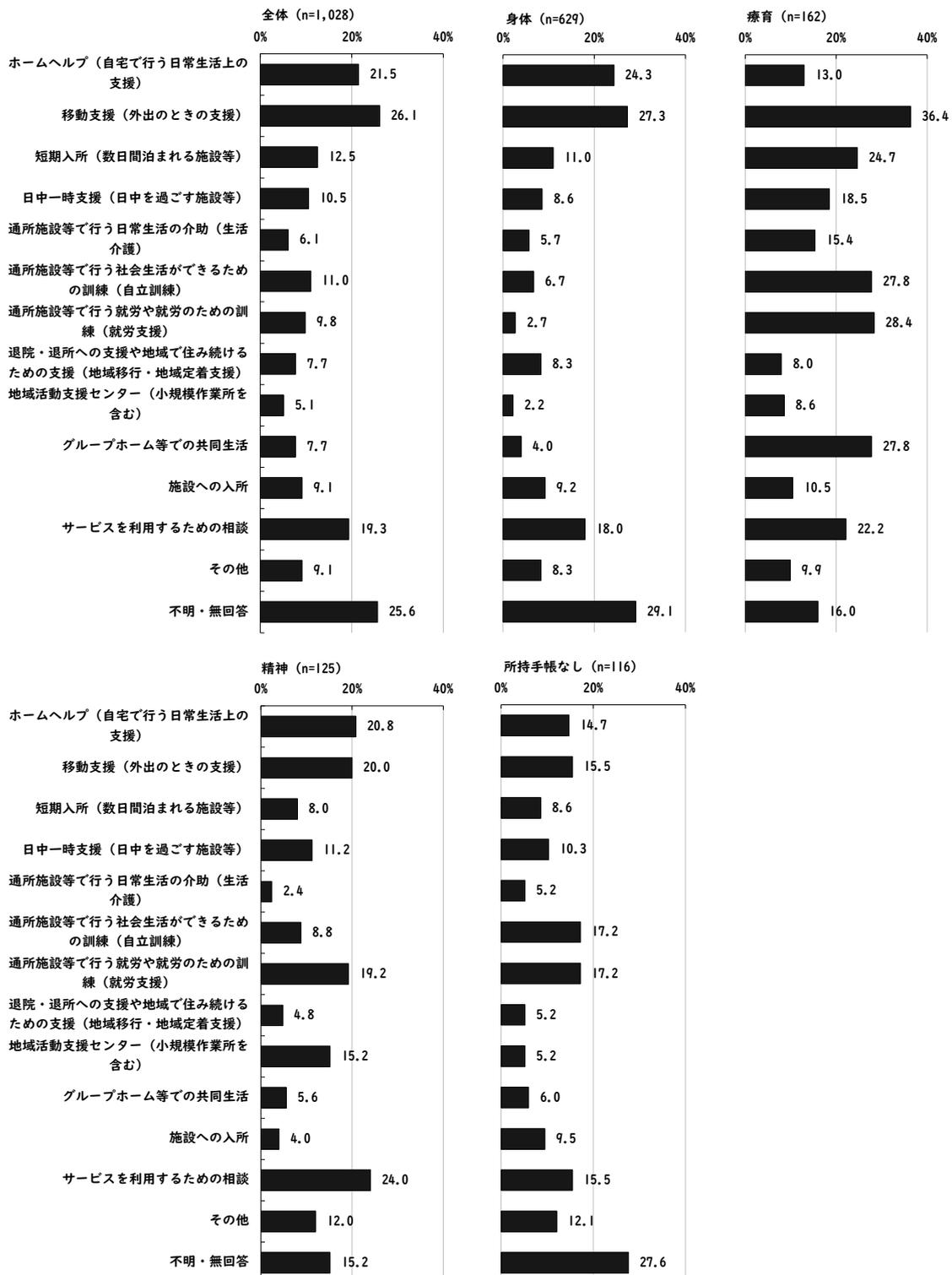
【所持手帳なし】のいずれの年代でも、「サービスを利用する必要がない」の割合が最も高く、【18歳以下】では58.3%、【19～64歳】では61.8%、【65歳以上】では35.7%となっています。

		制度を知らなかった	介護保険サービスを利用している	サービスを利用する必要がない	希望するサービスがない(または不十分である)	その他	不明・無回答
身体	0～18歳(n=8)	37.5	0.0	37.5	12.5	0.0	25.0
	19～64歳(n=101)	22.8	1.0	57.4	14.9	3.0	10.9
	65歳以上(n=262)	18.3	16.8	43.9	4.6	5.7	15.6
療育	0～18歳(n=24)	8.3	0.0	54.2	16.7	4.2	16.7
	19～64歳(n=27)	22.2	0.0	37.0	14.8	14.8	18.5
	65歳以上(n=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
精神	0～18歳(n=3)	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0
	19～64歳(n=59)	28.8	0.0	42.4	18.6	18.6	6.8
	65歳以上(n=11)	18.2	36.4	36.4	0.0	9.1	9.1
手帳なし	0～18歳(n=24)	12.5	0.0	58.3	16.7	4.2	12.5
	19～64歳(n=34)	17.6	0.0	61.8	14.7	5.9	8.8
	65歳以上(n=14)	21.4	14.3	35.7	0.0	0.0	28.6

問 39 今後利用したい（利用を継続したい）障がい福祉サービスは何ですか。
（あてはまるものすべてに○）

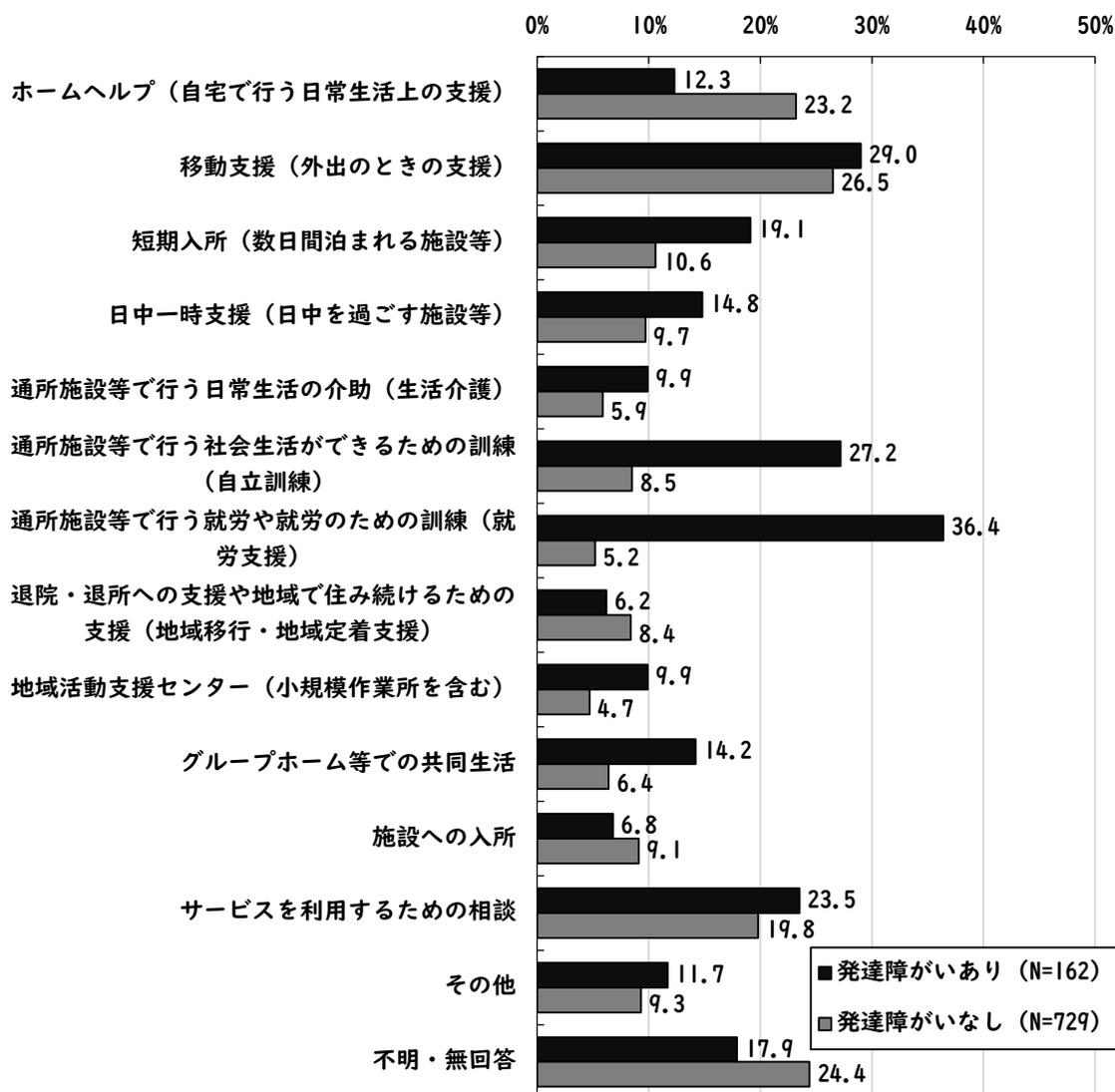
今後利用したい（利用を継続したい）サービスでは「移動支援（外出のときの支援）」が26.1%と最も高く、次いで「ホームヘルプ（自宅で行う日常生活上の支援）」が21.5%、「サービスを利用するための相談」が19.3%となっています。

所持手帳別にみると【身体】では「移動支援（外出のときの支援）」が27.3%、【療育】では「移動支援（外出のときの支援）」が36.4%、【精神】では「サービスを利用するための相談」が24.0%、【所持手帳なし】では「通所施設等で行う社会生活ができるための訓練（自立訓練）」「通所施設等で行う就労や就労のための訓練（就労支援）」がともに17.2%となっています。



■ クロス集計：発達障がいの有無

発達障がいの有無別で見ると、【発達障がいあり】では「通所施設等で行う就労や就労のための訓練（就労支援）」が36.4%、【発達障がいなし】では「移動支援（外出のときの支援）」が26.5%となっています。



■ クロス集計：所持手帳別年齢3区分

所持手帳別年齢3区分でみると、【身体】のうち、【18歳以下】では「移動支援（外出のときの支援）」が40.0%、【19～64歳】では「移動支援（外出のときの支援）」「サービスを利用するための相談」がともに23.1%、【65歳以上】では「移動支援（外出のときの支援）」が28.2%となっています。

【療育】のうち、【18歳以下】では「通所施設等で行う就労や就労のための訓練（就労支援）」が46.9%、【19～64歳】では「移動支援（外出のときの支援）」が38.9%、【65歳以上】では「グループホーム等での共同生活」が26.3%となっています。

【精神】では、【18歳以下】では「通所施設等で行う就労や就労のための訓練（就労支援）」が71.4%、【19～64歳】では「サービスを利用するための相談」が28.1%、【65歳以上】では「移動支援（外出のときの支援）」が29.2%となっています。

【所持手帳なし】では、【18歳以下】では「通所施設等で行う就労や就労のための訓練（就労支援）」が30.8%、【19～64歳】では「サービスを利用するための相談」が21.4%、【65歳以上】では「ホームヘルプ（自宅で行う日常生活上の支援）」が31.4%となっています。

		ホームヘルプ (自宅で行う 日常生活上の 支援)	移動支援(外 出のときの支 援)	短期入所(数 日間泊まれる 施設等)	日中一時支援 (日中を過ご す施設等)	通所施設等 で行う日常生 活の介助(生 活介護)	通所施設等 で行う社会生 活ができるた めの訓練(自 立訓練)	通所施設等 で行う就労 のための訓 練(就労支 援)
身体	0～18歳(n=15)	13.3	40.0	13.3	20.0	13.3	26.7	6.7
	19～64歳(n=147)	19.7	23.1	6.8	4.8	9.5	6.8	8.8
	65歳以上(n=457)	26.5	28.2	12.5	9.4	4.2	5.5	0.7
療育	0～18歳(n=49)	6.1	40.8	22.4	22.4	10.2	44.9	46.9
	19～64歳(n=90)	16.7	38.9	30.0	20.0	20.0	23.3	23.3
	65歳以上(n=19)	15.8	21.1	5.3	5.3	5.3	5.3	10.5
精神	0～18歳(n=7)	14.3	42.9	0.0	0.0	14.3	42.9	71.4
	19～64歳(n=89)	20.2	16.9	6.7	10.1	2.2	6.7	20.2
	65歳以上(n=24)	25.0	29.2	16.7	20.8	0.0	4.2	0.0
手帳なし	0～18歳(n=39)	2.6	7.7	0.0	7.7	2.6	20.5	30.8
	19～64歳(n=42)	11.9	19.0	7.1	7.1	2.4	11.9	16.7
	65歳以上(n=35)	31.4	20.0	20.0	17.1	11.4	20.0	2.9
		退院・退所へ の支援や地域 で住み続ける ための支援 (地域移行・地 域定着支援)	地域活動支援 センター(小規 模作業所を含 む)	グループホー ム等での共同 生活	施設への入所	サービスを利用 するための 相談	その他	不明・無回答
身体	0～18歳(n=15)	13.3	13.3	6.7	6.7	6.7	13.3	26.7
	19～64歳(n=147)	9.5	2.7	8.2	5.4	23.1	12.9	26.5
	65歳以上(n=457)	7.7	1.8	2.6	10.7	17.1	6.6	29.8
療育	0～18歳(n=49)	4.1	18.4	24.5	6.1	34.7	14.3	12.2
	19～64歳(n=90)	8.9	5.6	31.1	12.2	18.9	10.0	14.4
	65歳以上(n=19)	10.5	0.0	26.3	15.8	10.5	0.0	31.6
精神	0～18歳(n=7)	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0
	19～64歳(n=89)	4.5	14.6	5.6	3.4	28.1	12.4	14.6
	65歳以上(n=24)	8.3	16.7	4.2	8.3	16.7	8.3	20.8
手帳なし	0～18歳(n=39)	5.1	5.1	5.1	0.0	15.4	15.4	28.2
	19～64歳(n=42)	7.1	4.8	7.1	9.5	21.4	14.3	26.2
	65歳以上(n=35)	2.9	5.7	5.7	20.0	8.6	5.7	28.6

10 普段感じていることについて

問 40 普段、感じていることや困っていること等、自由にお書きください。(自由回答)

「福祉全般」について	
内容	
災害時の不安(①「災害時に誰かに助けをもらって避難しても、その場所で数日過ごすことは出来ない。食事が普通にとれないので自宅にとどまることを選択せざるをえない。(ミキサー食しか今食べていないので)食事がとれなくて困るので避難できない。ポストまで行くことが出来ないのでアンケートの返信も困っています。誰かに頼んで投函してもらいます。」、②「私は耳が悪いため、台風時に避難場所が有線放送ではわかりません。スマートフォンで知らせてほしいです。大雨警報も同じです。お願いします。」、③「家で一人である時に火事や地震などの災害が起こった時、助けを呼ぶ事が出来ません。電話も自分でかける事が出来ないで、ボタンを押すと災害本部や救急に繋がるものがあれば安心です。」)	
グループホームが少ない、もっと増えてほしい(①「グループホームが少ないのと、条件が合わず入れない。」、②「将来、グループホームがもっと増えてほしいと思っています。」)	
負担料金が低い(①「受給者証を使った放デイや療育の利用者の負担料金が、4,600円/月の次の金額がいきなり37,200円/月にはね上がるのをなんとかして欲しい。もっと段階をつけて上げる様にしてほしい。いきなり37,000円以上も料金がかかるとなると、夫婦共働きで将来の子供に向けての貯金したくて働いても、所得が増えて、利用料金が上がってしまうなら働くことをためらってしまいます。もしくは子供の放デイや療育を受けたくても、親が働いているのでお金が高くなるからと利用をためらってしまい、仕事もしづらくなります。」、②「収入により、月額上限利用額が違いすぎます。37,200円は高すぎです。0円や4,600円と差がありすぎです。利用したくても利用できなくて困っています。」)	
デイサービスが退屈(①「昼食がすんだらイスに座っているだけで帰る時間が来たら帰るだけ。デイに行っても何も楽しくない。歌を歌ったり色々できる事があるのに何もしない。」、②「葛城市内でのデイサービスのできる施設で知っている所はほとんどが入浴が目的で、入浴までの時間はテレビを見て、座っている状態であると思います。運動が出来たり専門の理学療法士がいたりして楽しみながらリハビリできたり話ができたりする様な施設があればと思います。利用者のそばにいて利用者だけに関わる職員を介して見守り、利用者とお話する人がホールの中にいる必要があると思います。」)	
移動支援をもっと充実させてほしい(①「病院、役所、銀行へ行くための介助者がいてほしい。」、②「移動支援を受けてもらえる事業所が少なく感じます。」)	
・療育手帳B1の判定のため、医療費用がかかる。・精神障がい者手帳を利用しているが、判定が2年ごとにかかり、事務手続きが複雑で診断書を書いてもらうのにお金がかかる。(早く療育Aが欲しい)・どこの事業所も人手不足で、なかなかサービスが受けられない。・奈良県の療育手帳の判定が厳しい。(他府県に引越を考案中)	
・療育手帳を所持しているが、B1なので使えるサービスが少ない。(特に医療費等)・通院は限られているので、A判定が欲しい。・事業所が人手不足でなかなか外出支援が受けられない。・兄弟ともに障がい者認定を受けているので将来親なき後が大変。不安。・移動だけでなく、生活全般に利用できるようにして欲しい。	
高齢者のみで生活している家庭。高齢独身生活者の生活状況を調べ、市より高度な支援をしてほしい。(交通支援、食事支援など)	
色々サービスがあっても難しいのですが、幾くも受けなくてはならない身は高くつきます。そこで回数を減らして利用させてもらってます。	
ホームで出て来る食事がもっとよかったらいいのに。寒い(冬)。バスがもっと出てたらいいのになあ。	
在宅支援等のヘルパーの質がよくない。事業所によってヘルパーの指導がなされていないところがある。	
知的障がい者が気兼ね無しに受診出来る医療機関の整備、又は情報提供を希望します。	
「特養」施設の不足。入所費用の問題。	
・補聴器の補助金額を増やしてほしい。 ・聴覚障がい者に便利な、携帯電話などのグッズを充実させてほしい。	
言葉をまとめるのが苦手で、どうせ嫌な顔されるなら発達障がい、知的障がいの人だと認知して貰って普通じゃないと諦めて貰えるようなヘルプマークのような物が出来たら役所や駅で楽かなと思う。小さい頃に障がいだと親、家族に認めて貰えたら、学校でいじめられたり辛い思いをする事が無かったのかなと思う。子供の内に気付く人が増えますように。	
今は葛城市の施設に入所する事となり家族が安心しています。家ではとても世話する事は出来ない。とてもありがたいです。介護士の皆さんにありがとう！！	
・リハビリを継続して、受けることはできる制度ができてほしい。完治というか、ましになってきた頃に(90日)切られてしまって。また、元に戻ってしまうので残念である。ずっと継続して受けてほしい。	
施設も利用させていただいてますが人手不足や個々の特性に応じた対処の仕方の御理解がゆきとどいてなかったり、連携も不十分である等が気になります。	

内容
大阪の病院に通院しており、大阪では、小学校でも学習支援を受けやすい体制が整っている。学校にプラスして放課後等デイでも、しっかりと学習支援のフォローがされていると聞いている。奈良でも同様の支援を必要とされているが、特に放課後等デイは、学習支援をしてもらえない。子供が質問をしたり、解答があっているか確認をしてほしいと言っても対応してもらえない。放課後等デイに依頼しても、「塾ではないので学習支援はやりません。」と言われるが、学習支援も児童の困り事を助けるために必要な事だと思う。小学校も、十分に説明する事もできないので、放課後等デイの学習支援は必要。経営者、指導員の都合のみで運営されていて、子供の支援が考えられていない。
主人が脳出血で倒れ 15 ヶ月になります。回復の見込みはありません。私自身不安で日々怖さも感じています。施設などに入所して心身共に休んでみたいです。泊まることのできる施設を作って頂きそちらで暮らしたいです。そこから働きに行けると少しは生きがいを感じて日々を送ることができるのではないかと考えています。
高齢で要介護 2 である。通所サービスを利用している。
年金は下がる。介護保険料は上がる。身障者としての私に対する援護はゼロ。地域として何か考えてほしい。私が使った薬代を調べて、何百円か安くなるのを毎月連絡が(ジェネリックの薬)ありますが、調べる方の給料、紙代や印刷代、通信代がかかることを考えていますか。
視覚障がい者のためのデイサービスがあればありがたいと思います。介護保険のデイはありますが、そこで行われるプログラムは視覚障がい者には厳しいものもあります。また、ひとりで移動できず周囲の把握も難しい者のためのプログラムのデイがあればと願っています。福祉サービス計画は申請がないと立案されませんが、役所からの提案があればうれしいです。情報を得るのが難しいため、よろしく願います。
ケアマネさんが私達の身になってほしい。
敬老会は何十年も変わらぬ出し物で現在の老人との差がありすぎて戸惑う。敬老会も少し現代風を取り入れてほしい。
年に 1 回タクシー利用券を発行していただいているが、利用する事がほとんどない状況です。タクシー利用券以外で何か選択できるようにしてほしい。例えば、スーパー銭湯利用券、QUOカード、割引券等、せっかくの予算を身になるものに使ってほしい。
要支援認定が遅い。
介護保険のサービスをどうしたら利用できるのか。
デイに通っていますが、もう少し高度なリハビリ機具があれば良いと思います。
入所施設が少なすぎる！障がい者が住みにくい町である。
身体障がい者は、手だてを講じることがまだ考えやすいですが、思いを互いに理解し合う等コミュニケーションをとることが難しい場合など、支援のありようは、人的にも施設環境的にも、きめ細やかで忍耐強い取組があればこそ築き上げられていくものと思う。大阪豊能障がい者労働センターに学ぶことも多いと思います。普段尽力下さってる皆様には、心より感謝しています。
デイサービスやショートステイの利用は満足しています。
いつも思っている事、助けてほしい時に駄目になる事があります。助けてほしいと思ってケアマネさんに話すと×でした。法律で定められているそうです。同一敷地内で親子が住んでいると生活介助を他人に頼めないそうです。私達の若い頃は親の事は自分の身を挺してもやりました。今は、親は子の為には当たり前、子はそうではない。社会情勢がそうであり、その様に躰けて来なかったのが悪いのかもしれませんが大概の人はそうらしいです。どうしようもないことを愚痴りました。お許し下さい。
医療的ケアが必要な子の保育園通園に関して。支援が努力義務から責務になっているにも関わらず、看護師さんが確保できなければ入れない。理由はわかるが力を尽くしてくれているのか疑問。「入園申し込みはできるのでしてもいい」他人事の様になってしまう。
障がい者が 65 才以上になると介護保険の方で利用しなければならないので(2 人共身障 1~2 級)、主人の場合、介護保険で 2 割となると月にすると費用がかさむ。
私はストーマを使っていますが、市の補助が有るので大変助かっています。ありがとうございます。
介護が日常的にできているが、退所要請があればどうすればよいか。
健常者と同じように見られ、同じ扱いをうけているので、このアンケートをみて右手がうまく動かないのよね、私、障がい者なのね、と・・・洗たく物がうまく干せないし、手が上がらない。自分で自分をかばうしかありません。右肩には常に湿布をはる毎日です。見た目ではわからないので・・・今後障がい者として、どんなサービスが受けられるのか教えてほしいです。
施設に入所し、月に 2 回施設の指定日に帰省している。帰省日に共に子供と外出を支援してくれるサービスがあれば有難いと思う。
等級にかかわらず支援されたいです。
勝手に無断で出ていかないようにしたいとかどうしたらいいとかかの相談できる人を増やしたい。
特に困ってないが、必要を感じた際、例えば、民生委員の担当者名・連絡先が個人には伝わっていないので、連絡先の記入されたものが自宅にあれば良い。

内容
<p>些細な事でも家族は不安に思っていることや悩んでいることを相談したいのに相談できる人がいない。話せる相手がいない。障がい者を介護する者、グループホームに入っている人の家族など自分と同じ立場の人と話せる機会を作ってほしい。同じ立場で悩みや不安などいろいろな事を話して情報交換したり、コミュニケーションをとって友達を作りたい。支援する家族同士がつながれる場やコミュニティを作ってほしいです。1人でわからずどこに言えばいいかわからず悩み、落ちこんでしまうので集える場がほしい。</p>
<p>親がいつまで健康で、本人を支援できるかわからない。本人はずっと家族と暮らしたいと思っているが、いずれはグループホームを見つけて利用したいと思っているが、女性が入所できる場所が少ない。親が元気なうちは週末に帰ったり、今の作業所を変わりたくないで近いところで探しているがなかなか見つからない。</p>
<p>グループホームで生活しています。日中はデイサービスに行つて沢山の人の世話になっています。グループホームの世話人さんも男性の方も増え、今までの女性の世話人とのつきあい方とは違い、本人もとまどっているように感じます。もちろん良い所もあるのですが、うまくバランスがとれた支援をして戴きたいと願っています。夜間も常駐して戴き、安心して生活出来るよう支援をお願いします。利用者の方も高齢化して、体調に異変を感じる事も増えてきています。緊急性のない時でも、スムーズにいく様な「マニュアル」があれば、保護者にとっては嬉しいですね。よろしくお願いします。</p>
<p>障がい者が住みやすい街にしてほしい</p>
<p>大部分は福祉介護で賄える</p>
<p>困った事は無い訳ではありませんが、直接の対面での場であるのなら話せると考えています。</p>
<p>介護サービスを受ける際の費用について知らない。</p>
<p>93歳の母を介護していますが、寝たきりの介護は難しい、補助額も少ないので通所施設への日帰り通所も金銭的に厳しい。オムツの交換だけで体力が持たない。もう少し補助金を充実できる体制が欲しい。生活費を稼ぐ事も出来ないで、年金だけでは到底生活費が足りない。</p>
<p>高齢者にはわかりづらく知らないことばかりである。</p>
<p>特養などの介護施設から入院となった場合や、自宅から入院となった場合、介護状況などを相談する担当のケアマネージャーなどが一時的に不在というのか、宙に浮いてしまうような状態になる。制度の境目のような状態で、それぞれの機関にそれぞれの専門の相談員が居るにはいるようですが、連携をとるのに時間がかかってしまったり、どのような手続きが必要なのかわかりにくい場合がある。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・生活介護事業所により送迎がなく、家族が送っている。(高取町。本人が好き事業所なので) ・自宅以外で泊まれないので、親なき後が心配。
<p>家族会など横のつながりが欲しいが探せていません。障がいのある者が楽しめるような施設(インフラ)、コンテンツが少ないと思います。また障がいについての理解が、いわゆる専門職の中でも行き渡っていません。特に脳の障がいは「ふつう」に見えるので、誤解されやすいです。</p>
<p>学校を卒業し、現在は生活介護事業所に通っています。生活日常動作全てに介助が必要な子供なのですが、現在、今いただいている福祉サービスの時間数も全く使えていません。日々困っていて利用したいのですが、利用できる場所が無いのです。親も年々年を経まして介助にも限界がきておりますが、助けてくださる場所がなく本当に困っています。コロナ禍前までは就学中だったこともあるためか居宅介護に週3日入っていただき、帰宅後の支援、また、(土)(日)はデイサービスに通園しており、移動支援などのサービスも使えて助けていただいていたのですが、この3年ほどで全て利用不可となり、(月)～(金)の日中のみ生活介護に通っている間だけ支援していただいておりますが、帰宅後と(土)(日)は全て親が1人で介護しており、限界を感じています。親(私)が、もし病気になどなれば誰もみていただけない状態です。行動援護、居宅介護など時間数をいただいているので利用できる事業所さえあればいいのですが、現状全く無いとのことで、そのあたりのご紹介や対策等をお願いしたいと切に思っています。市としてもそのような施設やサービスの提供もお願いしたいですし、紹介や相談にに応じていただきたいです。また、今後親亡き後の居場所もなさそうで(知的障がいは特に)そちらの心配もずっとしています。</p>
<p>子育てです。なぜ支援が有料なのでしょう。障がいのあるお母さんの集まりもあっても良いではないか。</p>
<p>利用できる制度は自分から探しに行かないと得られない。現在利用できる通所サービスも短期入所も全て家族が見つけてきたもので、行政に相談しても紹介してくれるところはなかった。現に利用できるサービスが少ない実態もあると思うが、家族が自力で利用できる場所(県外や市からだいぶ離れている場所)を見つけて交渉してやっと利用できる状態。家族が動かなければ利用できないままなので、必要なサービスが受けられないままである。積極的に情報を開示してほしいし、葛城市で賄えないサービスが多くあるのだから市外の情報もしっかりと提供してほしい。医療的ケア児の今後の進路も非常に不安である。奈良県自体がまだ地域の学校に医療的ケア児が通う事例が非常に少ないが、今後は障がい児＝支援学校ではなく地域で過ごしていくことができる選択肢を増やしていけるようにしてほしい。</p>

「交通・公共施設」について

内容

<p>バスの本数が少ない (①「日常生活において急用時や団体の交流会等に、移動する手段としてタクシーが少なく、公共バスも時間的に少なく利用しにくい。駅の周囲に日常用品を売る店が無い。」、②「コミュニティバスを利用しているが本数が少ない。」、③「現在車に乗っていますが、1年位するとやめようと思っています。その際買物、病院、リハビリ、生活に必要な事が難しくなると思います。腰などが良くないので公共の物を利用したいが、バスもあまり本数がないようだし、必要な日に予約して、行き帰りに利用できれば良いと思う。」、④「歩道で水路になっているデコボコの道がつまづき、危ない。平地にしてほしい。バスの本数を増やしてほしい。」)</p>
<p>バスの停留場が遠い (①「福祉バスの停留所がもう少し近くにあれば良いと思う。」、②「一人で外出する時、公共バスの停留所が遠い。もう少しきめ細く停留所を増加して欲しい。」)</p>
<p>障がい者用の駐車場が少ない (①「車を運転して、駐車場で障がい者用スペースが空いてないことが多い。」、②「長距離を歩くのが辛い、障がい者用駐車場などが少なく、買い物などで不便を感じる。」、③「障がい者用駐車場にそうでない人が駐車しているのをよく見かける、徹底できないか。」、④「おもしろい駐車場が少ないと思う。」)</p>
<p>タクシー券が少ない (①「福祉タクシー利用券が他の市に比べて少ないと思います。他市は50枚もらえると聞きました。うらやましいです。」、②「介護タクシーの利用が非常に限られている。病院に行く時に利用するのに、全ての病院に通院する時に利用させて欲しい。」、③「タクシー券もう少し欲しいです。他市は多いと聞いています。」)</p>
<p>交通手段が少ないので心配です。よく眠たくなる事です。</p>
<p>現在、まだ主人も元気で居てくれるので大丈夫ですが、車に乗れなくなった時に利用する送迎車を増やしてほしいです。</p>
<p>障がい者手帳を利用して、電車やタクシーの割引を受けられる様になって欲しい。</p>
<p>私は80歳をすぎています。急にしんどくなって病院に行く時に困ります。家族に車で送ってもらおうのですが、家族も一週間に2日程勤めていますので、いない時に困ります。</p>
<p>移動手段(タクシーなど)に、お金がかかる事が困る。</p>
<p>身障手帳1級ですが、現在、年齢的に介護が必要となりました。その中で介護タクシーチケットをいただいていることが、とてもありがたいです。</p>
<p>歩道が狭く、また段差があり、車いすでの外出が出来ない。</p>
<p>無人駅でのトラブル対応時、インターホンごしでの会話が困難である。タクシーを呼ぶ時の負担が大きい。電車の本数が少ない。読唇の意味が理解できず、「マスク外しも筆談もお断り」の人が少なくない。生放送時に字幕が追いつかず、リアルタイムでの情報が得られず、楽しめない。</p>
<p>介護タクシーなどによる、低価格による病院、買い物等への送迎を希望します。</p>
<p>タクシー利用券あるが、民間タクシーで車いすで乗降する車がない。介護タクシーは予約が取れない。数が少ない。</p>
<p>介護タクシーを利用したいのですが、明細的にお聞きしたい。</p>
<p>尺土駅にエレベーターを設置してほしい。タクシーロータリーが欲しい。</p>
<p>外に出たくても移動手段が少なく困っている。公共の市バスやタクシーなどもっと利用しやすいように工夫が必要でないか。避難場所が少ないし、その案内なども少ない。特に福祉避難所もどこにあるかわからない。放送等でも知らせてほしい。障がい福祉計画etcも計画倒れにならないようにしてほしいし、アンケートに答えた人にはどのような計画をたてられたか文書で知らせてほしい。</p>
<p>れんかちゃんバスなど、医療機関にかかりやすい往復できる適当なダイヤが必要。買物に行けば、帰りはなかなかバスがないなどの問題があるので考慮すべき。アンケートの答え方が難しい。なぜ1こだけ○、すべてに○?理由があれば1こに限らず2こ~3こに○をしたい時がある。</p>
<p>・近鉄尺土駅の南側だけでなく北側にもエレベーターがほしい。・公共施設のバリアフリー調査を当事者と一緒にしてほしい。・ホームヘルプを利用したいが、化学物質アレルギーのため、衣類の柔軟剤や化粧品などの香りで喉が腫れたり、頭痛や咳が出るため利用できない。</p>
<p>・外出したいと思ってもバリアフリーではないので困っている。電車ー近鉄南大阪線尺土駅には、構内にはエレベーターがあるが、外から駅に行くのにエレベーターが北出口、南出口の両方にない。駅員もいない。</p> <p>・パーキンソン病で難病のため少しずつ症状が進行しています。同じ病気の患者会活動を保健センターで作ってもらえないでしょうか?東京都では区の保健センターでリハビリ教室等の取り組みをしているところもあります。葛城市も検討して頂きたいと思えます。</p> <p>・尺土公民館のこと、トイレの段差のため、身障者は利用できない。エレベーターがないので2階に行けないため、避難所として使えません。</p>

「家族・周りの環境」について

内容

<p>発達障がいへの教員の理解が乏しい (①「発達について、深く、現在の状況について、ご存知の学校の先生が少ないように思います。特別に何かして欲しいではなく、その子自身が物事をどう感じているか、特有のところもあるので、知っていただきたいです。また、学校と福祉サービスの連携を取れず、学校側が拒否することもあり、何をもちて子供たちにサポートすると掲げておられるか不明です。」、②「発達障がいと診断されたのが中学校進学後と遅く、それまでは俗にいう[発達グレーゾーン]であり、発達検査ではバラつきが大きいので個別の支援が必要と医療機関でいわれたものの、就学指導委員会では通級が利用出来る(支援学級は利用できない)という状態。現在の学校の体制では教員を増やせない法律の壁と、合意的配慮の難しさ、支援学級であっても個別の支援を行うことが難しい状態であり、特別扱いをして欲しいという希望をしているわけではないが、足りない必要な支援は塾など外部機関の利用でも足りないのが現実。せっかくある支援学級や通級指導教室を、取り出しの数をこなすという数字ばかりを追いかけ、教員が専科と支援学級兼任で忙しすぎて、生徒の対応が難しくなるのは本末転倒ではないかと感じる。」、③「境界知能の診断を受けています。友達をつくること(支援学級以外)が難しい。また、いじめにあう、言動で差別を受けることがあります。支援学級の先生方は同じ目線になって助けてくれますが、普通学級の先生の中には、きつい言葉で指導されることがありました。支援学級生への対応の心得差は理解しておられるのか？と首をかしげることが多々ありました。その点において、どんな学童においても対応のできる教養は必要ではないでしょうか？親としては哀しいばかりです。」)</p>
<p>孤独感、寂しさを感じる (①「周りに自分と似た境遇の友達などがいないから、孤独感、劣等感を日々感じて辛い。いつまでこの辛さが続くのかが分からず、辛い。」、②「年齢を重ねるにつれ、社会や人との関わりが希薄になるので、高齢者学校の様な交われる場所があればと思う。」、③「同級生がどんどん亡くなってさみしく感じる。」)</p>
<p>家族と不仲でいる (①「子供はいるが、普段から寄りつかないし、電話をかけても一方的に切られてしまう。先が不安で、生きているのがつらい。」、②「同居している娘から嫌われているので逃げたいです。」)</p>
<p>人間関係に対する悩み (①「通所に来られる人との人間関係に戸惑っています。」、②「まわりの人間関係がうまくいかないことが不安である。」)</p>
<p>主人が寝たきりだったのでヘルパーさんに良くして頂きました。ヘルパーさんはありがたいです。 老々介護はする方もされる方も“地獄”です。年数(8年)が続くと私はされる方ですが、体が自由にならない事はつらいねえ…！！</p>
<p>周囲の理解が得られにくい事。</p>
<p>家族とのコミュニケーションを大事にしたいです。</p>
<p>本人の考えている世界のせまさ。人間関係が少ないので、可能性を知る機会が少ないこと。 多様性や合理的配慮の理解のなさを日々感じる。意見を言っても、精神病だからなどの扱いを受けるので、余計に不安になってしまいます。我慢することが増す。</p>
<p>気持ちの切り換えが上手に出来ずに暴れてしまう。周囲の目が気になり生きていけない。 近所の方が気にかけてくれ、見守っていただいて、本当に助かっています。地域の方の支えがあつてこそ、一人暮らしができるように思います。</p>
<p>耳と両足不自由の上、最近目は見えにくくなり話す事もなく横になっている時が多く、色々な面で手助けが必要になり、世話する者として悩んでいます。その上、母だけでなく介助する者の配偶者も視覚障がい、2人の世話は体力的にも精神的にも無理になっています。誰かに聞いてほしいと思っています。</p>
<p>家族に助けってもらって、何も不安がない。今後も今のままであってほしいと思っている。家族には感謝以外何もない。</p>
<p>母が要介護で家事を手伝っていて、疲れて施設に行けない時がでている。</p>
<p>幼稚園では、個別の対応が可能で先生の理解がとてもあり、安心して通うことができます。不安になることもありますが、担任の先生に直接お話しできるところも、とても感謝しています。</p>
<p>ふたかみ教室に学校の先生が来て教えてほしい。学校のイルームは行きにくいけど、勉強はしたいので安心して勉強できる環境を作ってほしい。もっとバリアフリーをすすめてほしい。お店の通路がせまくて車イスだと動きづらい。</p>
<p>電磁波を避けています。電磁波のある所がわかりにくい。ハイブリッド車等。</p>
<p>障がいをもつ保護者のつながりが、もっとあればいいと思う。</p>
<p>近隣に大きな医療機関が少ないので、重症化した時の不安があります。</p>
<p>病院へ検査に行くのを、入所している施設の人で連れて行ってほしい。その日空気がないと家族が介護タクシーを予約して、仕事を休まないといけな。大体家族が連れて行ってきています。面会が施設でできるのは月2回なので、病院で顔を見られたり、簡単な会話が出来る良いのですが…</p>
<p>ほぼ毎日大声が出現してしまい、家族はとても神経質になってしまいます。また、介護生活も17年目を迎え、疲れることも多くなってきました。デイサービスに行けない日が増えてきましたが、送迎もサービスが減ってしまったので、利用しにくいと感じてしまうことが少しずつ増えてきています。</p>

「日常生活」について

内容

相談先がない (①「何か困っても解決されない事。誰かに相談した所で最後は他人事。」、②「専門知識をもった人が少なく相談できなかったり、相談をしても何の解決もされない。障がい者を差別している社会に不満を感じる。」、③「子供が障がいがある場合、親が相談できるところが不明。市の相談とかも、普段の様子を知らないのに相談する気にもなれない。」)
他者に対して自分の意思をうまく伝えることができない (①「説明したいけどうまく伝えられず、困っている。相手は理解してくれない時が多く、1人でパニックになる。」、②「今も不満があつて、ちゃんとしゃべることがうまくいかなかったり、ちゃんと説明するつもりが伝わらなかったり、言えないことだらけになってる。自分ではちゃんとやっているつもりが言えてなかったり、伝わらなかったり、言葉がきちんとしゃべれてない事が多い。どうしたらいいのかわからない。」、③「物事を伝えようとしても伝わりにくかったり、細かな一般常識が分からない事が多々ある。自宅から出た時に、忘れ物があったと思い出して取りに帰る回数が2、3回は起きている。電話が難しい。」)
通院等、外出が大変 (①「病院の通院に困ります。」、②「介助者も高齢になり、外出がとても大変で、助けていただけたら助かります。」)
日常生活で話し相手がいらない (①「普段話し相手がいらない。一人暮らしでさみしい。」、②「一人の為、会話が不安。」)
出来る事は自分ですが、出来ない事は出来ない。
心がかけない 歯がしんどい ストレスでへっこむ
本人にはペースメーカーが入っており、高次機能障がいと認知症がある。家で1人できる事ができず、外に出ていく。今のところ帰ってこれる。(近所の喫茶店と散歩コースがあり、そこに行く) トイレ・風呂は自立しているが、トイレをよごしたりきれいに洗身できていない。
本人は重度の知的障がい言葉での訴えは難しいです…。ただ感情豊かで顔の表情を見ながら日々支援しています…。何を望まれているのか汲みとることは難しいですが、気持ちよく毎日を楽しく過ごしてもらいたいです。
難病の為、近所に病院がない。病気が専門の為、身体がしんどくても大阪に行かなければならない事。
現時点で…できるだけ自分のことは自分でできるように。
家の事がなかなか手が足らず困っております。
言葉がまだ出ない。ジェスチャーでも伝えるのがまだ難しいため、本人がどう思っているのか分かり辛い所がある。また、急に大きな声を出したり、じっと出来ず動き回るので、連れて行ける場所や交通手段に制限があるところが大変に感じる。成長途中なので、どこまで社会になじめていけるのか不安と期待が入り交っている。
毎日の身守り、老老介護なので心配。
高齢ではあるが、これからの事はあまり考えたことがない。毎日楽しく暮らせる事だけを考えている。
今のところ、車も自分で運転できてし、近くにクリニックもあるので便利です。
障がい者は孤独になりがちで、不安な気持ちをいつも持っています。そのように見えなくても。
両眼網膜剥離のため字や携帯が見えにくい。エスカレーターも乗りにくい。
ストマを付けていて便出しや尿出しが自分で出来ない事が大変困っている。今は配偶者に頼めているがづらい。
高齢者になり突然歩けない。また、他の病気の後遺症になったり困ることが多々あります。その時困りました。
重い物を持ったり(買い物を含む)、重作業が心臓の負担となり息が切れたりする。手助けがあればと思う。
精神疾患をずっと持っています。長年付き合っています。大きな波小さな波がくり返し起こってきます。自分(本人)がどうしたらいいのかわかりません。ただ寝ていたらそのうち治ると思ってきました。脳の病気と理解するのに時間がかかりました。通院していたら安心だとわかりました。自分から相手に物事を伝える事が苦手な様で、日常でも会話しません。日常生活も決断力、判断力、行動力非常に乏しく人を避けています。
家族と住んでいるので、手続等は長男の嫁に全てまかせているので心配はしていない
文書を読む時、書く時に困る(ルーベ、拡大鏡等を使用している)夜間、緊急な時態が起きた時。
漢字と意味がわからない時がある。
高校生の頃に発病して、現在は就労継続支援A型に通所していますが、仕事で、自分のしたいことや没頭したいことに時間が奪われて、障がい者としての(人としての)尊重できる暮らしが出来ていません。あと、異性に対して、愛する資格があるのか解らない。
息子の世話になり何とか生活出来ておりますが、一人になる事も多く、歩行が困難なため心細く思っています。
病気がいつ治るか、良くなつては悪くなり、今は何もかも不安で死んでしまいたい時もある。医師に相談したら、薬を変更のみである。誰かと話したい。
耳が遠いだけで生活に困っている事はない。→困っている(補聴器は使用していますが)
猫にごはんをあげる人。おしっこして困っています。
朝起きた時から体調が悪く、1日を全うする事が大変。

内容
昼夜逆転
目が見えにくい為、自分の思い通りにならず日常が楽しくなく短気を起こし、家族に迷惑をかける。食事も見えない為おいしくない。
思考のクセ。苦手なこと優先順位。頭の中が混乱すること。不安であること。
病院での診察までの待ち時間が長い。
店員の言っている事を聞き間違ふ。
何事にも気力はあるが手間が人の三倍はかかる。腰や指のしびれがあり不自由です。
・精神疾患以外に、バセドウ病の内分泌内科と、骨折のための整形外科もあって、1つではなく、2つの病院に通わなければいけないことが大変。採血が2ヶ月に1回あるのでしんどい。(バセドウ病の採血)。 ・昼夜逆転してしまっている。 ・薬が苦い。一生飲まないといけないと思うと憂鬱。 ・頓服を飲むタイミングが分からない。一日中憂鬱だから。ありがとうございます。
下肢が不自由のため1人で公共交通に不安で乗れない。その為、1人では出かけられない。
本人にあった療育先が見つけない。(OTの療育や生活習慣の療育など)放課後等デイの利用時間がまばら。児童発達支援や放課後等デイが少ない。専門的な病院がリハセンしかないのが不便。
差別がなく、会社の理解が増えるように。
発達障がいグレーなので、通常学級と特別支援級の中間的なサポートが欲しい。支援級に在籍しているが、取り出しが多すぎる。
私は直腸障がいなので、においが気になるので、なるべく友人と会う時には外で話す様に心がけています。自分も気にせずにいられるので、ストーマに便が出た時には、ごめんねって言って家に帰って処理をしています。この病気になって色々な人の気持ち、また、相手に対する心構えも気を付けています。病気でもしんどくならない様にしています。
家事を含め、何をしても夫の世話になっていることに感謝する一方、少しでも普通の暮らしができるよう願っていますが、「しんどさ」「眠さ」に負けてしまいます。それがとても悔しいです。
葛城市は自然が豊かでリラックスできる自治体だと思います。今は楽しく暮らせてます。
障がいの為(視覚)日常生活が非常に不便で、介護者無しでは全く生活が出来ない。
物覚えが悪い
障がい者なのに、階段を沢山登って作業をする「地域のおみやさん当番」が非常に負担。
発作が起きない日が無く、自分の日常生活動作が完全に1人で出来ないことも多々あり、日常最低限の家事育児もまだまだ十分に出来ない。
日頃の生活が退屈。
外見では障がい者であることを判断されないこと。
特に足が悪いのが堪える。まあ仕方ないか。
脚が悪く自宅での生活が困難になり住居型介護施設に入ったが、頭はしっかりしているので何をして過ごしたらよいか、することがない。
精神障がい者保健福祉手帳3級も健常者も大差ないと感じます。家族も職場にも発達障がいのことを言えず今に至ります。正直重度じゃないから手厚いサービスを受けられたり、助けて貰える事はないと思っています。
てんかん発作後に寝るので他の兄弟の送迎が出来ず、遅刻や欠席になってしまうことがある。
補聴器をつけているからといって特別扱いはされたくないです。
・クリニックには行くが、薬のみの渡りだけで、身体の変化の話には一切口にしてくれない。・突然の体調変化が起こる事が多くなった気がするので、休日の日は外出したくない時がちょこちょこ出てきた。
障がい者がただでさえ苦労しているのに、さらに努力を強いられることが多すぎる。経済面、周囲の認知度など
外見からは病気だと分からない為、本人が思っている苦悩や苦痛が目には見えません。そのためヘルプカードを持っています。災害にあった時など、避難所での食事など食事制限があるためどのような形で支援してもらえるのか分かりません。本当は精一杯働いて所得を得たいですが、限界があるためそれもできません。
以前、体験通所で何回かデイサービスのお世話になりましたが、その時は楽しかったのですが、家で誰にも気兼ねしないで、一日中自由に過ごせるのが一番いいです。体の方も動作はゆっくりとですが自分の事はできるので、家事は家族がしてくれるので、家がいいです。将来、体に不自由が出てきたら家族に迷惑がかかるので、施設に入所してお世話になりたいです。息子夫婦はとてもよくしてくれます。

内容
<ul style="list-style-type: none"> ・対人恐怖があり、通所している作業所以外の外出ができていない(通院、散髪、買い物など。) ・作業所でも、利用者と一部の職員と上手く関われず、隔離してもらって過ごしている。送迎バスにも乗れない。 ・今後、作業所以外の場所に外出できるようになれるか不安。 ・親亡き後、施設かGHで過ごすことになるかもしれないが、そこで上手くやっていけるか不安。(受け入れてもらえるか)できれば介助してもらいながら在宅で過ごす選択肢が欲しい。本人の将来の暮らし方に関する意思決定が難しい。抽象的な意思決定ができない。 ・通院できず、作業所の健康診断も受けられない。今は若くて健康だと思いが今後が心配。 ・家族以外の安心して関わられる相手が限定されているので、福祉サービスや金銭の量的拡充だけでは不安は解消されない。

「将来」について
内容
<p>親亡き後に対する不安</p> <p>(①「親子2人暮らしで、母(82才)が先に亡くなった時、精神的、経済的に自立出来ていない事。」、②「普段介助してる私(母)が急に何かあればどうするかが心配です。」、③「今後、両親が亡くなったら、頼れる人がいないから不安です。」、④「今は就労継続支援B型事業所を利用しています。ずっとそこで働きたい。将来、親がいなくなった時の事を考えると不安になって、うつ状態です。お父さんお母さんに長生きしてほしいです。」、⑤「親がいなくなった時、1人で生活できない(金銭面)。相談できる所がわからない。親がいなくなったらグループホーム等で生活したい。療育手帳B2なので他人に障がいの事がわかってもらえず、なまけていられる。年金ももらえず不安でたまらない。厳しすぎる。」、⑥「今は家族と一緒に住み、特に困っていることはないが、将来親が亡くなって一人になった時に入るグループホームがあるのか、入れてもそこで生活できるか今からとても不安に思います。」)</p>
<p>配偶者に何か起こった時が不安</p> <p>(①「つれあいが亡くなった後、様々な手続き(入退院等)が難しい。」、②「現在は妻が夫の介助をやっているが、互いに年が進むにつれ健康不安も出て、この先介助者が病気等になった時の不安はある。また、見た目は普通の一般人に見えるので、生活して行く上でサポートや助言なしに自分の判断で行動する事は少ないので、助けを得られるか不安である。」、③「現在は本人及び配偶者共に元気で自分の事は出来ているが、高齢化した時が不安。」、④「妻が亡くなった為、私の将来の経済的問題と療育手帳を持つ子供の将来への不安。」)</p>
<p>車に乗れなくなった際の不安</p> <p>(①「徒歩で行けるスーパー等が近くに無いので車に乗れなくなると困る。」、②「今は特にはないのですが、配偶者も高齢のため急な出来事に(特に夜は)不安です。スマホで買物やペイペイの使い方等、便利な方法を教えてもらっています。もうすぐ自動車に乗ることが難しくなります。」、③「現在、電車を使用することが不安で、車を運転して行動する状態です。今後、車を利用できなくなる時点で生活がどう変化するか不安。」)</p>
<p>災害時の不安</p> <p>(①「災害が起きた場合、自分で避難出来ない(歩行困難な為)、家から出た方が余計災難に合うように思うので家の中で待機するしかないと思う。(配偶者は自分の事で精一杯と思う)」、②「日頃の生活を介助している家族の立場からの意見です。現在、ケアマネジャーを中心に訪問リハビリ、訪問看護の方達と共に介護にあたっています。大変、人に恵まれ良好な状態で本人は生活しています。ただ、もう1段階、状況が悪化した時にはさすがに家での介護は難しくなるかと思えます。不安なのは災害時の対応になります。車イス、酸素も必要なので可能な限り家から出るつもりはありません。」)</p>
<p>現在は不自由感じなく生活できていますが、先の事はわかりません。福祉サービスが必要になった時、ニーズにスムーズに動いて下さる人や流れが、余分な事はいらないので、適確に受けられるシステムがあればと思っています。</p>
<p>20年前から、股関節や、背中や腰の痛みがひどくなって来ているので、いつまで自力で出来るかわかりません。</p>
<p>年齢を重ねる事により出来た事が出来なくなる可能性があります。普通の生活がいつまでできるかという不安はあります。近くの病院、買い物などの折に手軽にタクシー以外に頼める方がいれば嬉しいかなと思う。</p>
<p>今後の身体の衰えによって、生活が成り立つか不安。</p>
<p>コミュニケーション力が弱い。普通学校と養護学校の間校がほしかった。次の進路が大変心配。</p>
<p>人工骨を入れた方の足がいつまでもつか不安。</p>
<p>急な体調の悪化が生じた時、自分が対応できるか不安(将来)</p>
<p>障がいはあっても今は何とか仕事も出来ていますが、これから年齢を重ねていく上で不安はあります。その際は相談に行かせていただきます。よろしく願います。</p>
<p>これからどんな風に弱って死をむかえるのだろうか・・・</p>
<p>小学校へ通う事になる来年からどれだけの支援をして頂けるのか。子供の事への理解を含め、関わりへの不安、先生の対応能力が不安です。</p>

内容
80 代の片親に家の事を今なお依存しているので、この先が心配でなりません。(親がどうかあった時)このところその片親に「認知症」では？と思うようなヒヤッ、ドキドキ、ハラハラさせられる事が毎日何かしらあり、自分の障がい(病気)上、心穏やかではられません。親には何度も検査に行ってもらいたいと伝えましたが、拒むばかりで困っています。(ごまかしはぐらかすばかり)自分の障がいより自分の事だけでもしんどい中、プラス親の何かしらの行動により毎日が疲弊するばかりです。現在私はヘルパーさんを利用しているので、「買物」は少し助けていただいておりますが、食事作り、掃除等はなかなか入ってしてもらうのには勇気いるのと、まだそこまで入ってほしくないと言う気持ちが存在してお願いしてはけません。出来れば自分で少しでもして行くのが良いのですが、「やる気」が起きないのが現状です。(我が家は他人に家に上がってもらって・・・と言うのがどうも苦手なもので・・・)私もそれなりの年齢、親もいつどうなるかわからない年齢ゆえの生活上の色々な事に現在悩みっぱなしです。毎日お互い「口喧嘩」が絶えません。親子関係が悪化して行くばかりです。
一人になった時、不安を感じる。頼れる場所があまりない為とても不安。
病院へ診察も本人が行かず、薬も拒否するため、どうしたものか・・・日常生活もひとりでは出来ない事も多く、家族が世話ができなくなったら・・・どうするのか・・・とても不安に思う。
介護度が増してきているため、施設⇄自宅の生活が続けられるか不安。家族(配偶者・娘)も高齢で、介護するのが難しくなっている。
今後、両親が亡くなったら、頼れる人がいないから不安です。
私の場合は内部障がい(心臓)ですので支援を受けずに過ごす事が出来ましたが、一人になった場合、高齢でもあり、そういう事が心配です。
「老老介護問題」が常に不安である。
現在は問題なく生活出来る為、今後高齢になった時どうするか？
県立奈良医大内の移動は、ボランティアの方々の助けを受けて一人で移動していますが今後、もう少し心身共に悪くなれば不安です。もしヘルパーさんなりをお願いすれば、預金が必要とかますます不安です。子供は仕事があるので頼りたくないです。
将来、自分で稼いで生活できるか不安→親がもしも亡くなった時は今の現状は生活保護を受けないと生活ができない。相談できる相手が少ないのも不安。
入院をする事になった時に身の回りの事をしてくれる人がいない事。
異常気象などの影響で人類などの精神状態がおかしくなり世界的な戦争のぼつ発や、天変地異の悪化が恐い。少しでも良好な状態(今よりは)に変化して欲しい。
市内に総合病院が無いので、一カ所の通院で終わらない。高齢になると病院への移動に大変困るので、安心して住み続けられないという不安は常にある。地域の口の軽い民生委員には絶対相談したくない。(準公務員と云う自覚の無い言動の委員がおられた)
病院に行くにせよお金があるのであまり年金を下げないでほしい。
小学校に上がる際の通級指導教室に入るための手段や方法が分からない。学童にも申込みをしたいが障がいを理由に落とされないかどうか心配
特に現時点ではありませんが、今後 1 人になった場合が心配です。
私は、日常生活に困っていないが、精神障がいの息子がギャンブル依存で困っています。どこに相談したら良いのかわかりません。知的障がいの娘もおります。将来私達がいなくなったら、グループホーム等が近くにないで困っています。2 人の障がい者の将来に、不安を感じています。
現在のところ困っていること等は特にありませんが、配偶者同様高齢化になっており、今後経済的支援等いろんなアドバイスをいただけるとありがたいと思います。
話すことが出来ず、他害もある。力も強く、階段を嫌がるなど外出先にも制限がある。親が健康で元気なうちは良いが、高齢になった、片親になった際はどうやって面倒を見れるのか。施設入所になった際、本人は話せないで虐待を受けていても周りは分からない。仮に良い施設にめぐりあっても施設の都合で急遽サービス利用を打ち切られたという話を聞く。そうなった際、その後のケアをして貰えるのか、先のことを考えたら不安は尽きません。
将来を考えなければならぬと思います。
いつかは本当に病気が治るのか？それが心配です。
今後の生活が死ぬまで維持できるかが不安です。
学生でいれる間はいいが、その後のことをそろそろ考え始めないと親は思っている。
高齢になるにつれて、足の動きが悪くなったり痛みなどが出るようになった場合にどうすればいいか少し不安に感じています。
現時点では、特に困っていることはない。重い物を運ぶのも何とか今はできている。しかし、近い将来足が動かなくなったらと不安もある。また、認知症の不安も！！葛城市は充実している方だと思う。ただ、認知症になった時のために元気なうちから市に委託しておく制度などが(たとえば、家の処分)あれば良いと思う。また、介護施設では、ボーっとして何もすることなく過ごすのではなく、動ける人はアルバイト的な事ができたら良いと思う。軽作業で 100 円の手当とか少しでも生きがいになれば良い！

内容
学生の際は両親が働いているため、送迎時間の調整が大変でした。現在生活介護事業所を利用していますが、利用できる時間が短く、行動援護の利用時間も限られるため母である私は正社員で働くことが難しいです。親亡き後も施設にスムーズに入所できるか不安です。
中学校進学に関して戸惑っている。地域中学校ではどうしても受験のためにほとんどの支援学級の生徒が普通学級の生徒と同じ課題やテストをこなしている。支援学級で本人の能力に合わせて支援をすることで、通常の受験が出来ないため無理をしても普通学級と同じ課題やテストをこなす選択をする家庭が多いそうです。普通学級と同じ内容が難しいから支援学級を選んでいる人ばかりではないかもしれないけれども、支援学級で普通学級と同じ内容が出来ず、1対1の対応になるようなことは職員が足りておらず対応できないとのことでした。それでは養護学校ではどうかというと、こちらも本児のような境界域から軽度・中度知的障がいでは、こちらでも合わない状態になる。どちらに行くにも不安があり、また、どちらに行っても早期に不登校になる可能性が非常に高いように思われる。居場所がないように感じる。また、高校も登下校がひとりでは出来ないと養護学校くらいしか選択肢がなく、高卒資格ではないとのこと、そうかと言って障がい年金で暮らせるほどの障がいでもない。将来の生活が全面的に不安。

「就労・経済」について
内容
金銭面等、生活が苦しい(①「物価高で生活が苦しい。」、②「お金がない」、③「主人が施設に入っています。二重生活で苦しいです。」、④「金銭面で困っている。近所からとやかく言われたり、身元調査等が行われる。」)
年金が少ない(①「年金をもっと増やしてほしい。お金が欲しい。」、②「お金の支援。働けないので障がい年金だけでは生活できない。」、③「物価も高くなってきているので年金生活だけではしんどいです。(※若い人達への支援はされているようですが…。子供3人以上の方)年寄にも何か考えて頂きたいです。」)
障がいによって仕事をする事が出来ない(①「現在も障がい(脳梗塞の後遺症である麻痺と目眩)が残っていて仕事に就くことが出来ず、経済的に困っています。何か救済していただけるのなら教えて欲しいです。」、②「働く場所が少ない、決まらない。」、③「収入を得られるような仕事に就けるか。雇用してくれる会社があるのか？雇用してくれる会社で、あたたかく受け入れてくれるのか不安(同僚として)」)
仕事をしていないのに年金を払えとか無理です。見た目は元気そうに見えるのかして、気軽に話かけられると怖いのでやめてほしい。主治医に話してもあまりわかってもらえないのがつらい。
だんだん障がい年金が下がって来ており、体調、足が悪くても仕事をしないと生活が出来ないので、不安に思ってよけい精神的につらくなってくる。
金銭面に不安を感じている。
生活保護の人は良いなあとうらやましく思っています。
体調に左右され、仕事を休む事が多いが、障がい程度が低いので経済的な支援を受ける事ができず、常に金銭的な不安を抱えている。
仕事に鬱病になり、通勤場所が遠いなどもあり、辞めて近くで就労したいと思っているがなかなか出来ない。また最近コロナに感染後余計辛く感じる。収入も減り、支払いなどもあり、少しでもお金の事などの支援が欲しい。
・お金がほしい！生活するのに困っている。(物価高とか)→絶対お金がほしい！！・年金の額を増やしてほしい！(増やしてくれないと生きていけない！！)→県とか市とか絶対Helpしてほしい。・ケアマネさんとかたくさん相談できるとか時間とかほしいな～
・支援サービスがあっても父母の負担が大きい。・金銭的に余裕がない。
16年前に脳出血をおこして、身体障がい者手帳の4級を持つ者です。息子も16歳となり高校1年となりました。市からの手当なども少なくなり、仕事を日々探している状況です。しかし、ハローワークも遠く、この足だけで走ったり、歩いたり、日々の買い出しなどもこの夏は本当に厳しかったです。助けてくれる人が近くにいないので、8月に親子で順番にコロナにかかった時は、不安で押しつぶされそうでした。私は自分に仕事が見つかったとしたら、少し子供を見守ってもらえたり、買い出しなどの家事を手伝って頂けたら嬉しいです。
あまり見ない病気の為、薬もなく、ただこれかな？という薬は飲んでるが、効いていない。見た目はわかりづらいし、仕事等は普通ですが、認知が少ないので変な目で見られてしまう。日常生活は困っていないけど、本人の体はしんどいと思うし、一生懸命働いていてもあまりのお給料の少なさにやる気をなくしてしまう。難病なのに指定されていないため支援等がない。片親なので大変です。

「アンケート調査」について

内容

障がいや福祉をひとくりにしないでほしい(①「福祉をひとくりにされるとわかりにくい。年齢や障がいの度合いが違うのでこのアンケートも答えにくかったです。(本人が5歳なので意向がわからない)」、②「障がい者をひとくりにしないでほしい。(身体障がい、聴覚障がい、視覚障がい等)(知的障がい、精神障がい、認知障がい等)いろいろあるが分けて考えるべき。このアンケートは無意味である。本当は白紙で出したいと思うが、行政ではわかっていないことだらけと思うのであえて記入した。高齢者も障がい者も分けて考えるべき。」)

目が悪く、読み書きが不自由です。アンケートは今年で最後としてほしいです。

アンケートを毎年書けけれど、福祉事業に変化がない。福祉に関する記事、議案がほとんどない。

「行政」について

内容

各種手続きが面倒、難しい(①「両親が入院・入所して、弟が1人で暮らしています。姉の私が代わりに役所の手続きをしているのですが、名字が違う、同居をしていないなど、いろんな所で面倒な事になってしまいます。マイナンバーで管理しているのだから、「この人の姉」ってわかったら、手続きも楽になりませんか!」、②「助成金などの申請が、何度も繰り返し必要なのが不便。変更が無い限り続行でお願いしたいです。」、③「自立支援の助成金の申請が面倒です。」、④「障がい福祉に関する手続きや書類などを1人で理解するのがとても難しい。」、⑤「生活用品購入費用の補助請求手続きについて、請求者、葛城市、販売業者間での書類送付の回数を簡素化してほしい(無駄が多い)」)

福祉や障がい、相談窓口に関する情報がほしい(①「どのような困り事の際は、どこの福祉窓口で相談したらよいかを具体的に示した一覧表の様な物をわかりやすい文字で配布してほしい。」、②「内部障がいのため外見ではわかりづらいので、障がい者サービス(交通割引施設等の入館料医療費)等を受けようとした時に非難された事があります。外見上障がい者には見えない障がい者がいる事を世間に知らせてほしいです。広報等で障がいについて特集を組んでいただければと思います。」、③「行政としては難しいと思うが、具体的な場所や施設を教えてもらえると助かる。」、④「葛城市からの福祉に関する情報が少ないこと。制度があっても他人の助けがないと利用の仕方がわからない。」)

発達障がいへの支援や療育の充実等、障がい児の教育を充実させてほしい(①「発達障がい専門の先生の育成をお願いしたいです。」、②「小学校の通級教室ができてとてもありがたいと思いましたが、授業中にクラスを抜けて参加する必要があるとのこと、全く使えないと感じる。月1回、2回の通級のメリットと、それだけで級友にレッテルを貼られることのデメリットと比較し、有益ではないと思った。今までお世話になったドクターや先生たち等かなりたくさん相談したが、ほぼ同意見だと思った。通級の先生が放課後の時間帯が勤務時間外であれば理解できるが、実情を理解していないルールだと感じる。通級を利用したい子供がどのような状況か(レベル)考えてほしい。」、③「他市と違い、葛城市は療育の児童発達支援施設へつなぐのが遅い。テンプレート化しており、3歳まで待つと言われた後に、3歳になると親が決めることです手のひら返し。他市の職員に教えてもらって、良い部分は取り入れていくべき。住みよさランキングに比例した福祉行政をお願いしたい。」、④「行政内にも発達障がいに関する知識と理解がない人が多く、早期訓練が必要なのに適切な援助を受けられない。小学校や中学校に入学する際の情報や援助がないので不安である。」)

福祉担当者に対する要望

(①「役所の福祉担当の方が今年度から変わられているようで、手続きなどあまり分かっていないようでした。4月に上限管理の手続きをして、役所から返金される案内が来るとお聞きしておりますが、8月末の今になっても返事やお知らせが全くありません。デイサービスの人が何回か行っているしてくれておりますが、デイサービスの人もお忙しいので、何回も行ってもらっても申し訳ないです。そのあたりの手続き等もう少ししっかりとしてほしいと思います。福祉の手続きに詳しい方がいるのではないのでしょうか?」、②「當麻庁舎に福祉のことをよくわかる人を置いてほしい。手続きの時、新庄庁舎に電話して聞いていた。」、③「書類の申請で分からない事があって、市役所の窓口で相談の為に「分からない」と言われる事が何度もありました。各課に常時1人は詳しい職員を常駐させるべきかと思えます。」、④「相談担当者(2箇所)が市の辞令で急にかわり、とても不安な思いをしました。こういう事は、最初の相談時点で伝えて欲しかったですし、こちらにも意見を聞いて欲しかったです。1人だけ担当者が変わるのであれば仕方ないとも思いましたが、同時に2人と言うのはとても残念で、どうして担当者変更配慮してくれなかったのかと言う思いを忘れる事が出来ませんでした。」)

土日開庁の要望

(①「日中一時支援について聞きたいが、娘は仕事に行っているため、市役所に行く事が難しい。土日に開いていればゆつくり聞けます。金額等くわしい事を広報に書いてくれるとわかります。」、②「手続きや相談が、土日休日にできるようにしてほしい」)

福祉担当者、市に対する感謝のご意見

(①「福祉課の人がよく相談にのってくれる。」、②「市役所の方々にはいつも感謝しております。ありがとうございます。」)

内容
相手との「共通認識」や「腹の探り合い」「落とし所のつけ方」が0.1秒単位のスパンで「無意識」に理解できず、生き辛さを抱えることがあります。SSTや傾聴スキルの導入によって、発達障がい当事者の困りごとが軽減されるきっかけになると考えています。行政間のしがらみ等難しい課題はあるかと存じますが、何卒ご検討いただければ幸いです。
身体が不自由で歩行困難であっても、市の一斉清掃が年2回行なわれ、その行事に参加しないと三千元×2回の集金が行われる。これは自治体によって違うようだ。
社会福祉課の窓口の方は、もう少し邪魔くさらずに話し等を聞いてもらいたい。
福祉課の人がよく相談にのってくれる。
コロナ対策でワクチン注射等を健康センターで行っていますが、かかりつけの病院で行って欲しいです。(雨が降ったり、少し遠い)
左股関節機能全廃(人工関節)4級以外に膠原病になり治療を受けているが、費用がかかる。難病指定にあたるのではないのか？詳しく話を聞きたいが、どこで聞けばいいのかわからない。
市役所の方々にはいつも感謝しております。ありがとうございます。
人が家に来るのは気持ちがいけないので、あまり来てほしくない。あまり大人数にはならないように配慮してほしい。お役所対応ばかりで、「なんでも言ってくださいね！」とは言いが相談しても何もできない。市から紹介された施設がとても助かっていたのに、結局それも利用できなくなるかもしれないと言われている。利用できない施設を紹介するのはどうかと思います。とても精神的に負担がかかっています。市の人とはなるべくもう会いたくないです。
手続きや相談が、土日休日にできるようにしてほしい
県外出身のためまわりに友人や気軽に話せる人がいなく、疎外感を感じるがよくある。市役所へ相談しに行けばいいのかな？とも思うが、平日は仕事と家事、育児に追われているので動けない。行ったところで話を聞いても生活が忙しくて頭が働かないため、すぐ忘れるしあまり理解もできない。障がい者手帳はいろんなサービスがあつて助かっているが、市が一体何を助けてくれるのか全くよく分かっていない。結局市役所は手続きするための場所なんだなあ・・・と。
高次脳機能障がいの為、一見普通です。成人で普通に見えるため、健常者のように責任を問われる場面に遭遇することがあります。しかし、記憶が不鮮明なので自信がありません。一生懸命仕事も生活もしていますが、高次脳機能障がいに対する世間の目を育てていただきたいと思っています。チラシや広報等で、市民の方々へ周知していただきたいと切に願っております。
・発達障がいの小児科が少なく、リハビリ(作業療法、言語聴覚療法)を受けられる施設が少なくて困ってます。また就学に向けての相談も、関係機関との連携が取れていなくて、どこにどう相談すれば良いか分かりにくかった。

その他
内容
行政に対する感謝のご意見(①「いつもお世話になってありがとうございます。」、②「障がい者手帳1級の心臓疾患で長期間通院しています。大変な恩恵を受けています。誠に有難く思っております。」、③「普段より障がい者福祉にご尽力いただきましてありがとうございます。今後は同サービスを受ける側としてこのサービスが潤滑に運営いただけますよう協力させていただければと思います。引き続きよろしく願いいたします。」)
施設でケガをした(肢体不自由(下肢))。この時、家の方で通院していました。
今のところは困っていることはございません。年齢を重ねて体が動きにくくなった時、家族の厄介者になると思いますが、その時にはアンケートに○印をつける項目が増えると思います。
健康第一頑張っています。
本人談「いや！！！！」(としか聞きとりできませんでした。すみません。)
あぐり(畑)をしたいと思います。
すみません。障がい者手帳が行方不明になっていて、今探しています。やはり年ですね。すぐに置き場所を忘れてしまいます。すみません。

葛城市
障がい福祉に関するアンケート調査
結果報告書

発行：葛城市 保健福祉部 社会福祉課
TEL：0745-44-5103（直通）
FAX：0745-69-6456